

絹布、麻布	一、四〇〇	一、九五〇	一、七〇〇	五、〇五〇
苧布	二、二五〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	七、二五〇
小舟	五、〇〇〇	二、五〇〇	二、〇〇〇	九、五〇〇
鋤	七五〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	四、二五〇
甘藍	七四〇	一、二〇〇	一、六〇〇	三、五四〇
鑄鐵製茶碗	六四〇	一、四〇〇	一、八〇〇	三、八四〇
紙、鎌、烟草切庖刀	二八九	一、六〇五	二、七五〇	四、六四四
鷄卵	二〇〇			二〇〇
合計	二二七、三七六	一四〇、二六〇	一一三、五四五	三八一、一八一

南島蘇里地方ヨリ韓國ニ輸出スル物品ノ主要ナルモノハ綿製品即チ結紐、T印綿布、粗布、細綿布、綿紗「パレージ」紅綿布、更紗及絹布、練綿、夜具、中入用精製綿、「アニリン」鐵工品、獸皮、石油、蠟燭、絲、針、燐寸等ニシテ其貿易狀況ハ左ノ如シ

織物 雜種	千八百九十四年	千八百九十五年	千八百九十六年	合計
夜着中入用精製綿	一七九、九三〇	二〇八、一〇〇	一二七、七二〇	五一五、七五〇
夜着川織物及夜着	一六、五六〇	三九、九五〇	一八、五〇〇	七五、〇一〇
ア	一、二五〇	八〇〇	四〇〇	二、四五〇

鐵及鐵工器	一、七六〇	一、三〇〇	八〇〇	三、八六〇
獸皮及柔革	一、五二八	一、二五〇	六二五	三、四〇三
石油、蠟燭、絲、針及燐寸	九、〇〇〇	九六二	四一四	一〇、三七六
合計	二二〇、〇二九	二五二、三六二	一四八、四五九	六一〇、八四九

南島蘇里地方ハ右列記セル物品ノ輸出ヲ爲スト雖トモ實ニ受動ノ位置ニ在リテ貿易ヲ營ムモノニテ右輸出額中百分ノ九十二ハ英國産ニ係リ露、清、日、獨ノ産出ニ係ルモノハ僅カニ百分ノ八ナリトス
「マチユーニン」氏ハ慶興「カム、ニー」ノ示シタル調査ト地方商人ニ質問セシ結果トニヨリ千八百九十一年韓國ニ輸入セラレタル物産ニ關シ研究ヲ值スヘキ國別表ヲ作レリ即チ左ノ如シ

英國産

結紐	三五、五九五
粗布	三三、四七三
細綿布	六、三〇〇
「パレージ」	三、九二八
T印綿布	三、八八二
綿紗	二、三七三
合計	八五、五五一

生産商業

日本及支那産

精製綿	一、五七八
夜着	五七七
絹布	四一八
夜着用織物	三三二
葉鐵製盤	一八八
帶	一八
合計	三、一一一
露國産	
綿「ラスチング」	二、七五〇
「デミコットン」	一四六
深紅色更紗	八六
支那綿布	三四
細綿布	一二
合計	二、八四八
獨逸産	
赤毛布	一〇一

「アニリン」	一、五八九
合計	一、六九〇
總計	九三、二〇〇

滿韓間ノ陸地貿易 韓國開放ノ後滿韓貿易ハ清韓兩國政府ノ千八百八十二年及千八百八十三年ニ協定シタル二個ノ條約ニヨリテ規定セラレ其結果トシテ從來春夏二期義州、慶原及會寧ニ開設セシ定期市場ヲ廢シ兩々相反對スル方向ニ於テ貿易地ヲ開キタリ即チ西南境ニ於テハ韓國義州及清國ノ「ピャームイン」ヲ開キ東北國境ニ於テハ會寧及輝春ヲ開キ是等ノ貿易市ニ稅關ヲ置キテ輸出入稅、價格ノ百分ノ五ヲ徵收スルコト、シ阿片及武器彈藥輸出入ハ之ヲ禁シタリ韓國産ノ紅參ハ價格百分ノ十五ノ稅ヲ拂フノ條件ノ下ニ韓國民ニ限り輸出ヲ許シ清國民ハ特ニ韓國政府ノ許可ヲ得ルニアラサレハ此權ヲ有セス又「チュン、チャン」市場ニハ蔬菜、菓物、鶏、鴉及魚類ノ如キ糧食品ノ無稅輸入ヲ許シタリ又毎年清國ニ派遣セラル、韓國朝貢使ハ無稅ニテ一定ノ量ノ貨物ヲ清國ニ送ルコトヲ許サレタリキ

義州「チュン、チャン」間ノ距離ハ遠カラスシテ清韓兩國ノ商人ハ朝往キ晚ニ復ルヲ得ルカ故ニ兩國ノ一方ノ國民ハ他ノ一方ノ領地内ニ家屋及倉庫ヲ建設スルコトヲ禁セラレタリ又右開放地ヲ離レテ内地ニ入ルコトハ概シテ海港ニ於ケルヨリハ其制限嚴密ナリキ

千八百八十三年ヨリ清韓陸地貿易ヲ律シタル原則ハ前述ノ如クニシテ此原則ハ千八百九十九年ノ條約ニ於テモ實際ニ於テモ毫モ變更スル所ナカリシト雖トモ此條約ハ清韓國境貿易ノタメ新ニ條約ヲ結ブヘキコトヲ豫定シタリ

此貿易ハ韓國開放後ニ於テハ其前ニ於テ兩國貿易カ皆陸路ニ由リテ行ハレタルトキニ比シ自然ノ理トシテ衰退ニ傾キ義州ノ商業ハ「カルリス」氏カ訪ヒシ千八百八十四年既ニ甚シキ寂莫ヲ感スルニ至リタリ清韓陸地貿易ニ大ナル勢力ヲ有スルハ清人ニシテ清人ハ禁令ヲ犯シ滿洲ヨリ北韓地方ニ侵入シテ盛ンニ韓人ト商賣ヲ行ヘリ「マチューニン」氏ハ露境ニ近キ咸鏡北道ノ諸部ヲ旅行シタルトキ「ノウォキエフスコユ」ヨリ鏡城ニ至ル途中多クノ沿道村落ニ商品ヲ擔ヒテ行商スル支那商人ヲ目撃シタリ又支那人ハ韓人ニ物品ヲ巧ニ貸賣シ韓吏之ト爭フコト能ハス久シク忍耐シテ遂ニ忍フ能ハサルニ至レハ彈春ノ「フリード、ソーン」ニ訴ヘ警察隊ヲ派遣シテ支那人ヲ捕ヘンコトヲ乞フ砂金多キ咸鏡ニ侵入スル支那人ヲモ此方法ニヨリテ驅逐ス又支那人ハ鴨綠江ニ於ケル運搬業ヲ專有シテ商業ヲ營ムモノ多ク其禁制アルニモ拘ラス韓國方ノ沿岸ニ赴キテ商賣ヲ行フ而シテ鴨綠江ヲ航行スル「ジャンク」ハ遼東及上海ヨリ發スルモノナリ

滿韓貿易ニ關シ清韓兩國ノ稅關ハ其事情ヲ歐人ニ示スヲ拒ムカ故ニ其數ヲ知ルコト能ハス且稅關報告ナルモノハ縱令之ヲ得ルモ清韓兩國官吏ノ不公平ナルト密輸出入多キトニヨリ到底精確ナルヲ保スヘカラスアルヘク然ルニ前在韓英國總領事「ヒリヤー」氏ハ非常ノ熱心ヲ以テ右事情ヲ搜リ辛フシテ僅カニ慶原及會寧兩稅關ノ千八百八十八年八月以降十二ヶ月分ノ報告ヲ得タリ其報告ノ示ス所左ノ如シ

會	寧
輸	出
輸	入
一四、〇〇〇	二八、〇〇〇

合計 四二、七三一

原

輸	出
輸	入
三、〇三〇	一〇、六四〇
合計	一三、六七〇

韓國ヨリ陸路清國ニ輸出スル主要物品ハ家畜ニシテ千八百九十五年マテハ人參モ亦其中ニ在リキ其外滿洲ニハ虎、豹皮及ヒ海參等モ輸出セラル又鴨綠江流域ノ上流地方ニ於テ韓人カ伐採スル建築木材ハ流ニ由リテ義州若クハ大東溝ニ下シ支那商人之ヲ購置ス而シテ鴨綠江ヲ遡リテ輸送セラル、物品ハ陶器、鹽及諸種ノ織物等ナリ

清國ヨリ韓國ニ陸路輸出スルモノハ諸種ノ綿布、生棉、染料、煙草、酒類及少量ノ皮革類トシ北韓ニハ阿片ノ密輸入漸次増加シツ、アリ「モッフエト」氏ノ言ニ依レハ千八百九十二年韓人ニシテ阿片ヲ用フルモノ數百人ニ上リ阿片店ハ公然開カレテ且好景氣ヲ呈シツ、アリ而シテ阿片ヲ喫スル風習ハ貿易地ナル京城及ヒ仁川ニモ漸次蔓延シ主トシテ富者ノ間ニ行ハルト

河 川

凡テ水勢ハ山岳ノ形勢、樹木ノ狀況竝ニ雨雪等ノ配合ニ因リテ其特質ヲ形成スルモノナリ然ルニ韓國ハ山岳甚多クシテ大山脈全國ヲ縱斷シ其兩傍ニ枝派ヲ分派シ各支派ハ更ニ分レテ小分脈トナリ高地トナル

カ故ニ河川ハ山岳ノ配置ト相應シ是等ノ枝脈ヨリ成立スル高地間ノ谷地ニ發源シ漸次低地ニ流下シテ兩々相會シ以テ河系ヲ形成ス而シテ其水源ノ位置大山脈ノ東方ニ在ルモノハ日本海ニ注キ其西方ニ在ルモノハ黄海ニ入ル而シテ大山脈及其枝脈ノ中央部ハ半島ノ東海岸ニ近キヲ以テ日本海ニ注入スル河川ハ其延長大ナラスシテ五十露里(約日本ノ十四里)ヲ越ユルモノ少ナク只豆滿江及洛東江ハ源ヲ大山脈ト其東方枝脈ナル豆滿山脈及洛東山脈ノ中間ニ發シ數百露里(一露里ハ約日本ノ九町四十五間)ノ延長ヲ有シテ異例ニ屬ス然ルニ西海岸ハ大山脈ヲ距ルコト東海岸ヨリモ遠キヲ以テ黄海ニ注ク河川ハ日本海ニ注クモノニ比スレハ大ナル延長ヲ有ス而シテ韓國ノ河川ハ其國ノ山岳多キ地勢ニ應シ其多數ハ眞ニ山河ト稱スヘキ狀況ヲ呈シ床底傾斜シテ岩石凸凹シ水流迅速ニシテ鳴響ヲ發シ處々ニ懸崖ヲ成シ瀑布トナリテ急下スル處少カラス故ニ増水ノ時ニ際シテハ山岳ヨリ夥シク流出スル泥土ハ河岸ニ氾ル、コトナク無益ニ海中ニ流入シテ海岸ヨリ數哩ノ間海水ヲ混濁セシム

森林モ亦凡テ水流ノ狀勢ニ少カラサル關係ヲ有スルモノニテ積雪ヲ蔽ヒテ其溶解ヲ徐々ニシ春季ノ急激ナル氾濫ヲ防禦スルハ即チ森林ノ主ナル影響タリ且森林ハ雨水ノ蒸發ヲ調和シテ著シク夏季ノ減水ヲ遲緩ナラシメ又森林及樹木ヲ以テ蔽ハレタル土壤ハ山地ノ多量ナル雨雪ニ際シ其急激ナル流失ヲ防クカ故ニ森林ナキ地方ニ於ケル河川ニ於テ見ルカ如キ急激ナル氾濫ヲ來スコトナシ故ニ森林多キ地方ニ於テハ大抵河水水量ノ増減少ナキモ森林ナキ地方ニ於テハ時季ト雨雪ノ量トニヨリ水嵩ニ甚シキ異同アリ而シテ韓國ノ河川ハ此事實ニ基キ且定期雨雪特ニ夏ノ雨季ニ於テ降下スル大雨ノ影響ニヨリ概シテ左記ノ如キ特質ヲ現出ス

韓半島ノ北部ハ森林ニ富ミ中部及南部ハ之ニ乏シ故ニ北部ノ河川特ニ鴨綠江ノ如キ大河ハ中部及南部地方ヲ貫流スル河川ニ比シ水量ノ異同甚少ナシ又概シテ韓國ノ河川ハ一年ノ多分ハ水量少ナクシテ且傾斜急ニ岩石多キヲ以テ舟行甚困難ナリ是故ニ韓國河川中舟行ニ堪フルモノハ甚少數ニシテ其少數ナルモノト雖トモ只其下流ニ於テ舟楫ノ便ヲ有スルノミ韓國ノ大河ニシテ吃水約一「メートル」四ヲ有スル平底「ジャンク」ノ通行ニ堪フルモノ左ノ如シ

鴨綠江 二百八十「キロメートル」(河口ヨリ渭原ノ少シ上方マテ)

清川江 七十「キロメートル」(餘(河口ヨリ寧邊マテ))

大同江 約百二十「キロメートル」(餘(河口ヨリ平壤マテ))

漢江 約百三十「キロメートル」(餘(河口ヨリ京城ノ少シ上方マテ))

白馬江(錦江) 約五十「キロメートル」(河口ヨリ「カン、キョン、ホー」村マテニシテ小舟ハ尙懷仁マテ百「キロメートル」(遡行ス))

榮山江 約九十「キロメートル」(河口ヨリ羅州附近マテ)

蟾津江 約三十「キロメートル」

洛東江 約二百三十「キロメートル」

豆滿江 約二十「キロメートル」

半島ノ小河川ハ冬季ハ時トシテ凍結シ夏季ニハ殆ト涸盡ス然レトモ定期風ノ期節ニハ雨量多クシテ平時ト觀テ異ニシ水量急ニ増大シテ濁流滔々廣深ナル大河トナリ氾濫シテ附近ノ田野村落ニ浸水ス「ゴッシ」

氏ハ韓國漫遊ノ時鴨綠江ノ氾濫ニヨリ其附近ニ於テ岸ヨリ高キコト七「サーヂェン」乃至十「サーヂェン」
 (「サーヂェン」ハ七呎)ノ村落ニ浸水ノ跡アルコトヲ目撃シタリト云フ以テ其甚シキヲ知ルヘシ又「ルベン
 ツォーフ」氏ガ北韓旅行ノ際驟雨ニヨリ甚シク河水ノ増大スルヲ見タルカ如キハ只一回ノ雨ト雖モ河水増
 量ノ大ナルヲ証スルモノニテ同氏ハ次ノ記述ヲ爲セリ曰ク余ノ一行ハ九月八日鏡城ヲ出發シ九露里(約
 日本ノ二里餘)ヲ進ミタル時大雨ノ兆候アルニヨリ行進ヲ中止シテ露營ノ準備ヲナシ天幕ノ張設ヲ終ル
 ヤ否ヤ大雨來リ同日午後五時ヨリ翌日午後十一時マテ繼續シ其終期ニハ小雨ニ變シタルカ雨量ハ平均二
 吋九ニ達シタリ天幕ハ厚クシテ且一樣ニ密ナル布ヲ以テ製シタルモノニテ全ク雨水ヲ透入セシムルコト
 ナシト雖トモ余等ハ頭上ヨリ濡レスシテ足下ヨリ濡ル、ノ狀況ニ逼ラレタリ附近ニ預細ナル水流アリシ
 ト雖トモ九月八日夕方迄ニハサホド増水セス且其地ハ水面(此細流ハ平時幅七呎深サ半呎)ヨリ高キコト
 二呎四吋ナリシ故ニ余等ハ安心シテ就眠セリ然ルニ午前一時余ハ番人ノ注意ニヨリテ目ヲ覺シタルニ水
 流膨大シ天幕ノ床ヲ越ユルコト一呎以上ニ及ヒタルヲ見タリ之カタメ携帶品ハ全ク濕潤シタルカ故ニ全
 員着衣ヲ急キ協力シテ之ヲ高地ニ運搬セリ只天幕ヲ洗ヒ去ラレサリシハ尙不幸中ノ幸ナリキ而シテ翌九
 日夕ニ至リ水量更ニ増加シタルヲ以テ自製ノ水量標ヲ建テ之ヲ量リシニ左ノ結果ヲ得タリト

日	時	水 量	一時増減ノ時間
九 日	午後六時	一六、〇〇	
同	六時二十六分	二〇、〇〇	増六分半
同	六時二十八分	二〇、五〇	同四分

同	六時三十六分	二一、〇〇	同十六分
同	六時四十四分	二一、五〇	同十六分
九 日	七時八分	二二、二五	増四十八分
同	七時二十五分	二二、五〇	同六十八分
同	八時二十一分三十分	二一、五〇	減四十五分
同	八時四十六分	二〇、五〇	同三十六分
十 日	七時	一八、〇〇	同四時間
同	七時	一四、五〇	同三時間半
十一日	七時	一〇、五〇	同三時間

半島河川ノ流域ハ日本海方面ト黄海方面ニ分レタルコトハ前ニ記スル所ノ如ク而シテ日本海方面ノ河流
 ハ大山脈及其分脈ナル豆満山脈及洛東山脈海岸ニ近キノ故ヲ以テ豆満江及洛東江ヲ除クノ外ハ其延長大
 ナラスシテ多クハ五十露里ヲ踰エサルコトモ亦既ニ記載ヲ經タリ而シテ是等ノ河川ノ多數ハ其廣サ河口
 ニ近キ部分ニ於テハ二十「サーヂェン」乃至六十「サーヂェン」(「サーヂェン」ハ七呎)ニシテ何レノ處ニ於テ
 モ大抵徒渉シ得サルハナシ又北部ニ在ル日本海方面ノ河川ハ通例十二月中旬ニ氷結シ其氷結ハ先ツ流勢
 ノ比較的緩漫ナル下流ニ於テ來ル「ルベンツォーフ」氏ノ言ニ依レハ千八百九十五年十二月二十一日咸興
 ノ附近ニ於テハ成川江ノ氷層ハ甚厚クシテ車輛ノ通行ニ堪ヘタリト

氣候及植物

氣候 千八百九十四年ノ氣象學雜誌ニ「滿韓及北清ノ氣候」ナル題名ノ下ニ「ウヰエイコーフ」博士ノ韓國ノ氣候ニ關スル記述アリ又之ニ先チ千八百八十七年伯林ニ於テ發行スル一雜誌「メテオロロギッシ」ツァイトスクリフト」ニ同一ノ事項ニ關スル記述ノ前者ヨリハ詳細ナルモノアリ以下記述スル所ハ主トシテ此ノ二個ノ文章ヲ基礎トシ之ヲ補フニ多少歐洲諸家ノ說ヲ以テシタルモノナリ韓國ノ氣象研究ニ從事シテヨリ日尙淺ク而モ其研究ノ範圍ハ京城ト仁川、釜山及元山ノ三商港ニ出テサリシカ故ニ是マテ知リ得タル所ハ甚僅少ナリ然ルニ定期風ノ影響ヲ受クル東亞一般ノ氣象ハ韓國モ亦其部類ニ屬スルヲ以テ今韓國ノ氣候ヲ説明スルニ當リ先ツ此一般ノ現象ニ關シ數言ヲ寄スルハ亦無益ニアラサルヘキヲ信ス因テ以下其概勢要ヲ記スヘシ

定氣風 東部西伯利蒙古及北部滿洲ノ谷地及平原ニ於テハ一年ノ中半年ノ冬季ハ晴雨計始終最高壓ヲ示シ換言スレハ重クシテ且寒冷ナル空氣充滿ス而シテ此空氣ハ三千「メートル」乃至五千「メートル」ノ高處ヨリ自由ニ太平洋及其港灣ノ方向ニ流動シ内地ノ高氣壓既ニ一定不變ナルカ故ニ空氣ノ流動モ亦一定不變ナルハ當然タリ是即チ東亞ノ定期風ナリ而シテ此定期風ハ比較的寒冷ニシテ且乾燥セル空氣ヲ東亞ノ地ニ移シ來リ其空氣ハ寒冷ナル大陸ノ北部及内地ヨリ流動シ來リ且低行スルカ故ニ乾燥ス然ルニ夏季ニ至レハ蒙古及東部土耳其斯坦ノ乾燥セル沙漠及荒原ハ空氣疎薄トナルヲ以テ著シク溫度ヲ増加シ空氣ノ流動ハ冬期ト反對ニ海上ヨリ陸地ニ向フ而シテ此空氣ハ比較的溫暖ナル海上ヨリ流れ來リ内地ニ深入

スルニ從ヒ益々高ク上騰スルヲ以テ濕氣ヲ帶ヒ雨トナリテ降下ス是レ夏季ニ於テ清韓及黑龍地方ニ大雨アル所以ナリ

氣壓 定期風ノ氣象區域ニ屬スル北部地方ニ於ケル一月ノ氣壓ハ貝加爾湖邊七百七十八「ミリメートル」以上、浦鹽斯德約七百六十六「ミリメートル」仁川約七百六十八「ミリメートル」ヲ示シ同一區域ノ南部地方ニ於テハ「コヒンヒン」約七百六十二「ミリメートル」ニシテ日本ノ北部ニ於テハ其氣壓ハ「コヒンヒン」ニ於ケルヨリハ尙低度ニ在リ而シテ黑龍江下流地方及「オコック」海岸地方ニ於ケル一月ノ定期風ハ甚強烈ニシテ北京及浦鹽斯德ニ於テハ西北ノ風、元山ニ於テハ西ノ風、韓國ノ西部ニ於テハ北及西北ノ風吹ク

春季ニ至レハ清國平原ハ氣壓俄ニ降下ス是故ニ日本海及黃海ノ海岸ニ於テハ東風及南風生ス然レトモ海岸ヲ距ルコト遠キ北清ノ地ニハ春季ハ特ニ蒙古ノ沙漠及荒原ヨリ來ル所ノ乾燥セル西北風、西風及西南風起ル而シテ此時此地ノ氣壓ハ春季ニ於テ東方海上竝ニ西方蒙古ノ山側ヨリ流動シ來ル旋風ノ中心點タルヘキ清國平原ニ比スレハ尙高度ナルカ如シ六月ニ至レハ南風特ニ多ク東亞ノ低氣壓中心ハ清國ヨリ遙ニ西方ニ在リ是レ六月マテ蒙古ノ廣原甚シク熱シ高ク流動スル強力ナル空氣ヲ生シ其下層ニハ太平洋ヨリ蒙古ニ向ヒ空氣ノ流動アルカ故ナリ九月ニハ蒙古ニ於ケル氣壓ハ著シク上昇シ其結果北清及韓國ニ定期風ノ交迭ヲ見ル然レトモ此地方ニ於テ西北風、西風及北風十月ニ至ラサレハ盛ニ吹荒ムコトナシハ風位ノ定期變更ノ急激ナルハ定期風區域ニ在ル地方ノ特質ニシテ觀測ノ結果既ニ知ラレタル所ニ依レハ此區域ノ中心タル北清ノ低地即北京及其附近ニ於テハ其變更特ニ急激ニシテ之ヲ去ルコト愈々遠キ地ハ

其變更急々緩徐ナリ

晴曇 時季ニヨリ東亞ニ於テ雲霧量ノ多少アルコトモ亦定期風ニ基ク一現象ニシテ歐羅巴露西亞ニ於テハ夏雨ノ夥多ナルニ拘ハラズ其夏ハ晚秋及冬季ヨリハ天氣晴朗ニシテ東亞ハ全ク之ニ反ス今完全ナル晴天ヲ零トシ曇天ヲ十トシテ之ヲ表示スレハ左ノ結果ヲ得

聖彼得堡	十一月	七、二	七月	四、二
「タムボーフ」	十一月	六、一	七月	三、四
「アリコール」	十二月	七、三	八月	三、〇
北 京	七月	五、四	十一月	一、八
上 海	七月	七、二	十一月	三、六

定期風ノ區域ニ屬スル氣候ノ一般ハ以上述ル所ノ如シ今韓國ノ各部ニ於テ其氣候ヲ記述セントスルニ先チ先ツ一言ヲ要スルハ韓國ハ定期風ノ區域ニ屬スル地方ナリト雖トモ山岳多クシテ三面ニ海ヲ繞ラスカ故ニ是等ノ地理上ノ原因ニ基キ風ノ方位及其時期ハ一般ノ法則ニ適應セサル例外多キコト是ナリ然レトモ韓國モ亦定期風一般ノ影響ヲ受クルコト強キハ勿論ニシテ冬ハ西風及北風多ク夏ハ其東海岸ニ於テ東風及南風多キカ如キハ即チ當面ノ證據タリ西海岸ニ於テハ夏ハ主トシテ西風及西南風吹ク是レ蓋黃海ニ隣接スルカ故ニモ因ルヘシ東亞ノ夏季定期風ハ其流動相應ニ軟弱ナリ故ニ韓國ニ於テモ「ブリーズ」ト稱スル海岸風及海風ノ發生ヲ免カレサルモノニシテ即チ夏季朝夕氣象ヲ計ル時刻即チ午前六時及午後九時若クハ十時ニ於テハ處々ヨリ屢々北風タル海岸風ノ吹クアリト雖トモ若シ風ノ強弱及方向ヲ測定スルニ

一層緻密ナル方法ヲ用ヒハ此國ノ夏時ハ概シテ南風ノ多キコトヲ明知スルニ至ルヘシ
韓國ニ於テ曇天ハ冬時ヨリ夏季ニ多シ之ヲ左ニ表示スヘシ

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
京城	三、四	三、六	四、七	五、一	四、六	五、三	六、一	四、一	四、五	三、一	四、一	四、四	四、四
仁川	五、七	五、八	六、〇	六、八	六、九	六、七	七、〇	六、〇	五、四	五、〇	五、三	五、九	六、一
北京	三、八	二、四	三、三	三、九	四、〇	四、五	五、四	四、七	三、八	二、四	二、三	一、八	三、四

表中京城ノ表ハ千八百八十七年四月ヨリ千八百九十一年一月マテノ平均ニシテ其内千八百八十九年ノ十月ヲ缺ク

仁川及北京ノ表ハ千八百八十八年ヨリ千八百九十年ニ至ル平均ニシテ其内千八百八十九年十月ヲ缺ク

韓國ノ西部ハ滿洲ヨリ寒冷ナル西北風朝鮮灣ヲ經過シ少ナカラサル濕氣ヲ帶ヒテ來ルカ故ニ曇天ノ狀況稍異リタルモノアリテ特ニ仁川ノ如キハ冬時ノ曇天ハ之ヲ黑龍州地方、韓國ノ東部、南部滿洲及北清ニ比スレハ著大ナリ然レトモ韓國西部ト雖トモ曇天ノ夏ニ多ク冬ニ少キハ同一ナリ又韓國ニ於ケル雨量モ夏ハ冬ヨリ多シ次ニ示ス所ノ表ハ千八百八十七年ヨリ千八百九十年ニ至ル間ニ於テ毎年一月及一晝夜ニ降下シタル雨量ノ最大量ヲ擧ケタルモノナリ

地名	年	雨量最多ノ月		一ヶ月間ノ雨量		一晝夜ノ最多雨量	
		月	月	mm	mm	mm	mm
元山	千八百八十七年	八	八	七三八	—	—	—
	千八百八十八年	七	七	三一四	七月	—	—
	千八百八十九年	七	七	一九九	同	—	—
	千八百九十年	八	八	三二四	九月	—	—
釜山	千八百八十七年	九	九	二一九	七月	—	—
	千八百八十八年	—	—	二〇五	四月	—	—
	千八百八十九年	七	七	三六七	七月	—	—
	千八百九十年	四	四	二三八	八月	—	—
京城	千八百八十七年	八	八	三七九	—	—	—
	千八百八十八年	七	七	三三六	七月	—	—
	千八百八十九年	七	七	三六五	六月	—	—
	千八百九十年	六	六	二八六	六月	—	—
仁川	千八百八十七年	八	八	三一九	八月	—	—
	千八百八十八年	七	七	二三三	七月	—	—
	千八百八十九年	七	七	二五七	七月	—	—
	千八百九十年	六	六	二三七	六月	—	—

左ノ表ハ雨量ノ毎月平均數ヲ「ミリメートル」ニテ示シタルモノナリ

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
釜山	四四	二二	六五	一三六	四〇	一九〇	二七九	一三五	一一五	五九	五七	四八一	一、三三七
京城	一九	二五	三〇	七〇	五四	一二六	二六〇	一六六	六一	二五	四六	四一九	一、三三三
仁川	三一	一八	二〇	四九	四五	一二五	一九九	一二九	六四	三八	四三	四四八	一、三〇五
元山	—	—	—	—	三一	七一	二二七	四三一	一一五〇	四七	—	—	—

右表中釜山京城仁川ハ千八百八十八年ヨリ千八百九十年ニ至ル分(千八百八十九年ノ十月ヲ缺ク)元山ハ千八百八十七年ノ五月ヨリ十月マテ及千八百八十八年ヨリ千八百九十一年ニ至ル分(千八百八十九年ノ十月ヲ缺ク)ヲ掲ク

左ニ又雨量ニ關スル月別表及百分比例表ヲ示ス
雨量月別表(「ズバン」氏調査)

地名	年	雨量最多ノ月		一ヶ月間ノ雨量		一晝夜ノ最多雨量	
		月	月	mm	mm	mm	mm
元山	五年平均	七	七	—	—	—	—
	六年平均	五	五	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—
釜山	五年平均	七	七	—	—	—	—
	六年平均	五	五	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—
仁川	五年平均	七	七	—	—	—	—
	六年平均	五	五	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—
	六年平均	三	三	—	—	—	—

韓國南半部雨量百分比例表(同前)

氣候及植物

観測地點數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
二	三〇	二九	三八	八〇	七四	一四二	一〇二	一三三	一三四	四八	五〇	四二

同

表二(同前)

観測地點數	春	夏	秋	冬	暖熱季	寒冷季
二	一九、二	四七、五	一三三、二	一〇、一	七六、三	一三三、七

前記諸表ニ依レハ韓國ニ於ケル一晝夜ノ雨量ハ通例歐羅巴露西亞ニ於ケル一晝夜ノ雨量ヨリハ多量ニシテ歐羅巴露西亞ニ於ケル一晝夜ノ雨量ハ年ニ因リ八百若クハ九百ノ観測地中一トシテ百「ミリメートル」ヲ超エサルコトアリ

左ノ表ハ三年間(千八百八十七年ヨリ千八百八十九年マテ)ノ調査ニ基キ韓國ニ於テ霧、雪及雨ヲ有スル一年ノ平均時間ヲ示ス

元 釜 仁 山 山 川	霧		雪		雨		最大雨量ノ月及其雨天ノ時間
	一八六	三〇二	八一四	七月及八月	三三〇		
釜山	二二六	一〇七	一、五五二	七月	一五六		
仁川	五八五	〇	四二二	八月	一一五		

右表ノ示ス所ニ依レハ西海岸ハ東海岸ヨリモ水分多キヲ見ル是レ西海岸ハ毎日満潮ノ時廣大ナル面積ノ水ニ蔽ハル、モノアリテ霧及雨雪ヲ凝成スルコト多キカ故ナリ而シテ霧ハ仁川ニ於テ三月ヨリ七月マテ多ク十月ヨリ二月マテハ少ナク釜山ニ於テハ七八月ニ多ク十月ヨリ三月マテハ少ナシ概シテ韓國ハ年中特ニ夏時雨量相應ニ多シト雖モ雨天ノ日數ハ雨量最モ多キ五月ヨリ九月マテノ間ト雖トモ甚多カラス故ニ一日ノ平均雨量ハ時ニ大ナルモノトナルナリ「ゴッシ」氏曰ク韓國ニハ夏時雨期ト稱スヘキ短少ノ期間アリテ慶尙南道ニ於ケル千八百八十四年七月ノ雨量ハ四百九十三「ミリメートル」ヲ示シ其八月ニハ三百六十三「ミリメートル」ニ達シタリキ而シテ雨量ノ多キ此ノ如クナルニヨリ此期節ニ於テハ橋梁ハ水ノ爲ニ流失シ蟾津江ノ如キ小河川ノ兩岸ニ於テスラ交通斷絶スルニ至ルハ素ヨリ驚クヘキコトニアラス中ニ就テ其氾濫ノ尤モ甚シキハ鴨綠江ナルヘシ如何トナレハ余ハ渭原市ニ近キ一村落ニ於テ河水面ヨリ約十「メートル」高キ樹梢ニ浸水ノ痕跡アルヲ見タレハナリト

韓國ニ於ケル夏雨ノ如何ニ強大ナルカハ千八百九十二年七月京城ニ於テ降下シタル雨量ヲ以テ證明スルコトヲ得ヘク此ノ時ノ大雨ニ關シ「ウーベリ」氏ノ記載スル所ニ依レハ雨ハ七月二十日午後十時ニ始マリ間斷ナク降下シテ二十二日ノ朝ニ及ヒ其量二百六十六「ミリメートル」ニ及ヒタリト

釜山ニ於テハ大雨ハ北韓特ニ北清竝ニ南滿洲ノ平原ニ於ケルヨリハ其時期早ク清國ノ南部及日本ニ於テハ更ニ之ヨリ早シ韓國ニ於テ五月ヨリ九月マテニ降下スル雨量ノ平均ハ元山九百十「ミリメートル」釜山八百五十九「ミリメートル」京城六百六十七「ミリメートル」仁川五百六十二「ミリメートル」ニシテ其一年ノ雨量總計ハ元山千二百三十一「ミリメートル」釜山千三百五十五「ミリメートル」京城九百二十三「ミリ

メートル」仁川八百八十五「ミリメートル」ニシテ東部地方ハ概シテ西部地方ヨリ雨量多大ナリ
地中海ノ海岸及中央亞細亞ニ於テ韓國ト緯度ヲ同クスル地方ノ曇天期及雨期ハ全ク韓國ト反對ノ狀況ヲ
呈シ夏ハ乾燥時期ニシテ冬ハ曇雨多シ之ヲ次ノ表ニ示サン

一年雨量百分比列表

雅典	十二月	七月	十二月	七月
「シシリ」	一四	〇七	釜山	四
「タシケント」	一五	一、四	京城	四、五
	二〇	〇、一	仁川	五
			川	二五

韓國ハ三面海ヲ繞ラスノ半島ナリト雖トモ其氣候ハ著シク清國及滿洲ノ如キ大陸的性質ヲ有ス此現象ヲ
生スル原因ハ黃海及直隸灣ノ水深著大ナラスシテ其水域ハ時期ニ從ヒ迅速ニ暖熱トナリ又迅速ニ寒冷ト
ナリ一年ノ氣候ヲ調和スヘキ影響甚僅少ナルニヨルナリ而シテ韓國ノ氣候ハ只平均溫度ニ於テ歐洲ヨリ低度ナ
ト同シク之ヲ大西洋海岸ニ比スレハ其緯度南方ニ偏シ且韓國ノ氣候ハ只平均溫度ニ於テ歐洲ヨリ低度ナ
ルノミナラス寒暖ノ差モ亦極メテ著大ナリ是レ韓國ニ於テハ冬時西北風及北風多ク夏季ニハ暖熱ナル西
南風、東南風及定期南風多キカ故ナリ此故ニ之ヲ歐洲ノ同緯度ニアル地方ニ比スレハ夏ハ甚シク暑ク冬
ハ甚シク寒クシテ夏ハ日光強烈ナルヲ常トシ冬ハ南部ニ於テスラ寒暖計攝氏ノ氷點下十五度ニ降リ北緯
三十七八度ノ地ニ於テハ攝氏氷點下二十五度ノ嚴寒モ珍ラシキコトニアラス而シテ「パレスティン」「チ

ユニス」ノ如キ地ト同一ノ緯度ヲ有スル南韓ノ地ニ於テモ冬時ハ積雪山岳ヲ覆ヒ只低地ニハ概シテ久シク
雪ヲ見サルコトアルノミ

一年ノ平均溫度 一年ノ平均溫度ハ攝氏寒暖計ニヨリ元山十一度七分、釜山十五度二分、京城十
一度五分、仁川十一度六分ニシテ夏季即チ六七八九ノ四ヶ月間ニ於ケル平均溫度ハ元山二十二度四分、
釜山二十三度七分京城二十三度一分、仁川二十二度五分冬季即チ十二、一、二、三ノ四ヶ月間ノ平均溫度
ハ元山八分、釜山六度九分京城七分、仁川三分ナリ而シテ一年ノ最モ暑キ時候ハ八月ニシテ京城ニ於ケ
ル最大平均溫度三十一度五分最小平均溫度二十二度五分ヲ示ス
南部地方ナル全羅道、慶尙道及忠清道ノ氣候ハ中部及北部ヨリハ遙カニ海洋的ニシテ寒暑ノ變甚ク緩徐
トシテ行ハレ釜山ノ氣候ハ特ニ海洋的性質ヲ有シ濕氣ヲ帶ヒテ溫度比較的平等ナリ（一年ノ最高溫度ト
最低溫度トノ差攝氏三十三度二分ニシテ平均溫度零度以下ニ下ル月ナク一月ト雖トモ尙五度二分ノ平均
ヲ保ツ）仁川及元山ノ氣候ハ既ニ大陸的ノ性質ヲ有シ冬季ハ甚ク寒冷ニシテ空氣乾燥シ清朗ニシテ風ナ
キ日多ク其一年間最高溫度ト最低溫度ノ差ハ仁川ニ於テハ四十八度六分元山ニ於テハ四十八度二分ナリ
夏時ノ海風ハ韓國全部ノ溫度ヲ調加スルニ強大ナル力ヲ與フルモノニテ冬季ハ海水著シク冷却シ夏時ハ
風アリテ海水ノ溫暖ナル上層部分ト寒冷ナル下層部分ヲ混和シテ其溫度ノ昇騰ヲ防止ス然レトモ八月ニ
至レハ海水ノ大部分ハ遂ニ全ク熱スルヲ以テ暑熱最モ盛ンナリ此点ニ於テハ能ク日本ニ似タリ
山岳ノ氣溫ニ及ホス影響モ亦甚ク小ナラス仁川及京城ノ冬ハ約二度北方ニ位置スル元山ヨリモ寒冷ナリ
是元山ニ於テハ冬季ノ西風相應ニ高キ山岳ヨリ東海岸ノ方向ニ吹キテ暖氣ヲ受クルカ故ナリ此理由ニヨ

リ冬半年ノ間ニ於ケル氣候ハ山岳ノ東西著シク其差異ヲ生シ東海岸ハ西海岸ヨリ稍温暖ナルノ結果ヲ見ル此ノ如クニシテ東海岸ノ冬ハ氣候比較的暖和ヲ保チ攝氏零下十二度ニ下ルコト少ナキモ西海岸ノ冬ハ攝氏零下二十度ニ下ルコト久シクシテ積雪數呎ノ深サニ達ス然ルニ夏季ニ於テハ之ト反對ニシテ東海岸ハ西海岸ヨリ清涼ナリ是東海岸ノ地ハ海水廣深ニシテ暑熱ヲ輕減調和スルモ西海岸ノ地ハ前ニモ記載セシ如ク黃海ノ水淺クシテ氣候ノ上ニ此作用ヲ起スコト能ハサルカ故ナリ

左ニ示ス所ノ二ノ表ニヨリ前記韓國氣溫ニ關スル記事ヲ確證スルコトヲ得ヘク右表中第一及第二ハ韓國及其近接スル隣國ノ諸地点ニ於ケル毎月溫度ノ動搖ヲモ示シ又第一表及第二表ハ「ウォエイヨン」氏ノ調査ヲ借りタルモノニテ第一表ノ平均溫度ハ千八百八十四年分ハ朝六回、晝二回夕九回ヲ合計シテ三除シタルモノ千八百八十五年分ハ朝六回、晝二回夜十回ヲ合計シテ三除シタルモノ其他ハ朝九回夕九回ヲ合計シテ二除シタルモノナリ

第三表ハ「ゴッシエ」氏ノ調査ニシテ材料ヲ千八百八十四年仁川釜山及元山溫度日計及日本及浦羅斯德觀測所ノ調査ニ取り牛莊ニ關スルモノハ千八百八十二年佛國發行ノ水誌第五第十卷八十七頁ノ記事ニ基キタルモノナリ

第一表

同一三年間攝氏平均溫度		(1) 浦羅斯德	(2) 元山	(3) 釜山	(4) 仁川
浦羅斯德	元山	釜山	京城	仁川	仁川
ノ一年間平均	間ノ平均	間ノ平均	間ノ平均	間ノ平均	間ノ平均

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	平均
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
零下	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四、九	一、二	二、八	四、五	一〇、六	一三、六	一九、四	二二、六	一六、八	八、四	〇、一	七、五	四、五
三、三	〇、六	四、六	一〇、一	一六、五	二〇、六	二六、六	三三、六	二〇、〇	一三、七	七、七	二、三	二、七
四、一	五、八	九、三	一三、九	一七、一	二〇、六	二四、五	二六、六	二二、一	一七、二	一三、三	八、五	一、五
五、六	一、六	四、〇	一〇、二	一七、三	二二、一	二五、〇	二六、四	二二、三	一八、八	一四、〇	〇、六	二、五
三、五	二、〇	四、九	一〇、三	一五、八	一九、八	二四、一	二五、九	二〇、三	一四、一	七、六	一、九	二、六
四、六	一、〇	二、九	九、〇	一四、四	一九、〇	二二、七	二〇、九	一六、二	九、〇	二、二	九、九	四、四
三、八	〇、三	四、三	一〇、七	一六、五	一九、八	二三、七	二四、三	一九、八	一三、一	六、七	一、七	二、三
三、六	四、八	八、六	一三、七	一六、七	一九、八	二三、三	二六、一	二二、六	一七、一	一〇、九	五、六	三、六
三、五	一、七	四、四	一〇、二	一五、八	一九、七	二三、三	二五、九	二〇、三	一四、三	七、二	〇、四	一、三

表中(1)ハ千八百八十八年ヨリ千八百九十年ニ至ル三年間但シ千八百八十九年ノ十月ヲ缺ク

表中(2)ハ千八百九十四年獨人「ハン」氏ノ調査ニ據ル

表中(3)ハ千八百八十四年ト千八百八十八年ヨリ千八百九十年ニ至ル四年間

表中(4)ハ千八百八十四年七月ヨリ千八百八十五年十二月迄及千八百八十七年ヨリ千八百八十五年十二月迄

レリト而テ氏ハ此山脈ノ兩方ニ於ケル氣候ヲ比較スルカ爲メ此山脈ニ向テ西行シタル時六晝夜及此山脈ヨリ西行シタル時ノ六晝夜ノ平均溫度ノ差異アル時間ニヨリテ調査シ左表ニ示セリ

觀測時刻	午前七時	午後一時	午後九時	一晝夜
十月二十五日午後一時ヨリ	二、三	一四、一	三、三	五、〇
同月三十一日午前七時マテ				
十一月六日午前七時マテ	二、八	一、六	六、一	六、八

韓國ノ春ハ秋ヨリモ遙カニ寒冷ニシテ北清及南滿洲ト異リ海洋的氣候ノ性質ヲ帶フ是レ韓國近海ニ於テ冬時結氷多ク春季溶解ノ際海上ノ空氣ヲ甚シク冷却セシムルカ故ナリ

韓國ノ東部ハ其港灣モ氷結ノ度甚シカラス然ルニ西部ハ港灣凍結シ北緯三十七度以北ニ至レハ船舶ノ通行全ク杜絶ス鴨綠江豆滿江及大同江モ毎年數月間凍結シ漢江ト雖トモ尙三ヶ月間凍結シ水上車馬ノ通行ニ堪ユ

露國ノ汽船乘組醫員「アレクサンドロフスキ」氏ハ仁川ニ於テ調査シ露國及獨逸ノ年刊書籍ニ記載セラレタル氣象ニ關スル資料竝ニ千八百九十六年露國汽船ニ於テ調査シタル事項ヲ參考シ仁川ニ於ケル五六年間ノ氣候ニ關シ簡單明瞭ナル記述ヲ爲セリ其要領左ノ如シ溫度ハ攝氏寒暖計ニ依ル

一月 最寒冷ナル時候ニシテ五年間ノ平均溫度零下三、三(彼得堡ニ於テ之ニ相當スルハ三月ニシテ其平均溫度零下五、〇ナリ)
五年間ノ最高溫度 八、七(千八百八十八年)同最低溫度零下五、七(此ノ如キ寒氣ハ例外トス)

空氣中ノ水分 平均百分ノ八十

主ナル風 北風及西北風(百分ノ四十二)(風力五若クハ七ニ達セシコト三回アリ)

無風 百分ノ十三、平均風力二、二

平均氣壓 七六七、八

千八百八十九年ヲ除クノ外一月ニ雨雪夥多ナル年ナク(雪一回乃至三回雨一回乃至三回)概シテ天候晴朗ニシテ互寒甚シカラス

二月 春ノ初ニシテ寒氣著シク低減ス

五年間ノ平均溫度 零下〇七(彼得堡ニ於テ之ニ相當スルハ四月ノ初旬若クハ中旬ニシテ其平均溫度二、〇ナリ)

五年間ノ最高溫度 一三、三

同 最低溫度 零下一五、〇

空氣中ノ水分 百分ノ七九、四(平均陰曇四、四)

雪 二三回、雨一回乃至三回、霧一回乃至四回

主ナル風 西北風、西北西風、西風(百分ノ五十八)(風力五若クハ七ニ達セシコト四回)

無風 百分ノ十八(平均風力二、五)

平均氣壓 七六七、三

三月 此月ノ下旬嚴寒全ク止ム

五年間ノ平均溫度 四、八(彼得堡ニ於テ之ニ相當スルハ五月ノ上旬及中旬)

五年間ノ最高溫度 一八、八

同 最低溫度 零下六、二

空氣中ノ水分 百分ノ七十三、平均陰曇五、五

雪 零回乃至二回、雨一回乃至五回

霧 一回乃至五回

主ナル風 西北風及西風(風力五若クハ七ニ達セシコト二回、四マテノ西南風始ル)

無風 百分ノ九、平均風力二、〇

平均氣壓 七六五、五

四月 嚴寒ナシ

五年間ノ平均溫度九、五(彼得堡ニテ稍之ニ相當スルハ五月ニシテ平均溫度九、〇ナリ)

五年間ノ最高溫度 二三、一

同 最低溫度 〇、一

空氣中ノ水分 百分ノ七十一、平均陰曇五、八

雨 四回乃至十回、霧七回乃至十回

主ナル風 西風及東風(風力五若クハ六ニ達セシコト二回)北風及西南風ハ弱風

無風 百分ノ二十五、平均風力二、〇

平均氣壓 七六一、七

五月 溫暖

五年間ノ平均溫度 一五、四(彼得堡ニテ之ニ相當スルハ六月ニシテ平均溫度一五、〇ナリ)

五年間ノ最高溫度 二九、九

五年間ノ最低溫度 四、三

陰曇ノ平均 六、三

雨 三四回、霧四回乃至十一回

主ナル風 西風、西南風及南風(風力六乃至九ニ達セシコト三回)

無風 百分ノ十一、平均風力二、四

平均氣壓 七五八、八

六月 暖氣増加シ屢降雨アリ

六年間ノ平均溫度 二〇、〇

同 最高溫度 三三、八

同 最低溫度 一二、〇

空氣中ノ水分 平均百分ノ八十二、平均陰曇七、四

主ナル風 西風及西南風(風力五乃至七ニ達セシコト五回)

無風 百分ノ三十三、平均風力二、〇

氣候及植物

平均氣壓 七五三、三

七月 八月ト同シク暑熱ノ候ニシテ短時間ノ驟雨屢々至ル

五年間ノ平均溫度

二三、四

同 最高溫度

三三、八

同 最低溫度

一一、六

空氣中ノ水分 平均百分ノ八十四、平均陰曇七、二

雨 三回乃至十三回 霧雨、四回乃至十一回 霧、零回乃至九回

主ナル風 西南風及東南風(風力五乃至七ニ達セシコト五回)

無風 百分ノ二十五(平均風力二、七)

平均氣壓 七五五、四

八月 一年ノ最暑キ月ニシテ霧少ク驟雨多シ

五年間ノ平均溫度

二五、五

同 最高溫度

三五、七

同 最低溫度

一五、五

空氣中ノ水分 平均百分ノ八十一、六陰曇六、七

雨 六回乃至十二回 霧一回乃至六回

主ナル風 西南風(百分ノ四十二)東北風(百分ノ十七)(風力四乃至五ニ達セシモノ)東南弱風(百分

ノ九)

無風 百分ノ十六、平均風力二、一

平均氣壓 七五五、六

九月 十月ト同シク寒喧適度ノ候

五年間ノ平均溫度

二二、〇

同 最高溫度

(「アレキサンドロフスキー」氏ノ調査ニ見エス)

同 最低溫度

(同 前)

空氣中ノ水分 平均百分ノ七十六、陰曇五、四

雨及霧 極少

主ナル風 各方ヨリノ弱風(只一回風力四ニ達セシコトアリ)アルノミ

無風 百分ノ十六、平均風力二、四

平均氣壓 七五九、一

十月 此月ニ關スル「アレクサンドロフスキー」氏ノ記述ナシ然レトモ仁川ヨリ十露里(一露里ハ約日本ノ九町四十五間)ノ距離ニ在ル京城ノ氣候ニ關スル千八百九十一年ノ調査ハ或ル程度マテハ之ニ適用スルヲ得ヘシ仍テ姑ク充用シテ之ヲ補フ

平均溫度

一五、二

最高溫度

二六、六

氣候及植物

最低溫度

二、五

空氣中ノ水分 平均百分ノ六十一、平均陰曇三、〇

雨 一回 霧ナシ

主ナル風 東北風、西風及西北風(風力四以下ニシテ何レモ弱風)

無風 百分ノ三十三、平均風力約二

平均氣壓 七六〇、三

十一月 天氣晴朗ニシテ露降月末(太陽曆ニ改算スレハ十二月初旬トナル)ニ初期ノ嚴寒(一回乃至五回)アリ

五年間ノ平均溫度

七、九

同 最高溫度

二〇、六

同 最低溫度

一〇、三

空氣中ノ水分 平均百分ノ七十六、一、陰曇五、七

雨 二回乃至六回 雪零回乃至二回、霧一回乃至四回

主ナル風 北風、西北風南風及東南ノ風(風力六乃至八ニ達ス)

無風 百分ノ六、平均風力二、五

平均氣壓 七六七、六

十二月 嚴寒來ル

五年間ノ平均溫度

一、五

同 最高溫度

一、八

同 最低溫度

零下二三、五

空氣中ノ水分 平均百分ノ七十六、陰曇五、六

雨 六回、雪一回、霧一回乃至四回

主ナル風 西北風、東北風及北風(風力五乃至七ニ達セシコト四回)

無風 百分ノ六、平均風力二、六

平均氣壓 七六七、五

冬季(十二、一、二月)ノ平均溫度 零下〇、八

春季(三、四、五月)ノ平均溫度 九、九

夏季(六、七、八月)ノ平均溫度 二三、〇

秋季(九、十、十一月)ノ平均溫度 一四、五

五年間ノ一年平均溫度 一一、九

以上記述スル所ニ依リ仁川ノ氣候ハ適度ニシテ他ノ地ヨリモ生活ニ適スト云フヲ得ヘク一年平均溫度ハ中部佛蘭西南部瑞西、「セルビヤ」及「ボルガリヤ」ト比スヘシ又「アレクサンドロフスキ」氏ハ韓國ノ氣候ニ關スル記述ヲ結論スルコト左ノ如シ

仁川ノ冬ハ概シテ氣候溫和ニシテ攝氏零下十五度ニ下ルコト甚少ナク凜烈ナル寒風モ亦少ナク天空ハ多

ク晴朗ナリ冬季ノ主ナル風ハ北風、西北風及西北北風ニシテ三月ヨリ其方向一變シ始メ北風及西北風ヨリ西風及西南風トナリ溫度漸ク上昇シ同時ニ霧ヲ起ス霧ハ六月七月ニ多クシテ九月ニ至レハ全ク消散ス夏季ハ溫度上昇スト雖トモ尙南風、西南風及西風アリテ之ヲ調和ス而シテ天氣ノ左モ良好ナルハ九月及十月トス

韓國ノ氣候ハ概シテ良好ニシテ健康ニ適ス到ル處長壽ノ老人多キハ尤モ有力ナル證左ニシテ又久シク此地ニ住スル者ガ異口同音ニ氣候ノ美ナルヲ稱シ他國ニ望ムヘカラサルヲ説クモ此地晴朗靜穩ノ天氣續キ心ニ愉快ヲ感スルカ故ニテ嚴寒アル冬季モ住民ハ尙之ヲ以テ清涼期ト爲ス朝鮮ナル國名ハ「朝晨ノ平穩」ヲ意味スト雖トモ其氣候ノ平穩ナルハ管ニ朝晨ノミナラス常時ナリト云フヘキナリ
以上所説ニヨリ韓國ノ氣候ハ之ヲ左ノ數語ニ括約スルコトヲ得

- 一、韓國ハ山岳多ク氣候ハ地方ニヨリ大差アリ
- 二、韓國ノ氣候ハ大陸的ナルカ故ニ夏ハ通例暑ク冬ハ之ニ反シテ寒シ然レトモ一方ヨリ觀察スレハ海洋的ノ氣候ニ似タル點アリ即チ春ノ秋ヨリ寒キコト是ナリ
- 三、一年中最モ暑キハ八月ニシテ最モ寒キハ一月ナリ
- 四、韓國ノ氣候ハ同緯度ノ歐洲諸國ヨリモ寒冷ナリ
- 五、韓國南部ノ氣候ハ北部ヨリモ海洋的ナリ
- 六、韓國東海岸ノ氣候ハ西海岸ヨリモ溫和ナリ
- 七、韓國ノ西北部ニ於テハ冬季ニハ河川海港凍結シ北緯約三十七度以北ハ舟楫ノ便杜絶ス然レトモ東

方ノ海面ハ港灣ト雖トモ屢々凍結セサルコトアリ

- 八、韓國ハ定期風ノ影響ヲ受クルヲ以テ夏時ハ濕氣陰曇著シク雨量夥多ナリ
- 九、互寒甚シキ冬季ト雖トモ雪ハ只山岳特ニ西方山側ニ於テ之ヲ見ルノミ
- 十、韓國ノ氣候ハ其隣國ナル日本及北清ノ氣候ト異リテ兩者ノ中間ニ在リト云フヲ得ヘシ
- 十一、韓國ノ氣候ハ健康ニ適ス春秋特ニ愉快ニシテ體ニ適スルヲ覺フ

植物 韓國ハ植物界ニ於テハ滿洲ト同シク有名ナル「ベルカウズ」氏ノ博物圖等ニ見ユルカ如ク諸學者之ヲ以テ廣濶ナル日本支那植物界ト同屬ナリト爲セリ而シテ右博物圖ニ依レハ北緯四十度ニ起リ分水嶺ニ沿ヒタル半島中部一帯ノ地ハ日本ノ山毛櫸及松屬界ニ屬シ半島ノ東海岸地方及東南海岸地方ハ日本支那種ノ樺類椿類及杉ヲ生シ西部ハ「セルチスチャイニシス」及「セラ」茶、椿、山茶ノ屬名）ノ類ヲ生ス但シ韓國植物ノ配布ニ關スル詳細ナル區分ニ至テハ猶後日ノ研究ニ待ツヘキモノアリト雖トモ然レトモ半島北境ニ於テハ次第ニ支那滿洲植物界ニ合同シ半島ノ南部特ニ東南群島ニ於テハ日本植物ニ近似シ何レモ殆ント別ニ獨立ノ主域ヲ註シ難キニヨリ其多樣ナル植物界ノ部分ハ支那日本ノ多樣ナル植物界ノ主域ニ編入セラルヘキモノナルハ疑ヲ容レサル所ナリ

東亞ノ植物通ナル故「マキシモウイチ」學士ハ日本植物ヲ記述シタル序ニ韓國ノ植物ヲ附記シテ曰ク韓國ハ日本ト相對スル國ニシテ現ニ其大部分ハ氣候モ亦良好ナルヲ以テ植物ノ狀況モ日本ト一致スル所多カラサルヘカラスト而シテ韓國ノ開港以來調査セラレタル多少ノ資料ハ南韓及南部諸島ノ植物ニ關シテ此學者ノ言ノ正當ナルヲ完全ニ援證シ同シク是等ノ資料ニヨリ詳細研究シタル結果北韓ニ於ケル植物界ノ

南滿洲ニ酷似シタルコト及西韓ノ植物界ハ恰モ其近距離ニ在ル山東半島ノ植物界ト同系ナルカ如キ觀ヲ呈シ支那本部ノ東北部ノ植物界ト多ク一致スル所アルコトモ亦分明ナルニ至リタリ

韓國ハ遠ク大洋ニ突出シ十度ノ間ニ互ル延長ヲ有スルカ故ニ植物ノ種屬モ處々ニヨリテ差異アルヘキハ地理上當ニ然ルヘキ所ニシテ若シ之ニ加フルニ大山脈ノ縱斷スルアリテ之カタメ海洋及空氣ノ影響ニヨリ氣候ノ多様ナルコトヲ注意セハ植物ノ性質モ亦多様ニシテ隨テ植物地帯ノ形狀及特質ノ千差萬別ナルコトモ自了解セラルヘキナリ

「ダデシユカリアン」公ハ韓國植物界ヲ記述シテ曰ク韓國植物界ノ多種多様ナルコトハ實ニ驚クヘキモノニテ針葉樹ト共ニ種々ノ熱帶植物ヲ有スル天然ノ植物園ヲ現出シ杉、榆、一種ノ柳、樺、松及銀松等ハ韓國北部諸州ニ鬱茂シ南部諸州ニ於テハ桂樹、棕桐、葡萄、薔薇、橄欖、石榴、蜜柑、檸檬、茶、扁柏、櫻、桑、梅、栗、胡桃及竹ヲ産ス一言以テ之ヲ蔽ヘハ韓國植物界ハ完全ニシテ偉大ナリト然レトモ此言ハ一見誇大ニ過クルモノ、如シ如何トナレハ事實ニ於テハ韓國南部諸島ニ於テスラ棕桐及橄欖、蜜柑ノ林ヲ見ルコト能ハサレハナリ然レトモ韓國植物界ノ眞ニ多様ナルコトハ韓國ノ植物ニ關スル多少ノ資料之ヲ證ス

南韓ヲ漫遊シタル「ゴッシニ」氏曰ク此地ニハ日本種ノ矮小ナル棕桐ナシ而シテ桂樹ニ似タル常綠櫟及黃櫟「ウルシ」ノ類モ其目撃セラル、コト甚稀ナリ而シテ橄欖ハ東亞ニ於テ全ク之ヲ産セスト

今韓國ニ於ケル植物ヲ詳記スルニ先テ注意スヘキハ從來此種ノ資料極メテ缺乏セシコト及規則的ニ蒐集シタル材料ハ殆ント一モ之レナキコト是ナリ現今歐洲ノ植物室及植物園ニ於テ有スル所ハ單ニ開港場々

ル元山、釜山、仁川若クハ京城附近若クハ又西南諸島ノ産ノミニシテ韓國内部ノ植物ニ關シテハ更ニ採集研究ヲ待タサルヘカラサルナリ

以下記述スル所ハ先ツ北方ニ配置スル森林、鬱林及沼澤ニ生長スル植物ヲ始メトシ次ニ東方及南方ノ海岸地方及比較的著大ナル島嶼ニ關スル斷續的調査ヲ叙シ最後ニ西部ノ諸洲ニ至リ局ヲ結ハントス然レトモ元來材料ニ乏シキヲ以テ單ニ韓國處々ノ植物ノ特質ヲ概記シタル初步的ノモノナリト知ルヘシ

南滿洲ノ主要ナル山嶽「チャン、ボ」^長山ノ斜面ヲ蔽フ所ノ雄大錯雜ナル森林ノ廣大深鬱ナル生長ハ該山嶽ノ枝脈ニ沿ヒ南方及東方ニ延長シ韓國慶尙南北兩道平安南北兩道ニ或程度マテ隣國ナル滿洲及特ニ松花江ノ上流區域ト同一ノ山林地特質ヲ附與ス

最近北韓漫遊者ノ一人ナル「ルベンツォーフ」氏ノ斷言スル所ニ依レハ北韓ノ諸山脈及其枝脈ハ連綿タル森林ヲ以テ蔽ハレ多クハ西伯利ノ鬱林ニ似タリト而シテ「チャン、ボ」^長山ノ森林ハ滿洲ヨリ豆滿江及鴨綠江ノ分水界ニ沿ヒ兩河ノ水流ト共ニ恰モ中心ヨリ周圍ニ廣カルノ状態ヲ呈ス其狀態コソ一方鴨綠江及豆滿江ノ河口又一方松花江一帶ノ地ニ緯度十ヲ隔ツルニモ拘ハラズ其成立ニ於テ同一形狀ノ植物ヲ見ルノ所以ナリトス而シテ白頭山及前記兩河川ノ溪流附近ニ始ル所ノ半島ノ分水嶺モ亦南方ニ延長シテ元山ト同緯度ノ線マテハ滿洲種ノ植物ヲ有ス「韓國植物要略」ノ著者「バリピン」氏ノ說ニヨレハ元山及其以北ノ植物地帯ハ資料ニヨリテ判斷スレハ寧ロ主トシテ滿洲種ノ植物ヨリ成立スト

個々隆起セル高地ハ場所ニヨリテハ大木ナキ處多ク其ノ峻嶮ニシテ岩石多ク且海風ノタメ溫氣ヲ帶ヒル處ハ蘇苔躑躅ノ如キ矮樹ヲ以テ蔽ハレ是等ノ矮樹ハ通例發芽ニ先テテ薔薇莖色ノ花ヲ着ケテ地面ヲ蔽ヒ

濁青色若クハ灰色ノ地面ニ連綿タル花ノ羅罷ヲ呈出ス又是等ノ傾斜地ニ生スル矮小ニシテ且稀薄ナル草ハ主トシテ石切草、亞爾伯山種ノ雜草及櫻艸科ニ屬スル諸種トス而シテ此等ノ草ハ其發生、生長甚ク速ニシテ黑色若クハ薔薇色ノ斑紋ヲ以テ傾斜地ヲ飾ルト雖トモ其凋落モ亦甚ク迅速ニシテ夏未ク終テサル前ニ傾斜地ハ既ニ青色ヲ失シテ固有ノ濁黄色ニ還ル

高處ニ大木ナキ現象ハ露國國境ニ近キ豆滿山脈ノ北端ニ於テ特ニ著シキヲ見ル若シ穩城附近ノ如キ地方ヲ旅行セハ廣大ナル草野ノ白黄色ヲ帶フル黍畑ト參差スルモノ若クハ矮小ナル樅ノ木、葡萄及短小ナル胡桃樹ノ叢叢ヲ見、獨立セル大樹ノ森林ニ至テハ之ヲ見ルコト甚稀ナルヘシ此ノ如ク大樹森林ノ缺乏スル理由トシテ「ストレリビーツキー」氏ハ之ヲ土壤ノ特質ニ歸シ且冬時西北風強烈ニシテ雪ト共ニ働作シ墜落スル所ノ種子及苗ヲ奪ヒ去ルカ故ナリト爲セリ之ヨリ少シク南行スレハ山岳ニ喬木林ノ處々ニ存在スルヲ見、其數モ漸南スルニ從ヒテ増加シ會寧附近ニ至レハ眞ノ喬木林アリテ山ノ主脈及枝脈ヲ蔽フヲ見ル北韓山脈ノ餘リ高カラサル處ニハ針葉樹多ク其中落葉松ヲ尤モ多シトス落葉松ハ半禿山ノ山側ニモ同一抱圍ノモノ散在スルコトアリ又落葉松ト共ニ韓國種ノ強質ナル栢及日本産ノ杉モ見ユ栢及杉ハ大ナル抱圍ニ達シテ山脈ノ峙若クハ山側ヲ蔽ヒ谷ニ下ルニ從ヒテ漸ク其數ヲ減シ且落葉松ヲ混スルコト漸ク多ク終ニ倒木及矮樹ノタメ通過シ難キ程ノ稠密ナル樅林、樺、檜、胡桃、菩提樹及其他種々ノ樹木アリテ栢及杉ハ一時中絶シ更ニ谷ノ對側ニ顯シ漸ク他ノ樹木ノ範圍ヲ盛メテ盛シニ山ノ表面ヲ蔽フヲ見ル谷底ニ於ケル針葉類中其尤多キハ杉及松ナリト雖トモ松ノ尤モ多ク生長スル地ハ、高カラスト雖トモ他ノ樹木ナキ絶壁トス

韓國ノ東北部(約元山ト同緯度ノ處マテ)ノ森林ニ於ケル下生草木ハ日本産ノ酸酢草若クハ檸檬樹ノタメニ纏着セラレタル喬木及灌木ニシテ是等ノ蔓生草木ノ莖幹ハ手大ニ達シテ船綱ノ如ク高キ針葉樹ノ幹ニ纏着シ環ヲナシテ固ク樹幹ヲ壓シ又一木ヨリ他木ニ移リテ宛然橋梁ノ狀ヲナシ多ク棲息スル栗鼠、貂其他小動物ノ遷移ヲ便ニス一種ノ蘚苔ニ類スル青白ニシテ長キ多毛蔓ハ樹木ニ懸リ枝條ヨリ枝條ニ互リ灰色波狀飾ヲ成シテ幽邃ナル鬱林中時トシテ吾人ノ目前ニ顯ハル、陰鬱ナル蘚苔地ヲ恰モ額縁ニテ裝飾セシ如ク見ユ此地ニ多ク生スル「マタ、ピ」山薯及「トコロ」ノ如キ種類多キ蔓草ハ樹木ニ纏ヒテ昇リ多様ナル葉色ト相交リテ一種ノ花束觀ヲ呈シ太陽ノ光線ヲ遮蔽ス矮小ナル楓樹類、楡類凡テノ梅類及鼠李ノ稀薄ナル叢林、鋸齒狀葉ヲ有スル「カラバナクス、リシニフオウム」ノ美麗ナル樹叢及多種ナル莓類ハ北韓森林ニ生スル主ナル下生草木ナリトス

風ヲ遮ル所ノ深谷ニ於テハサナヒタニ鬱生スル下生草木ハ葡萄ニ纏ハレテ益々繁茂シ葡萄ハ其大ナル波狀形鮮綠葉ヲ以テ森林ニ蔓延シテ目ヲ遮リ其下ニハ多クノ灌木及草ノ群生スルアルカ故ニ其下生草木ノミニテモ非常ニ稠密ナル森林トナルナリ

前記植物ノ外森林中ニ生長スル植物ニ多種ナル胡枝子、「メトハギ」「キハギ」「蔞縮萩、「イヌハギ」及滿洲種下生植物若クハ幹、枝、葉等凡テ長サ二吋六二五ノ恐ルヘキ針ヲ有スル鬼樹アルコトニ注意セハ其森林ノ性質及其樹木ノ成立ノ滿洲ト同一ナルコトヲ知ルニ難カラサルナリ

北韓ニ於ケル草モ亦滿洲種ニ類似シ濕氣アル土地ハ羊齒ノ連續ヲ以テ蔽ハレ其中ニ大ナル「ヅ」ラトルム「バイケイ草、アオヤギ草、シ」ロウ草等ノ屬名)白色ノ「ウメバチ」草短矮ナル舞鶴草、喬幹ナル「トリ

カブト」類及石菖蒲等アリ又ハ肥大ニシテ水分ヲ育スル蘚苔ヲ以テ蔽ハレ其中ニハ僅カニ地上ニ有花頭ヲ顯ハシタル細草若クハ「ミヤマキケマン」アリ乾燥ナル草地ニハ双鸞菊、鏡狀花、松虫草美麗ナル百合及「エンビセンノウ」等アリ松花江及烏蘇里河岸及其他滿洲諸河川ノ流域ニ在ル荒原ノ如キ草生荒原ハ韓國ニ於テハ未ダ之ヲ見ス又韓國ノ土地ニ生スル草ニハ滿洲廣原ニ生長スル「イムベラタ」及「スポヂオロゴン」ノ如キ廣葉ノモノナシ然レトモ韓國ハ殺草ノ不足ヲ以テ非難スヘキ國ニアラス禾本科ニ屬スル「ボア」カラマゴロスチス」及「アゴロスチス」ノ如キハ屢々之ヲ目撃スルコトアリ

韓國北部ニ在ル森林ハ韓國ヲ隆起セシムル山脈及高地ノ東西ニ齊シク廣カルコトヲ得テ其山脈及高地ト共ニ東西兩海岸ニ延長スヘキハ地理上當ニ當ニ然ルヘキ所ナルカ如キモ實際ニ於テハ日本海ノ海岸ニ達スル北韓ノ山脈ハ樹木有ル處極メテ少ナシ是レ地理上ノ原因アリテ然ルニアラス昔ヨリ住民トシテ撰ハレタル海岸一帯ノ森林ハ濫伐ニ逢ヒタルカ故ニ目下ノ狀況ヲ呈スルニ至レルモノニテ韓人ハ氣候寒冷ナルタメニ常ニ薪材ヲ要シ又其家屋ハ殆ント假小屋的ノモノナルカ故ニ屢々改造ノ必要アリテ其度毎ニ建築材料ヲ要シ其材料ハ主トシテ幼齡ナル樹木ヲ採ルカ故ニ必要上森林ヲ荒廢セシムルコト多シ韓國ニ於ケル家屋ノ構造ハ甚幼稚ニシテ墻垣ヲ以テ圍繞シ其墻垣ハ精撰シタル長キ樹枝ヲ以テ造ラレタルモノ多ク且韓國ノ冬時、爐ヲ燒クヤ甚不規則ニシテ多クノ薪材ヲ濫費ス此ノ如キ生活狀況ヲ一見セハ人口稠密ナル地方ニ於テ森林採伐ノ真相ヲ解スルコト容易ナルヘシ此ノ如キ狀況ナルニヨリ未タ伐採ニ着手セサル森林ハ只北半部ノ人口稀少ナル處及中部及南部ニ於テ何等カノ理由ヨリ禁止林トナリタル處アルノミナルモ曾テ海岸マテ延長シタル豊富ナル森林アリシコトハ廣大ナル面積ニ存在スル切株ヲ以テ證スル

コトヲ得ヘシ然レトモ其切株モ今ハ之ヲ用ヒテ薪材ノ缺乏ヲ補フカ故ニ殘ル所日ニ減少シツ、アリ半島ノ東海岸ヲ北ヨリ南ニ向テ旅行スルモノハ途中樹木ナキ土地ノ連續スルヲ見ルヘシ而シテ多クノ場所ニ於テ小麥、大麥ノ畑北韓ニ於テハ之ニ加フルニ燕麥尙南部ニ於テハ水田ノ稻ノ作ラレタル地面ノ直接ニ海岸線ニ連接スルヲ見ルヘシ赤土ノ絶壁ハ處々青草ノ生スルアリテ其生草中ニハ人ノ攀登ニ堪ヘサル高處ニ一二株時アリテハ幾十株ノ樹木アリ樹木ハ其幹屈曲シテ常ニ吹ク所ノ風力ト抗爭シタル經歷ヲ示セリ只大山脈ノ海岸ニ近ク達スル所ニ於テハ其海岸ニ處々森林ノ存在スルヲ見ル而シテ此處ニ左モ多キ樹木ハ松樹ニシテ所々ニ小森林ヲ成ス然レトモ斯ノ如キ場所ハ甚々稀ニシテ其樹木ニ由リテ地名ヲ附スルモ錯雜ヲ來スコトナシト云フ河口及廣大ナル谷地ノ附近ニ在リテハ往々海砂ヨリ成ル砂丘ノ中ニ時トシテ十露里モ連續スル松樹若クハ白楊ノ林アリ「ウェーベリ」氏「バルラダ」灣附近ニテ之ヲ見タリト云フ

前記ノ如キ松林ハ海岸附近ノ住民、海砂深入シテ稻田其他ノ穀田ヲ荒スヲ防クタメ確實ナル唯一ノ方法トシテ之ヲ仕立ツルコトアリテ其伐採ハ嚴禁ニ係ルガ故ニ其林地ニ於テハ一ノ切斷株ヲ見ルコトナキモ下生植物及倒木ハ普ク除去シテ之ヲ薪材トス故ニ此森林ニ入レハ韓國ニアラスシテ歐洲ニ在ルノ感ヲ生ス

細流及河川ノ注流口ノ上方ニ於ケル低キ兩岸ニ沿ヒ時トシテ松林ノ代リニ楊柳、繡線菊、細檜、檜、濱菊、榛、接骨木「やまならし」楓樹等アリ又谷地ニ於テ是等ノ河川ノ兩岸ニ在ル岩石ノ上ニハ幹短カキ松ノ外檜、野薔薇「まゆみ」山樺、細樺ノ諸樹生ス而シテ谷底及山巔ノ樹林ハ海岸ヲ遠サカルニ從ヒ漸次

稠密トナル又海岸ヨリ比較的遠カラサル距離ニ於テ東海岸ニ平行シ青々タル樹木ニテ蔽ハル、主幹分水嶺アリ

北韓植物地帯ノ狀況ハ前ニ記載スル所ノ如ク而シテ尙南方ニ及ヒ殆ント釜山マテノ植物地帯モ亦之ト同一若クハ相近似シタルモノニテ只南スルニ從ヒ人口益々稠密トナリ森林ノ荒廢モ亦之ト比例シテ其度ヲ増加スルノ點ヲ以テ前者ト異ナレルノミニテ此地方ニ於テハ殆ンド森林ト稱スヘキモノナク之アラハ其場所ハ只寺院社宇ノ境内及皇室ノ墓地ニ過キスシテ是等ノ地ハ神聖ナルモノトシテ森林ノ伐採ヲ禁シ以前廣大ナリシ林地ノ一部分依然トシテ保存セラル、ナリ又南部ノ森林ハ勿論地理上ノ作用ヲ受クルカ故ニ荒廢シタル山側ハ暖氣ト濕氣ノ十分ナル結果トシテ速ニ所伐樹根ヨリ短矮ナル樹木ノ再生スルヲ見ル且又是等ノ山側ハ饒多ナル草叢ヲ以テ覆ハル、ヲ以テ多クノ場合ニ於テ純然タル露國荒原ノ景狀ヲ呈ス此景狀ハ少クトモ「ドイドイモフ」灣、馬山浦及釜山附近ニ於テ目撃感知セラルヘシ又半島ノ東南海岸地方ニ於ケル植物ノ狀況ハ歐人ノ屢々來往シテ親睹スル釜山ノ地誌ニヨリテ尤モ多ク知得セラル會テ釜山ノ附近ニアリシ森林ハ現今悉ク伐採セラレ只葡萄纏着セラレタル樅樹及石楠樹ノ多毛葉ノ幼林有リテ峻ナル山側ヲ蔽フ其山側會テ樅、栗及松ノ稠密連互セル森林アリシモ是等ノ樹木ハ今ハ只斷株ノ殘留スルアルノミ有刺支那「アラリヤ」ノ小灌木及個々樹立セル曲リタル松ハ是等ノ一様ニ青々タル地上ニ突起ス又之ト同時ニ釜山日本居留地ノ樹園ニハ以前伐採セラレタル韓國固有ノ植物多ク目撃セラレ日本人支那人ノ栽培ニ係ル樹木ニハ製紙原料樹、椿、石榴、短竹、「ギンコビロバ」「ビルス、シネンシス」「ビルスス、ムーメ」等アリ釜山ニ於テハ露天ニ成長スル日本植物ノ日本「ソフォラ」栗及「マグノリア」アリテ「マグ

ノリア」ノ生長スル北域ハ東部ニ於テハ尙不明ニシテ西部ニ於テハ殆ト京城マテ配布ス是ヨリ尙以南ノ海岸地方及諸島ニ到レハ柿ノ如キ軟弱ナル日本産ノ果樹ト雖トモ生長ス此菓ハ赤色拳大ニシテ中央亞細亞ノ波斯棗ニ似タル味ヲ有シ東洋ニ於テ貴重セラル又此地ニハ漆樹、椿、桂樹及「ガルデニア」ノ栽培アリテ「シトルス」屬ノ植物スラ尙成長ス此植物ハ常綠ニシテ光澤ニ富ミ皮厚キ葉ニヨリ支那ノ植物界ニ屬スル植物ト近親ナルコトヲ證ス

前記ノ如ク半島ノ東海岸地方ハ森林甚缺乏セリト雖トモ其前面ニ横ハル「ダチュレット」島ハ全ク之ト反對ニシテ森々タル鬱林ヲ以テ覆ハレ森林ノ反別四千「デシヤチナ」「デシヤチナ」ハ約我一町一反歩ヲ下ラスト稱セラレ其木材ノ貴重ナルモノハ其材質強固ナル點ニ於テ「チーク」ニ似タル「ニアキー」ト稱スル樹木及檜トス

「ルベンツォーフ」氏ハ平安道ノ南部ニ於テスラ野生ノ茶樹ヲ見タリト言ヒ且韓國ニ於テ此有利ナル植物ヲ栽培シ得ヘシト云ヘルモ然レトモ是輕々ニ斷スヘキコトニアラス「ルベンツォーフ」自身ハ其目撃シタル茶ノ種類ヲ擧ケサルノミナラス其屬名スラモ之ヲ示サスシテ單ニ茶樹ト概言セシノミ又茶ノ栽培ニ就テ研究シタル碩儒「クラスノフ」氏ハ「製茶地方」ナル著書中一言モ韓國ニ此植物ヲ培養シ得ルコトニ及ハサリキ而シテ彼ハ只茶ノ栽培ニハ暖熱ト濕氣ヲ要シ其溫度ハ深雪ノ時ニモ攝氏零下十二度ヲ下ルコトナク無雪ノ時ニハ攝氏零下四度ヲ下ルコトナク且此ノ如キ寒氣モ二三日以上繼續スヘカラスト云ヘリ然ルニ此ノ如キ條件ハ韓國ノ具備スル所ニアラサルナリ

半島ノ西半部ハ之ヲ東半部ニ比スレハ主ナル河川ノ流域ニ肥沃ノ地多ク植物ノ種類ニ富メルコト大ナリ

然レトモ全部然ルニアラス即チ西海岸ニ近キ一帯ノ地ニ於テハ山側ニ樹木ナク或ハ又干潮ノ時ニ顯ハルル許多ノ水溜アリテ其水溜ハ江華島西部ノ如キ處ニ多ク海潮滿ツルトキ遠距離マテ運ヒタル海泥干潮ノ時ニ現出スルモノニテ之ニハ無論樹木ナシ而シテ西海岸ニ近ク横ハル所ノ急斜多キ多數ノ島嶼ハ稀ニ主トシテ「ピヌス」及「クェルクス」ノ如キ喬木ヲ見ルコトアルノミニシテ是等ノ海岸及島嶼ニ於テハ海岸ヨリ隔在スル内地ニ生長スルカ如キ植物ノ狀況ヲ見ルコトナシ

内地ヲ觀察スルニハ第一ニ半島ノ東北隅及西北隅ニ於テ連綿タル森林アリテ大山脈ヨリ分派スル廣大ナル諸枝脈ヲ蔽ヒ中ニモ鴨綠江及豆滿江ノ水源流域ニ於テ特ニ然ルモノアルヲ注意スルヲ要ス

是等ノ森林ハ山脈ヲ沿ヒテ南ニ向ヒ大同江流域ニ入レハ漸ク稀薄トナリ次第ニ一群ツ、散在スル所ノ樹林トナリ南部地方ノ植物ト混シ遂ニ樹木ナキ荒原トナリ耕地ヲ見ルニ至ル

元山ヨリ平壤ニ大山脈ヲ横斷シテ旅行シタル「ウーベリ」氏ノ言ニヨレハ彼ハ大山脈ノ登リ口ヨリ既ニ森林ヲ見タルカ此森林ハ道路ヲ追フコト僅々百露里(約日本ノ二十五里)ニ過キスシテ沿道狹谷ノ峻側ハ間斷ナキ森林ニテ蔽ハルト雖トモ支那大街道ニ出レハ沿道ノ樹林ハ甚尠少ニシテ處々ニ小樹林ノ散在スルアルニ過キス而シテ平壤以南ニ至レハ既ニ廣大ナル耕地アルヲ見ルト

樹木ノ性質ニ關シテ言ヘハ西北隅ニ於ケルモノハ東北地方ニ於ケルモノト同一ニシテ滿洲種ニ類似セリ然レトモ平安道中、元山ヨリ著シク北方ノ緯度ニ位置スル部分ニ於テハ主位ヲ占ル滿洲種ノ間ニ既ニ日本種及純支那種ノ植物ヲ見ルコトアリ咸鏡道ト平安道ヲ分界スル山脈ノ西側ニ在リテハ「カムプベル」氏ノ見タル所ニヨレハ既ニ栗アリト云フ栗ハ「モリソン」氏カ遼東半島ノ南部ニ於テ目撃シタルモノニテ支

那本部及日本ニ於テハ到ル處ニ存在スレトモ烏蘇里地方ニ見エサル喬木ナリ又前記山脈ノ西側ニハ楮ヲ生ス楮ハ韓人ノ製紙原料ニシテ其紙ハ日本及支那ニ於テ産出スルモノヨリモ良好ナリト稱セラル桑ハ南滿洲ニ於テモ屢々見ル所ナルカ此地ニテハ極メテ尋常普通ノ植物ニシテ「ルベンツォーフ」氏ハ義州ニ於テ之ヲ見タリト云ヒ又平安南道、黃海道及コレヨリ以南ノ地ニ於テ多量ニ之ヲ産ス漢江ノ下流地方ニ至レハ棉畑亦相應ニ多シ

西韓ノ中央部地方ニハ傘ノ如キ形狀ヲ呈スル美麗ナル松群ヨリ成立スル樹林ニ遭遇スルコト少カラズ而シテ其林中ニハ楓、檜、杜松、諸種ノ胡桃、白色樺、日本「ソフォラ」「エウオニムス、アラツス」等モ亦少カラズ諸種ノ素馨「スピラエア」、雪白放香ノ帚形花ヲ着クル「シリンガ、オブラタ」ハ蔓生植物ニ纏ハル蔓生植物中尤モ著名ナルハ「アムペロプシス、ヴェイッチ」ノ美花及大蓼ノ小形美麗ニシテ鮮黃色ヲ帯フル花トス

西韓ニ於テハ内地ニ深ク大山脈ノ方ニ近接スルニ從ヒ草木ノ種類益々増加スレトモ現時ノ森林ハ個々獨立ノ小樹林ナルコト北韓ヲ除キ半島到ル處ニ見ル所ノ如シ最近旅行者ノ一人ナル「ビショップ」女史ノ言ニ依レハ漢江流域ノ植物ハ同河ノ上流ニ至ルニ從ヒ益々多種トナルト

西海岸ノ島嶼ハ會テ森林ニ富ミタルコトアリシモ現今ハ全然荒廢ニ歸セリ久シカラサル以前多クノ松林及一種ノ紅花樹ヲ生セシ濟州島モ亦同一ノ運命ヲ取リツ、アルカ如シ又清國學者ノ説ニヨレハ濟州島固有ノ植物トシテ「トルレア、ヌシフエラ」「シトルス、ノピリス」及柿ノ類アリト云フ

韓國ニ於ケル純粹日本種ノ植物ハ其配布ノ範圍北ニ局限セラレ南方ニ延クコトハ日本ヨリモ廣シ例令ハ山毛櫸ノ如キハ日本ニ於テハ到ル處ニ生シ尋常普通ノモノナリト雖トモ韓國ニ於テハ北緯三十五度四十

分ヲ超ユレハ既ニ之ヲ見ルコト能ハス

日本支那種ノ植物ハ半島ノ西海岸ニ於テハ東海岸ニ於ケルヨリモ深ク北方ニ廣カル是レ氣候ノ不同ニ原因スルモノニテ主トシテ植物ノ性質ニ影響ヲ及ホスヘキ夏季ノ平均溫度半島ノ東部ハ西部ヨリモ低ケレハナリ

前既ニ列記セシ所ニヨリ韓國ニ於ケル植物ノ地平線の範圍ニ關スル吾人ノ觀念ハ尙甚缺乏セリト雖トモ垂直線の範圍ニ至リテハ其證據スヘキ資料一層狹隘ニシテ其唯一ノ資料トモ稱スヘキモノハ「ゴッシー」氏及「ストレリビーツキー」氏ノ調査アルノミ即「ゴッシー」氏ハ曰ク韓國ニ於テ楓、樺、白楊、菩提樹、白色山毛櫸及樺ノ配布スル土地ノ最高極限ハ九百「メートル」ナリト然レトモ此ノ如キ單位ハ韓國ノ全部ニ適用シ得ヘキモノナリヤ未タ疑ナキ能ハサルナリ「ストレリビーツキー」氏ハ曰ヘリ白頭山嶺ニ近キ大山脈ノ山端ニ於テハ山脈ノ兩側ニ於ケル連續森林ノ配布最高極限ハ海拔約二千五百呎ヨリ始マルト

韓國森林ニ生スル樹木ハ滿洲種ト同シク長壽ヲ保タス繁葉樹ハ特ニ然リトス是森林ノ土壤即多クハ山側ニ於テ岩石多キ地盤ノ上ニアル黒土及粘土ノ地層淺薄ニシテ樹根地中ニ入ルコト深カラス且堅固ナラサルニ因ルモノ、如シ樹根ハ地ノ表面ニ伸行シテ夏季ノ東南定期風若クハ冬季ノ強烈ナル西北風ヲ支フルニ足ラス又風ノタメ多量ニ送り入レル、濕氣ハ山腹ノ地中ニ浸入シ許多ノ細流トナリテ谷ニ下リサナキタニ淺薄ナル土壤ノ層ヲ洗流シテ一層樹根ヲシテ地面ニ露白セシム又南島蘇里地方故老ノ言ニ依レハ此ノ如ク多量ナル空氣中ノ濕氣ニヨリ樹幹ハ腐朽シ空洞ヲ生スト云フ

濕氣多キ氣候及濃霧ハ菓實ノ味ニ惡影響ヲ及ホスモノニテ之ニ關シ「ジャン、ブシュキン」氏ハ謂テ曰ク韓

國ニハ菓實多ク殆ト佛國ノ菓實ヲ盡ク有セリ然レトモ其風味ニ至テハ到底佛國産ト同日ノ談ニアラス林檎、梨、梅、櫻、葡萄、桑實、甘瓜等夏季ニハ間斷ナキ雨ノタメニ不味ニシテ水分過多ナルモノトナリ葡萄ノ液汁ハ不快ノ味ヲ呈シ莓ハ甘カラス外觀美ナル櫻實ハ全ク食フニ堪ヘス桃ハ肉他シテ常ニ成熟セスト又同氏ハ左ノ言ヲ以テ韓國植物ノ特質ヲ言ヒ終レリ曰ク花卉ハ極メテ多種ニシテ暖熱ノ時季ニハ支那ノ春花百合ノ各種牡丹其他歐洲ニ知ラレサル種々ノ花卉ヲ播種ス然レトモ此中美花ヲ有スル野薔薇及歐洲種ニ類スル「すいらん」ヲ除クノ外ハ皆全ク香氣ヲ有セサルモノ若クハ香氣アリト雖モ不快ナルモノナリト

運輸交通

道路 北韓ヲ縱横ニ旅行シタル「ルベンツォーフ」氏曰ク人口ノ稠密ナルコト韓國ノ如クニシテ國民生活ノ動脈トモ稱スヘキ道路ノ不完全ナルコト韓國ノ如キハ地球上他ニ之ヲ見ルヲ得サルヘク韓國ノ道路ハ昔日モ今モ只内地住民ニ必要ナルタケノモノニシテ恐ラクハ數世紀ヲ經由スルモ尙ホ改良スル所ナカルヘシ是ノ如キ陸路ノ憫ムヘキ狀況ヲ呈スルハ内地ノ山岳縱横ニ互リ許多ノ狹谷ヲ成スカ故ニテ道路ハ通例窪地及谷地ニ由リテ開通セラレ只西海岸附近ノ如キ丘陵地ニ於テハ山脈線ニ由リテ通過シ又ハ許多ノ小坂ニ沿ヒテ竝行スル窪地及谷地ヲ斜斷シテ通スルモアリ

道路ハ打固工事ノ施スコトナク又敷石ヲ用フルコトモナク土壤ノマ、ニシテ處ニヨリテハ砂地ノ道路アリ砂地ハ河川ノ口、低谷及海岸ノ傾斜地ニ多シ高キ山嶺等ニハ石地ノ道路アリ又處ニヨリテハ粘土地及沼澤地ノ道路アリ而シテ屢々降下スル大雨ハ道路ヲ洗ヒテ石礫ヲ堆積セシメ粘土地ハ雨ノトキニハ多量

ニ水ヲ吸收シ其道路ハ通行困難ナルニ至ル而シテ相應ニ廣キ道路モ傍側ノ岩石突出ノ爲メ突然狹隘トナ
 リ若クハ全ク消失スル處續出シ通行者ハ已ムヲ得ス迂回シ又ハ馬及一頭曳ニ輪車ト共ニ崖下ニ墜落スル
 ノ危険ヲ冒シテ其道路ヲ禁登セサルヘカラサルコトアリ然レトモ此ノ如キ惘ムヘキ状態ニ在ルハ悉ク然
 リト云フニアラス京城附近ノ道路ハ時々皇帝行幸ノ際之ヲ修繕スルヲ以テ比較的良好ナリ而シテ韓國中
 最モ良好ナル道路ハ京城ヨリ清國ニ通スルモノニテ此道路ノ兩側ニハ粗路ナル人像ヲ刻ミタル石柱アリ
 テ京城ヨリノ里程ヲ標示ス石柱ニハ功勞アリシ官吏ノ姓名其他ノ表記ヲ有スルモアリ
 韓國ノ道路ハ左ノ三等ニ公定ス

- 一、大街道 幅二十呎乃至三十呎ニシテ兩傍ニ溝渠アリ
- 二、中街道 幅八呎乃至十呎ニシテ溝渠ナシ
- 三、小街道 狹隘ナル步道

右ノ内大街道ハ國中僅ニ六個ニシテ皆京城ヲ基點トシテ北ハ慶興、義州南ハ釜山康津ニ通ス然レトモ一
 等道路ニモ處ニヨリテハ其幅準則ニ適合セサル部分アリ二等道路、三等道路ハ半島南部ニ多ク北部ハ概
 シテ道路甚少ナシ

渡河 韓國ハ道路不完全ナルニ加ヘ交通上困難ヲ來スヘキ事情尙多々アリ渡河方法ノ便利安全ナルモ
 ノナキカ如キハ即チ尤モ多キ困難ナル事情ノ一ニシテ韓國ニテハ殆ト橋梁ト名ツクヘキ橋梁ナク所謂橋
 梁ノ構造ハ甚タ薄弱粗略ニシテ平均十本乃至十五本ノ竿ヲ以テ橋柱トシ其長サ總計五「サージエン」
 「サージエン」ハ七呎位ニシテ其上ニ樹枝及ヒ藁ヲ載セ更ニ土ヲ蔽ヒタル簡易ナル土橋ニ過キス稀ニハ河底

打込ミタル棒ヲ以テ橋柱ト爲スモアリ而シテ橋梁ハ只舟行ニ堪ヘサル小河川即チ尤モ必要少ナキ場所ニ
 架設セラル是等ノ橋梁ハ薄弱ナルカ故ニ殆ント只步行ニ堪フルノミニシテ車馬之ヲ通行スレハ其橋床ハ
 破壊シ其橋柱モ少量ノ重量ニアラサレハ支フル能ハス且橋梁脆弱ナルタメ雨期前ニハ之ヲ取外シ其材料
 ハ河岸ニ積置シ水量減退ノ時即河川ノ多クハ徒涉ニ困難ナラスシテ橋梁ノ必要尤少ナキ時ヲ待テ更ニ其
 材料ヲ以テ之ヲ架設ス然レトモ不意ニ來ル大雨ノタメニ橋梁ノ流失スルコトモ亦多シ
 京城及ヒ稀ニ大街道ノ如ク常設ノ橋梁ヲ有スル處モ有リ是等ノ橋梁ハ柱脚ヲ掘立テ之ニ水流ノ方向ト反
 對ニ圓材ヲ連結シテ氷切ノ用ヲナサシメ橋床モ亦圓材ヲ以テ構造シタルモノナリ咸興附近ナル成川江ニ
 架スル橋梁ハ韓國ニ於ケル最良木橋ノ一ニシテ「マレ、シヨ」橋ト呼ビ欄干ヲ有セス掘立柱脚ノ粗路ナル
 組立ナリト雖トモ其建造ハ甚薄弱ナラスシテ圓材ノ橋床ヲ有シ長サ二百四十五「サージエン」
 「サージエン」幅二「サージエン」アリ韓人其雄麗ヲ詩歌ニ敍シテ京城ニ在ル數個ノ石橋ト共ニ之ヲ驚歎誇稱ス
 舟行ニ堪フル大河ニハ橋梁ヲ架セスシテ平底船及渡船ヲ用ヒ馬匹三乃至十五頭竝ニ之ニ應スル人員ヲ收
 容ス是等ノ渡河用船ハ官設ニシテ渡錢ヲ徵スルコトナシ然レトモ是等ノ渡船ニヨリテ通行スルニモ尙危
 險ト困難ヲ免ル、コト能ハス如何トナレハ韓國ニ於テハ殆ント河ニ至ルヘキ道路ノ安全便利ナルモノア
 ルコトナク而シテ河岸ハ急斜ナルカ故ニ貨物ハ之ヲ解キテ綱索ヲ以テ渡船ノ側マテ引下シ對岸ニ至レハ
 亦此方法ニヨリテ貨物及車輪ヲ引揚クルノ必要アルコト多ク且河川ハ大概水量少ナキニヨリ是等ノ渡船
 ハ續々淺瀬ニ坐シテ停止スルコト多ケレハナリ

渡河方法ノ不確實ナルコト前記ノ如シ故ニ尤モ迅速ニ且恐ラクハ尤安全ニ之ヲ行フハ徒涉ニ如クモノナ

シ河川ノ多數ハ淺クシテ雨後減水迄久シカラサル時期ヲ除クノ外ハ徒渉スルニ何等ノ困難ヲ見ルコトナク船行ニ堪フル河川スラ春季ニハ多クノ場所ニ於テ徒渉スヘキ程水量減少ス又韓人ハ河川ノ徒渉ニ便ナル場所ニ屢々大ナル石ヲ投シ以テ渡河ヲ助クルコトアリ

宿舍 通行人多キ道路ニハ何レモ宿舍多ク沿道ノ村落ニ於テハ人家ハ殆ント皆宿舍ニシテ村落ト村落トノ間ニモ五露里乃至十露里(一露里ハ約我九町四十五間)ヲ隔テ、宿舍存在シ大街道ノ附近ニアル市街ニハ普通宿舍ノ外上等客ヲ宿泊セシムヘキ外觀比較的美麗ナル旅舎アリ然レトモ是等ノ多數ハ其設備ノ不完全ナル到底歐洲ニ比シテ想像スヘキモノニアラスシテ夜着、寢臺、蒲團等粗惡言フヘカラス若歐洲人ニシテ是等ノ物件ヲ供セラル、アランカ全室ノ器具ニ群集スル寄生蟲ノタメ必ス之ニ堪フル能ハサルシ是故ニ韓國ヲ旅行スル歐人ハ蒲團、夜着其他寢具ナルモノヲ携帶スルヲ常トス

食物ハ之ニ慣ル、コト比較的容易ニシテ大ナル宿舍及旅舎ニハ大抵適度ナル米飯、豆、卵、雞肉、酸味ヲ有スル芫布、魚類及韓人ノ常食タル蕎麥製ノ素麵アリ然レトモ途中ニ存在スル小宿舍ニ於テハ室ト煮沸ニ用ユル火ノ外何物ヲモ供セサルヲ例トス故ニ旅行者ハ常ニ食料其他日用品ヲ携帶スルノ必要アリ而シテ此ノ如キ宿舍ニ於テハ廐舎及小屋ト稱スルモノハ大抵四方開キタル覆ヲ有スルノミニテ互寒ノ時季ニハ藁ヲ以テ牛馬ノ體ヲ覆フ

貨物及旅客ノ運送韓國ニ於ケル運搬具ハ尙外ニモ之アリトスレハ其中最モ廣ク行ハル、モノハ一頭曳車輛ニシテ東海岸地方ニ於ケル宿舍ハ一戸ニ付一二輛ヲ具フ而シテ其積載量ハ十封乃至十五封(一封ハ約我カ四貫四百目)トス西海岸ニ於テ使用スル車輛ハ形體大キクシテ三十封乃至五十封ヲ積載ス又平安道ノ牡牛ハ東海岸地方ノモノヨリモ體軀大ニシテ力強ク大ナル荷物ヲ容易ニ運搬ス

前記車輛ノ通行シ難キ狹路若クハ峻嶮ナル地或ハ岩石多キ地ハ馱獸及人力ヲ以テ運送ヲ爲シ之カタメ半島ニハ擔夫及馬ノ組合備ハリ偏陬ノ地ニ貨物ヲ運送スルノ業ニ從フ而シテ馱獸トシテハ牛馬ヲ用ヒ人力ニヨルモノハ主トシテ男子之ニ從事シ甚稀ニハ女子ノ勞働者ヲ見ルコトアリ男子ノ運搬量ハ二三封(封ハ約我四貫四百目)ニシテ牛馬ニ比スレハ二倍少シ伐採シタル薪材ヲ山林ヨリ運フニハ楢ヲ用フル處アリ楢ニハ籠ヲ載セタルモノアリ楢ノ通行スル砂礫多キ處ハ自然ノ敷道ヲ成シツ、アリ

官吏ノ旅行ハ馬又ハ轎ニ於テシ轎ハ一部分ハ日本形ニ似タリ轎夫ノ員數ハ乘者ノ官位ニヨリ四人乃至十人アリ又遠行スルトキハ轎ノ前後ニ各一頭ノ馬匹ヲ備ヘテ轎ノ運搬ヲ助ケシム此方法ハ支那ニモ行ハレ韓人寒中ニ旅行スルトキハ鐵片ヲ暖メ厚キ羅紗ニ包ミテ坐下ニ置キ三露里(露里ハ約我九町四十五間)毎ニ之ヲ暖ム一般人民(近來マテハ下層人民ノミナリ)モ亦一種ノ馬具ヲ用ヒ馬夫ニ牽カセテ旅行ス

水路交通 韓人ハ貨物及乗客運送ノタメ河川ヲ利用スルコト甚少ナク又實際ニ於テ河川ノ多數ハ舟行ニ堪ヘスシテ尤大ナル河川ト雖モ夏雨ノ後即チ九月ノ初旬頃ニ至レハ水減シテ舟行困難トナリ其舟行區域ハ甚シク縮少セラル然レトモ河川ノ大部分ハ航行期ノ間ハ増水シテ平底船ノ通行ニ大ナル障害ヲ與ヘス平底船ハ板ヲ組立テ、製シタル者ニシテ形清國ノ「ジャン」ニ似タリ舳ト舳ハ圓鈍ニシテ其形全ク相同シク艙部ニ長把ヲ有スル擡ヲ備ヘ一時ニ二三人多キハ十人ノ操手之ヲ運轉ス擡ハ同時ニ舵ノ用ヲ兼ス此ノ如キ操舟法ハ韓國ノ狹キ河川ニ於テハ甚タ便利ナリ又艙部ニハ竹竿ニ莖ヲ以テ製シタル帆ヲ着ク

鐵道事業

韓國政府ハ鐵道ノ敷設ヲ企圖シタルハ最近ノ事ニシテ外國人ノ同政府ニ要求スル鐵道敷

設權ノ特許モ多ク功ヲ奏スルコトナカリシヲ以テ韓國ニ於ケル鐵道事業ハ今纔ニ其端緒ヲ開キタルノミ
 此ノ國ニ於テ初メテ鐵道問題ノ起リタルハ千八百八十二年諸方ヨリ鐵道敷設權ノ要求起リ其中ニ英國及
 日本ノ會社モ加ハリテ運動シタル時ニシテ此時ノ運動ハ凡テ其功ヲ奏セサリキ此時韓國財政顧問ニ獨人
 「メレンドロフ」アリ皇帝ニ建言スルニ國庫缺乏ノタメ鐵道敷設ヲ延期スルノ上策ナルヲ以テセリ其後千
 八百八十五年此問題更ニ再燃シタリシモ尙以前ノ如ク不成立ニ了リ千八百九十六年ニ至リ米人「モーズ」
 氏初メテ韓政府ノ許可ヲ得京仁鐵道四十露里(約我十里餘)ノ敷設及營業權ヲ受得セリ「モーズ」氏ハ直ニ
 其事業ニ着手シタリシモ間モナク氏カ資本缺乏ノタメ困難セルコト及之カタメ氏カ日本ノ資本家及企業
 家ニ交渉スル所アルノ說新聞紙ニ傳ヘラル、ニ至リタルカ此交渉ノ結果右米人ハ其權利ヲ資本金七十二
 萬五千圓(政府ノ補助金百八十萬圓ヲ除キ)ヲ有スル日本ノ會社ニ讓與シ同會社ハ銳意其事業ノ進行ヲ圖
 リ現今ハ其大部分(仁川漢江間)落成シテ既ニ開業セリ

「モーズ」氏ニ後ル、コト久シカラス即チ千八百九十六年六月佛國「フィウ、リル」會社ノ代表者タル「グリ
 ユ」氏ハ京城ヨリ平壤ヲ經テ北滿洲境界(義州附近)ニ至ル鐵道ノ敷設權ヲ得タルモ而モ其會社ハ其權利
 ヲ三年間行使セサリシタメ條約ノ款項ニヨリ千八百九十九年七月三日其權利ヲ失ヘリ最近ノ報ニヨレハ
 京義鐵道ハ外人ニ讓ラサルノ條件ヲ附シテ韓國ノ一會社ニ委セラレタルモノ、如ク而シテ此最近ノ報ト
 關聯シタル一風説日本新聞ニ見ヘタリ即チ佛人ノ失權ニ先ツコト久シカラサル時ニ於テ日本人ノ一人ハ
 右佛國會社ニ其敷設權ヲ賣與センコトヲ求メタルカ如シト
 京釜鐵道ノ敷設ハ日本人多年其特許ヲ得ンコトニ奔走シ千八百九十七年ニ至リ遂ニ志ヲ得タルモ當時經

濟事情不良ノタメ速ニ着手スルコトヲ得ス千八百九十九年日本ノ經濟景氣著シク好良ノ前兆アルニ至リ
 始メテ線路踏査ノタメ事務所ヲ韓國ニ設置シタリ而シテ布設費ノ豫算ハ一哩ニ八萬圓乃至十萬圓ヲ要シ
 總計三百哩ニ對シ三千萬圓ヲ要ス千八百九十九年夏該會社ニ東京資本家ノ加入アリ會社ノ資本二千五
 百萬ニシテ其内百分ノ十ヲ即時拂込トセリ株主ハ政府ヨリ會社支出ノ百分ノ五ヲ補助シ且會社カ外資輸
 入ノ必要ニ遭フトキハ政府ニ於テ之ヲ保證スルノ特典ヲ得ンコトヲ計リ居レリ
 最近新聞ノ報ニ依レハ韓人某日本ノ名義ヲ以テ京城ヨリ元山ヲ經露境ニ至ル鐵道布設權ヲ得タリ而シテ
 此線ノ一半(京城元山間)ニ對スル敷設權ハ千八百九十八年、千八百九十九年ニ於テ獨人「メイエル」之ヲ
 得ント勉メシモ常ニ反對ヲ受ケタリト云フ

佛國技師「グリエ」氏ノ京城木浦間鐵道布設權要求ノ運動モ亦好結果ヲ見スシテ韓政府ハ遂ニ該鐵道ハ韓
 國農商工務省ニ於テ自布設スヘキ令ヲ發スルニ至リタリ

地 質

緒論 韓國ノ地質ハ日本及滿洲ノ地質ト同シク歐洲ノ文書ニ見ユルコト日尙淺ク千八百六十八年ヨリ
 千八百七十二年ニ至ル間ニ有名ナル地質學者「リヒトホーフ」氏ハ北清及滿洲ノ地質ヲ研究シ露國ノ
 學士「シュミット」及「シュレンク」ノ兩氏ハ露領黑龍州ノ地質ヲ調査記述シ「ナウマン」及其他ノ學者等ハ
 日本地質研究ノ端緒ヲ開キタリ此ノ如クニシテ東北亞細亞ノ地質研究ヲ完成スルタメ韓國ノ地質ニ及フ
 ノ必要ヲ感シ千八百八十三年及千八百八十四年ノ二回獨逸ノ學者「ゴッシ」氏韓國ヲ漫遊シ當時ノ八道

ヲ跋涉シ主要ナル山脈ヲ踰ユ日本海及黃海ノ海岸ニ出テ其旅程六千三百八十韓里即約三千二百露里(約日本ノ八百里餘)ヲ算シタリ氏ハ此ノ視察研究ノ結果ヲ千八百八十六年ノ「シッツングスベリヒト、デル、ケニゲリッヒ、プロイシエン」雜誌ニ「韓半島ノ地質」ト題シテ記述シタリ尤モ此論文ハ明細ナラサリシト雖モ韓國ノ地質ニ關スル概念ヲ與ヘタリ又「ゴッシエ」氏ハ前記視察旅行ノ際同地ノ礦物ヲ研究シテ頗ル完全ナル材料ヲ採集シ柏林大學ノ教授「ロッス」氏之ヲ整頓シテ「ゴッシエ」氏ノ地質論ト同年ニ雜誌上ニ掲載シタリ

「ゴッシエ」氏ト殆ント同時ニ古代學ノ見地ヨリ韓國ヲ研究スルノ目的ヲ以テ同地ヲ旅行シタル「ゴーランド」氏アリ氏モ亦事ノ序ヲ以テ少シク礦物ノ標本ヲ採集シ研究上頗ル有益ナル材料ヲ與ヘタリ此標本ニヨリ「ホルランド」ト稱スル學者韓國ノ礦物ヲ研究シ千八百九十一年其意見ヲ倫敦ノ「ゼ、クォーター、ジョーナル、オブ、ゼ、ヂュオロヂカル、ソサエチー」雜誌上ニ於テ發表シタリ右「ゴッシエ」及「ゴーランド」氏ノ韓國地方ニ於テ採集シタル材料ハ兩々相助ケテ韓國ノ地表ヲ構成スル礦物ノ研究上貴重ナル資料トナレリ韓國地質ニ開シ以下記述スル所ハ前記「ゴッシエ」博士「ロッス」及「ホルランド」諸氏ノ調査ヲ基礎トシ尙歐洲ニ於ケル韓國地質ニ關スル數多ノ資料ヲ蒐メテ之ヲ補ヒタルモノナリ

概説 韓國ノ地質ハ主トシテ太古代ノ構造即品質片岩ヨリ成立シ其品質片岩ハ聯綿タル山脈ヲ構成シ山側、高地、平原及溪谷ヲ形リ大ナル延長ヲ有シテ地表ニ露出シ只處々ニ噴出岩若クハ新ナル沈積岩ノ群ヲ以テ斷絶セラル、處ヲ除クノ外ハ全半島ヲ縱貫シテ地理上七度以上ノ延長ヲ有ス但慶尙南北兩道ハ其大部分新地層ヨリ成立シテ例外ニ屬ス品質片岩層ハ頗ル高ク隆起シタル處アリテ南韓ニ在リテハ晋州

附近ニ於テ四百米突マテ間慶附近ニ於テ五百五十米突マテ北韓ニ在リテハ「ウイ、ゴク、ヒヨン」峽地ニ於テ七百四十米突マテ渭原江界間ニ於テ七百九十米突マテ長津附近「オーマリーリオン」ニ於テ千百米突マテ終リニ「ホアン、ハリーリオン」ニ於テ千二百十米突マテノ高度ヲ示セリ

備考 「ウイ、ゴク、ヒヨン」峽地ハ雲山ニ近キ「ウイ、ゴク」村附近ニ在リ
「ホアン、ハリーリオン」ハ「ホアン、ツホー、リオン」ノ別名ナルカ如シ

韓國ノ岩石ハ風化ノ度甚シキニヨリ正確ニ其構造ノ性質ヲ分類シ他國ノ種類ト同一視シ得ヘキ地方甚少ナシ然レトモ空氣及雪等ノ尙沈積岩ニ印跡セサル地方即陰竹槐山間(忠清北道)間慶(慶尙北道)ノ北方ニ在ル峽地、忠州錦山間竝ニ江界「ホアン、ハリーリオン」間ノ人跡ナキ峽地ノ如キハ他國ノ岩石ニ關スル嚴定ノ法則ヲ以テ沈積ノ順序ヲ正確ニ測知スルコトヲ得即此地方ノ岩層ハ片麻岩最下層ヲ成シテ其上ニ雲母片岩ヲ重ネ最上層ハ千枚岩之ヲ蔽フ

土地ニヨリテハ片麻岩及雲母片岩ノ相混シタル處アリテ其雲母片岩ノ中ニハ礦物の成分ヨリ見レハ片麻岩ニ屬スル密質ノ岩石ヲ含有スルモノアリ此ノ如ク片麻岩及雲母片岩ハ相密通スルカ故ニ此兩岩石ノ結合體ハ之ヲ其上層ナル千枚岩界ニ對シテ片麻質雲母片岩界ト稱スルヲ得ヘシ千枚岩界ハ主トシテ綠泥岩質石墨質及空晶質ノ片岩及千枚岩ヨリ成立ス

前記ノ品質片岩ハ皺襞甚シク其傾斜ノ角度一様ナラスシテ十五度乃至四十度ニ及ヒ只特殊ノ原因ヲ有スル咸鏡南道ノ「オー、マール、リオン」等ノ如キ土地ニ在リテハ其傾斜之ヨリモ急ナリ片麻岩質雲母片岩層ハ皆東南ヨリ西北ニ傾斜シテ層向ハ西南ヨリ東北ニ走ルト同時ニ(其所在地ハ忠清道ノ槐山、慶尙北道

ノ尙州洛東間、全州以北ニ於ケル全羅北道ノ峽地、京畿道ニ於ケル果川京城間、咸鏡南道ニ於ケル長津及「ホアン、ホア、リョン」及江原道ノ「ブンドン」等)其上層モ亦同シク規則正シキ層向ヲ有スト雖トモ既ニ西北北方向ト東南南方間及西北ト東北間ニ向ヒ傾斜ノ方向ハ東北東及東北間ニ向フ此種ノ上層ハ間慶及「ハム、ツァン」間ノ空晶岩質岩全羅北道ノ北境ニ在ル錦山以北ノ石墨質片岩黃海道ニ於ケル「バク、チー」「イ、グー、ツァン」間ニ在ル千枚岩ニ似タル覆蓋片岩、新溪附近ナル「トリ、グー、サン」滑石雲母片岩、平安北道「コーツァン」ノ南方「ソリバン、ターキー」ノ綠泥片岩等トス是レ韓國ニ於ケル地層構成ノ概則ニシテ只今日マテ例外トシテ知ラレタル黃海道遼安ノ北方十五露里ノ地ニシテ此地ニ於テハ千枚岩層ノ層向ト同一方向ニ原始代片麻岩層ノ走レルヲ見ル然レトモ此例外例ハ其地ニ特有ナル原因ノ存在スルニヨリテ發生シタル現象ニ外ナラス

太古代 前記記載セルカ如ク韓國ニ於ケル太古代ノ地層ハ之ヲ二大別スルコトヲ得即(イ)下層ノ片麻岩質雲母片岩界(ロ)上層ノ千枚岩界ニシテ其特質ハ左記ノ如シ

(イ)片麻岩質雲母片岩界 片麻岩ハ半島ニ大ナル部分ヲ占メ半島ノ中央部及南部ニ特有ナル圓形ノ小丘ヲ成シ處々散在シテ土壤ノ構成ニ豐富ナル物質ヲ供給ス

韓國ニ於ケル原始代ノ片麻岩ハ暗黑色苦土雲母(黑雲母)片麻岩ニシテ加里雲母(白雲母)片麻岩ハ存在セズ只全羅北道ノ錦山ノ南方「ハー、ター、ニョン」ニ於テ上記二種ノ雲母ヲ含ミ其量苦土雲母ニ偏スル片麻岩アルヲ見ルノミ片麻岩ノ構造ハ多クハ竝行狀ニシテ京城ニ近キ果川ニ於テ見ル如キ紋理ニ富ムモノハ甚々稀ナリ亦花崗岩ノ形狀ヲ有スルモノハ是ヨリ一層稀ニシテ此ノ如キ花崗狀片麻岩ハ氣付カサル間ニ

普通ノ竝行狀片麻岩ニ變シテ全羅南道ノ井邑ト稱スル處ヨリ南方七露里半ノ地、江原道ニ於ケル渭原ヨリ東方二十露里ニ在ル「ソン、ツァン」附近及淮陽ヨリ南方五露里ノ地ニ於テ其存在ヲ認めラル眼鏡片麻岩ハ慶尙南道ノ昆陽河東間及忠清北道ノ光州忠清南道ノ青陽間ニ在ル「ウイン、ター」附近ニ見ラル右ノ外混合岩石中尤普通ナルモノ及其所在地ハ左ノ如シ

角閃岩 河東ヨリ北方「ナー、デー、ツァン」、全羅南道ノ玉果ヨリ西南十露里ニ在ル峽地、京畿道ノ開城以北ノ地、咸鏡南道ノ「ヨン、ヂョン」

花崗岩 主トシテ平安北道ノ「ウイゴク」村附近竝ニ江海及咸鏡南道ノ長津ニ在リ長津ハ此ノ岩石ノタメ溪河紅砂ヲ以テ充タサル

石墨 平安北道ノ「ウイゴク」村ノ北方二十五露里ニ在ル「トリ、ゴリ」、渭原ヨリ東方二十露里ニアル「ソン、ツァン」、咸鏡南道ノ永興ヨリ北方八露里ニアル「フィク、トー、リョン」

磁鐵礦 全羅北道ノ泰仁ヨリ東北七露里半ニ在ル「ユー、チー」、忠清南道ノ公州ヨリ西南二十五露里ニ在ル「ノー、シヨシ」

電氣石 咸鏡南道ノ長津
「チフロイット」 黃海道ノ兎山ト江原道ノ伊川間ニ在ル江原道ノ安峽
「スカボリット」 咸鏡南道ノ安邊附近ニ在ル「ナム、サン」

韓國ノ片麻岩中ニ南滿洲ニ於ケルモノ、如ク多量ニ電氣石ヲ含ム所ノ「ベグマチット」アリ其所在地ハ京畿道ノ廣州、慶尙南道ノ河東附近及咸鏡南道ノ長津ヨリ西方「オー、マル、リョン」附近等トス

片麻岩ハ諸岩石ト共存ス其名稱所在地ハ左ノ如シ

一、雲母片岩(多クハ加里雲母片岩) 槐山間慶間、全羅南道ノ玉果、木浦ヨリ東北十五露里ノ地、「ター、フィン、サン」寺院街道ニ沿ヒタル海南ノ東方、全州ヨリ東方ニ在ル峽地、全羅北道ノ北鏡珍山附近、京畿道ノ北鏡ニ近キ「バクチャー」(博川?)ヨリ南方ノ地、平壤ヨリ北二十露里ノ地
鐵礦質雲母片岩 江原道「フン、ドン」ヨリ五露里ノ地ニ在ル「イー、シリ、ゴリ」附近

二、密質片麻岩(雲母片岩ニ密接シ雲母ノ周縁ヲ回ラシ甚シク不規則ナル區分ヲ有ス) 忠清北道ノ槐山附近、慶尙北道ノ間慶附近及江原道ノ「フン、ドン」附近

三、角閃片岩 全羅南道ノ谷城玉果間、「ヨン、アム」ヨリ南十五露里ニアル「シヨク、チェー、ウオン」附近、全羅北道ノ錦山珍山間、平安北道ノ「ウイ、ゴク」ヨリ北方十五露里ニ在ル「ツァー、リオン」

四、綠泥片岩 咸鏡南道ノ安邊、平安南道慈山ヨリ北方「ブク、カン」ノ河流ニ瀕スル順川及价川ニ近キ「ヒョル、リオン」

此片岩ハ前記箇所ニ於テ直接ニ片麻岩ノ上ニ横ハルヲ以テ茲ニ附記ス

五、滑石片岩 慶尙北道ノ咸昌尙州間茲ニ全羅南道ノ玉果附近及全羅北道ノ龍澤附近

六、石灰岩及白雲石 是等ノ岩石中ニハ黃海道ノ遂安三登間ニ於ケルカ如ク容易ニ沈澱石灰ト混和スル有刺岩若クハ密質岩モ之レアリト雖トモ其大部分ハ明カニ結晶岩タルヲ示ス

粒狀突起ヲ有スル石灰岩 京畿道廣州附近ニ在ル「ゴリ、ゴリ」ト稱スル處(雲母及角閃岩ヲ混ス)全羅南道長城附近ニ在ル「サー、リユ、ダー」ト稱スル處(花崗岩及「ヴェズグイアン」ヲ混ス)、慶尙北道ノ咸

昌附近、黃海道江原道ノ境界ニ在ル兎山附近、平安南道ノ慈山及成川、咸鏡北道咸興ヨリ南方二十露里ニ在ル「ボン、ダー」ト稱スル處

白雲石ハ「フン、ドン」及金化ニ於テハ百米突ノ厚サヲ有シテ密質片岩中ニ存在シ含銀鉛礦、閃亞鉛及黃硫銅礦ヲ有スルヲ以テ探掘セラル

七、「エクロヂット」 寧邊ヨリ北方五露里ニ在ル清川江ノ一肢流中ニ礫狀ヲ成シテ存在ス
八、著名ナル礦石ノ殆ト全部及其所在地

含金石英脈 「ウイゴク、ヒョン」

含銀鉛礦 「オー、マル、リオン」及珍山附近ノ「トー、グー、ダー」ト稱スル處

銅礦 江界ヨリ北方ニ在ル「フリー、ツァン」附近ノ「チリ、モク」及「トン、ニオン」甲山附近ノ「コー、チンドン」鐵礦 价川附近ノ「ヒョル、リオン」、淮陽附近ノ「スリピー」、フンドン附近ノ「イー、シリ、ゴリ」(以

上三箇所ニ於テ鐵礦ハ片麻岩質雲母片岩界ノ上ニ存在シ又是等ノ岩石中ニハ豊富ナル含金砂ヲ含有ス)、价川附近ノ「チュン、フィン」、珍山ヨリ南方八十五露里ニ在ル「カリ、モー、ルー」江原道金城ヨリ西北ニ十五露里ニ在ル「タン、ゴリ、ガー」

(ロ)千枚岩界 千枚岩界ニ屬スル岩石及其所在地左ノ如シ

綠泥片岩 平安北道「コー、ツァン」ヨリ南方二十露里ニ在ル「ソリ、バンターキー」、ト稱スル地ニ存在シ西北ヨリ東南方ノ層向ヲ有シ江原道安邊伊川間ニ在ル「モク、ター、リー」ト稱スル地ニ存在スルモノハ千枚岩中ニ間座ス

千枚岩 千枚岩ハ多クハ薄片ニシテ平坦ナル面ヲ有シ其所在地ハ平安南道ノ价川ヨリ東方十露里ニ在ル「イブ、シヨク」附近、咸鏡南道ノ永興ヨリ東方三十二露里ニ在ル「ジョン、ピョン」附近、江原道金城ヨリ東方二十五露里ニ在ル「キム、ジョン」附近、黄海道ノ「バー、チー」イ、グー、ウァン」間及綠泥片岩ノ項下ニ記載セラレタル「モク、ター、リー」トス

空晶石岩 間慶ノ東方五露里ノ地(此地ニ在ルモノハ薄片ヲ成シ片麻岩ノ上ニ不規則ニ層疊ス)、江原道淮陽ヨリ東方十露里ノ地京畿道抱川ヨリ東方二十露里ノ地、全羅南道海南附近ニアル「ター、フィン、サー」ト稱スル處及平安南道慈山ヨリ東北「ブクツァン」附近

石英片岩及石墨片岩 全羅忠清兩道ノ境界ナル珍山ヨリ北方十三露里ノ地ニ存在シ兩々密ニ結合シテ西北方ヨリ東南方ノ層向ヲ有シ黄海道新溪ヨリ東南方ノ地ニ於テモ同一ノ現象ヲ再復ス但シ此處ニ在ルモノハ滑石片岩ヲ混ス

礦物 千枚岩界ニ屬スル礦物トシテハ唯「トリ、グー、サン」附近ニ夥多ノ褐鐵礦脈アルノミニシテ此礦脈ハ厚サ二米突七ニ達ス

韓國ノ厚層品質片岩ノ上部ハ單ニ微々タル近世ノ沈澱岩ヲ以テ覆ハル、ノミ
清國ノ國境附近即チ平安道ノ「コー、ツァン」渭原及兎山間ニ存在スル品質片岩ハ厚サ五百米突ノ砂岩、泥灰岩及石灰岩ノ厚層ヲ以テ覆ハレ化石ニヨリテ判スレハ「カムブリア」界(「シルリア」系ノ下部)ニ屬スルモノ、如ク其年齡ニヨルモ性質ニヨルモ是等ノ岩石ノ沈澱ハ「リヒトホーフ」氏ガ「シーニア」系ト名ケシ地層ノ上部ニ相當ス然レトモ其層向ハ同氏ガ南滿洲ノ賽馬集及廠威附近ニ於テ自巒シタルモノト一

致セスト云フ

是等ノ岩石ノ擴布スル區域ハ廣大ニシテ南北約五十露里ニ互リ又其外是等ノ岩石ト同ニ成因ニヨリテ成立シタル岩石ノ小區域數多アリ新溪ノ如キハ即チ之ニ屬ス

平安北道ノ渭原ヨリ南方六十五露里間(「コー、ツァン」ヨリ南方ニ五露里渭原ヨリ東方ニモ五露里延長シテ「カムブリア」紀ノ砂岩、泥灰片岩及石灰岩ノ褶疊多キ岩層延長シ其岩層ハ處々輝綠岩ヲ以テ截斷セラレ或ハ輝綠岩質凝灰岩ヲ以テ覆ハル而シテ是等ノ岩層ノ美麗ナル露出ハ「コー、ツァン」ノ附近(厚四十米突)「バク、ツァン」ノ附近ヨリ北方十露里ニ在ル峽地(厚七百八十米突)及「コー、ツァン」ヨリ北方二十露里ニ在ル「ユー、ツァン」附近ノ河床ニ存在シ其個々ノ層ニ化石團ヲ含有ス「カムブリア」紀岩石ノ層向ハ東北ヨリ西南ニ走リ十五度乃至七十度ノ角度ヲ成シテ西北ヨリ東南ニ傾斜ス渭原及「ナム、ツァン」附近適切ニ云ヘハ寧ロ渭原ヨリ東方二十露里ノ地及「ユー、ツァン」ヨリ北方十五露里ノ地ニ於テハ之ヲ下層ヨリ順次ニ列記シテ左ノ岩層ノ露出ヲ見ル

- 一、 硅砂 細粒狀ニシテ大塊ヲ成シ厚サ百二十米突
- 二、 下層泥灰片岩 表面ニ波痕及劈裂ヲ有シ渭原附近ニ在ルモノハ〇、三米突ノ厚サヲ有スル「プテロ、ボーダ」ノ沈溜ヲ下部ニ有シ其他ノ部分ニハ化石ヲ含マス
- 三、 上層泥灰片岩 拳大ノ暗黒色石灰質「リンズ」及密質紅石灰ノ連續セラル薄層ヲ有シ泥灰岩ハ多ク二種ノ「リングレルラ」ヲ含ミ石灰岩ハ「グラベラ」及「ピチヂウム」(三節蟲化石)ヲ多量ニ含有ス厚サ二十米突

四、下層石灰岩 礦油及三節蟲化石ヲ多量ニ含有ス厚サ十米突

此岩石ハ「トリビゲ」ヲ有スル片岩ノ薄層ヲ以テ上層石灰岩ト分界セラル

五、上層石灰岩 化石ヲ含有セス多クハ密質ナリ然レトモ又魚鱗石ヨリ構成セラレタル石灰岩(「リヒト

ホーフェン」氏之ヲ「グロブリット」質石灰岩ト稱ス)若クハ無機物ヨリ成立シ紋岩ノ如ク多ク「シリンドル」ヲ有スル石灰岩(「リヒトホーフェン」氏之ヲ「ハート」形石灰岩ト稱ス)ノ獨立層アリ片岩ノ

薄層モ亦目撃セラル厚サ三百五十米突

以上一ヨリ五マテノ岩層厚合計五百二十米突

「コー、ツァン」及「コー、ツァン」ニ存在スル前記三及四ノ岩層ハ多量ニ化石ヲ含有シ其化石ノ種類ニハ「ブテロポグ」(セカ)「ブラヒオポグ」(オルシス、リングレラ)「三節蟲化石(アグノスツス、ドリビゲ、レモブレウリデス、コノセファリテス、クレビセファルス、アノモカレ)等アリテ「ダームス」及「カイゼル」氏ノ調査決定セシ所ニヨレハ南滿洲ノ賽馬集及威威ニ存在スル「カムブリヤ」紀沈澱岩中ニ於テ見ユルモノハ前記化石中ノ四種即「リングレラ、コムペーア、ナソルスチー」「アノモカレ、ブラヌム」「アノモカレ、マジュス」及「ドリビゲ、リッチソフニ」トス

三及四ノ岩層ハ「スカンヂナヅィヤ」ノ石灰岩(「アンドラムスカルク」)或ハ「ボグダム」砂岩(ボグダム、サンドストーン)ノ下層ニ粗相當シ英國副領事「カールス」氏ノ報ニ依レハ鴨綠江岸ハ「ゾホー、サン」ノ南方ニ當ル部分ハ成層石灰岩ヨリ形成セラル、範圍ノ數哩ニ互ルモノ目撃セラルト是蓋渭原ノ「カムブリヤ」紀沈澱岩西方ニ延キテ此處ニ達シタルモノナリ

黃海道ノ新溪附近ニ於テハ南方ノ谷地中ニモ遂安街道ニ沿ヒタル地ニ密質暗黒色石灰岩、細粒狀砂岩、泥灰片岩及品質片岩上ニ不整層ヲ成シテ横ハル細粒狀疊岩ノ厚積ノ岩層ヲ目撃スルコトヲ得是等ノ岩層ハ厚サ二百「メートル」ニ達シ東北ヨリ西南ノ方向ニ延長シ西北ニ急斜ス「カルラ」ノ如ク洗ヒ去ラレタル石灰岩ニハ化石ヲ有セサルカ故ニ新溪ノ石灰岩ハ「カムブリヤ」紀ニ屬スルモノナリヤ否ヤヲ決スルコト困難ニシテ遂安三登間、三登平壤間、价川附近及全州嘉山間ニ於ケル平安北道ノ沿岸安州ノ南方ニ存在スル石灰岩モ亦此類ニ屬ス

京畿道坡州ノ西北ニ露里ノ地ニハ片麻岩質ノ「セメント」質介在物ヲ有スル砂片岩ノミヨリ成立スル疊岩大塊ヲ成シテ片麻岩上ニ直接擴布シ路傍ニ高サ百二十「メートル」乃至百五十「メートル」ノ巖壁ヲ現出ス「リヒトホーフェン」氏ハ此種ノ疊岩ヲ遼東ノ「シュン、ヨーチェン」ニ於テ目撃シ之ヲ「シーニヤ」系ノ下層ナリト判定シタリ

古生代

韓國ニ於ケル古生代ノ岩石ハ著シク晩生ニ係ルモノニシテ其岩類トシテハ主トシテ有紋泥灰岩及密質礫岩ヨリ成立スル厚キ岩層アリ是等ノ岩石ハ慶尙道ニ於テ洛東江流域ニ充滿シ其性質皆同一ニシテ且ツ其層向ヲ一ニシ洛東江ヨリ「アン、ドン」及永川ニ至リ「バー、アン」ヨリ「オン、ヤン」(忠清南道)ニ至リ竝ニ韓國南岸ノ全部ニ沿ヒ皆東北ヨリ西南ニ延長ス東南二道ノ地表ヲ連接スル所ノ岩石モ慶尙道ノ慶州及ヒ釜山ノ古昔沈積岩ニテ蔽ハレタルヲ除クノ外ハ亦皆此類ニ屬シ全羅道ニ於ケル數箇ノ大ナラサル流域モ亦同時ノ成立ニ屬スルコト蓋疑ナキニ似タリ

洛東江附近ニ於テ種々ノ地層ヲ露出シタル断面ニヨリ判スレハ此處ノ地層ノ成立ハ石灰紀系ノ諸岩層カ

角閃石ニ富ミテ弱ク東南ニ傾斜スル片麻岩ノ上ニ不整合ニ重疊スルモノナリ之ヲ下層ヨリ順次ニ列擧スヘシ

- 一、細粒狀ニシテ脆性ニ富ム所ノ砂岩ヲ有スル暗黒色泥灰片岩 厚二十五メートル
- 二、岩塊及ヒ少量ノ植物化石ヲ有シ多脂ニシテ汚穢ナル粘板岩 厚十五メートル
- 三、下部ハ長砂岩ヲ以テ始リ上部ニ種々ニシテ一部分ハ密質ナル含有物ヲ有スル燧岩 厚四百五十メートルヲ下ラス
- 四、石灰ノ隆起及石灰岩ノ個々密質塊ヲ有シ「チョコレート」肉桂色ニ近キ紫色泥灰岩 厚七十メートル
- 五、層ノ下部ハ礫岩ニ類似セル砂岩ノ厚層 厚四十メートル

合計 六百メートル

前記岩層ノ厚サハ確カニ六百メートル以上ナルヘシ如何トナレハ燧岩ハ傾斜ノ弱小(東北ニ傾斜スルコト十七乃至二十度)ナルニ拘ハラスマン、ヨン、サン(洛東ヨリ東西東ニ二十哩)ニ於テ其海拔五百メートルニ達シ「キム、ヨン、サン」(義興ヨリ北方十五露里)ニ於テハ尙進シテ八百メートルニ及ビタルニ洛東ノ海拔ハ僅ニ五十メートルニシテ義興ノ海拔ハ二百二十メートルナレハナリ礫岩及其縱行斷層即チ有紋泥灰岩ハ甚シキ同一様ヲ呈シテ數哩延長スルモ礫岩ノ橫行斷層ハ之ニ反シテ只慈山附近(固城ヨリ西ニ三十八露里ノ地)及「チー、ナン」附近(全羅北道ノ全州ヨリ東北ニ三十八露里ノ地)ニ存在ヲ認ムルノミニシテ而モ植物ノ殘留分ノ保留甚ク惡シク之カ當初ノ狀態ヲ斷定スルコト到底不能ナリ

石灰質砂岩及礫岩中ノ硅化木ニ顯微鏡試驗ヲ行ヒタルニ何レモ古生代ノ出生ナル證據アルコトナシ故ニ是等ノ岩石ヲ古生代ニ屬セシメタル理由ハ第一泥灰岩上ニ横ハル砂岩(前記第五)ノ固城附近ニ於テ凝灰斑岩ニ蔽ハル、コト第二有紋泥灰岩ノ固城ヨリ東方二十露里ノ地ニ於テ輝綠岩脈ヲ以テ切斷セラル、ニ在リ若シ實際ニ於テ咸昌街道ニ沿ヒタル間慶ヨリ南方ノ地ニ於テ西北西ヨリ東南東ノ層向ヲ有シ七十度ノ角ヲ以テ東北北ニ傾斜シ以テ千枚岩界ヲ被フ所ノ暗黒色砂岩及ヒ炭質片岩カ洛東ニ於ケル礫岩ノ橫行斷層ニ相當スルモノナルトキハ是レ一層前説ノ正當ナルヲ確ムルモノナリ況ンヤ炭質片岩中ニハ「ニューロブラリス」即古世代ノ羊齒ノ形式ヲ有スル植物ノ惡シク含有セラレタルモノアルニ於テオヤ是故ニ是等ノ沈澱物ハ之ヲ通例厚層ノ礫岩ヲ含有スル「クリム」或ハ紅色地盤ニ屬スルモノト爲スコトヲ得

全羅南道長城ノ北方「ウー、ドン」附近ニ於テハ片麻岩ト凝灰斑岩トノ間ニ左ノ岩層アリ

- 一、雲母ヲ多量ニ含有スル細粒狀砂岩 厚十メートル
- 二、「ハステロポダ」オストラコーダ及植物ノ殘留物ヲ含有スル暗黒色泥灰片岩 厚三メートル
- 三、中位ノ大ヲ有スル礫岩 厚二十メートル

洛東江流域ニ於テハ前記諸岩ヨリハ晩新ノ出生ニ係ル沈澱物ノ存在スルハ疑ナキカ如ク新寧附近即永川ノ西方十八露里ノ地及ヒ鎮海附近即馬山浦ノ西十露里ノ地ニ於テハ礫岩及有紋泥灰岩ノ上ニ厚カラスシテ甚シキ燧岩ヲ有スル暗黒色ノ片岩及砂岩不整合ニ重疊シ東北方ヨリ西南方ノ層向ヲ有シ八度乃至十度ノ角度ニ於テ東南ニ傾斜ス

中世代 若シ晚新ノ地層ヲ算セサルトキハ古世代ノ地層ノ上部ハ平安南道大同江附近及咸鏡南道ノ咸興及端川附近ニ於テ發達シタル炭質層ヲ以テ終ル東岸ノ炭質層ハ露領黑龍州ノ三紀構造ト同性質ニシテ西岸ニ於テ之ヲ相當スル沈澱岩ハ古世代ノ出生ニアラサルコト瞭然タリ
平壤ノ所在地ナル丘陵ノ地質ハ一部分ハ大同江岸ニ於テ一部分ハ平壤ノ西方傾斜地ニ於テ下層ヨリ順次上層ニ算シ左ノ沈澱岩層アリ

- 一、植物ノ微々タル殘留物及四「サンチメートル」マテノ炭片層ヲ含有スル細粒狀砂岩(中ニ四「メートル」ノ厚ヲ有スル礫岩アリ)
- 二、化石ヲ含マサル淡黄色並ニ淡黑色ノ泥灰岩
- 三、化石ヲ含有セサル灰色密質泥灰片岩
- 四、細粒石ヲ有シ脆性ニ富メル砂岩

合計 百四十「メートル」

右地層ノ層向ハ西北北方ヨリ東南南方ニ走り十二度乃至二十度ノ角度ヲ以テ西南西方ニ傾斜ス
右(一)ノ地層ハ其下部並ニ礫岩中ニ明ニ硅化木ヲ認ム此硅化木ハ「ライプツヒ」ノ「フリクス」博士之ヲ「アラウカリオキシロン」及「セドロキシロン」ノ新種類ト認定シ同氏ノ言ニ依レハ「アラウカリオキシロン」ハ石炭紀ヨリ三紀ノ終リマテノ地層ニ目撃セラレ「セドロキシロン」ハ三疊紀ヨリ今日ニ至ルマテノ地層中ニ見ユト平壤ノ沈澱岩層ハ左岸ニ沿ヒ尙南方八露里ニ互リ(總延長約二十露里)其出生ハ三疊紀若クハ之ヨリモ後ニ係リ其横行斷層ハ一部分ハ品質片岩ヨリ成リ一部分(平壤三登間ハ出生ノ年紀ヲ辨セ

サル石灰岩ヨリ成ル

右地層ノ上部ハ价川ノ北方ニ於テ目撃セラレ又右地層ノ美麗ナル露出ハ清川江ノ南岸ニ沿ヒ七露里半ノ延長ヲ有シテ見ラル右岩石中ヨリ石炭ヲ搜索スルコトニ從事セシ「チュン、フィン」ノ住民ノ言ニ依レハ此岩層ハ流ニ沿ヒ上方及ヒ下方ニ頗ル長キ距離ニ延長スト

咸興ノ西北北方約二十露里ノ地「ブン、ナム、ニー」ト稱スル處ノ附近ニ於ケル二個ノ大ナラサル水造凹地ニ於テ片麻岩及「フェルジツ」斑岩ノ上ニ直接ニ横ハル炭質層ノ露出アリ其斷面ハ左ノ岩層ヲ示ス
一、個々ナル岩塊ヲ有シ脆性ニ富メル礫岩 厚二「メートル」
二、五個ノ炭質薄層(二十一、二十五、十四、十六、十九、「サンチメートル」)ヲ有スル褐色片岩的粘土 厚十六「メートル」

右岩石ノ層向ハ東北東ヨリ西南西ニ走り傾度ハ三十五度乃至四十度、傾斜ノ方向ハ西北北方
右五個ノ炭質薄層ハ母岩中ニ於テ合計五「メートル」乃至六「メートル」ノ間ニ配置セラレ炭ハ甚シキ黑色ニシテ光澤ヲ帶ヒ殆ント他物ニ浸染スルカ如ク軟ニシテ油質ニ富ミ百分ノ三十一ノ灰ヲ含ミ既ニ植物組織ヲ失シ成層著明ニシテ處ニヨリテハ「レチニット」(礦油ト植物トノ混合物)ヲ含有ス

「ブン、ナム、ニー」ノ岩層所在地ハ韓半島ノ東海岸ニ近ク且ツ其炭質ハ浦鹽斯德附近ニ於テ第三紀ノ粘土中ニ發見セラレ、モノト類似セルカ故ニ「ゴッシ」氏ハ此ノ岩層ヲ第三紀ノ發生ナリト爲ス

新生代 韓國ノ地層中新世代ノ構造ニ屬スル部分ハ甚僅少ニシテ稀ニ臺地及河邊ノ凸凹高地ニ於テ目撃セラレ又處ニヨリテハ狹帶ヲ成シテ海岸ヲ縁取ルモノアルノミ是等ノ沈積岩ハ「ホアン、ホア、リオン」

近ニ於テハ火山灰中ニ白色、淡江色及紫色ノ燧石塊ヲ含有ス此燧石ハ鑛工具トシテ用キラル
 「フェルジット」斑岩ハ又富平(仁川)ヨリ東方二十露里附近ニ於テ品質片岩中ニ存在シ慶尙道ノ伊川附近ニ
 於テハ砂礫狀ニ於テ現出シ「アー、ツァー」及慶州間「ヤン、サン」東萊及釜山附近ニ於テハ花崗岩中ニ現ハ
 レ忠清北道ノ槐山附近ニ於テハ片麻岩中ニ存在シ絶影島ニ於テハ三百五十「メートル」ノ厚サニ達シ求禮
 (全羅北道)及光州附近ニ於テハ品質片岩中ニ存在シ木浦附近「ウー、スーリオン」(全羅南道)附近、海南附
 近、靈巖(全羅南道)附近伊川(江原道)附近、「ウイ、ゴッ、ヒョン」ヨリ北方三十五露里ノ處、「コー、ツァン」ヨ
 リ南方七露里半ノ處、「クローウイブ」附近及渭原附近ニ於テハ砂礫狀ヲ成シテ現出シ長津附近及「ホアン、
 ハー、リオン」ヨリ南方五露里ノ處ニ於テハ片麻岩中ニ岩脈狀ヲ成シテ現出シ「ブン、ナム、ミー」附近即咸
 興ヨリ西北北方二十露里ノ處ニ於テハ片麻岩中ニ岩脈狀ヲ成シテ現出ス
 閃綠岩 其性質雜多ニシテ左ノ地ニ岩脈ヲ成シテ存在ス

鴨綠江畔「クロー、ウイブ」附近ノ「カムブリア」紀系岩石中、「ウイ、ゴッ、ヒョン」「ソン、ツァン」「ゴアン、ドッ
 ン、チオン」間ヨリ北方五十露里ノ處石榴片岩中、長津(咸鏡南道)附近(砂礫狀ヲ成シテ存在ス)、槐山永
 平(忠清北道)間ノ密質片岩中、「アー、ツァー」慶州間ノ「フェルジット」斑岩及斑岩的火山灰中、昌原附近即
 馬山浦(慶尙南道)ヨリ東方ノ地

角閃石斑岩 渭原ニ近キ「クロー、ウイブ」附近ニ砂礫狀ヲ成シテ存在ス
 斑糖岩 岩脈ヲ成シテ左ノ地ニ存在ス

雲山(平安北道)ヨリ北方十露里ノ地花崗岩中、長津ヨリ南方七露里半ノ地片麻岩中、「ブン、ドン」(江原

道)附近密質片麻岩中、京城楊花渡間片麻岩中、高陽(京畿道)ヨリ北方十露里ノ地片麻岩中、天安(忠
 清北道)ヨリ南方十露里ノ地品質片岩中、「アーツァー」慶州間「フェルジット」斑岩中、東萊(慶尙南道)附
 近花崗岩中

輝綠岩 慶尙南道ニ於テ花崗岩及古生代ノ岩類ト隣接シテ存在スルコト多シ其例左記ノ地ニ見ユ

蔚山附近「トン、ドー、スー」梁山間、「マー、ハー、サー」(東萊附近)附近、釜山附近、金海附近及ヒ固城附
 近

然レトモ右區域ノ外左ノ處ニ於テモ亦此岩石ノ存在ヲ認ム

慈山价川(平安道)間ノ「ブク、ツァン」附近、「ウイゴッヒョン」ヨリ北方十五露里ニ在ル載寧附近、「コーツァ
 ン」、渭原及楚山間(以上ノ處ニテハ「カムブリア」紀系沈積岩中ニ火山灰ト共ニ存在ス)、「ブクトン」(江
 原道)ヨリ西北方三露里半ノ地及槐山ヨリ西北方二十三露里ノ地品質片岩中、羅州(全羅南道)花崗岩中
 新火成岩 此岩類ノ韓國ニ存在スルモノハ南滿洲ニ於ケルカ如ク玄武岩ヲ主トシ一部分ハ「ドレリッ
 ト」之ヲ占メ大ニシテ且連綿タル蓋被ヲ形成シ急流河川其中ニ河床ヲ穿テテ溪谷ヲ形成シタリ「ベルチ
 ル」氏ノ言「サマラング、ナラチヅ」第一章第三百五十一頁)ニヨレハ新火成岩ハ濟州島ニ於テモ目撃セ
 ラルト又玄武岩ハ中央韓國ノ多クノ場所ニ於テ目撃セラレ其所在地ハ主トシテ安邊(咸鏡南道)淮陽、伊
 川(江原道)、新溪(黃海道)、臨津、積城、坡州、麻田及「ブフンチオン」(京畿道)ノ諸邑ヲ以テ界セラレタル
 區域内ニ集中シ此區域ノ外黑龍江ノ渭原ニ近キ「クロー、ウイブ」附近ニ位置スル部分ニ於ケル圓細石中竝ニ
 全羅南道木浦附近ニ於テハ建築材トシテ之ヲ使用ス

火山 韓國ニ於テハ現今一ノ活火山ナク土壤ノ動搖ニ關シテハ傳説ダモナシ若シ支那ノ史料信スヘキモノナラハ千七百年濟州島ニ於テ八日間繼續シタル頗ル強キ地震アリテ北方ヨリ廣キ圓錐形ニ見ユル現今ノ漢羅山(「アウクランド」山)ハ當時海中ヨリ直接ニ噴出セラレタルモノナリ然レトモ此地震ハ大陸ニハ及ホス所ナカリシモノ、如シ

然レトモ現今韓國ニ存在スル數多ノ溫泉ハ其溫度モ頗ル高ク地下ニ火山力ノ發作シツ、アルヲ指示ス是等ノ溫泉中著名ナルモノヲ擧クレハ左ノ如クニシテ殆ント皆治療ノタメニ利用セラル

- (一)東萊ニ近キ「クィム、サン」(攝氏七十六度ニシテ花崗岩中ヨリ湧出ス)
- (二)雲山ヨリ北方ニ在ル「ダム、ニ
- 一」(攝氏四十五度)
- (三)平安南道ノ陽德(攝氏五十一度乃至六十一度)
- (四)及(五)「ビョン、サン」州ニ於ケル「マーサン」及「ツォン、ダリー」(六)及(七)黃海道ニ於ケル信川及文化(八)釜山ニ近キ「キン、サン」(攝氏二十四度)

備考 德陽ニ關スル事項ハ「ルベンツォーフ」氏記述第九十三頁

「キンサン」溫泉ハ無臭無色ニシテ不快ナル鹹味ヲ帶ヒ「リキシグィウム」ノ反應ヲ呈シ溫度ハ攝氏二十四度ニシテ比重ハ一、〇〇八其一「リットル」中ニ含有スル成分ハ左ノ如シ

- 格魯兒那篤留謨 七、〇六「グラム」
- 格魯兒加留謨 〇、一九「グラム」
- 鹽化加爾更謨 〇、三一「グラム」
- 硫酸加爾更謨 一、一五「グラム」

炭酸鐵 〇、〇三「グラム」

無水硅酸 一、二三「グラム」

硫化亞爾密紐謨 〇、〇一「グラム」

鹽化麻侃涅更謨 痕 跡

臭素化麻侃涅更謨 痕 跡

計 九、九八「グラム」

韓國ニ於ケル主要ナル岩石 韓國ニ於ケル岩石類ノ主要ナル所在地ハ既ニ地質論中ニ記載ヲ經タルカ故ニ茲ニハ只是等ノ岩類ノ化學的成分及ヒ物理的性質ニ關シテ述フル所アルヘシ

一、塊狀岩 韓國ニ存在スル塊狀岩ハ花崗岩「グラニチット」、花崗斑岩、石英斑岩、閃綠岩、安山岩、輝綠岩、「ドレリット」、玄武岩、斑岩等トス以下逐次之ヲ記述スヘシ

花崗岩 中粒狀及細粒狀ヲ呈シ其形狀種々ナル花崗岩ノ内ニテ最モ多キヲ占ルモノハ少量ノ角閃岩ヲ含有スル黑雲母花崗岩ニシテ只慶尙北道慶州附近ニ黑雲母ヲ含有セサル角閃花崗岩存在シ全羅北道「チョンウイン」附近ノ花崗石ハ概シテ雲母ノ含量少ナク其含有量ハ黑雲母ヨリハ白雲母ニ偏ス「ウイゴク」村(平安北道)ヨリ出ツル巨粒狀黑雲母花崗岩ハ大サ一吋以上ノ紅色正長石ノ結晶體ノ多量及之ヨリ小サキ白正長石ノ結晶體少量、白色石英粒及淡褐色ノ黑雲母片ヲ含有ス

槐山(忠清北道)ノ附近ヨリ出ツル細粒褐色花崗岩ハ礦物ノ含量多ク其岩石ノ成分ハ正長石最多分ヲ占メ正長石ヲ以テ圍繞セラル、石英斜長石及大部分ハ綠泥岩ニ變化シタル黑雲母モ亦多ク含有セラレ本岩ニ

含有スル第二位ノ礦物トシテハ磁鐵礦、角閃岩及燐灰岩アリ京城ヨリ西北ノ山岳ニ於テハ巨粒ノ風化花崗岩ヨリ成立スル大巖石(高サ二千呎マテ)アリ「ゴーランド」氏ノ採集シタル本岩ノ一標本ハ二、六一三ノ比重ヲ有シ石英ノ大粒ニ顯微鏡的試驗ヲ施セハ數多ノ混合物ノ存在ヲ示ス又所ニヨリテハ石英自身モ他岩中ノ含有物タル位置ヲ取ルコトアリ播布スル正長石中ニ含有セラル、場合ニ於テ之ヲ見ルコトヲ得又時トシテ石英ノ含有物トシテ綠泥岩ヲ見ルコトアリ正長石ハ大ナル肉紅色ノ結晶體中ニ現ハレ其結晶體ハ屢々全ク陶土ニ變化シタルモノアリ又陶土ノ外小サキ無色ノ雲母巢形成セラル、コトアリ此雲母巢ハ強ク光線ヲ重屈折セシムルノ性ヲ有ス斜長石ハ京城ニ存在スル花崗岩中ニ小結晶狀ヲ成シテ現ハレ他ノ岩類中ニ含有セラル、黒雲母ノ大部分ハ「プレオクロイヰム」(E)ハ黃青色(O)ハ暗青色ヲ示ス所ノ綠泥岩ニ變化シタルヲ見ル、其他ノ礦物ニテハ磁鐵礦アリ燐灰石モ稀ニ存在ス京城ニ存在スル大粒狀花崗石ハ小粒狀ノ暗黒灰色黒雲母質花崗岩脈ヲ切斷ス大粒狀花崗岩中ニ存在スル石英ノ延長結晶體ハ處ニヨリテハ「ペグマチット」組織(文字花崗岩或ハ猶太石)ヲ形成シツ、「フェルドスパス」ヲ貫通ス又石英中ニハ屢々無色針狀ノ含有物ヲ有スルコトアリ花崗岩ノ「フェルドスパス」(正長石並ニ斜長石)ハ陶土ニ變シタルコト明カニテ黒雲母ハ何等ノ變化ヲモ受ケサルカ如ク綠泥片岩ハ其存在ノ量多カラス

京畿忠清兩道ノ境界ニ近ク「ユーゲ」陰城間ニ於テ品質片岩下ヨリ花崗岩ノ大塊ヲ出シ其大塊ハ處々ニ圓丘ヲ形成シ陰城市附近ニ於ケル其圓丘ノ一例ハ大サ中位ノ顆粒ヲ有シ比重二、六一ノ岩石タリ顯微鏡ヲ以テ之ヲ檢スレハ明ニ石英、綠泥岩ニ變シツ、アル黒雲母、著シク陶土化シタル正長石及結晶體ヲ呈ハス斜長石(結晶體ハ帶狀組織ニシテ其帶ハ中心ニテハ其本性ヲ存スルモ周圍ニ於テハ漸次酸化シツ、ア

リ)ノ存在ヲ見ル是等ノ微證ニヨリ「グスタフ、ローゼ」氏ノ說ニ從ヒ本岩ヲ「グラニチット」ニ編入ス

花崗斑岩 此岩石ハ「ゴーランド」氏ノ與ヘタル名稱ニ從ハ「コーライト」トモ稱シ原始代ノ花崗岩狀ヨリ「フェルジット」狀ニ至ル種々ノ結晶形ヲ有シ其大部分ハ品質片岩及花崗岩ノ下ヨリ出テ韓國到ル處殆ント之アラサルハナク「ゴーランド」氏ハ忠州及「ブラムベ」間ニ於テ花崗岩ノ下ヨリ出ツル此岩石ノ厚層ヲ見タリ比重ハ二、五三ニシテ此處ニ在ル斑岩狀含有物トシテハ最多量ヲ占ムルハ大ナル透明結晶體ヲ形ル石英及「カル、スバッド」雙生體正長石トス又此岩石ハ播布セル鐵質物ニヨリテ褐色ニ染メラレ黃鐵礦ノ假像ヲ呈示シテ不規則ニ散布スル褐色鐵ノ立方小片並ニ黒雲母ノ薄層ヲ含有ス間慶峽地ヨリ産スル此岩石中ニハ頗ル大ナル石英ノ結晶體ノ兩端ヨリ形成セラレタルモノアリテ其結晶體ノ面ハ頗ル酸蝕セラ

ル又此地ニハ正長石斜長石及黒雲母ノ六方晶系板多量ニ存在シ黃鐵礦及磁鐵礦ハ僅少ナリ

「ゴーランド」氏ハ忠州ヨリ西方ニ於ケル峽地ニ於テ花崗斑岩ノ比重二、五六ナルモノヲ見出シタリ又「ウ

ン、ドン」市ヨリ東南方ニ當リ花崗斑岩ハ花崗岩ノ如ク多クノ場所ニ於テ石英脈ヲ以テ切斷セラレ「バク

チー」「イー、グン、ツァン」(黃海道)間ニ於テハ枝脈狀ヲ成シテ品質片岩中ニ存在ス又花崗斑岩ノ褐色石基

中ニハ稍白キ五長石雙生體ノ大塊(大サ十六乃至二十四「ミリメートル」)黒雲母ノ薄層、硫鐵礦及少量ノ

石英、角閃岩、斜長石、輝石、燐灰岩及磁鐵礦ヲ含有ス

石英(フェルジット)斑岩 韓國ニ於テ得タル石英斑岩ノ標本ノ示ス所ノ如クハ此國ノ此岩石ハ其噴出ノ

當初ヨリ玻璃質ヲ受ケ之ニヨリテ重ネテ「ミクロ、フェリジット」組織ヲ形成シタルモノニテ其原始代ニ係

ル標本ハ忠州(忠清北道)ニ於テ見出サレ密質ニシテ淡青色或ハ淡黃色ヲ帶フル本岩ノ石基ハ不規則ニ兩

々相纏フ所ノ岩帶アリテ之ヲ斑彩シ其岩帶ハ之ヲ顯微鏡ニ照セハ流狀微晶ノ排列スルヲ見、顯微鏡的細小ノ重屈鑽粒ト共ニ錯雜ナル青色若クハ褐色ノ物質アリ此物質ハ向極光ニ對シ何等ノ作用ヲモ與ヘス斑岩狀石英ハ兩端ヨリ形成セラレタル不規則ナル顆粒及結晶體ヲ成シテ現レ肉紅色正長石ハ多量ニ存在シ斜長石ハ甚善ク配置ノ秩序ヲ保テリ其外本岩中ニハ「エビドット」存在シ黑雲母ハ綠泥岩ニ變シテ存在シ又多量ノ第二次石英現出ス第二次石英ハ「フェルドスバース」ノ配布シタル物質ニヨリテ洗滌セラレタルメ内部ハ空洞ヲ以テ充タサル以上記載シタル岩類ノ平均比重ハ二、六四ナリ木浦ノ「フェルジット」斑岩ハ其石基ハ紅褐色「ミクロ、フェルジット」ニシテ其中ニ大ナル正長石(大サ八「ミリメートル」マテ)ノ多量ヲ含有ス其正長石ハ通例普通結晶體若クハ「カル、スバッド」ニ産スル雙生體結晶ノ狀ヲ呈シ「バーデン」及「マネバフ」産ノ雙生體結晶狀ヲ成スモノハ甚少ナシ又小サキ稍白色ノ斜長石、大ナル石英ノ柱狀結晶及黑雲母薄層ハ之ヲ目撃スルコト甚稀ナリ

閃綠岩 細粒狀ニシテ大抵「アファニット」的多様ナル閃綠岩ノ良好ナル露出ハ「ユーグ」(忠清北道)ニ近キ一峽地ニ存在シ顯微鏡ヲ以テ之ヲ檢スレハ本岩ノ主成中ニ青褐色結晶體ノ觀ヲ呈スル角閃岩、黑雲母ノ薄層及斜長石質「フェルド、スバース」ヲ認メ副成トシテハ燐灰石ノ種々ナル針狀含有物ヲ有スル石英粒磁鐵礦片及時トシテハ「ジルコン」ノ結晶體アリ此外岩石中ニハ角閃岩ノ多様ナル青色小結晶體ヲ含有シ其小結晶體ハ肉眼ヲ以テ見ルベク消光角度ハ十五度ナリ又角閃岩ノ褐色大結晶岩ハ完全ナル剝離性及強度ノ複色性「 α 」(淺黃色)及「 β 」(暗褐色)ヲ有シ強烈ナル瓦斯ノ含有(「 V_2O_5 」)ハ一層消光角ヲ確定スルニ困難ナラシムト雖トモ多クノ觀察ニヨリ其平均角度ヲ五度トスルコトヲ得ヘシ「アファニット」ノ主成分ニハ斜

長石ヲ肉眼眼ヲ以テ視ルコトヲ得京城ヨリ東北ニ當ル「ソググ」ト稱スル處ニハ二、八二ノ比重ヲ有スル中位ノ粒狀閃綠岩アリ此岩石中ニ於テハ石英「フェルドスバース」黑雲母、角閃岩及「スフェン」ヲ區分スルコトヲ得顯微鏡ヲ用フレハ是等ノ岩石ノ外尙燐灰岩、「ジルコン」及磁鐵礦ノ存在ヲ視ル角閃岩ハ複色性「 α 」(淺黃色)「 β 」(草青色)「 γ 」(空青色)ヲ現ハシ消光角ハ十三度乃至十五度雙生體ハ表面ニ沿ヒ百即 ∞ ヲ通例トス黑雲母ハ屢々角閃岩ノ含分トシテ現ハレ「フェルドスバース」ノ成分ハ斜長石最モ多キヲ占メ其斜長石ハ屢々著シキ散布ヲ爲スコトアリ「スフェン」ハ「チタン」ニ對シ特有ナル反應ヲ呈スルニヨリテ其存在ヲ證セラル斜長石ノ雙生體ノ平面及石英結晶中ニ於ケル波狀消光ハ此岩石カ發生後壓迫ヲ受ケタルコトヲ示ス

槐山(忠清北道)附近ニ於テハ石英雲母閃綠岩アリテ密質片岩下ヨリ現ハレ其錯雜ナル小粒狀青灰色主成岩ハ頗大ナル白色斜長石及褐色六角形ノ黑雲母薄層ノ相結合シテ往々完全ノ柱狀體ヲ形成スルモノヲ含ミ又其主成岩ノ全部ハ斜長石、燐灰岩及磁鐵礦ヲ有スル黑雲母、褐色角閃岩、燐灰炭「チタニット」質鐵礦ヲ以テ圍マル、「チタニット」、磁鐵礦、石英(蓋第二次構造ナリ)及岩石ノ酸化ニヨリテ生シタル第二次石灰「スバース」ヲ含ミ斑岩的閃綠岩ハ渭原(平安北道)附近ニ於テ枝脈狀(「カムブリヤ」紀ニ屬スルコト疑ナキカ如シ)ヲ成シテ出現ス又此處ニハ斜長石及石英粒ノ淡紅色混合物中ニ角閃岩ノ青色柱狀體及磁鐵礦結晶體アリテ角閃岩ハ處ニヨリテハ綠泥岩及雲母ニ變シ石英ハ動搖スル球體ヲ有スル液體ニ富ム

安山岩 韓國ニ於ケル岩石中安山岩ハ頗ル研究ノ興味ヲ有スルモノニテ之ヲ檢スレハ通例二回ノ變化ヲ經タル形跡ヲ存シ其結果トシテ此岩石ハ多少最初ノ玻璃品質ヲ全失シタルモノ及「リヒトホーフェン」氏

カ「プロピリット」組織ノ名ヲ與ヘタル特殊ノ構造ニ變化スルモノアリ此岩石ハ強化化學的變化ヲ受ケ「リキシヰユーム、シリケート」及鐵質「マグネシア、シリケート」ハ綠泥岩、「エビドット」及方解石ニ變シ之ト同時ニ磁鐵礦ハ水酸化シテ普通ノ鐵質物トナル

「ゴーランド」氏ハ「ターウオン」仁同(慶尙北道)間ニ於テ黑色ニシテ玻璃狀ヲ呈スル安山斑岩ノ一片ヲ發見シタルカ此岩石ハ顯微鏡ニ照ラセハ美麗ナル流狀組織ヲ有シ此地ニ於テ斑岩含有物ノ尤モ多ク目撃セラル、モノハ稍陶土化シタル大ナル結晶狀ノ斜長石ニシテ此結晶物ハ大抵雙生體ヲ成シ「アルバイト」及「ペリクリン」ト構造ノ法則ヲ同クス此岩中ニハ最初ハ輝石ノ存在セシコト明瞭ニシテ其輝石ニ特有ナル空洞アリ第二次石英、綠泥岩及針狀燐灰岩之ヲ填充ス安山斑岩ノ比重ハ平均二、六五

安山斑岩ハ又密陽(慶尙南道)ヨリ東南八露里ノ地ニモ其存在ヲ認メラレ此地ノ産ハ比重約二、六二ニシテ顯微鏡ニ照セハ流狀組織タルヲ見ル黒褐色微晶ハ其結合甚密ニシテ其中間ニ介在スル玻璃ヲ看取スルコト能ハス此地ノ斜長石ハ硝子質結晶體ノ觀ヲ呈シテ現ハレ「チャポ」教授ノ法式ニヨリ之ニ火燄ヲ加フレハ其反應トシテ正長石ヲ現ハシ其比重ハ平均二、六五ニシテ岩中ニハ多量ノ六方結晶ノ磁鐵礦散在ス鐵質「マグネシア、シリケート」ハ之ヲ第二次岩ノ形狀ニ因リテ判スレハ初メハ輝石タリシモノニテ現今ハ磁鐵礦、「エビドット」及石英ヲ混ス

「ブー、マー、サー」ヨリ出ル岩石中ニハ角閃岩ノ復色性結晶體ト共ニ斜長石ノ大ナル結晶體ヲ含有シ其斜長石ノ大ナル結晶體ハ強度ノ増大鏡ヲ用フルモ殆ント辨シ難キ部分ヨリ成立スル纖小黒色ノ物質ヲ含有スルニヨリ甚錯雜セリ「ハッチ」博士ハ此ノ如キ細小ナル含有物ノ「マラガシト」ノ「オリヰ、ノリット」中ニ

在ル長石中ニ存在スルコトヲ説キ「ウィルアム」氏ハ同シ含有物ノ「バルチモーラ」ノ紫蘇輝石質斑岩中ニ存在スルコトヲ説ケリ本岩ノ主成分ハ無色「フェルド、スパー」微晶、褐色及青色ノ角閃石、磁鐵礦顆粒及介在玻璃質物ノ碎屑ヨリ成立シ「ロゼンブッ」ノ「ヒアロピリット」構造ヲ形成ス

輝綠岩 本岩ハ「ブンドン」(江原道)附近ニ存在シ品質片岩ヲ切斷シ斜長石、輝石、灰色硫硅石及磁鐵礦ヨリ成ル淡黒青色ノ集團タリ(輝石ハ大抵雙生體)淡青灰色細粒狀輝石ハ槐山(忠清北道)附近ノ片岩中ニ現ハレ本岩ト甚相近似スト雖トモ磁鐵礦ノ含有量少ナキヲ以テ之ト異ナリ涓原ニ存在スル極細粒狀青灰色輝石斑岩ハ其主成分中ニ頗大ナル白色斜長石、輝石及磁鐵礦ヲ含有シ其主成分自身ハ斑岩質含有物ト同一ノ礦物ヨリ成立ス釜山附近ニ存在スル輝石ハ花崗岩ヲ切斷シ其主成分ハ灰色細粒狀ニシテ斜長石、磁鐵礦及少量ノ細小ナル輝石斑狀ヲ成シテ其中ニ點布シ其斜長石ハ一部分ハ帶狀構成ニシテ輝石ハ他ノ礦物ニ圍繞セラレ立體形ヲ成ス

「ドレリット」及玄武岩 是等ノ岩類ハ韓國ニ於テ屢々目撃セラレ多クノ場合ニ於テ強度ノ變質ヲ呈シ國ノ南半部ニ於テ特ニ然リトス玄武岩ハ枝脈狀及覆蓋狀ヲ成シテ出現ス京城附近ニ於ル者ハ(玄武岩流)其一例タリ又處ニヨリテハ玄武岩ノ柱狀ヲ成シテ別在スル者アリ西海岸ノ長山ニ近キ處ヲ以テ其例トス玄武岩ノ好標本ハ清道(慶尙北道)附近ノ峽地ニ發見セラレ色ハ暗青色ニシテ其主成分ハ斑岩ノ如ク斑セラレ互ニ殆ント並行シテ排列セラレタル「フェルド、スパー」ノ結晶體ヲ有スル密質體ナリ比重ハ平均二、八一ヲ算ス此處ニ在ル「フェルド、スパー」ハ主トシテ「アルピット」式ニヨル良好ナル雙生體ヲ成シ屢々玻璃狀物ヲ含有スルモノアリ本岩ノ主成分ハ橄欖石、磁鐵礦、斜長石及輝石ヨリ成立シ橄欖石ヲ著シク紫

蘇輝石、綠泥岩、纖維狀角閃岩ノ如キ種々ナル分解物ニ變質シ磁鐵礦ハ完然ナル八方晶系ヲ形リ時トシテ「チタン」鐵礦ト混合シ細小斜長石ハ其存在量甚多大ニシテ屢々雙生體結晶狀ニ於テ現出シ之ヲ其消光角ニヨリテ判スレハ此斜長石ハ密ニ「ラブラドリット」或ハ安山岩ニ觸接ス磁鐵礦ハ蛇紋岩ノ構造ヲ有シ角閃岩ニ變質スル地方多シ「チャッド」教授ノ說ニヨレハ蛇紋岩樣構造ノ存在ハ岩石カ比較的動搖少ナクシテ冷却固結シタルヲ證示スルモノニテ主成分ノ未タ全ク緻密ナラサル前ニ現出シタル「フェルド、スバース」斑岩ノ竝行狀排列ノ理由モ是ニ由リテ解スヘキナリ間慶峽地ニ存在スル密質暗黒土岩ハ其中ニ多量ノ「カルジット」ヲ含有シ其作用ニヨリテ酸化ス比重ハ平均二、八一五ナリ「フェルド、スバース」ハ之ヲ顯微鏡ニ照セハ殆ント全ク向極性ヲ與ヘラレタル色ノ斑紋集團ヲ現ハス所ノ「セオリット」ニ變質シ輝石ノ結晶物ハ通例雙生體ヲ形リテ種類多々ナリ或ル一ノ切斷面ニ於テハ普通ノ含有物ヲ有スル石英ノ結晶ニ種類存在スルヲ認ム此ニ様ノ結晶ハ多クノ酸性「フェルジット」ノ主成分ニ彷彿タル褐色「フェルジット」質物ニ熔淨セラレ且圍繞セラル此地ニハ一見シタル所其主成分ハ曾テ石英ヲ別種ノ含有物トシテ有スル石英熔合物ノ存在セシコトアルカ如シ此「フェルジット」岩帶ハ細小ナル數種ノ結晶帶之ヲ圍繞シ其結晶物ハ各々強度ノ光線屈折、強度ノ重屈折及大ナル消光角ヲ有シ主成分ノ粒狀輝石ニ具ハル凡テノ性質ヲ復現ス本岩中ニ含有スル石英ト共ニ尙、綠泥岩及多量ノ磁鐵礦アリ主成分ハ甚シク之ヲ増大シテ觀察スレハ黃褐色ノ復色性結晶物ヲ認ム其結晶物ハ確カニ角閃岩質ナルカ如シ

安邊(咸鏡南道)附近ニ存在スル青灰色「ドレリット」ハ不規則ナル形像ヲ有スル橄欖石、稍白色ノ斜長石、紫灰色輝石及磁鐵礦ヨリ成立シ其形大ナラスシテ風化セサル橄欖石ハ磁鐵礦ヲ含ミ時トシテハ尙「ピコ

チート」ヲ加フルコトアリ輝石中ニ磁鐵礦ヲ含有スルコトモ亦少ナカラス其外斜長石ヲ含有スル「ドレリット」及小橄欖石ノ暗黒色諸岩ハ通例輝石ヲ含ムコト多カラスシテ綠褐「ミクロフェルジット」ノ主成分ヲ有ス此地ニ於テ磁鐵礦ハ只橄欖石ノ含有物トシテ存在スルノミ

「カール氏」ノ所報ニヨレバ「ピオンガン」(江原道)附近ニハ噴出岩覆蓋ヨリ出生シタル「ドレリット」ノ柱狀ニシテ獨立スルモノ及「ドレリット」質玄武岩存在スト而シテ是等ノ岩石ハ伊川、兎山、麻田及臨津村是等ノ地ハ皆臨津河附近ニ在リ)附近ニモ亦現出スルニヨリ是等ノ岩石ハ何レモ岩石學上新溪(伊川ヨリ西方)ノ岩石ト密接スル岩石覆蓋ノ一部分ナルヲ知ル伊川及兎山附近ニ存在スル圓細石ハ一部分ハ青灰「スラッグ」質「ドレリット」ヨリ成リ一部分ハ「スラッグ」質ニシテ前者ヨリハ黒色ナル「ドレリット」ヨリ成立ス是等ノ岩石中ニハ橄欖石ノ巨塊ノ多量及細少ナル斜長石ヲ有シ玻璃質介在岩ハ本岩ニ含有セラル、量甚少ナクシテ其中ニ輝石及磁鐵礦ノ存在ヲ認ム

斑糲岩 「コーツァン」(平安北道)附近ニ存在スル中位ノ粒狀斑糲岩ハ斜長石及「デアラッグ」ノ外若干ノ黑雲母ヲ含ミ清安(忠清北道)市ニ存在シ晶質片岩ヲ切斷スルト小粒狀斑糲岩ハ黑雲母ヲ含有セスト雖トモ「チタン」鐵礦ニ富ム

「アー、ツァー」及慶州(慶尙北道)間ノ一峽地ニ於テ小粒狀斑糲岩ハ「フェルジット」紋岸中ニ存在シ多量ノ「デアラッグ」斜長石、硫碲石、燐灰岩、黑雲母(黑雲母ハ綠泥岩ニ變質シタル部分アリ)及ヒ磁鐵礦ヨリ成立ス

二、層狀岩 韓國ニ於テ尤モ廣ク播布スル層狀岩ハ左ノ如シ

片麻岩、角閃片岩、雲母片岩、綠泥片岩、滑石片岩、石墨片岩、空晶片岩及「フリット」等トス
片麻岩 韓國ニ於テハ屢々黒雲母片麻岩ノ存在ヲ見ルコトアリテ其好標本ハ京城ヨリ西方ノ地ニ出テ外
觀ハ灰青色小粒狀ニシテ稍片岩ニ類似シ黒雲母、斜長石、角閃岩ヲ含ミ且少量ノ正長石、石英、磁鐵礦
及燐灰岩ヲモ含有ス其内黒雲母ノ不規則薄層及角閃岩ハ著シク綠泥岩ニ變化シタルヲ見ル

「ユーゲ」陰城(忠清北道)間及其他ノ場所ニハ雲母ノ二種ヲ有スル片麻岩モ見ユ「ゴーランド」氏ノ採集シ
タル礦石中苦土加里雲母片麻岩ハ之ヲ顯微鏡ニ照セハ原始代ニ普通ナル凡テノ岩石ヲ含有スルヲ認メ加
里雲母ハ黒雲母ヨリモ多ク且此兩岩石ハ明ニ壓迫ヲ受ケタルノ跡ヲ存シテ屈折彎曲ス黒雲母ハ著シク復
色性ヲ有シ側面ヨリ見レハ帶白淺黃色ヲ呈シ竝行ノ方向ニ之ヲ觀レハ帶黒草青色ヲ呈ス加里雲母ノ薄層
ハ時ニ黒雲母ヲ混スルコトアリ其混合ハ雲母岩層ノ彎曲スル前ニ行ハレタルコトハ明白ニシテ其雲母岩
層ノ彎曲ハ「ダイナミカル、メタモルフィズム」ノ時ニ起リ其岩石ヲシテ現狀ヲ成スニ至ラシメタルモノナ
リ加里雲母集ハ陶土化シタル「フェルド、スパーズ」中ニ他ノ原始礦物ノ再變化シタル物質ト共存スルヲ常
トシ斜長石竝ニ正長石ハ著シク陶土化セルヲ見ル石英ノ雜多ナル結晶物ハ之ヲ橫斷スル所ノ線條狀含有
物ニ富ミタリ此外結晶物ノ面ニ沿ヒテ配置セラレ不規則ニ連結スル小溝脈時トシテ存在スルコトアリ
京城果川間ニ原始時代ノ眼鏡片岩アリ其内ニ含マル、石英ハ之ヲ顯微鏡ニ照セハ把束狀ヲ呈シ更ニ之ヲ
増大シテ觀察スレハ「フェルド、スパーズ」ト密接セルヲ發見ス是等ノ礦物ノ帶ハ黒雲母帶及其内容物質ヲ
判シ難キ微晶質物ト交互ニ存在ス石英中ニハ液狀及瓦斯狀ノ含有物アリテ互ニ竝行延長ス
陽知(京畿道)ヨリ東南五露里ノ地ニ於テ得ラレタル片麻岩ノ標本ハ「ヂクロイット」質ノ青色結晶物ヲ多

量ニ含有シ是等ノ結晶物ハ之ヲ比重二、五五ノ重液中ニ入ルレハ沈下シテ底ニ至ルモ石英ノ比重(二、六
五)ヲ有スル液中ニ入ルレハ上面ニ浮フ是等ノ結晶物ノ百分中化學的成分ハ左ノ如シ

無水硅酸	四九、一二
硫化亞爾密紐謨	三二、二五
酸化鐵	五、六五
酸化滿俺	痕跡
酸化加爾更謨	痕跡
酸化麻偲涅更謨	一一、九六
熾灼失量	〇、三二
計	九九、三〇

右分析ノ結果ヲ「ヂクロイット」ノ分析ト比較スルトキハ兩々同一物ナルコト疑ナシ「ヂクロイット」モ亦
「ゴッシェ」博士カ潤原ニ近キ處ノ柘榴片岩中ニ發見シタルモノナリ又韓國ノ片麻岩中ニハ磁鐵礦、「ピ
リット」滑石、綠泥岩、電氣石及「トバース」等副分トシテ存在スルヲ見ル

角閃片岩 本岩ハ忠州(忠清北道)ヨリ東南九露里ノ地ニ於テ取ラレタル本岩ノ石英ヲ含有スル角閃岩ノ
青色纖維狀結晶體ヨリ成立シ其結晶體ハ「アクチノリット」ノ結晶體石墨片及細小磁鐵礦ノ周圍ニ配置セ
ラル

石英雲母片岩 本岩ハ「ゴーランド」氏ニヨリ忠州「ブレーム」間ノ地ニ發見セラレタルモノニシテ此地ノ

石英ハ細粒狀ヲナシ白雲母及稀ニハ復色性褐色雲母ト共ニ存在ス而シテ是等ノ主成分ニハ尙電氣石、磁鐵礦、カルジットノ扁塊或ハ明瞭ナル雙生體形ヲ有スル「カルジット」結晶物ヲ含有シ時トシテハ炭酸石灰脈アリテ此片岩ヲ截斷スルコトアリ

三、碎屑岩 「ゴーランド」氏及其他ノ韓國視察者ハ其旅行ノ途中ニ於テ碎屑岩ノ存在ヲ認メシト雖トモ採掘セラレタル標本ノ觀察スヘキモノナキタメ本岩ノ大部分ハ其地質學上ノ年紀ヲ算定スルコト能ハサルキ然レトモ本岩ハ多ク岩石學上少ナカラサル興味ヲ與フルモノナリ

忠清北道ノ「ユーゲ」ニ於テ「ゴーランド」氏ハ一峽地ニ於テ二十四度ノ角ヲ有シ東北北方ニ傾斜シタル砂岩及礫岩ノ巨塊ノ良好ナル露頭ヲ見タリ礫岩中ノ一種ノ「スクリッ」ハ之ヲ顯微鏡ニ照セハ其内ニ種々ノ岩石及個々ナル礦物ヲ含ムニヨリ斑狀「ボラライズト、モゼーイック」ヲ現出ス安山岩及柘榴岩片塊ハ此地ニ特ニ多シ液體及其他ノ物質ヲ含有スル帶ヲ有スル石英ノ大結晶體及蜥蜴狀ニシテ甚シク向極性ヲ附與スル物質ヲ含有ス肉紅色正長石ハ前記岩石中ニ點在ス安山岩ノ碎屑ノ大部分ハ各程度ニ分解セラレタル「エンスタチット」ノ結晶體ヲ現ハシ大抵磁鐵礦及磁鐵礦ノ酸化物タル「ゲマチット」及「リモニット」ヲ混ス綠泥岩、石英及加里雲母ハ再度ノ構造ヲ經テ岩石ノ罅裂及ヒ空處ニ存在ス

海平、仁同(慶尙北道)間ニ巨粒砂岩及礫岩ノ大岩脈アリテ是等ノ岩石ハ仁同附近ニ在ルモノハ十五度乃至二十度ノ角度ヲ以テ東南方ニ傾斜シ礫岩ノ「スクリッ」主成分ハ「カルジット」正長石斜長石及細粒花崗石雲母ノ小柱體及綠泥岩ヲ含有スルヲ見ル本岩ノ主成分タル個々ノ塊粒ハ晚ク本岩ニ侵入シタルノ明證アル酸化鐵ヲ以テ着色セラレ是等ノ標本 面白キ特殊ノ物質トシテハ含有物ヲ以テ錯雜シ周圍ニ結晶シ

タル石英ノ透明晶體ヲ以テ圍繞セラル、石英ノ圓塊ナリトス

國 民

人口 古昔ヨリ定メラレタル規定ニヨレハ韓國ノ地方官ハ近來マテ租稅徵收ノ目的ヲ以テ管内ノ戶籍簿ヲ製シ通例四年目毎ニ之レヲ改正シ各地方長官ヨリ度支部大臣ニ提出シタリ故ニ韓國ノ人口ニ關シテハ此ノ規定ノ繼續シタル間ハ正確ナル調査ノ存在シタルヘキ筈ナレトモ韓國研究者ノ概シテ云フ所ニヨレハ前記ノ戶籍簿ハ極メテ不正確ニシテ其ノ帳簿上ノ人口ハ多クハ實際ヨリ著ルシク少ナキヲ例トス地方官吏等甚不誠實ニシテ實際ヨリハ遙ニ少數ナル人口ヲ擧ケテ戶籍簿ヲ調査シ而シテ中央政府ハ是等ノ調査ニ基キ各地方ニ於ケル稅額ヲ決定スルカ故ニ豫メ地方官吏ニ於テ人口ヲ減少シテ報告シタル結果ハ京城ニ納ムヘキ租稅額ノ減少トナリ地方官吏ハ戶籍ニ漏シタル人民ヨリ取ル所ヲ以テ豐カニ私服ヲ肥スノ奸計ヲ弄ス是レ中央政府ニ於ケル人口調査ノ不確實ナル主因ナリトス

又地方官吏ハ人民ニ強制的ノ勞役ヲ課シ租稅ハ法定額ノ二三倍ヲ徵收シ訴訟アレハ賄賂ヲ要求シ人民ノ貯蓄財產ハ之ヲ強迫借用シテ返濟セサルカ如ク多々暴行ヲナスカ故ニ政府カ戶籍脫漏ニ對シテ加フル處分ノ甚苛酷ナルニモ拘ラス人民ハ尙其ノ戶籍簿ニ入ルコトヲ避クルノミナラス概シテ官吏ノ目ニ觸レサランコトヲ務ム是亦人口調査ノ不確實ナル原因ナリ

備考 戶籍ニ入ラサルモノハ殺害等ノ不幸ニ遇フト雖トモ其ノ加害者ハ嚴罰ニ處セラル、コトナシ政府ノ主義斯ノ如クナルカ故ニ有籍者ニシテ十六才ヨリ七十才ニ至ルマテノ年齢ニアルモノハ旅行ノ際

常ニ旅券ヲ携帶ス旅券ハ竹牌ヲ以テ製シタルモノニテ其携帶者旅行地ニ於テ死亡シタル等ノ場合ニ其ノ地ノ長官ヨリ本籍地ノ長官ニ照會スルノ方便トナルモノニテ表面ニハ住所姓名ヲ詳記シ裏面ニハ官ノ烙印アリ

徵稅臺帳タル前記ノ戶籍簿ハ政府ニ報告セラル、ノミニシテ個人ノ之ヲ知リ得ヘキ機會ハ極メテ少ナク隨テ外國新聞紙等ニ見ラル、コトモ亦甚タ稀ニシテ千七百六十三年ノ公示人口ハ千八百四十九年ニ至リ市メテ宣教師「ダウリュイ」ニヨリ千八百四十九年發行「ヌーヴル、アネー、デ、ヅ、ヤージ」第三百六頁ノ紙上ニ於テ七百三十四萬二千三百六十一人ト報告セラレ又「ダールレー」氏ハ千八百七十四年著述ノ「イストアル、ドゥ、レグリーズ、ドゥ、ウコーレ」ニ於テ韓國政府ノ調査ニ係ル千八百四十四年頃ノ戶口ナリトシテ百七十二萬戶七百五十萬人ヲ掲ゲタリ又千八百八十四年韓國ヲ漫遊シタル「ゴッシエ」氏ハ數年間ノ詳細ナル韓國官報ヲ得テ之レヲ公ニセリ但シ其端數ハ省略セラレタルカ如シ之ヲ左ニ示ス

千八百〇四年	百六十八萬戶	七百五十萬人
千八百五十二年	百六十萬四千戶	六百八十六萬人
千八百六十一年	百四十七萬七千戶	六百七十五萬人
千八百八十三年	二百三十五萬戶	千〇五十二萬人

右數字ノ中千八百八十三年分ハ之レヲ千八百八十五年二月九日發行「ジャパン、デーリー、ヘラルド」ガ同シク官報ニ取リテ其紙上ニ掲ケタルモノト大差ナキヲ見ル是レ「ゴッシエ」氏ノ報、端數ヲ略シタルコトヲ察スルニ尤モ有力ナル證據ニシテ即チ同新聞ノ所載ニヨレハ韓國ニ於ケル千八百八十三年ノ戶口ハ二百

三十五萬五千四百九十九戶、千五十一萬八千九百三十七人ニシテ其ノ人口中男子五百三十二萬二千六百三十三人、女子五百十九萬六千三百四人ナリ又千八百八十五年韓人ノ編纂ニ係リ韓國政府ノ經費ヲ以テ發行セラレタル「マレ、グク、チョン、ピョ」ハ前年即チ千八百八十四年ノ人口統計ノ拔萃ヲ基礎トシテ韓國ノ人口ヲ二千八百萬七千四百一人内男子千五百萬四千二百九十二人、女子千三百萬三千百九人ト算定セリ此ノ計算ハ之ヲ前記ノ人口ト比較シ著シキ増加ヲ見ルノミナラス男女人口ノ差モ驚クヘキ者ニテ韓國女子ハ平生閑居スルニ依リ男子ノ如キ正確ナル數ヲ得難シトハ雖トモ斯ノ如キ差異アルヲ見レハ此統計モ亦未タ全ク信シ難キカ如シ韓國研究者中ニハ前記調査ノ疑フヘキ者アルカ故ニ韓國政府ノ調査ヲ根據トシ之ニ韓清及日本ノ文書ニ見ユル資料ヲ參酌シテ自ラ一ノ統計ヲ編成シ比較的正確ナルモノトシテ之ヲ採用スルモノアリ

千八百七十四年「ダールレー」氏ハ韓國ノ官報ノ不正確ナルヲ知リ當年ノ人口ヲ千萬人ト想定セリ千八百六十年代ノ半ニ韓國ヲ訪問シタル「エルンスト、オッバート」氏モ亦韓國官報ハ官吏ノ不正ト遠島ノ監督普及セサルトニ依リ信スヘカラストノ意見ヲ有シ之レト同時ニ彼ハ韓國ニ於テ信スヘキ人々ヨリ實際ニ近シト思ハル、報告ヲ得之ヲ基礎トシテ韓半島及韓領諸島ノ人口ヲ合シテ千五六百萬人ト推定シタリ但シ氏ノ推定モ彼レノ意見ニヨレハ亦既ニ甚シク少ナキニ失スト爲セリ
獨逸ノ「ベニーム」氏ハ韓國人民ノ極メテ貧シキコト、死亡著ルシク多キコトニ關スル「ダールレー」氏ノ言ヲ參考シ韓國ノ人口ヲ僅ニ八百五十萬ト推定スルコトヲ得ト云ヘリ

備考 濟洲島ノ如キ大ナル島ノ人口調査スラ彼此相反對スルモノアリテ「オッバート」氏ノ說ヲ助ク即

「ノチエンチニ」氏ハ千八百八十五年ノ官報ニ基キテ此ノ島ノ戸數二萬千八百八十二、人口十三萬四千七百七十九(男六萬六千八百二十四人、女六萬七千九百五十四人)ヲ舉ケ同島ノ市街地ノミニテモ濟州ニ五萬百九十五人旋義ニ一萬八千九百九十六人大靜ニ一萬六千五百八十七人ヲ算シタルニ千八百九十九年ノ「ノース、チャイナ、ヘラルド」新聞(千八百九十九年四月二十四日發行)ハ濟州島ノ人口ニ關シテ云フ所、全ク前者ト異ナリテ官報上ノ數ヲ過大ナリトシ自ラ意見ヲ述テ曰ク官報ニ於テハ濟州島ノ人口十萬ト稱スト雖トモ其實ニ過キタルコトハ殆ント疑ナシ如何トナレハ此ノ島ニハ三箇ノ市街ト九十個ノ村落アリ而シテ北部ノ市街地(濟州)ニ約一萬二千戸及概數六千ノ人口アリ村落ハ二三ノ例外ヲ除クノ外皆微々タルモノニテ一村ノ平均蓋千人ヲ超エス故ニ此ノ島ノ現實ノ人口ハ五六萬人ヲ出テサヲ確信ス又女子ノ男子ニ比シテ著シク多數ナルハ此島ノ特色ニシテ是レハ男子ハ多ク勞働ヲ求メテ移住スル故ナリト

「ゴッシェ」氏ハ其得タル所ノ韓國官報ニ千八百六十一年ノ人口ハ武器ヲ執ルニ堪ユルモノ百六十萬八千トアルヲ見タルモ之ヲ人口總計六百二十五萬ニ比例スレハ其ノ割合ハ疑モナク多キニ失スト爲シ又「ゴッシェ」氏ハ人口ノ地方別統計ヲ得タルカ其統計ハ成年以下ノ男女ヲ省キタルモノナレハ氏ハ之ヲ以テ實在數ヨリ甚シク少ナキモノト見做シ千八百八十四年ノ人口ハ千二百萬人ヲ下ラスト云ヘリ

「ウァフネル」及「ズーバン」ノ兩氏ハ「ゴッシェ」氏ノ千二百萬說ヲ最大限度トシ千八百八十三年ノ戶籍簿ニ見ユル千五百萬ノ數ヲ正當ニシテ信スヘキモノナリトシ之レヲ千八百八十三年「ジャパン、デーリー、メー」ノ公ニシタル韓國地方別人口表ノ割合ニ按分シテ更ニ地方別人口表ヲ製シタリ即チ次ノ如シ

道	面積「キローメートル」		人	
	「トログニッツ」調査	「ストレクビッキ」調査	「ジャパン、デーリー、メー」調査	「ウァフネル」及「ズーバン」調査
京畿道	一一、八五〇	一一、三六一	八三六、六〇九	一、二〇八、〇〇〇
忠清道	一七、六〇〇	一七、九二四	八六四、八八七	一、二四八、〇〇〇
全羅道	二三、二〇〇	二三、七六五	一、一五八、八六〇	一、六七三、〇〇〇
慶尙道	二七、四〇〇	二八、〇〇七	一、五八八、六二四	二、二九三、〇〇〇
黄海道	一七、六〇〇	一七、〇九〇	五六四、七三四	八一五、〇〇〇
平安道	四二、五五〇	四三、〇〇五	一、二八八、五〇〇	二、八六〇、〇〇〇
江原道	二二、七〇〇	二二、六六四	三二五、八〇四	四七〇、〇〇〇
咸鏡道	五五、四五〇	五八、七〇七	六六六、三四九	九五二、〇〇〇
總計	二一八、三五〇	二二三、五二三	七、二九四、三六七	一〇、五一九、〇〇〇

「グリッフィン」氏ハ千八百八十二年ニ出版シタル自著「コレア、ゼ、ハーミット、ネーション」(隱道ノ國民)ニ於テ韓國人口ヲ千二百萬ト算定シタリ然レトモ彼ハ之レト同時ニ千八百八十一年ニ於テ韓國ノ戸數三百四十八萬九百一十一、人口千六百二十二萬七千八百八十五ト算シタル日本統計學者ノ說ヲモ願慮シタリ

「ツエーベリ」氏及韓國通ノ一人ナル「アーレン」氏モ亦千六百萬說ヲ立テ「ビショップ」氏ハ千八百九十七年ニ於テ韓國人口ヲ千二百萬ト算セリ

以上記述スル所ノ韓國戶口ニ關スル統計ハ勿論單ニ多少ノ概數的參考ヲ吾人ニ與フルノミニテ其實數ニ

至リテハ韓國カ久シク世ニ知ラレサリシ結果、依然トシテ不明ニ屬セリ然ルニ千八百九十七年ノ調査ハ韓國政府特別處置ニ出テ以前各地方長官ニ於テ徵稅ノ目的ヲ以テ調査シタルモノニ拘泥スルコトナク其方法モ亦歐洲諸國ニ行ハル、者ヲ適用シタルカ故ニ最モ信スヘキ者トシテハ之ヲ採用セサルヘカラス而シテ此ノ調査ニ依リ「インデペンデント」新聞(千八百九十七年發行)ノ記載スル所ハ左ノ表ノ如シ

	男	女	合計	戸數	一戸ノ人口
京城	一五、四七七	一〇四、三六八	二一九、八四五	四五、三五〇	四
京畿道	三五、八六三	二九一、三六七	六四七、二三〇	一七、三三〇	三
忠清北道	一四七、三三〇	一三三、三三三	二七〇、六六三	七、三三三	三
忠清南道	二五、〇六八	一七一、八六九	三六六、九三七	一四、七九三	三
全羅北道	一八九、七八〇	一五〇、三三二	三四〇、一一二	九七、八一五	三
全羅南道	一九九、七七一	一六六、二九九	三六六、〇九〇	一〇四、九一八	三
慶尙北道	三〇六、八五四	二四二、九九九	五四九、八四三	一四九、九五二	三
慶尙南道	二六一、四九九	一九九、五三三	四六一、〇三二	一三六、九七二	三
黃海道	一八四、四五六	一五一、〇五九	三三五、五五五	九三、五五〇	三
平安南道	一九八、三三二	一六八、九二〇	三六七、二五二	九六、四〇六	三
平安北道	一九八、九九七	一五八、二〇五	三五七、二〇二	八六、八八八	三
江原道	一四三、二〇三	一一一、八九七	二五四、一〇〇	七五、八五三	三
咸鏡南道	二〇八、〇六八	一七三、三六四	三八五、四三二	五九、〇七四	三

咸鏡北道	一四八、九〇〇	二〇一、八九七	三五〇、七九七	四一、一八七	六
總計	二、八六九、七六七	二、三三八、四八一	五、二〇八、二四八	一、三三三、五〇一	三

備考 「インデペンデント」新聞ハ右表ノ外州郡別人口ヲ精密ニ記載シ始メタルコトアリシモ其後何等カノ都合ニ依リ之ヲ中止シタルガ故ニ其公表セラレシ州郡(缺ケタルモノアリ)ハ京畿道、咸鏡道、平安南道、忠清南道、慶尙南道及全羅北道ニ止マル是等ノ數字ハ本書ノ附録ニ記載シアリ

右ニ記載スル所ノ表ハ是迄ノ調査中最モ信スヘキ者ナリト云フト雖トモ然レトモ其正確ニシテ且精密ナルモノト認メ難キモノ多ク實際ニ於テ此ノ表ノ示ス總數五百十九萬八千二百四十八人ハ「ダヴリュイ」宣教師カ千七百六十三年ノ現在數トシテ指示シタル數ニ比スルモ尙少ナシ千七百六十三年ハ殆ント百五十年以前ニシテ且其時ノ實在數ハ「ダヴリュイ」ノ統計ヨリハ多カリシト云フ前表ノ不精確ナル先ツ之ヲ以テ證トスヘキナリ勿論或ル論客等ハ韓國ニ於テハ現世紀ノ間、實際上人口ノ増殖ナシト云フ說ニ賛成スルモノモアリ人口ノ増殖セサル原因トシテ第一着ニ擧クヘキモノハ韓國民多數ノ極貧ナルニアリ「グリフィス」氏曰ク韓國人ハ「マルチユス」ノ原則ヲ知ラスシテ而カモ漫性的ノ乞食生活ヲ存續シテ人口制限ノ爲メ劇烈ナル方法ヲ求メタルモノナリト韓國ニ於テハ醫藥不完全ナル爲メ必然ノ理トシテ種々ノ疾病蔓延シ多數ノ死亡ヲ生シ人口ノ増殖ヲ妨クルモノノ如シ宣教師等ノ目撃セシ所ニヨレハ十年間ニ於ケル基督教徒ノ總數ハ千二百人ノ新參信者加ハリタリト雖トモ殆ント異動ナカリシト云フ又韓國ニハ胎前ノ風習頗ル弘ク行ハレ且四才以下ニシテ母ヲ失ヒタル兒童ハ育兒法ニ拙キ爲メ成育セサルヲ常トス是等ノ

事情ハ皆人口ヲ制限スルノ原因ナリトス

前述ノ事情ハ韓國人口ノ速カナル増殖ノタメニ不利益ナルハ疑ナシ然レトモ又一方ニハ其増加ノ速度ハ頗ル遅々タルヘシトハ雖トモ増加ノ傾向アルヲ指シ示スベキ意見ナキニ非ス「ジャン、プシユキン」ハ千八百七十五年ニ記シテ曰ク韓國ニ於テハ過去數年間、道ニ新村落ノ興ラサル者ナク村落ニ新家族ノ出來ザル者殆ント之無ク稻田及其他ノ田野ニシテ以前ハ荒地トシテ委棄セラレタリシモノモ新ニ耕地トナサレ人民ハ次第ニ山中ニ進入シテ殆ント人跡ヲ印シ難キ斷崖スラ之ヲ耕シテ農作ニ從事ス旅行者ノ證言ニヨレハ現今ニ於テハ北韓地方ヲ除ク外山中ニ於テ一片ノ土地ト雖トモ耕作セラレサル者ヲ見ルコト能ハスト云フト千八百八十九年韓國ヲ漫遊シタル「ウエーベリ」氏ノ言ニ依レハ北韓ノ山中スラ既ニ貧民窟ヲ現出シ其貧民ノ多數ハ固有ノ土地ヲ以テ生活スルコト能ハサルニ依リ他人ニ雇ハレ若クハ全斃ノ坑夫トナリ或ハ種々ノ職業ノタメニ沿岸地方ニ赴キ斯ノ如クニシテ一時住民ノ減少ヲ見ルナリト前記事情ノ外、韓國ニ於テハ二世紀ノ間戰爭モナク甚タシキハ流行病若クハ饑饉ノ凶災モナク又祖先ノ教化ノ存在ニヨリ韓人ハ一般ノ習慣ニ從ヒ結婚セサルモノナキヲ想像スレハ前ニ人口増殖上ノ不利益ノ事情ノ列擧セラレタルニ關ハラス其人口ハ遲緩ナカラモ増加シタルヘキ筈ナリ

韓人自身ノ所信ニヨレハ其人口及住民地ハ漸次増加シツ、アリ殊ニ千八百九十七年ノ戶口調査ニ關シテハ一見當時最モ確實ナリト目セラルヘキ内務省官吏自身モ該調査ノ計數ハ僅カニ實在數ノ三分ノ一ナリト云ヒ三百年前ニ行ハレテ當時ノ住民ノ三分ノ二ヲ示シタル不完全ナル調査ニ比スルモ尙三分ノ一少ナシト云ヘリ是等ノ事項モ亦一考セサルヘカラス

千八百九十七年ノ戶口調査ハ一戶ノ平均僅ニ三人ヲ示ス然ルニ能ク此國ヲ知ル者ノ言ニ依レハ一戶ニ五六人多キハ十人ニスラ達スルモノアリト云フ是亦該調査ノ不確實ナルヲ示ス一證タリ韓國ノ主要ナル部分ヲ旅行シタル英國ノ「ビショップ」女史曰ク韓人ノ家七十戶ニ就キ其一戶平均人口ヲ推算スレハ八人トナルト而シテ此推算ハ久シク韓國政府ニ在職セシ陸軍將官「グレート、ハウス」氏及七年間韓國ニ住居シ同國ヲ旅行シタル「モフエット」氏之レヲ證左ス又韓民ノ家族ハ夫妻及其子女ノミヲ以テ成立スルモノハ甚タ少ナク多クノ場合ニ於テハ兩親及親族ノ食客之レニ加ハルナリ

前ニ記載スル所ヲ概括スレハ韓國現在ノ人口ハ韓國ノ官吏自身カ斷言スル如ク一千五六百萬人ニ達セサルハ事實ナルヘキモ何レニシテモ千萬以上ハ有リト推定スルコトヲ得ヘシ

人口ノ粗密 韓國人口ノ中數ヲ千三百萬人ト假定シ土地ノ全面積ヲ「ストレルビーツキー」氏ノ調査ニ從ヒ二十二萬三千五百二十三萬「キロメートル」トスレハ一方「キロメートル」ノ人口五十八人ニシテ其密度ハ歐羅巴露西亞ノ「ボルタワ」縣ト粗相同シ

韓國領内ニ於ル人口ノ配當ニ關シテハ前ニ擧ケタル千八百九十七年ノ調査表研究ノ價值ナキニ非ス此ノ表ノ示ス所ニヨレハ人口最モ多キハ首府ノ所在地ナル京畿道ニシテ首府ヲ除キ六十四萬四千二百三十人、之ニ次クハ國ノ東南部即チ南北慶尙道ニシテ二十七萬六千九百二十四戶、百〇一萬八百四十五人ナリ人口饒多ナルハ北部ニシテ平安北道ニ於テハ一戶ニ四人、兩咸鏡道ニ於テハ尙一步ヲ進メテ一戶六人ニ當ル然ルニ全國ヲ平均スレハ一戶ノ平均三人ニ當ルコトハ前既ニ記載シタル所ノ如シ此議論ハ千八百九十七年ノ調査既ニ疑フヘキカ故ニ甚タ不正確ナルカ如キモ此議論ハ其他ニモ證左ノ存スルアリテ韓國

中部及南部ノ北部ニ比シテ人口多キハ旅行者ノ多數之レヲ證明ス北部ノ地方ニ關シテハ韓國ノ東北沿岸地方ヲ漫遊シタル「アリフタン」氏ノ評論ニヨレハ人口ノ配置ハ頗ル平均的ナリ沿岸一帯ノ地ハ他ノ部分ニ比シ人口稠密ニシテ唯二三露里ノ間人家ヲ見サル如キハ眞ニ例外ナリ又枝道ニ沿ヒタル土地ハ常ニ市街ト交通セサルカ故ニ人口甚タ多カラス「ストレリビーツキー」氏ノ言ニ依レハ韓國内地ノ人口ハ極メテ散在シ多クハ一箇所ニ一二戸多キハ三戸ニシテ戸口多キ村落及市街ハ眞ニ僅少ナリ是レ山地多キト穀物ノ耕作ニ適スル土地少ナキニ原因スルモノナリト

韓國民ノ起原 耶蘇紀元二百年前韓國ニ多クノ小民族住居シタリ其名ハ支那ノ年代記ニ記載セラレ是等ノ民族ハ蒙古人「トングス」人若クハ「フィンヌ」人ニシテ北滿洲ヨリ移住シタルモノナルコトハ信スヘキカ如シ之ニ次キテ松花江ノ上流沿岸ヨリ高句麗人入り來リテ耶蘇紀元二世紀ニ北韓ヲ統御ス是レモ亦「トングス」族ノ一派ナルカ如シ其後九世紀ニ於テ新ニ韓國ニ移住シ來リタルモノアリ是レハ渤海國ノ侵略ニ遭ヒ滿洲ヨリ遁走シ來レルモノナリ北韓ハ滿洲及西比利亞「トングス」人及「フィンヌ」人ト相接隣シタリシカ故ニ其民族ハ古來「トングス」人及「フィンヌ」人ト相混合シタルヤ疑ヒナシ

大古史ニヨレハ南韓ニ小民族アリテ馬韓、辰韓、辨韓ニ分タル「ハルバート」氏ハ此民族ノ出處ヲ研究シ之ヲ以テ北韓ノ狩獵民族トハ全然別種ノモノナリトシ北韓民族ハ北方ヨリ移住シタル者ニシテ南韓民族ハ馬來族ニシテ南ヨリ來リタルモノトシ此說ヲ確ムルタメニ彼ハ次キノ議論ヲ立テタリ曰ク東洋年代記ノ証言ニヨレハ北韓ニ於テハ金銀製ノ物品ハ住民間ニ知ラレテ且ツ普ク行レタリ雖トモ南韓ノ民族ハ金銀ノ貴キヲ知ラサリキト云フ是ニヨリテ南北ノ住民ハ古昔ヨリ曾ニ同族ナラサルノミナラス概シテ交通

ヲモ保タサリシヲ察知スルニ足ル如何トナレハ若シ然ラストセハ南韓ノ民族モ現品交換ノ方便トシテナリトモ貴金屬ノ價值ヲ學ヒタルヘキ筈ナレハナリト又氏ハ左ノ言ヲ附加セリ曰ク又年代記ニハ南韓民族ノ模造眞珠ヲ愛好シタルコトヲ記ス是レモ南韓民族ノ北韓民族ト劃然區別アル徵證ニシテ模造眞珠ハ唯熱帶地方ノ住民ノミ之ヲ用フ又入墨ノ風習古來ヨリ南韓ニ存在シ北韓ニハ比較的氣候寒冷ナルタメ徐々トシテ入りタリ此ノ風習ノ殘影ハ今モ猶存在シ余ハ韓人カ時トシテ手ノ皮膚下ニ染絲ヲ挿入スルヲ見タリト氏ハ猶進ンテ次ノ言ヲナセリ曰ク南韓ノ國家的制度ハ北韓ノソレト反對ニシテ中央集權的ノ性質ヲ帶ヒス有力ナル命令者ヲ有スルコトナク全ク自由ナル多數ノ小部族ニ分割セラレ防禦ヲ施シタル市街地ヲ有セサリキト

年代記ニ載セラレタル南韓民族ノ名稱ハ三綴語ヨリ成ルモノ非常ニ多ク四綴ノ語ヲ成スモノ甚シキハ五綴ニ及フモノモ亦少ナカラス然ルニ「ハルバート」氏ノ說ニヨレハ蒙古人滿洲人及「トングス」人ノ土地ノ固有名詞ハ二綴以上ニ互ルモノ甚タ少ナシト云フ

「ハルバート」氏ハ終リニ臨ンテ又曰ク現今ノ韓語ハ昔ノ南韓民族ノ言語ニシテ言語學ノ法則ニ基ケハ南「ツーラン」語ニ屬ス中ニモ余ノ知り得タル二百五十ノ「ドレーフ」語ノ内二十四個即チ百分ノ十八韓語ニ類似スルモ滿洲語ノ「ドレーフ」語ニ類スル者ハ八百十箇中僅ニ六箇即チ百分ノ四分ノ三ニ過キスト前記ノ外韓國ニ入りタル民族ノ日本人及特ニ支那人ヲ舉クルヲ要ス日本人及支那人ハ多世紀ノ間移住民若クハ逃亡者トシテ半島ニ移住シ若クハ支那ノ兵士此地ニ侵入シ戰爭後殘留シタルモノナリ支那人ノ韓國民族ニ混合シタル割合ハ多大ニシテ韓國人百五十人ノ姓名中、支那ヨリ出テタルモノ五十ニ及フノ

一事ニテモ之ヲ知ルヘキナリ

前ニ述フルカ如ク前ニ列擧シタル民族ハ現今ノ韓國民ノ祖先ニシテ皆外來ノ人種タリ而シテ「トングス、マレー」人ノタメニ追縮メラレタル本來ノ土人ニ關シテハ未タ不明瞭ニシテ何事ヲモ確言スルコトヲ得ス惟其後裔ハ黃海ニアル「リンドセー」島ノ古昔住民ナルヘク之ニ關シテハ「ローニー」氏ノ說アリテ氏ハ之ヲ「チヨウホウ」人種ト呼ビ丈高カラスシテ固有ノ言語ヲ有シ剃髮シテ獸皮ヲ着シタル人種ナリトシ韓國ノ處々ニ於テ今モ目撃セラル、石造ノ祭壇ハ蓋シ此ノ人種ノ手ニ成リシモノナラント云フ

韓國人ノ體格 「ローニー」教授曰ク韓國民ノ形貌ニ三種ノ特質アリ其中最モ多キヲ占ムルモノハ廣濶扁平ニシテ頰骨突出シ口大キク唇厚ク目ノ位置斜ニシテ細少扁平ノ鼻ヲ有シ鬚髯稀薄ニシテ皮膚黃色ナル顔面ヲ有スルモノ是ナリ第二ノ特質ハ顔面楕圓形ニシテ手長ク鼻高ク眼眸蒼色時トシテハ空色若クハ青色ニシテ目大ナラス口ハ中庸ヲ得テ唇厚カラス耳大ナラス鬚髯頗ル濃厚ニシテ皮膚ハ淡黃色ヲ帶ヒ殆ント白色ニ近ク毛髮ハ黑色ニシテ稀ニハ褐色ナルモアリ第三種ニ屬スルモノハ第一種ニ類シ唯身幹矮小ニシテ口唇甚タ突出シ鬚髯甚タ少ナク鼻ハ第一種ヨリハ稍高ク皮膚ハ甚タ黒シ以上三種ヲ通シテ一貫セル特質ハ毛髮ノ長クシテ黒キコトニ韓人中二十分ノ十九ハ之ヲ具備スト

斯ノ如ク韓人ノ形貌ノ種々ナルコトハ「カールス」氏モ又之ヲ認メ氏ハ只ニ各洲ニ於テノミナラス人口多キ土地ナレハ到ル處形貌ノ相違ヲ見サルハナク猶太的アリ日本のアリ又純粹ナル高加索的スラアリト云ヘリ

「ゴツシエ」氏ハ反對ノ意見ヲ述ヘテ曰ク韓國人ハ其形貌ニ於テ頗ル雜駁ナルカ如キモ之レヲ目撃スレハ他ノ諸國ニ於テ勞働者ノ階級ト財産所有者ノ間ニ於ルカ如キ甚シキ差異ヲ認メスト又氏ノ意見ニ依レハ韓國民ハ最モ能ク「リケー」島ノ土人ニ類似シ其異ナル所ハ唯之ニ比シテ鬚髯ノ濃厚ナルノミニ在リト云フ

「オッバート」氏ハ「ゴツシエ」氏ト近似セル說ヲナセリ其說ニヨレハ韓國民ノ多數ノ顔貌ハ蒙古族ノ形式ヲ帶ヒ廣クシテ粗野ナル顔貌、突起シタル頰骨、堅固ナル頤、扁平ナル鼻梁、廣キ鼻孔、大ナル口、厚キ唇、斜ナル目、光澤ヲ帶ヒ濃黒ニシテ屢々、紅褐色ヲ呈スル毛髮、濃厚ナル眉毛、稀薄ナル鬚髯及紅黃色ノ皮膚ヲ有ス然レトモ隆起セル鼻梁頗ル眞直ナル目、濃厚ナル鬚髯隆起セル頰ヲ有シ相貌優雅ニシテ甚シク高加索人種ニ似タルモノモ稀ニハ目撃セラル

「ルベンツォーフ」氏ハ北韓ニ於テ目撃シタル所ニ基キ韓人ニ最モ多キ形貌ハ次ノ如キモノナルヲ發見セリ即チ眼面ノ眉眉ハ微黃色ニシテ平安道ノ人ハ輕キ青銅色ヲ帶フ、目ハ蒼色ニシテ頭髮ハ黒ク粗ニシテ、硬ク、鬚鬚ハ薄ク、眉ハ細クシテ兩端ヲ打切りタルカ如シ、頭ノ構造ハ一部分ハ高加索人ノ模型ニシテ一部分ハ蒙古ノ模型ヲ有シ頰骨ハ時トシテ甚タシク突出シタルモノアルモ目ハ大抵斜ナラス粗貌ハ溫柔情弱ニシテ氣力ニ乏シキヲ示ス

種々ノ調査ニ依レハ前記諸種ノ形貌ハ全國ニ一樣ニ散布セラレズシテ各部分ニ於テ境界ヲ立ツルコトヲ得即チ千八百九十二年發行ノ「コレアン、レボジトリ」第二百六十九頁ニ記載セラレタル說ニヨレハ北韓即チ平安道咸鏡道及江原道ノ住民ハ體力ノ強大ナルコト忠清、慶尙全羅諸道ノ住民ノ到底比肩スヘカラサル所ニシテ十六封(封ハ日本ノ約四貫四百目)ノ重量ヲ荷フニ堪ヘ又概シテ北韓ノ人民ハ其外貌南韓

ノ住民トハ著シク相違シ北韓人ハ丈高く且美麗ニシテ濃厚ノ相ヲ具ヘ顔色ノ模型ハ何トナク高加索風ニシテ額骨アマリ突出セス目ハ東洋人ノ多數ニ比スレハ之ヨリモ楕圓形ニシテ婦人モ亦美ヲ以テ勝リ殊ニ江原道ニ於テハ昔清帝ノ後宮ニ婦人ヲ撰定セリ

韓人ハ日本人ニ比スレハ概シテ丈高く且ツ諸部調和シタル體格ヲ有ス但シ女子ハ男子ヨリハ身長甚々劣レリ「ルベンツォーフ」氏ハ千八百九十五年北韓漫遊ノ時威鏡道ノ韓人ノ二十歳ヨリ六十歳ノモノノ二百四十九人ニ就キ「ヒンツ、ツ、トラヴェラース」ト稱スル書籍ニ記載セラレタル英國學者「ガルトン」氏ノ方法ヲ用ヒテ身體ノ検査ヲ行ヒタルニ其平均數身長六十五吋三、一手ノ指端ヨリ他手ノ指端マテノ長サ六十七吋二五、手ノ長サ二十八吋二、脚部ノ長サ三十八吋一、手指ノ長サ七吋〇三、掌ノ長サ九吋三六ヲ得タリ

日本ノ「ドクトル」小池正直ハ千八百八十三年及千八百八十四年ニ釜山ニ於テ二十五歳ヨリ五十歳マテノ健康ナル韓人七十五人ヲ検査シ其結果ヲ次ノ表ニ於テ示セリ其表ニハ比較ノタメ日本人ノ體格ニ關スル結果ヲモ竝記シタリ日本人ノ體格検査表ハ一部分ハ一生命保險會社ヨリ其材料ヲ取り一部分ハ日本陸軍省ノ年報ニ基キタルモノナリト云フ左ニ之ヲ示ス

韓國人(自二十一歳至二十五歳)	平均身長	胸圍	體量
年 齡	「サントメートル」	「サントメートル」	「キログラム」
二三	一七八、六	八二、三	五三、二

韓國人(自二十六歳至五十歳)	平均身長	胸圍	體量
日本人(二千四百九十九人ヨリノ平均)	一八〇、七	八三、八	五五、五
日本歩兵(四百〇九人ヨリノ平均)	一五七、六	八一、八	五二、〇
日本砲兵(二百六十五人ヨリノ平均)	一六六、七	八五、七	六四、五
日本工兵(百七十八人ヨリノ平均)	一六三、六	八五、七	六三、二
日本輜重兵(七十五人ヨリノ平均)	一六三、〇	八二、七	五九、九
日本諸兵(九百十九人ヨリノ平均)	一六二、九	八三、九	六一、二

韓人ハ概シテ強壯ナル體格ヲ有シ體操ノ事及ヒ狩獵ヲ嗜ミ其歩行ハ確實迅速ニシテ身體ノ運動輕捷ナリ然レトモ韓人ハ早老ノ弊アリテ其弊特ニ婦人ニ於テ甚シク婦人ハ二三人ノ子女ヲ舉レハ既ニ老境ニ入り毛髮ノ剝落始マリ皮膚凋衰シテ顔面皺ヲ生ス其原因タル一面ハ平民社會ニ於ケル婦人ノ位置甚々困難ニシテ間斷ナキ勞働ニ苦ムニ存シ一面ヨリハ上流社會ニ於テ盛シニ行ハル、化粧品中ニ含有スル鉛毒ノ作用ニ歸ス韓人ハ凡テ白色ヲ尙ヒ婦人ノ如キ美ノ標準ハ殆ント白色ト一致スルノ觀アリテ此國ニ於ケル「美麗」ナル語ハ多少白色ノ觀念ヲ含ム又早老ノ他ノ一原因ハ内地ニ發生シテ根絶スルコトナキ危險ナル疾病ニ在リ

風土病 韓國ハ氣候ノ良好ナルニ拘ラス其住民中ニハアラユル疾病發生ス是レ衛生法及ヒ治療機關ノ缺乏ニ原因スルモノニテ住民ノ清潔ニ注意セサルコトハ益々其疾病ノ發生ヲ容易ナラシムルノ誘因トナル故ニ韓國ニテハ冬季不潔ニシテ空氣ノ流通不自由ナル家屋ニ不規則ナル溫度ノ爐ヲ燒キテ籠居スルノ時

疾病尤モ多シ

疾病ノ尤モ蔓延スルモノハ諸種ノ熱病ニシテ間歇熱ハ春夏高温ノ時季ニ發生シ又米作地方ハ到ル所此疾病アラサル時ナシ此ノ如クシテ此疾病ハ韓國ノ全部ニ發生スト雖トモ特ニ京城ニ於テ屢々流行シ、又仁川ノ如キ西海岸地方ハ干潮ノ時廣大ナル泥濘地ヲ生シ其泥濘地ハ多量ノ有機物ヲ含有スル蒸氣ヲ發揮シテ空氣ヲ腐ラスカ故ニ大ニ此疾病ノ發生ヲ助ク京城ニ居住セシ歐羅巴ノ醫師ノ一人ハ語ツテ曰ク余及ヒ余ノ家族ハ低地ニ居住セシトキ皆間歇熱ニ罹リタルカ其後丘陵ノ上ニ在ル歐風家屋ニ轉居スルノミニテ其患者ハ皆回復シタリト

韓國ノ市街及ヒ村落ハ低地ニ位置スルモノ多ク其人家ノ側ニハ流通セサル水溜アリテ其水溜ハ眞ニ微菌ノ培養地トモ稱スヘク又厠ヨリノ不潔物ハ凡テ街上ニ流出シ大ナル市ニ於テハ覆蓋ナキ溝渠ニ流入ス故ニ腸窒扶斯ノ發生ニ適當ナルハ素ヨリ驚クヘキコトニアラスシテ是等ノ有機物ハ飲料水ノ媒介ニヨリテ人身ヲ犯スモノ、如シ又海港地ニハ脚氣病アリ

韓人ノ「イン、ビョン」ト稱スル疾病ハ研究スヘキモノナリト雖トモ尙ホ其性質療法等ニ關シ醫學社會ニ定説ナシ文書ニ該患者ハ發病後九日目ニ多量ノ發汗ヲ爲シ重體ニ陥ルコトヲ記載シアリ仍テ醫家「ブンゲ」氏ハ之ヲ循環發作性ノ窒扶斯ナリト斷定シ又京城ノ一醫師ハ患者ノ血液中ニ窒扶斯ノ特徴アルコトヲ發見シタリ此疾病ハ相當ナル治療ヲ加フレハ多ク死亡者ヲ出スカ如キ激性ノモノニアラサルモ韓人ハ此疾病ニ罹ルモノアルトキハ其傳染ヲ恐レ患者ヲ直チニ戶外ニ放棄シテ顧ミサルカ故ニ死亡數ノ割合多大トナルナリ

慶尙道ノ二三地方ニ發生スル一種ノ疾病アリ此疾病ハ氷ノ性質ニ原因スルモノニテ其症候ハ齒脫去シ足弱リ爪曲リテ殆ント指ノ第一關節ヲ覆フニ至リ患者ヲシテ自然ナラサル老衰ノ狀ヲ呈セシム韓人ハ之ヲ水土病ト稱ス其意ハ水ハ之ヲ飲用スルカ如キ直接ノ作用ニヨリテ病ノ原因ヲナスノミナラス果實及ヒ蔬菜ニ浸入シテ有益無害ノ物質ヲ健康上ノ有害物ニ變化シ以テ人身ヲ犯スモノナリト云フニ在リ「ブンゲ」氏ノ言ニ依レハ韓國ニハ肺病患者多ク住居ノ不潔ニヨリ廣ク傳染シツ、アリ京城仁川ニ住スル日本人ノ中多クハ日本ノ南部地方ヨリ移住シ來レルモノモ氣候ノ激變ニヨリ肺病ニ罹ルモノ少カラス然レトモ又一方ニハ肺病患者ニシテ轉々治療ニ適當ナル地方ヲ求メテ殆ント全世界ニ於テ效ヲ見サリシモノ韓國ニ來レハ既ニ兩肺ヲ毀損シタルモノト雖トモ尙ホ生命ヲ保ツコト殆ント十年ニ及フモノアリト云フ日本「ドクトル」小池氏ハ釜山ハ住所ノ乾燥ト食物ノ比較的佳良ナルトニヨリ該病ノ蔓延ヲ防止スト云ヘリ

韓人ハ日本人及ヒ支那人ト反對ニ暴食ヲ食リ食物ハ刺激物ヲ加味シテ屢々煮熟セサルモノヲ用ヒ且ツ其喫食ノ方法タル迅速ニシテ善ク咀嚼セサルカ故ニ腸胃ノ疾病廣ク發生シ通常ノ加答兒ヨリ赤痢ニ至ルマテ消化機ノ病症甚々多ク腸加答兒、胃擴張、食物停滯病等ノ疾病屢々起リ特ニ繼蟲病ハ殆ント韓人ニ一般ナルモノニテ其之ニ罹ラサルモノハ甚々少ナク人若シ之ヲ疑ヘハ韓人ハ其疑フ者ニ喫驚ス

日本「ドクトル」小池氏カ釜山ニ於テ二年間觀察シタル結果ニヨレハ激甚ニシテ慢性トナリタル韓人ノ腸胃病ハ多クハ全快セス若シ全快ストモ其治療ハ甚々困難ナリト云ヘリ

國民

事情ニ存スルモノニテ韓風家屋ニ住スルコトヲ餘儀ナクセラレタル歐人ハ皆激烈ナル僕麻室斯ニ罹リ其家屋ヲ修正シテ稍々歐風ニ爲スカ又ハ全ク歐風ノ家屋ニ移轉スルニアラサレハ難ヲ免ル、コト能ハスト云フ

溫度ノ不規則ナル室内ノ居住ハ感冒ヲ誘起スルカ故ニ之カ爲メ球ニ冬時ニ於テ氣管支炎患者ヲ生スルコト屢々ナリ

天然痘ハ平素韓國住民間ニ猛烈ナル流行ヲ見ル所ノ疾病ニシテ韓人ノ眼病及ヒ耳病患者ハ大抵此疾病ノ結果タリ小兒ノ大半ハ此疾病ニ罹リ或地ニ於テ小兒ノ全數一時ニ此病ニ犯サル、コトモ屢々アリテ八歳乃至十歳以上ノモノニテ此疾病ヲ免レタルモノハ甚タ少ナク京城ノ如キハ此病ニ罹リタルモノ數千ノ多キニ達ス天然痘ハ甚タ激烈ナルモノニテ甚シキモノハ梅實大ノモノヲ生ス斯ル患者ノ家ハ惡臭紛々トシテ四散シ近ツクヘカラス

虎列拉ハ通例清國南部ヨリ傳播シ來リテ韓國ニ流行スルコト少カラス時ニ多クノ死亡者ヲ出スコトモアリ「カールス」氏ノ言ニ依レハ千八百八十六年京城及ヒ其附近ノ村落ノミニテ病氣ニ罹リ死亡シタルモノ二ヶ月間ニ十萬人ニ達シタリト云フ

韓國ヲ旅行シタル醫師ニシテ未タ「ペスト」ヲ記述シタルモノナシ千八百九十九年鴨綠江ノ川口ニ在ル支那ノ大東溝ニ該病發生セリト雖トモ韓領ニ入りシヲ聞カス

癩病ハ廣ク韓國ニ蔓延シテ南部地方ニ其患者多ク此地方ニ於テハ該病ノ凡テノ種類アリ又京城ニモ該病患者ヲ出シタルコトアリ

韓人ハ男女兩性間ノ關係甚亂雜ナルカ故ニ又一方ニハ身體住所不潔ノタメ微毒其他花柳病普ク蔓延ス但シ日本醫師小池氏ノ言ニヨレハ釜山ノミニ就テ之ヲ見レハ未タ全ク前述ノ證言ヲ爲スコトヲ得スト

韓人ニハ癩癩患者多ク其患部ハ大概咽喉部ニシテ廣サ帽紐線ニ沿ヒテ兩耳ニ涉リ漫性的ニ淋巴線ノ膨脹ヲ來スモノ特ニ多シ蓋シ此病ノ素因ヲ有スルモノハ帽紐ノ刺衝ニヨリ淋巴線ノ膨脹ヲ誘起スルモノ、如シ

痔疾及ヒ脱肛ハ韓人間ニ蔓延スル疾患ナルカ歐洲醫家ノ言ニ依レハ是レ熱セル床ノ上ニ薄キ蓆ヲ敷キ甚シキハ之ヲ敷カスシテ數時間徒坐スルカ故ナリト云フ

齒ノ健全ナルハ韓人ノ一特質ニシテ日本醫師小池氏ハ千四百四十人中唯タ二人ノ患者ヲ發見シタリ而シテ其二人ハ商家ニ勤ムルモノナリト云フ蓋シ其原因ハ或ル程度マテハ韓國ニ砂糖ナクシテ住民之ヲ用ヒサルニ歸スヘシ

國民ノ氣習 韓人ハ多クハ溫良正直ニシテ他國民ニ對シテモ猶且ツ信シテ疑ハサルノ氣質ヲ有ストハ久シク韓國ニ滞在シタル多クノ加特力宣教師ノ證言スル所ニシテ韓人ハ初面識ニ於テ之ヲ見レハ頗ル眞面目ニシテ氣伸ヒサルノ風アリト雖トモ少シク時日ヲ經過スルニ隨ヒ其談スル所モ漸ク窮窟ヲ脱シテ輕快ナルニ至ル然レトモ又一方ヨリ之ヲ觀レハ韓人ハ甚タ強情ニシテ怒リ易ク復讐的情念ヲ有シ屢々激烈ニシテ制シ難キ不平ヲ表出スルコトアリ又韓人ニハ非常ナル決心ヲ現ハス爲ニハ手指ヲ刺シ血書シテ誓ヲ固ムルノ習ヒアリ若シ又精神ノ苦痛ヲ感スルコト甚シキコトアルニ遭ヘハ縊死又ハ溺死ヲ遂ケ其生命ヲ輕ンスルコト局外者ノ聞クモ殆ント信スル能ハサル所ニシテ之ニ與フルニ瑣細ナル不快侮辱ノ言語其他

毫モ介意ニ價セサル事情ヲ以テスルモ猶ホ容易ニ之ヲシテ自殺セシムルニ足ルナリ
然レトモ韓人ハ一概ニ軟弱怯懦ナリトシテ之ヲ非難スヘキニ非ス彼等ハ大膽剛毅ニシテ忍耐力ニ富ミ極
メテ冷然トシテ笞杖ノ刑、拷問ノ苦ミヲ忍ヒ毫モ神色ヲ變スルコトナシ故ニ兵士ガ甚ク勇敢ニシテ能ク
困苦缺乏ニ堪ユルハ爭フヘカラサル事實ニシテ若シ韓國ニ聰明ナル士官アラハ完全ナル軍隊ヲ造ルコト
容易タルヘキナリ

吾人ハ韓人中往々吝嗇家ヲ見ルコトアリ然レトモ斯ノ如キハ只富者特ニ富商ニ多キ特質ニシテ其他ノ國
民ニ至テハ貪ルト雖トモ隨テ散スルノ傾向ヲ有シ一朝幸ニ大利ヲ獲得スルアレハ直チニ贅澤ナル生活ヲ
始メテ意ヲ嗜欲ノ満足ニ馳セ斯ル時ニハ數ニ於テ不足ナキ朋友ヲ纏應ス其レ然リ、得レバ則チ計ラヌシ
テ散ス其代リニ倒産シタル場合ニ於テハ毅然トシテ不幸ヲ忍ヒ復タ好運ノ來ルヲ待ツナリ

其他韓人ノ重大ナル缺點ハ暴飲暴食ニアリ大食ハ彼等ノ名譽トスル所ニシテ宴會ノ價値モ食品ノ性質如
何ニ依ラスシテ只數量ノ多キニアリ此ノ故ニ食スル時ニハ言フコト少ナシ如何トナレハ一語ハ食物ノ一
片ヲ失ヒ談話者ヲシテ過食ヲ十分ナラシメサレハナリ此ノ如キカ故ニ彼等ハ絶ヘス食物ヲ準備シ又食物
ニ遭フコトアレハ何物ニテモ之ヲ食ハサレハ止マス富者ハ一定ノ時間ニ於テ食スト雖トモ中間ニ於テ酒
類、果實其他ノ甘味ニ逢着スルコトアレハ飽食シテ量ノ多キヲ厭ハス勉強シテ之ヲ食盡シ而モ普通ノ食
時ニ至レハ又食卓ニ對シ此場合ニ於テモ其食欲ノ盛ナルコト數日曾テ食ハサリシ者ノ如ク然リ又勞働者
ノ一食ハ大抵「リットル」ノ米ヲ煮炊シタル物ヲ以テ定量トナスト雖トモ多クハ之ヲ以テ足レリトセス
三倍若クハ四倍ヲ食ス上流社會ノ家ニ於テ桃ノ如キ果實ヲ供スルコトアル時、客ハ能ク節ヲ守ルノ人ニ

シテ尙二十個乃至二十五個ヲ取リ咀嚼モセスシテ驚クヘキ速度ヲ以テ喫了スルヲ常トス

食大ナレハ飲量モ亦大ナルハ自然ノ理ナリ韓國ニテハ大酒モ亦名譽ニシテ男子ハ酩酊シテ感覺ヲ失フニ
至ルモ一人ノ之ヲ非難スル者ナク高位高官ノモノモ能ク飲ミ大臣ト雖トモ數々酩酊シ其食卓ヨリ床上ニ
顛落スルコトアルモ亦恥辱トスルコトナシ

韓人ハ喫煙ヲ好ムコト亦甚シク平安道諸州ノ如キハ婦人ノ間ニモ盛ニ行ハル韓人ニシテ煙管ヲ手ニセサ
ル者ヲ見ルハ甚ク稀ニシテ煙草ハ内地產ヲ用ヒ其煙草ハ韓半島ノ南部地方ニ於テ夥シク栽培セラル

備考 阿片ハ支那ニ近キモ韓國ニ於テハ之ヲ用ユルコト未タ廣カラス「ルベンツォー」氏ハ韓人未タ
阿片ヲ知ラストサヘ云ヘリ韓人所用ノ煙管ハ竹管ノ一端ニ銅製若クハ磁製ノ吸口ヲ有シ他端ニ銅製ノ
火皿ヲ有スルモノニテ支那ノ煙管ニ彷彿タリ蓋シ支那式ヲ採用シタルモノナルヘシ

韓人ノ生活ニ於テ甚ク愛スヘキ方式ハ常ニ近親ノ事ニ趨クノ精神ヲ有シテ且ツ其準備ヲ有スルコト是ナ
リ婚禮葬式等ノ如キ儀式其他重要ノ事アル時ハ特リ親戚ノミナラス知己及ヒ隣人ニ至ル迄總テ其力ニ應
ジテ之ヲ助ケ火災ニ依リテ家ヲ失フモノアレハ隣人ハ速ニ其罹災者ヲ助ケテ新築ノ準備ヲナシ或ル者ハ
材木ヲ齎ラシ或者ハ石ヲ曳キ來リ或者ハ藥ヲ供シ又或者ハ無料ニテ二三日間ノ勞力ヲ供シ其助クルヤ初
メテ外ヨリ來リテ村内ニ家計ヲ立テントスル人ニモ亦之ヲ及ホスナリ又村内ニ於テ疾病ニ罹ル者アル時
ニハ藥ヲ有スル隣人ハ直ニ藥劑ヲ準備シ使ヲ待タスシテ患家ニ急行シ且ツ其報酬ヲモ辭スル者少カラヌ
資力ナキ農民ニ對シテハ其隣人ハ一時必要ナル農具ヲ之ニ讓ルノミナラス牛畜ヲ貸與シテ其耕作ヲ助ク
ルモノ亦珍シトセス

韓人ハ如何ニ貧窮ナリト雖トモ我家族ヲ養ヒテ少シニテモ餘分ノ米穀ヲ有スル以上ハ旅人ヲ養フコトヲ辭スルコトナシ斯ノ如クニシテ韓人ハ客ヲ好遇スルヲ以テ最モ神聖ナル義務ノ一ツトシテ能ク之ヲ守リ若シモ晝餐晚餐又ハ其他食時ノ時ニ來ル者アレハ知ルト知ラサルトヲ問ハス必ス飯ヲ供スルヲ常トシ之ヲ爲サ、ルコトハ以テ恥辱トナスノミナラス一步ヲ進メテ之ヲ犯罪ニ算ヘ祭典若クハ其他ノ慶事ノタメ饗宴ヲ開ク家アル時ハ各隣人ハ案内ナクトモ當然其饗宴ニ與ルノ權利アル者ト爲ス

資力充分ナラサル者ニシテ遠路ノ旅行ヲ企ツル時ハ其旅行準備ノ爲ニ多クノ時間ヲ費スノ必要ナク杖ト煙管ト肩ニ掛クル袋ニ入レタル多カラサル衣服ト其外若シ之アレハ財囊ト少シノ銅貨トヲ調フルヲ以テ準備ハ完結ス而シテ貧シキ旅行者ハ夜ニ入レハ旅舎ニ宿泊セスシテ客室ノ設ケアル一私人ノ家ヲ求メ何レヲ問ハス遠慮ナク入ルコトヲ得其家ニテハ食時ニ至レハ之ニ食ヲ與ヘ就眠ノ爲メニハ莫慮ト木枕ヲ供ス又旅行者ニシテ甚タ疲勞シタル時若クハ天候甚タ不良ナル時ハ一日又ハ二日ヲ同シ家ニ過スモ家人中一人トシテ迷惑ヲ感シタルカ如キ言ヲ爲スモノナシ然レトモ其來客厚遇ノ結果タル弊害モ亦少ナカラス其最モ著シキモノ、一ツハ無賴遊食ノ徒黨ニ空手座食ヲ獎勵スルノ擧ヲモ尙ホ之ヲ默認スルニアリ其無賴遊食ノ徒黨ハ常ニ轉々四方ニ徘徊シ厚顔甚シキニ至テハ富者ノ家ニ數週間モ居着シ着用スヘキ衣服サヘモ要求スルモノアリ而シテ富者ハ之ヲ與ヘサレハ罵詈讕謔ヲ受ケンコトヲ恐レテ亦之ニ應スルナリ小商人、行商、藝人賣卜者ハ皆此ノ類ニシテ已ニ一種ノ弊習ヲ馴致シ誰アリテ之ニ苦情ヲ唱フル者モナク又招待セサル客ノ厄介ヲ免レンカタメニ力爭セント欲スル者モナシ此類ノ遊民ヨリ尙多キ者ハ真正ナル乞食ニシテ其乞食ハ主トシテ體力ノ弱リタル者不具者及ヒ老テ食ヲ得ルノ道ナキ者ニシテ各人少量ノ米金

ヲ惠與ス

最近韓國旅行者ノ一人ナル「グリユーナウ」氏ハ韓人ノ氣習ト賓客好遇ニ關シ之ヲ評シテ左ノ如ク曰ヘリ余ハ多ク旅行セリ余ハ曾テ埃及、北「スビヤ」「パレスタイン」ニ在リシコトアリ又「ジュルザレム」及ヒ「ダマスカ」ニモ赴キ支那ノ南部、中央部及ヒ北部、日本及ヒ蒙古ニモ旅行シタルコトアリ然レトモ韓人ノ如ク心地好ク余ヲ待遇シタル者ナシ韓人ハ始ヨリ終リマテ歡待ヲ以テ旅客ヲ恍惚タラシムルノ作用ヲ有シ斯ノ如ク人心ヲ愛着セシムル人民ハ世界中他ニ見難キ所ニシテ其賓客好遇ノ精神ト其坦懷正直ト其兒童ノ如キ無邪氣ハ眞ニ人心ヲ誘引スルニ足リ人若シ韓國ニ到ラハ自ラ子供ノ如キ心トナリ子供ノ中ニ身ヲ置クノ感アルヘシト

韓人ハ多言ニシテ奇ヲ好ム故ニ交際ヲ以テ消光スルヲ樂ミ相互ノ訪問及ヒ快樂的集會洽ク行ハル但シ婦人ハ決シテ是等ノ集會ニ臨ムコトナシト雖トモ之ニ反シテ男子ノ富裕ナル者及ヒ官吏ハ多クハ身閑ナルヲ以テ常ニ是等ノ集會ヲ尋ネテ多ク談シ且相互ニ諸般ノ新事ヲ交換シテ時間ヲ過ス而シテ是等ノ集會ハ住宅ノ前方ニ在リテ常ニ各人ノ爲メニ開カレタル所ノ客室ニ於テ行ハレ其集會者ハ多クハ宮廷及ヒ都府ニ於テ起リタル珍聞、放談、貴顯大官ノ嚴勵ナル言語ノ眞似、昔語リノ評論及ヒ學術文學ニ關スル談話ヲ以テ時ヲ送ル又平民ハ市街道路及ヒ飲食店ニ集會シ其集ル者僅ニ二三人ニ過キサル時ト雖トモ談話ハ直ニ交換セラレ分時モ止ム時ナシ而シテ此輩ノ話題タルヤ歐人ノ觀念ヨリスレハ甚タ不體裁ナル事柄ニシテ例セハ姓名年齢住處職業及ヒ最近ノ新事等ナリ

座作進退ニ關シテハ韓人ハ平民モ官吏モ其隣國ナル支那人日本人ニ多ク讓ル所アリ韓人ハ相會フ時ニハ

互ニ合掌シテ敬意ヲ表シ別ル時ニハ往々握手スルコトアリ

「ジャン、プシユキン」氏ノ言ニ依レハ韓國ニ於ケル風紀ノ頹廢ハ聞クモ信シ難キ程ニシテ彝倫甚タ紊亂シ住民ノ數半ハ我真正ナル兩親ヲ知ラサル者ナリ而シテ殆ント總テノ兒童ハ九歳若クハ十歳時トシテハ尙其後マテモ夏時ハ全ク裸體ナラサレハ則チ只腰部マテノ短衣ヲ着ケタルノミニテ道路ヲ歩行シ基督教徒ノ兒童ハ前者ニ比シ稍々體裁ヨク容ヲ整フト雖トモ是レトテモ外國宣教師等カ大ニ苦心シタル結果タリ又婦人村落ニ入り來レハ必ス其宿所ヲ求ム此時久シク養フニ足ルヘキ富家無キ時ハ村中ニテ輪番ニ我家ニ迎ヒ數日間之ヲ養フヲ常トシ單身旅行ノ婦人ニシテ若シ旅舎ニ宿泊スル時ハ其婦人ハ第一着ニ出會シタル男子ノ獲物トナルヲ免レス此時男子ノ一團體之ヲ助グルコトアルモ其團體ニシテ武裝薄弱ナルトキハ猶且ツ防禦シ得サルコトアリ事情斯ノ如クナルカ故ニ白晝公然到ル處ニ娼婦現ハル、カ如キ醜劣ナル弊害ノ頻々目撃セラル、モ亦怪シムヘキニアラス路傍特ニ村落ノ入口ニ於テハ最下等ノ醜業婦酒罈ヲ携ヘテ佇立シ通行者ヲ見レハ之ニ飲酒ヲ勸メ其通行者多クハ留リテ彼等ニ歌ハシメ彼等ト戯ル若シ彼等ヲ一瞥セスシテ通過スル者アルトキハ彼等ハ毫モ遠慮スルコトナク衣服ヲ拖キ甚シキニ至リテハ道ヲ遮キリテ通行ヲ妨クルコトアリ

韓人ノ體格ハ地方ニヨリテ異同アルコト既ニ記述シタル所ノ如シ然ルニ「ジャン、プシユキン」氏等ノ言ニ依レハ韓人ハ知識及ヒ道德ノ點ニ就テモ地方ニヨリテ其特質ヲ有シ北方ノ四道及ヒ江原道就中平安道ノ住民ハ知識上ニ於テハ他地方ノ住民ニ比シ優ル所アリ且ツ敢爲ノ氣象ニ富ミ激動ヲ好ミ時トシテハ之ヲ復讐ニ顯ハスコトアリ現朝視テ以テ秘密ノ敵トナス黃海道ノ住民ハ遲鈍ニシテ知識狹キヲ其特色トシ且

ツ餘リニ吝嗇ナルト廉恥心無キトヲ以テ非難セラル首府ノ所在地ナル京畿道及ヒ忠清南北兩道ノ住民ハ輕躁ニシテ變化ヲ好ミ遊興ト私欲ニ耽ル全羅道ノ人民ハ慘酷虛偽ニシテ只一身ノ利益ヲ追ヒ利ノ爲メニハ常ニ恥ツヘキ變心ヲナスノ住民ナリト認メラル濟州島ハ全羅道ニ屬シ今日マテ犯罪者ノ流刑地ニシテ其住民ハ暴慢不潔放肆ノ風習ヲ以テ著名ナリ慶尙道ノ人民ハ他ノ地方ヨリハ古風ヲ保存シ華美浪費ノ風少ナク到ル處經濟思想ノ徵ス可キ者アリテ富者モ尠カラス多カラサル遺產モ父ヨリ子ニ傳ヘテ子々孫々久シク之ヲ失ハス學術ノ修業モ此地最モ盛ンニシテ晝耕夜讀ノ少年ヲ見ルコト亦少カラスト云フ

社會制度 「グリフィス」氏ノ言ニ依レハ高句麗朝ノ時(西曆第一世紀ヨリ第七世紀ニ至ル)北韓ニ於テ人民ニ三箇ノ階級アリキ即チ貴族、貴族部下ノ自由民及奴隸是ナリ貴族ハ市街地及其他ノ領地ヲ君主ニ受ケ君主ノ名ニヨリテ國土ヲ領有シ若クハ少クトモ之ヲ支配シ其代リニ君主ニ對シテ軍務ニ從事スルノ義務ヲ有シキ歲月ヲ經テ韓半島全部一君家ノ下ニ統一セラレ泰平無事ナルコト久シキニ互リタル結果、社會ノ須要上軍務ハ第二流ノ位置ニ下リ軍務ヲ帶ヒタル貴族ノ一部ハ消滅シ其他ノ部分ハ存在スト雖トモ以前ノ勢力ヲ失墜シ凡テ市街地及州郡ノ支配權ハ國王ノ命ヲ受ケタル文官ノ手ニ移リタリ斯ノ如クニシテ文官ハ漸次國家ノ治權ヲ掌握シ武官ハ蓋シ世襲ニヨリ單ニ兵力ヲ共同族中ニ於テ管掌スルニ過キサリキ古昔武家ノ代表者竝ニ最高文官ノ子孫ハ名譽ト若干ノ特權ヲ有シテ社會上特別ノ階級ヲ成シ文武各獨立ノ團體ヲ形リテ兩々相對峙シ文官ハ之ヲ東班ト稱シ武官ハ之ヲ西班ト稱シ之ヲ一括シテ兩班ノ名アリ

之ト同時ニ古昔ノ多クノ奴隸中ヨリ意氣ヲ以テ勝レタル者起リ從前ノ階級ヲ脱シタルニヨリ奴隸ノ數、

著シク減スルト同時ニ自由平民ノ階級ニ屬スル者増加スルニ至リタリ

斯ノ如クニシテ韓國國民ハ現朝以前(第十四世紀ノ終末以前)ハ武官及文官ヨリ成立スル所ノ貴族、平民及奴隸ノ三階級ニ分タレタリ然ルニ新朝ハ大體ニ於テハ歴史的ニ發生シタル此民階ヲ保存スルノ方針ナリシト雖トモ唯凡テ支那ノ制度ヲ模倣スルノ意向アリシニヨリ階級制度上ニ多少ノ變更ヲ與ヘ兩班ノ基本的要求トシテ國家ノ事務ニ從事スルコトヲ規定シ自由民ニ官途ニ就クノ途ヲ開キ一度官職ヲ帶ヒタルモノハ自身貴族ノ列ニ入ルヲ得セシムルニ至レリ最モ此總則中後ニハ若干ノ除外例ヲ置キタリト雖トモ其關係スル所ノ範圍ハ比較的甚シク廣カラス即チ特典ト稱スヘキモノハ兩班ノ子孫タルモノ其出生ニヨリ若干世ノ間ハ官職ヲ帶ヒスト雖トモ貴族ニ編入セラレ又稀ニハ國家ニ對スル功勞ニヨリ領地ヲ與ヘラレタル官吏ノ子孫ハ自身未タ嘗テ官職ヲ帶ヒタルコトナシト雖トモ終身貴族タルヲ失ハサルモノモ之アリタルノ類ニシテ此權利ハ其後議政府議員ノ子孫ニモ附與セラレ尙其後ニ至リ祖先ノ三代國務ヲ繼續シタル者ニモ許與セラレタリ

現朝ノ諸王ハ兩班ノ制ヲ存續シ是モ亦支那ノ制ニ倣ヒテ之ニ若干ノ特權ヲ與ヘ兩班ノ名稱ヲモ亦是ヲ保存シタリ兩班ハ歐羅巴ノ文書ニ於テハ通常士族又ハ貴族ト譯セラル、所ノ者ナリ

現朝ニ於テハ社會ノ階級ハ以前ヨリハ小分セラレタルカ如ク千八百九十四年ノ改革前ニハ五箇ノ階級存在シタリ即チ(一)貴族(兩班)(二)地方兩班(三)中等民(四)平民(五)奴隸是ナリ

千八百九十四年ニ始リタル改革ニ際シ發布セラレタル政府ノ條例ハ幾世紀ノ間ニ於テ定立セル民階ヲ顛覆シ貴族ヲ他ノ下級ナル民階ト同一ニシ奴隸ヲ廢シ武官ト比較シテ文官ニ偏スル特權ヲ廢シ屠牛者、飛

脚及俳優ノ束縛ヲ解キタリ然レトモ此條例ハ今日マテ多クハ死文ニ屬シ韓半島ニ於ケル生活ハ尙大抵以前ノ習慣ヲ離ル、コトナシ千八百九十四年廢セラレタル奴隸ノ千八百九十七年ニ至ルモ猶公然存在スルハ其一例ナリ

備考 韓國政府ハ兩班ヲ廢スル代リニ日本ノ制度ニヨリ世襲貴族ヲ置クノ豫定ナリキ(「ウイルクインソ」記述「コレアン、ガヅアーメント」第五十三頁)

前ニ擧ケタル五箇ノ階級ニ關シ詳細ナル記述ヲナスニ先チ皇室ヲ記述スルノ要アリ是レ皇室ハ其特權ヲ有スル點ニ於テ皇帝ヲ首位トシ現時ノ韓國社會ノ最高位ニアル特別ノ階級ナリト云フヲ得ヘケレハナリ皇室ノ高位者ハ(一)列皇ノ寡婦(夫タリシ皇帝ノ順位ニ依ル)(二)皇后(兩班ノ舊家ニシテ且ツ皇室ニ尤モ忠順ナル家ヨリ選ハル)(三)皇太子(四)皇太子妃トス

備考 韓國皇帝ハ正妻ノ外高級ノ妾八人ヲ有ス之ヲ嬪、貴人「ソ、ウイ」「スク、ウイ」「ソ、ヨン」「スク、ヨン」「ソ、ウオン」及「スク、ウオン」トス(「ウイルクインソ」記述「コレアン、ガヅアーメント」第四十頁)是等ノ妾ハ八人、六人及五人ニテ運搬スル輦輿ニ坐シ十人乃至二十人ノ僕婢ヲ伴ヒテ外出スルノ權ヲ有ス其他宣教師ノ言ニ依レハ皇帝ハ後宮ヲ有シ未婚婦人ノ多數(三百人マテ)ヲ養フ後宮婦人ハ官吏ヲ特派シテ容姿最モ美麗ナルモノヲ撰ハシメ強制的ニ之ヲ宮中ニ入ル其職務トスル所ハ宮中ノ内局ニ於ケル一切ノ勞役ニシテ後宮婦人中ヨリ二十七人ノ故參者ヲ選ヒ直接ニ皇帝便殿ノ秩序、御衣、食膳、寢室等ノ監督ヲナサシム二十七人ノ監督者ヲ更ニ故參順ニ依リテ「サン」「チヨン」及「チュン」ノ三級ニ分チ人員ハ級順ニヨリ之ニ八人、十二人、及七人ヲ配ス一旦後宮ニ入りタル未婚女子ハ終身其職

事ヲ奉シ不治ノ疾病ヲ餘クノ外何等ノ事情アルモ辭スルコトヲ得ス宮中ニ仕フル婦人ニハ絶對的ニ結婚ヲ禁ス彼等ハ皇子ノ意ヲ迎フルヲ以テ事トシ時アリテハ其ノ中ヨリ皇帝自ラ妾ヲ選フ後宮ノ監督ハ宦官之ニ任シ其定員ハ八十人マテトス宦官ハ等級アリ宮中及後宮ニ於テ昇級スルタメニハ試験ヲ行フ「ボッチョー」氏ノ言(第二十一頁ヨリ第二十二頁ニ至ル)ニ依レハ宦官ハ常ニ皇族ニ接近スルカ故ニ其唯一ノ位置ヲ利用シ社會ニ對シテ甚ク暴慢ナリ故ニ高位高官ノ者モ平民モ之ト事ノ關係ヲ有スルコトヲ避ク宦官ハ貧民ノ處女ヲ強制的ニ奪取シ若クハ高價ヲ拂ヒテ之ヲ買取り其若干人ヲ妾トシテ養フカ如シ是レ單ニ習慣ノ要求ヲ充タシ社會ノ面前ニ威風ヲ保ツノ虛飾タルニ過キスシテ其妾ハ之ヲ嚴ニ閉居セシメ其親類ニ對シテスラ一切ノ交通ヲ禁スルコトモ珍シカラス宦官ハ實子ヲ有セサルカ故ニ人ヲ諸方ニ派遣シテ幼男(同シク割勢ノ人)ヲ索搜シ之ヲ我カ戸籍ニ入レ之ヲ養育シ然ル後之ヲ宮中ニ仕ヘシム「ボッチョー」氏ノ言ニ依レハ韓國ニ於テハ割勢ノ法行ハレスト雖トモ三才以下ノ兒童ノ兩便ノ世話ヲ家犬ニ托スルヲ以テ家犬ハ往々其兒童ヲ不具ニス是レ屢々割勢ノ人ヲ見ル所以ナリ皇妾及宦官ノ宮中ニ於ケル勢力ハ非常ナルモノニテ皇帝ノ意志ハ殆ント専ラ彼等ニ依リテ左右セラル、ヲ見レハ以テ其然ルヲ了解スヘキナリ皇太子ハ正妻ノ外四人ノ妾ヲ養フノ權ヲ有ス四人ノ妾ハ韓語ニテ「ヤン、チエー」「ヤン、ウオン」「スイン、フイ」及「ソー、フン」ト稱ス皇太子ニハ專屬ノ宮室アリテ附屬官吏用ノ建物ヲモ之ニ附設セラル皇太子ノ宮中ニ於ケル内事ハ未婚婦人之ヲ司トル其ノ未婚婦人ハ韓語ニテ「シユー」(保護女)ノ敬稱ヲ有スル者二人「ツァン」(家政女)ノ尊稱ヲ有スルモノ七人トス

皇太子ノ次ニ列スルモノハ皇嫡子、皇庶子、皇嫡孫及皇庶孫ニシテ親王(君)ノ尊稱ヲ有スル皇族男子ハ五

級アリ即チ(一)「ター、グン」(皇嫡子)、(二)「オアン、ツァー、グン」(皇庶子)、(三)「チョク、オアン、ソン、グン」(皇嫡孫)、(四)「オアン、ソン、グン」(皇庶孫)(五)「スイン、スイブ、グン」(世襲親王)(此尊稱ハ通常皇子孫四代目マテノモノニ之ヲ賜フトス

備考 茲ニ擧ケタル皇族ノ五階級ハ君主未タ皇帝ト稱セサル時代ニ關スル「ウィルキンソン」氏ノ報知「コレアン、ガヴァーメント」第四十六頁ニ據ルヲ以テ右階級名稱中王トアルハ今ハ變更セラレタルヘシ

「オアン、ツァー、グン」ハ皇嫡子ノ嫡子

「オアン、ソン、グン」ハ皇嫡子ノ庶子若クハ皇庶子ノ嫡子

次ニ擧グルモノハ親王ニ準ス即チ右五階級ニ次キ(六)大院君或ハ「クク、ツァー、ゴン、(皇帝ノ父ニシテ帝位ヲ踐ミタルコトナキモノ)(七)「ブー、イオン、グン」(皇后ノ父)

内親王(チュー)ノ階級四曰ク(一)「コン、チュー」(皇嫡女)、(二)「オン、チュー」(皇庶女)(三)「クン、チュー」(皇太子ノ嫡女)、(四)「ヒオン、チュー」(皇太子ノ庶女)

君主タリシ者ノ子孫ハ男系ニヨリ五代マテ女系ニヨリ三代マテ皇族ニ編入ス(韓人ノ觀念ニヨレハ男系ニヨルモノハ樹枝狀系圖ニ於テ君主タリシ祖先ヲ距ルコト十寸、女系ニ出ルモノハ六寸ヲ限リトスト云フ)皇帝ノ親族中内親王ノ夫(皇帝及皇太子ノ女婿)ハ之ヲ皇族ニ列シ「ター、チョン、トッオン、ブヒオン」ノ規定ニヨリ皇后ノ親族ハ父(ブー、ウオン)及母(ブー、イオン)ノ外樹枝狀系圖上男系ニヨリテ八寸、女系ニヨリ五寸マテノモノ皇太子妃ノ親族ハ同系圖上男系ニヨリ六寸、女系ニヨリ三寸マテノモノヲ以テ

皇族トス

皇帝ハ神聖ニシテ犯スヘカラス犯シタルモノハ死ニ處ス故ニ皇帝ニ觸レラレタルモノハ非常ナル名譽ニシテ其徽章トシテ終身手ニ紅色ノ絹製紐ヲ懸ク皇帝ノ肖像ハ死後ニアラサレハ畫カス其肖像ハ宮中特定ノ場所ニ安置シ極メテ尊崇スヘキモノトス皇帝ノ尊嚴ヲ汚サ、ルタメ近來マテ宮廷ノ周圍ヲ騎行スルコトヲ禁シ又皇宮ノ構内ニハ乘馬及輜輿ニ於テ入ルコトヲ禁シ韓人中輜輿ニ於テ出入ヲ許サル、モノハ法令ノ規定アリテ大官ノミニ限ラレタリシト雖トモ現今ハ外國使臣ニモ亦之ヲ許シタリ

皇帝ノ頭名ハ亦神聖ナルモノトシ國民ニ之ヲ呼フヲ嚴禁シ宮廷年鑑ノ公布ノ際之ニ皇帝ノ名ヲ表ハスノ必要アルトキハ一旦記載シタル後赤紙ヲ以テ丁寧ニ貼封ス

皇族ハ皆國庫ヨリ給養費ヲ受ク

現今皇族ハ皇族ノ事務ヲ管理スル左ノ三個ノ官衙ニ名義ノミノ官職ヲ帶フ

一、「ツオン、チロン、ウオン」 宮内省ノ一局ニシテ男系ニ出ル皇族ヲ管理シ名義ノミノ官職十二ヲ置ク

二、「トシ、ニロン、ウオン」 主トシテ女系ニ出ル皇族及皇帝ノ血族ニ關スル事務ヲ管掌シ名義ノミノ官職

九ヲ置ク

三、「ウイ、ブヒン、ウオン」 皇帝及皇太子ノ女婿ニ關スル事務ヲ管掌シ名義ノミノ官職三ヲ置ク

皇族ノ右官職ニ任セラル、先後ハ皇帝ニ對スル親等順ニヨル又時トシテハ前記三種ノ官職ノ外俸養厚キ他ノ官衙ヲ選ヒテ皇族ニ官職ヲ與フルコトアリ此場合ニハ皇室ノ專有ニ屬スル事業ヲ經營スル所ノ官衙ヲ以テ之ニ充ツ

皇帝及高級皇族ニ屬シテ供奉員及給仕ヲ置キ是等ノ職員ノ服色ハ法令ヲ以テ定メラル其一例ヲ示セハ皇太子ノ供奉員並ニ護衛兵ハ普通ノ製式ナルモ黑色ノ被服ヲ着ク皇太子ノ行啓ニ用フル提燈ハ黑紗ニ紅紗ノ縁周ヲ附ケテ製セラレ皇太孫ノ供奉員及護衛兵ハ青色ノ被服ヲ用ヒ其行啓ノ時ニ用フル提燈ハ青紗ニ紅紗ノ縁周ヲ附ケテ製シタルモノナリ

貴族(兩班) 兩班ノ身分ニ伴隨シテ名實適合セル特權アリシハ古來ヨリ然リシトハ雖トモ聞ク所ニヨリテ判スレハ實際上兩班ハ年所ヲ經ルニ隨ヒテ著シク其權利ヲ擴張シ遂ニ確乎タル根據ヲ作ルニ至リタリ是レ一ハ兩班ヨリ出テ屢々且久シク攝政ノ職ヲ乘リ列皇無能ノタメ兩班ハ其政權ヲ自己ノ勢力擴張ノタメニ濫用シ一ハ兩班ノ階級數世紀ノ間事實上國務ヲ專有シ非常ナル一致ノ精神ヲ以テ我階級及我身ノ利益ヲ追求シタルニ基因スルモノニテ兩班ハ此ノ如クニシテ絶エス相互ノ聯絡ヲ保持シ又絶エス同族ヨリ出テタル名門ト連繫シ必要ノ際ニハ其名門ニ趨リテ扶助及保護ヲ求メタリシナリ

法令ノ規定スル所ニ依レハ兩班ノ身分ニ國家ノ官職ヲ帶フルコト及世襲兩班ノ身分ヲ有スルモノ、正式結婚ニヨル出生トニヨリテ取得スヘキモノナルコトハ前ニ記述シタル所ナルカ尙之ニ加フルニ勅旨ニヨリテ叙セラル、ノ條件アリテ此規定ニヨラサル唯一ノ除外例ハ久シキ年月ノ間只皇庶子ニ限リテ許サレ此時皇庶子ハ當然貴族タルノ權ヲ享有シタリキ而シテ茲ニ又注意スヘキハ兩班ノ出ニアラサルモ自由民ノ階級ニ屬スル女子ニシテ兩班ニ婚嫁スルトキハ其婚嫁シタル者及女子ハ夫ノ身分ニ應スル特權ヲ享有シタリシコト是ナリ

最初ハ兩班ノ相續權ハ嫡出子ニ限り之ヲ享有シ庶子ハ何等ノ權利ヲモ取得スルコトナク甚卑キ地位ニ居

レリ然ルニ年月ヲ經過スルニ從ヒ後者次第ニ其員數ヲ増加シ遂ニハ真正ノ兩班ト均シキ特權ヲ占有スルニ至リ千八百五十七年國王ハ法令ヲ以テ後者ヲ前者ト同等ノモノトナシ之ニ殆ト凡テノ官職ニ任セラルルノ能ヲ附與シタリ

前述ノ如ク傲慢ナル兩班カ他ノ分子ヲ其階級ニ列セシムルヲ承認シタル主因ハ政權爭奪ニ在リテ當時兩班中ニ朋黨ヲ結ヒ政權ヲ爭フニ際シ勝ハ徒黨多キ者ニ歸スルノ狀況ナリシカ故ニ兩班ハ自己ノ勢援ヲ得ンコトニ務メ正系ニアラサルモノヲモ之ヲ一般ノ兩班ト見做シテ其列ニ加フルニ至リタルハ自然ノ結果ナリ

兩班ノ身分ヲ取得スルタメ不法ノ行爲漸ク現ハレ來リ其著シキモノハ身分賣買ノ弊ニシテ非常ナル高價ヲ以テ之ヲ購フモノモ往々出現シ來リ其購買者ハ政府ヨリ之ヲ買フノミナラス一私人ヨリモ亦之ヲ買ヘリ其一私人ニシテ身分ヲ賣ラント欲スルモノハ購買者ヲ我戸籍ニ編入シテ我家ノ正當ナル子孫トナシ之ヲ血族視シテ必要アルトキハ之ニ扶助ヲ與ヘタリ勿論此ノ如キ不正手段ハ法令ノ許サ、ル所ナリシト雖トモ社會一般ノ風トナリ其極政府自身モ之ヲ犯シテ顧ミル所ナキニ至レリ法律ハ不正ノ行爲ニヨリテ兩班ノ身分ヲ取得スルモノヲ嚴重ニ監視シ犯ス者ハ之ヲ峻酷ナル管杖ノ刑ニ處スルノ方法ヲ取リタリト雖トモ無賴ノ徒ハ賣買ニヨリテ兩班ノ特權ヲ利用スルカ故ニ猶身分詐取ノ機會ハ屢々之レ有リキ然レトモ一方ニハ貴族ノ鋭敏ナル犯罪搜索ヲ爲スアリテ犯罪者ハ直ニ暴露セラレテ官憲ノ手ニ送致セラレ官憲ハ之ニ峻嚴ナル審問ヲ加ヘテ其非望ヲ絶タシメタリ然レトモ官憲中ニハ往々犯罪者ヨリ相應ノ賄賂ヲ收メ利害關係ヲ有スルモノ、訴願ヲ願ミスシテ犯罪ノ糾問ヲ故意ニ等閑ニ附スルモノ少ナカラス又基督教ニ

反對スルノ故ヲ以テ追放ニ遭ヒケルモノハ兩班ハ債吏モ其家ヲ搜索シ其身體ヲ拘束スルノ權ナキニヨリ債吏ノ難ヲ避クル唯一ノ目的ヲ以テ兩班ノ家族ニ入ルモノ多カリキ

兩班ノ身分ハ三個ノ條件ニヨリテ消滅スルノ制ニシテ其條件ハ曰ク不正結婚ニル出生曰ク時效是ナリ第一ハ擾亂若クハ君主ニ對スル反逆ノ罪ヲ宣セラレタル場合ニシテ犯人ノミナラス其父子其親族甚タシキニ至リテハ其疎屬マテモ皆兩班ノ身分ヲ失シテ平民トナル第二ハ寡婦若クハ奴隸女ト正式結婚ヲ爲シタルモノニテ其子ハ殆ト凡テ兩班ノ身分ヲ剝脱セラレ千四百六十九年ヨリ科擧ニ應シ官吏トナルノ權ヲ奪ハレタリ第三ノ場合ハ兩班ノ家ニ於テ久シク官吏トナルモノナキトキ其身分自然ニ消滅スルモノナリ

現朝君臨以來約二十代ヲ過ク其間ニ最初ハ甚少ナカリシ所ノ兩班次第ニ増員シ「ルベンツォーフ」氏ノ意見ニ依レハ現世紀ノ終末マテ國民ノ殆ント三分ノ一ハ此階級ニ屬スルモノナリト云ヘリ但シ「ルベンツォーフ」氏ノ此意見ハ如何ナル根據アルカ明カナラス

兩班ノ特權トシテ主要ナルモノハ兵役及課役ノ免除ニシテ千八百七十一年以前ハ人頭稅ヲ免セラレタリキ兩班ハ身體ヲ犯サル、コトナキノミナラス許可ナクシテ兩班ノ居所ニ入りタルモノハ犯罪ヲ以テ論セラル但婦人ハ身分ノ如何ニ依ラス何レノ家ニモ任意ニ出入スルノ自由ヲ有スルニヨリ兩班ノ家ニ於ケルモ此限ニアラス原告被告若クハ證人トシテ法廷ニ陳述スルトキ平民ハ跪座セサルヘカラサルモ兩班ハ立チナカラ之ヲ爲スノ權アリ兩班旅行ノ時旅舎ニ宿泊スルトキハ旅舎ハ之ニ最良ノ室ヲ供スルノ義務アリ兩班ノ通行ハ之ヲ觀ルコトヲ得ス之ト談スル能ハサルハ素ヨリナリ若シ兩班ノ質問ヲ受ケタルトキハ平

民ハ特別ノ敬語ヲ用ヒサルヘカラス兩班ノ面前ニ喫烟シ若クハ座スルコトハ平民ニハ嚴禁セラレ騎馬ノ平民兩班ノ邸宅ニ沿ヒテ行クトキ若クハ途上兩班ニ遭ヒタルトキハ下馬シテ徒步スルヲ要シ之ニ背クモノアルトキハ兩班ノ僕衆ハ其犯者ヲ毆打シ若クハ峻刻ナル詰問ヲ加ヘテ強制ス兩班外出スルトキハ必僕衆ヲ伴ヒ其員數ハ身分ニヨリ多少アリ僕衆中一人ハ主公乘馬ノ口綱ヲ乘リ其他ハ徒步ニテ後ニ從ヒ一行ノ行列ハ進行徐々タルヲ例トシ決シテ駈歩スルコトナシ兩班ハ外部ノ徽章トシテ冠ヲ戴ク

古來根着セル思想ニ依リ兩班ノ身分ヲ定ムル爲メニ唯一ノ要件ハ官職ノ外、村郷ノ領知ナリキ然レトモ兩班階級ニ屬スル人員非常ニ増加シタル結果ハ兩班ノ手ニアリシ領地ハ途ニ不足ヲ告クルニ至リ兩班中ニモ多ク領地ヲ有セサルモノヲ見ルニ至レリ斯ノ如キ事情ニ依リ官職ナルモノハ夥多ノ兩班ヲ給養スル唯一ノ方便トナリ兩班ハ之カ爲メ自衛上ノ必要ニ逼ラレ他階級ノ官吏候補者ヲ排除スルノ意向ヲ起シ來レリ然レトモ官職ハ限リアリ兩班ノミト雖トモ其全部ヲ満足セシムルコトハ到底不能ノコトニシテ其官職ヲ得サルモノハ屢々甚シキ貧苦ノ境遇ニ沈ミ貧極リテハ時ニ一晝夜食ヲ得ズ冬季ハ殆ント常ニ爐火ヲ有セス甚タシキハ必要ナル夜服モ無クシテ過シタル者アリ勿論是等ノ貧貴族ハ商業、農業若クハ其他ノ工藝ニ從事スレハ貧苦ヲ免カル、ヲ得ト雖トモ然レトモ彼等ハ習慣ノ然ラシムル所一旦是等ノ業務ニ從事スレハ其從事シタル時ヨリ官職ニ入ルノ權ヲ奪ハレ其ノ家族ハ皆兩班ノ特權ヲ失墜スルカ故ニ如何ナルコトアリトモ官職外ノ業務ヲ取ルコトナク寧ろ陋劣ナル生活及ヒ借錢生活ニ居リ巧計若クハ僥倖ニ因リテ幸運ヲ迎ヒ官職ヲ得テ以テ一時ニ貧境ヲ脱スルノ希望ヲ抱ク然レトモ斯ノ如キ希望ヲ達スルニハ時トシテ非常ノ長月日ヲ要スルコトアリテ多クハ十年乃至十五年ヲ經テ始メテ其ノ目的ヲ達スルニ過キサ

リキ殊ニ基督教徒出身ノ兩班ノ位置ハ甚タ望マシカラサル者ニテ彼等ハアラユル壓迫ヲ忍ビ且ツ法律ニヨリ官職ヲ奪ハル、カ故ニ多クハ糊口ニ窮シ貴族根性ヲ有シナカラ已ムヲ得ス農業、工作ノ産業ニ從事スルコトニ至レリ

前記ノ事情ニ依リ食客、官吏候補者ニシテ未タ地位ヲ得サルモノ及官位購買者カ時トシテハ二百人乃至三百人ニモ及フ群ヲ成シテ日夜、大臣及其他ノ顯官ノ應接所ニ充テ各自任命ヲ求ムルノ理由モ知ルヘキナリ此種ノ獵官連ヲ「ムン、ガク」ト呼フ是等ノ貧乏ナル乞食的人物ハ高位ニ在ル人物ノ弱點ヲ私用シ其利己心ヲ喜ハシ且ツ常ニアラユル詭計、迎合及巧佞等最モ卑劣ナル人ナラテハ爲シ得ヘカラサル陋態ヲ演シ之ヲ以テ大ナル成效ヲ得ルコトアリ又些少ナル成效ヲ得ルコトアリ京城及其附近ニハ是等ノ寄生物ハ特ニ過多ニシテ顯官ノ邸内ハ晝夜絶へ間ナク彼等ヲ以テ滿タサレ彼等ハ其家ノ食物ヲ食シ其家ノ烟草ヲ喫シ其家ノ酒ヲ飲ミ其家ノ爐床ニ眠リ其家ノ筆墨ヲ用ヒ其家ノ衣服ヲ着ケ既ニ之ヲ得タル後ハ主人ノ看視ナキヲ窺ヒ其家ノ金錢ニスラ及フコトアリ仕事トシテハ主人ノ爲ニ書翰ノ代筆ヲナスコト主人ニ文字ヲ讀ミ聞カスルコト其他二三ノ依托事項ヲ行フノ外何事ヲモ爲スコトナク朝夕ハ挨拶ノタメ主人ノ前ニ出ツルヲ例トス

然レトモ「ムン、ガク」モ亦必要上特ニ熱心ニ身ヲ委ネテ從事シ爲メニ巧妙ヲ得タル一ノ仕事アリ何ソヤ財布ヲ充タスノ方便タル強請是ナリ而シテ主人モ金錢ノ必要アリタルトキハ反テ之ヲ利用スルコトアリ「ムン、ガク」強請ヲ爲スノ方式ハ驚クヘク簡單ニシテ彼等ハ其助手ヲ伴ヒ晝間若クハ夜間ニ富裕ナル商業或ハ工業家ニ侵入シ其主人ヲ捕獲シテ顯官ノ家若クハ其他危險ナキ場所ニ引致シ從順ニシテ要求ヲ承

認スルモノハ遲滯ナク放免シ若シ要求セラル、額ヲ拂ハサルモノアルトキハ笞杖若クハ絶食ノ苦ヲ與ヘ之ヲ拂フマテハ其苦痛ヲ免レサラシム多少廉耻心アル兩班ハ此ノ如キ掠奪ヲ借用ノ名義ニ於テ行フト雖トモ之ヲ返濟シタルノ例ナキニヨリ一人トシテ之ニ信ヲ置クモノナシ兩班平民ヨリ土地家屋等ヲ買入レタルトキハ多クハ其代價ヲ拂フコトナク又物件ヲ借リタルトキモ多クハ之ヲ返スコトナキモ平民ハ一人トシテ決然之ニ抗スルモノナシ「ムン、ガク」ハ自己ノ發意ニヨリ若クハ抱主ノ依托ニヨリ反覆掠奪ヲ行フモノ多シト雖トモ兩班モ亦之ヲ利用スルカ故ニ犯人ハ罰ヲ免ル、コト多シ概シテ兩班ハ到ル處君公及命令者トシテ下民ニ臨ミ其下民ニ對シテハ法規ヲ守ラス放恣專横至ラサル處ナシ

韓國ノ風習トシテ兩班ノ職ヲ有スルモノハ兩親ヲ養フノミナラス其近親甚シキニ至リテハ踈屬ヲモ之ヲ扶養スルコトハ風俗ト云ハンヨリ寧ロ殆ント義務視セラレ之ヲ盡サ、ルモノハ非常ナル不快ヲ招カサルヘカラム之ニ由テ之ヲ觀レハ彼等カ其出費ニ窮シ賄賂ヲ收入シ且下民ニ對シ不正ノ徵收ヲ行フノ已ムヲ得サルハ驚クニ足ラサルナリ

「ウィルキンソン」氏曰ク兩班ハ韓國ノ社會ニ於ケル厄介物ニシテ商工民ハ皆之カタメニ働勞スト云フモ可ナリ故ニ兩班ハ羨マルヘキ榮譽ヲ有シ其威勢ノ隆々タル韓國ノ母タルモノヲシテ之ヲ舉ケテ其子ヲ畏レシムルニ至ルモ敢テ怪ムヘキニアラサルナリト

地方貴族 韓國ノ生活ヲ親シク目睹シタル外國宣教師等ハ韓國ニ下級ノ貴族アルコトヲ談シ彼等ハ之ヲ地方貴族ト稱ス此階級ハ數代ノ間同一ノ地方ニ在リテ韓國第二流ノ官職即チ秘書官若クハ助役(「ピョルガム」若クハ「ゾォア、シユー」)郡長若クハ道長ノ官ヲ奉職シタル家族ヨリ成立ス是等ノ兩班ニモ之ヲ平民

ニ比スレハ尙多少ノ特權附屬シ例セハ毛髮製ノ冠ヲ戴クノ權ヲ有シ平民之ト談ズルトキハ眞ノ兩班ニ對スルト等シク敬語ヲ用ヒサルヘカラサル等ノ如シ然レトモ其權勢ノ範圍ハ實際上甚ク廣カラスシテ其管外ニ出ツレハ殆ント何等ノ尊敬ヲモ享有スルコトナシ

中等民(チュン、イン)兩班ト平民トノ間ニ在ルヲ中等民即チ「チュンイン」(俗語ニテハ「チュン、サル」)ト云ヒ其數多カラス或記者ハ地方貴族ヲモ此階級ニ入レタルモノアリ中等民ノ階級ヲ組織スルモノハ數代ノ間政府若クハ宮廷ニ於テ翻譯官、天文職、星學家、醫師、畫師、法律家、記錄員、文庫係、數學家、漏刻官トシテ奉職シタルモノ、家族ニシテ是等ノ職務ハ世襲ノ法ニヨリ候補者タルヘキモノハ只官立實業學校ニ於テ其專務ニ屬スル科目ヲ修メ試験ニ及第スルノミニテ足レリ而シテ一旦右職務中其一ヲ撰ヒタルモノハ孰レモ轉科ヲ許サス此ノ如キ有様ニシテ中等民ノ階級ハ事實上專用ノ姿ヲ呈シ外部ヨリ之ニ入ルコトハ殆ント不能ノ事トナリ結婚ノ關係スラ之ヲ他ノ階級ニ及ホサス

世記ノ世襲職ハ家ニ嫡出子(庶子ハ下級民階ニ屬スルモノトシテ父ノ職務ヲ繼クノ權ヲ有セス)ナク且親族中ヨリ養子ヲ爲ササル場合ノ外之ヲ失フコトナシ

中等民ハ一般社會ノ尊敬ヲ受ケ兩班ト均シキ冠ヲ被リ兵役及課役ヲ免セラル、ノ特權ヲ有シ兩班ノ之ニ對スル待遇ハ殆ント同時トス此階級ヨリ出テ試験ニ及第シテ官吏タルノ資格ヲ有スルモノハ道廳ノ秘書官並ニ郡長港市長及縣知事ノ要職ニスラ任セラル、コト少カラス然レトモ之レ以上ノ官途ニ上ルノ途ハ事實上ニ於テ杜絶ス

平民(シャン、ノム) 法律ハ平民ニモ科擧ニ應シ其成績優良ナルモノニハ官吏ニ任セラル、ノ權ヲ與フト

雖トモ實際ニ於テ平民ハ學術材能俊秀ナル者ト雖トモ非常ナル奔走ヲ勉メ且久シク時間ヲ經過スルノ後ニアラサレハ官職ヲ得ルコト能ハス其官職モ郡州官衙ノ最下級ニ列スルノミニテ決シテ昇進セシメラルルコトナク高等官吏ハ平民ノ望ムヘカラサルコトト云フモ不可ナシ故ニ平民唯一ノ業務ハ四肢ノ勞ト商賣アルノミ斯ノ如クニシテ平民ハ兩班ヨリアラユル壓制ヲ受ケサルヘカラサルカ故ニ其地位タル眞ニ不愉快ナルモノナリ是レ韓國ニ於テハ法律ノ制裁薄弱ニシテ貴顯富豪其力ヲ頼ミテ法ヲ枉クルカ故ナリ故ニ平民ハ自衛上組合ノ必要ヲ感スルコト深ク隨テ協同一致ノ精神能ク發達シ團體及働勞組合甚タ多シ

勞働組合 團體及働勞組合ハ韓國ニ於ケル社會組織中卓出セルモノ、一ニシテ「ケー」ト稱ス「ケー」ハ孰レモ其原則ニ於テ兩々多少ノ類似ヲ表シ必要ニ際シ團員相互ニ物質的救助ヲ與フルハ其目的ノ一ニシテ團員ハ毎月一定ノ金額ヲ共同金庫ニ納メ各「ケー」ハ選舉シタル長ヲ有シ長ハ或ル場合ニ於テハ廣大ナル代表權ヲ有ス又「ケー」ノ大ナルモノハ官憲ノ保護スラ之ヲ利用シテ種々ノ特權ヲ享有スルモノアリ

勞働組合ハ利害關係ノ共通ナル種々ノ小團體ノ集合ニシテ職業ノ同一ヲ要素トスルモノ最モ多ク韓國ニ於テハ同一ノ方法ヲ以テ生活スル人民ハ皆一定ノ規則及ヒ長ノ下ニ特殊ノ組合ヲ組織スルモノナリト斷言スルコトヲ得而シテ其組合中ニハ或程度マテ歐洲ノ職工組合若クハ商業組合ニ類似シタル者アリ即チ石工組合アリ大工組合アリ指物師組合アリ樞匠組合アリ屋根師組合アリ擔夫組合アリ馬夫組合アリテ是等ハ商業組合(商業ノ部ニ記載セラル)ト同シク主トシテ市街地ニ存立シ有力ナル組織ヲ有シ政府ヲシテ其職業ニ於ケル專業權ヲ認メシム組合ニ入ラサルモノハ其利害關係ヲ有スル組合ニ於テ官憲ノ公許若クハ默許ヲ得テ之ヲ掃攘スルカ故ニ事實上營業ヲ爲スコトヲ得ス組合ハ特許料トシテ巨額ノ金ヲ共同金庫

ヨリ政府ニ上納ス

組合中專業權ヲ有セスシテ只相互ニ物質的救助ヲ與ヘ職業ヲ授クルノ目的ヲ有スルモノアリ此種ノ組合ハ職工タルト否トヲ問ハスシテ其加入ヲ許シ少額ノ組合費ヲ負擔スルコト組合規則ヲ遵守スルコトヲ以テ組合員ノ義務トス

生産組合中最モ注目スヘキ價值ヲ有スルモノハ行商組合及旅宿組合ニシテ中ニモ行商組合ハ有力ニシテ且ツ他ノ組合ニ比スレハ一層良好ナル組織ヲ有シ内地ノ商業ノ要部ハ其組合ノ手ニ集注スルヲ以テ非常ナル勢力ヲ有シ其總員、數萬人ト稱シ多クハ鰥夫若クハ貧ニシテ結婚スル能ハサル男子之ニ從事シ其之ニ從事スルモノハ有妻者ト雖トモ其家族ヲ舉ケテ商貨ノ運搬ヲ助ケシメ始終之ヲ伴ヒテ旅行スルカ故ニ殆ント凡テ一定ノ住所ヲ有スルモノナシ行商組合員ハ種々ノ暗號ヲ用ヒテ談話ス行商組合ノ組織ハ規則的ニシテ之ヲ小組合ニ區分シ其小組合ハ數郡及數州ヲ以テ其區域トシ各々組合長ヲ置ク組合長ハ無限ノ權力ヲ有シ組合員ノ過失ヲ罰シ犯罪行為ノ重キモノハ死刑ニスラ處スルノ權アリ組合員ハ其言フ所ニ依レハ訴訟事件ヲ政府ノ裁判ニ提出スルコトナク政府ノ裁判所トハ無關係ナリ組合員ハ廉潔正直ヲ以テ著ハレ彼等ノ手ヲ經テ送達セラル、商品及小包等ハ如何ニ偏僻ノ地ニ差向ケラル、モ其指定地ニ完全ニ到着ス彼等ハ官吏ノ強制的行為ニ遭フトキハ自己ノ勢力ト商業上ニ有スル影響トヲ自覺シツ、全員市街地及郡部ヨリ去ル其商業上ニ非常ナル損害ヲ與フルハ知ルヘキナリ故ニ官吏ニハ結局ト示談スルノ必要ヲ來シ其示談ノ結果モ組合員ノ要求ニ從フノ外施スヘキ方法ナクシテ終ルコト多シ行商組合ノ勢力ハ近來著大ニナリ千八百九十八年ノ末、獨立俱樂部制御ノタメ韓國々王ノ命ニヨリ京城ニ召集セラレタル以

來ハ特ニ然リトス(召集ノ事ハ歴史ノ部ニ記載セラル)

韓民ハ概シテ負擔力強ク且健脚ニシテ容易ニ重キヲ遠キニ運フニ適シ二三封(封ハ約日本ノ四貫四百目)時ニハ之レ以上ヲ負擔運搬スルコトアリ

備考 韓語ニ於テ運搬法ノ言ヒ顯ハシ方種々アリ例令ハ背ニ於テスルヲ「ウジール」ト云ヒ手ニ於テスルヲ「アヌール」ト云ヒ頭ニ於テスルヲ「ニール」ト云ヒ肩ニ於テスルヲ「メール」ト云フカ如シ(「ルベンツォーフ」氏記述第百七十二頁)人力ノ負擔量ハ牛馬ノ半分ト算定セラル

旅宿組合 旅宿組合ハ旅行者ノ爲ニ大關係ヲ有スルモノニテ韓國ノ貨幣ハ容量重量共ニ大ニシテ携帶ニ不便ナルカ故ニ此組合ハ旅行者ノタメニ一金ヲ携ヘスシテ旅行ヲ爲スノ便ヲ與フ即チ旅行者ハ出立地ノ組合ニ金ヲ供托シ其受取證ヲ携帶シ宿泊若クハ休憩シタル旅舎ニ其證書ヲ示シ旅舎ハ其受取ルヘキ金額ヲ之ニ記入ス此ノ如クニシテ旅行者ハ轉進シ以テ目的地ニ達シ若シ剩餘アラハ其地ノ組合ヨリ證書ト引換ヘ現金ノ拂戻ヲ受ク

協同一致ノ精神ハ主トシテ多數ハ農耕ニ從事シ一部ハ牧畜漁業及狩獵等ニ從事スル村民ノ間ニモ亦甚タ強クシテ各村ハ組合ヲ有シ組合ハ組合員ニ對シ廣大ナル權力ヲ有ス此組合ノ要素ハ職業ノ同一ニアラスシテ同族關係ノ上ニ組織セラル如何トナレハ各村ノ住民ハ他村ヨリ入りタル妻女ヲ除クノ外通例ハ皆同族ナレハナリ各村ハ金庫ヲ有シ組合員ハ總テ一定ノ金額ヲ之レニ納入スルノ義務ヲ有シ其金員ハ之ヲ以テ地所ヲ買入レ若クハ利息ヲ約シテ貸付ケ其收入ハ之ヲ以テ組合ノ費用即チ租税ノ上納、結婚葬祭等ノ儀式ニ要スル費用及其他臨時緊急ノ費用ニ充ツルモノトス

韓國ニハ民間ニ於テ種々ノ儀式甚タ多ク時トシテ頗ル多額ノ費用ヲ要スルモノアリ故ニ前ニ記シタル組合ノ外其負擔ヲ容易ニ遂行スルノ目的ヲ以テ組織シタル組合アリ儀式中主要ナルモノハ葬式及結婚ニシテ必要ノ場合ニ組合員相互ニ物質的ノ補助ヲ與フル目的物トシテ重大ナルモノナリ組合員ノ家族ニ死亡者ヲ生スルトキハ「イオン、パン、ゲー」ハ組合員ニ命シ提燈ヲ齎シ且葬式ニ必要ナル物件ヲ供給セシム「シャン、ポー、ゲー」ハ組合員ノ家族ノ葬式ニ要スル一切ノ費用ヲ支出ス「プー、チョー、ゲー」ハ組合員ノ結婚若クハ元服式(元服式ハ男子成年ニ達シタルトキ之ヲ行フ)ニ要スル費用ヲ補填シ「ホン、シャン、ゲー」ハ葬式及結婚ノ儀式ヲ助ク「セー、チョン、ゲー」ハ組合員ニ新年式ノ費用ヲ供給スルヲ目的トス「バク、ハーゲー」ハ冬期ニ對スル食料ノ準備ヲ補助スルモノニテ其食料ハ主トシテ菌蕈及鹽藏蟹ヨリ成立ス最後ノ二組合ハ其積金ヲ貸付ケ利子ハ毎年新年前ニ一回之ヲ組合員ニ配當ス又「コア、ゲー」ハ學位ヲ有スルモノヨリ成立スル組合ニシテ其積金ノ利子ハ應試ノタメ京城ニ出發スル費用ニ充テラル韓人ハ天然ノ風景ヲ嗜好スルノ傾キアリテ之カタメ屢々前ニ列記シタル原則ニ基キ「ホア、リユー、ゲー」ト稱スル組合ヲ組織シ其積金ハ内地ノ風光美麗ナル處ヲ季春ニ巡遊スルノ資ニ充ツ射術ノ嗜好者ハ「シャ、ゲー」ヲ組織シ其積金ハ斯道ノ名手ヲ招聘スルノ資ニ供ス

終リニ臨ミ「ケー」ノ一種ニ付キテ記述スルノ要アリ此「ケー」ハ韓民自身之ヲ支配シ政府嚴重ニ之ニ干涉ス此「ケー」ハ富籤ニ類似スル遊戲ノ目的ヲ以テ組織セラレタルモノニテ其主ナルモノハ加入者ノ數ヲ制限シ唯、一勝負ヲ有スル「ツアク、バク、ケー」百勝負ヲ有スル「バク、イオン、ゲー」及千勝負ヲ有スル「チヨン、イオン、ゲー」アリ韓人ノ言ニ依レハ一種ノ「ケー」外國式ニヨリテ設ケラレタルモノアリ是即「マン、

イン、ゲー」ニシテ其牌子ハ自由ニ販賣セラル

備考 「バク、イン、ゲー」加入者ノ名ハ胡桃大ノ圓球ニ記サレ「ウルン」トシテ瓜類ノ殻ヲ用ユ

賭博中「サン、トン、ゲー」ノミハ公許セラレ此組合ニ屬スル者ハ二週間ニ一回之レヲ行フ然シテ一回勝利ヲ得タル者ハ其他ノ組合員、各自、勝ヲ得ルマテハ富籤ニ加入スルノ權ヲ失フ組合員ハ組合長ニ定期ノ納金ヲナス

韓國ニ於テハ下級ノ民間ニ於ケル協同一致ノ精神、廣ク發達シタルカ故ニ平民中ニテモ特ニ商人及職人ハ一定ノ程度マデ生活ノ狀態ヲ改良シ兩班ノ專横ヲ防キ又幾分内地ニ於テ勢力ヲ發揮シ時トシテハ官憲スラ而眞目ニ之ト爭フヲ要スルコトアリ是レ平民生活上ノ良方面ナリトス然レトモ何等カノ理由アリテ組合ノ外ニ立ツ所ノ商人及職人ハ管ニ兩班ノ壓制ヲ受クルノミナラス組合ハ勢力著大ニシテ殆ント凡テノ産業ヲ專有シ官憲ノ許可ヲ得テ組合規則違反者ヲ用捨ナク追窮スルカ故ニ此方面ヨリモ亦迫害ヲ被ラサルヘカラス斯ノ如キ事情ハ是レ平民生活上ノ不良ナル方面ニシテ勢ヒ商業及其他ノ産業上ニ不況ヲ與ヘサルヲ得サルナリ

韓國竝ニ清國ニ於テ平民ノ中ニ社會一般ノ蔑視ヲ受ケ科擧ニ應スルノ權利ヲ褫カレタル一ノ階級近來マテ存在シタリ之ヲ俳優、屠牛業者及脚夫トス又特ニ韓國ニハ屠牛業者多ク之ニ對スル社會ノ輕侮心ハ最初佛教ノ影響ニ依リテ增長シタリ聞ク所ニヨレハ佛教ハ靈魂ノ輪廻ヲ信シ如何ナルコトアリトモ殺生ヲ爲スヲ禁シタリ牛畜ハ韓民ノ經濟上少カラサル利益ヲ與フルニヨリ殺生禁正ノ宗教的信念ノ今日マテ保續セラレタルコトハ道理上然ルヘキコトニテ實際ニ於テ牛畜ハ耕作上大ナル助力ヲ與ヘ且ツ韓國ニテハ

道路缺乏ノタメ此獸ノ強大ナル力ヲ利用シテ貨物ヲ運搬ス是故ニ既ニ遠キ昔ヨリ政府ノ許可ヲ得スシテ之ヲ屠殺スルコトヲ禁シタリシナリ屠牛業者ハ他ノ階級ト隔絶スル一階級ヲ成シ社會ハ動モスレハ之ヲ奴隸以下ニ置カントシタリ彼等ノ生業ハ甚々賤マレ其住所ノ如キモ村落内ニ存在スルヲ許サスシテ之ヲ若干距里ノ地ニ退ケ唯彼等ノ内ヨリ死刑ノ下手人ヲ選ヒタルノミ是等ノ人民ハ印度最下級民ノ一種ト見エ婚姻モ其種族内ニ於テス家畜ノ屠殺ハ全國屠牛業者ノ外之ヲ爲サス若シ普通ノ人民ニシテ此業ニ從事スルトキハ組合ノ放逐ヲ受クルノミナラス又其家族ノ擯斥ヲ免レス故ニ普通人ニシテ此階級ニ入ルモノハ極貧ニシテ之ヲ爲サ、レハ飢餓ヲ免ル、ノ途ナキモノニ限ルコトニテ此ノ如キ場合モ勿論全ク之ナキニアラサリキ

備考 俳優屠牛者及脚夫ノ權利制限ハ千八百九十四年七月議政府令ヲ以テ解カル

茲ニ甚々奇ナルハ韓國民ハ屠牛者及ヒ剝皮業者ヲ蔑視シナカラ肉販賣者ヲ擯斥セサルコトニシテ肉販賣者ハ管ニ之ヲ擯斥セサルノミナラス同階級中ニ於テハ反テ尊敬ヲ博シ且ツ肉販賣者ハ大抵富有ナル者ニテ甚々シキ高價ヲ拂ヒテ官憲ヨリ專賣權ヲ取得シ他人ハ此業ヲ營ムヲ得サルノミナラス屠牛ノ許可ヲモ受クルヲ得ス若シ之ヲ犯シタルモノハ罰金トシテ平均ノ體量ヲ有スル牛一頭ニ値スル金額ヲ拂ハサルヘカラス

奴隸 奴隸ハ韓國ニ屢々起リタル戰爭ノ結果トシテ歴史的ニ生シタル一種ノ階級ニシテ法律ニヨリテ世襲ト爲シタルタメ多數ノ世襲奴隸ヲ生シ世襲奴隸近來マテ存在シタリ又自由民モ犯罪行爲ニヨリ裁判ノ宣告ニヨリ犯罪者自身若クハ其親族ノ奴隸トナルモノアリ又個人的隨意契約ニ依リ若クハ父母ニ賣ラ

レテ奴隷トナル者モアリテ世襲奴隷ト一時的奴隷トハ其間常ニ嚴重ナル差違ヲ存シ世襲奴隷ノ子女ハ常ニ奴隷トナリ主人ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ絶對的ニ其自由ヲ回贖スルヲ得サルモ一時的奴隷ノ子女ハ多クノ場合ニ於テ解放セラレ其奴隷自身モ犯罪ニヨリ奴隷ト爲リタル者ヲ除クノ外ハ主人ノ意ニ反ストモ一定ノ金額ヲ納メテ自由ノ身トナルコトヲ得ルナリ

世襲奴隷(チヨン、イー)ハ常ニ全ク主人ノ專有物ト看做サレ主人ハ之ヲ賣買シ貸與シ贈與シ其他凡テ隨意ニ之ヲ處分スルコトヲ得且ツ奴隷ニ對シ生殺ノ權ヲモ有ス然レトモ生殺權ハ官憲ニ屆ケ出テタルノ後ニ非ツレハ之ヲ行ハス又之ヲ行フコトモ甚タ稀ナリ奴隷ハ法律ニ依レハ所有權ヲモ有セス故ニ其結果トシテ奴隷ノ財産ハ主人ノ有ト看做サレ奴隷ノ子女モ又主人ノ有ニシテ兩親ハ之ニ對シテ處分權ヲ有セス世襲奴隷ヲ分チテ國奴(宮廷ニ屬スル奴隷ヲモ含ム)及一私人ノ奴隷トス國奴及宮廷ニ屬スル奴隷ノ位置ハ半佳ニシテ能ク言ヘハ寧ロ良好ナリト稱スルヲ得ヘシ如何トナレハ彼等ハ高等官憲ノ保護ヲ受ケ之カ爲メ貴族及小官ノ壓制ヲ忍フノ危険ナケレハナリ是等ノ奴隷ハ其地位ニ満足シ監督甚タ薄弱ニシテ逃ケント欲セハ容易ニ逃ケ得ヘキ狀況ニアリナカラ其逃亡スル者ハ甚タ少シ「オッパート」氏ノ言ニヨレハ國奴及宮廷ニ屬スル奴隷ハ一般ノ人民ト部落ヲ異ニシテ住居シ官地若クハ御料地ヲ耕シ御料地ヲ耕スモノハ官地ヲ耕スモノヨリモ多ク何レモ毎年國庫若クハ宮廷ニ收獲中一定ノ分量ヲ納ムルノ義務ヲ有ス奴隷ノ村落ニ郵便驛設置セラル、トキハ其郵便驛ノ維持竝ニ郵便物ノ配達ハ奴隷ノ職分ニ歸シ其代リニ租稅ヲ免セラル

一私人ニ屬スル奴隷ハ一般ノ自由民ニ於テモ之ヲ使用スルコトヲ得現ニ之ヲ使用シタルモノモ有リト雖

トモ主トシテ貴顯兩班ノ家ニ於テ見受ケラル是等ノ奴隷ハ其主人ニ十分ナル逸樂ヲ與ヘ最モ苦痛ノ境界ニアルモノト云フヲ得ヘク彼等ハ主人ノ地ヲ耕シ若クハ直接ニ主人ニ使役セラレ主人ハ收獲ノ全部ヲ自己ノ利益トセンコトヲ要求スルカ故ニ是等ノ奴隷ノ狀態ハ之ヲ國奴及宮廷ニ屬スル奴隷ニ比較スレハ甚劣惡ナリ斯ノ如キ利益ナキ地位ニアリナカラ一私人ニ屬スル奴隷ハ猶自由回贖ノタメ地主ニ漸次拂ヒ戻スニ足ルヘキ金錢ヲ貯蓄シ能フ者多ク回贖金額ハ「ボッヂョ」氏ノ言ニ依レハ銀二百二十留ヲ超エヌ又時トシテ主人ハ其ノ奴隷ニ耕地ヲ與ヘ之レニ對シテ唯若干ノ小作料ヲ納メシムルモノアリ奴隷タル男子成年ニ達シタル者ニハ一定ノ小作料ヲ必ス納ムルノ條件ニヨリ主人ハ故障ナク土地ヲ貸與スルヲ常例トス是ニ由リテ此奴隷ノ大部分ハ全ク解放セラレ、カ故ニ韓國ニ於ル奴隷男子ノ數ハ常ニ夥多ナラス未婚女子ハ最初ハ主人ノ家ニ住シ婚嫁後ハ家ヲ異ニシテ置カル、ヲ常例トス又奴隷ニハ其希望ニ依リテモ結婚スルコトヲ許サレ奴隷ニシテ自由民ノ女子ト結婚シタルモノスラ少カラス奴隷ト自由民トノ婚姻ニヨリテ出生シタル子女ハ自由民ト看做ス之ト同シク一方ヨリハ自由民モ亦奴隷タル女子ト結婚スルコトヲ得此場合ニ於テハ其自由民ヲ「ビー、ボクト」ト呼フ此婚姻ニヨリテ出生シタル男子ハ自由民トナリ女子ハ主人ノ專有物トナル一私人ニ屬スル奴隷女子ハ主人ニ於テ男子ヨリモ之ヲ貴重セリ其理由ハ第一女子ハ經濟上ニ利益アリ且ツ内政上ニ必要ナルコト第二女子ハ婚嫁後モ主人ヲ去ラスシテ其子女ハ前ニ記載シタル例外ヲ除クノ外皆主人ノ專有物トナルコト是ナリ

地主ハ奴隷ニ對シ生殺ノ權ヲ有ストハ雖トモ加特力教宣教師ノ證言ニヨレハ地主ハ多クノ奴隷ニ對シ極メテ慈悲的待遇ヲナシ概シテ雇人ト比シテ其待遇惡カラス若シ殘酷ノ取扱ヲナシタル場合ニハ裁判上ノ

責任ヲ負フ奴隸ニ惡食ヲ與フルコトモ亦甚タ少ナク體力ニ相當セサル勞働ヲ課スルコトハ韓人ノ性質トシテ全ク之ヲ爲サス一般ノ評ニヨレハ奴隸ノ狀態ハ頗ル其所ヲ得タルモノニテ平民モ唯貪婪ナル官吏ノ追求ヲ免カル、目的ヲ以テ貴族ニ屬スル奴隸ノ女子ト結婚シ自ラ貴族ノ奴隸トナリタルモノアリ而シテ多クノ奴隸ハ衷心主家ニ戀着シ慘酷ナル主人ノ家ニスラ善意ヲ以テ留リタル例多クアリ

韓國ニ於テハ奴隸ノ賣買ハ概シテ稀ニシテ之ヲ公賣スルカ如キハ皆無ナリ其賣買ニ係ル者ハ多クハ年少女子ニシテ一人ノ價、時トシテ銀貨一萬五千「ヤン」ニ達スルコトアリ

世襲奴隸ハ容易ニ解放セラル、カ故ニ漸次其數ヲ減シ第十九世紀ノ後半期僻遠地方ニ於テハ奴隸漸ク消滅シ始メ中ニ就キ北韓ハ露清ニ境ヲ接スルカ故ニ此地方ニ在ル奴隸ハ多ク露清領内ニ移住シ殘ル所甚タ僅少ナルニ至レリ中央韓國ニ於テモ近來ハ唯兩班中ノ名族ニ奴隸ヲ養フモノアルノミ

自由民ヨリ奴隸トナリタルモノ、多數ハ自身若クハ其親屬ノ犯罪行爲ニ對スル裁判ノ宣告ニ因ルモノニテ之ヲ「コアン、ギー」ト稱ス「コアン、ギー」ハ殆ント皆女子ニシテ國事犯及ヒ其他重大ナル犯罪行爲ヲ爲シタルモノ、妻、子及ヒ其他ノ親族若クハ有夫姦、竊盜稀ニハ殺人犯或ハ大官ニ對スル侮辱ニ因リ告發セラレテ有罪ノ宣告ヲ受ケタル女子ナリ此ノ種ノ奴隸ニ男子少ナキハ男子ノ犯罪者ハ多クハ死刑又ハ徒刑ニ處セラレ其親族中男子ニシテ死刑又ハ徒刑ニ處セラレサルモノハ其刑尙ホ奴隸タルニ及ハサルカ故ナリ女性「コアン、ギー」ハ「ギー、サン」即チ歌妓ト呼ハレテ國奴ニ屬シ一私人ニ屬スル奴隸ニ入ラス皆官衙ニ於テ苛酷ナル勞役ニ服ス是レ奴隸ノ最モ悲惨ナルモノナリ如何トナレハ「コアン、ギー」ハ管ニ高級官吏ノミナラス下級官吏ノ暴虐ト專横トヲ忍ビ官吏ノ賓客及家僕ニ對シテスラ其情欲ノ犠牲トナフサルヘ

カラサレハナリ「コアン、ギー」ヨリ生レタル男子ハ自由民トナリ女子モ「コアン、ギー」カ特殊ノ重刑ニ處セラレタル場合ヲ除クノ外ハ自由民トナル「コアン、ギー」ハ賣買セラル、コトヲ得ス但シ「コアン、ギー」ヨリ生レタル女子ニシテ奴隸トナリタルモノハ時トシテ賣ラル、コトアリ

韓國ハ最近改革ノ時期ニ於テ女性奴隸即「コアン、ギー」ヲ日本ニ於ケル青樓ノ風ニ改ムル豫定ナリシト雖トモ未タ其實行如何ナル程度マテ運ヒシカヲ知ラス

韓民中自望ミテ奴隸トナルモノハ勿論甚タ稀ニシテソレモ窮乏ノ極度ニ陥リ自救ノ途無キモノニ限り已ムヲ得スシテ之ヲ爲スノミ此種ノ奴隸ハ之ヲ「ツァー、マー」ト稱シ亦殆ト專ラ女子ニシテ京城ニ最モ多シ「ツァー、マー」ノ境遇ハ世襲奴隸ニ酷似スルモ隨意ノ時ニ回贖スルノ權アリテ數年ノ後自由トナルヲ通例トシ其回贖ハ男子ニ受ケ出サル、場合ヲ尤モ多シトス「ツァー、マー」ノ子女ハ主人ニ於テ一時其母ノ助手トシテ之ヲ使役スルヲ得サルニアラスト雖トモ之ヲ以テ奴隸ト爲スコトヲ得ス

韓國ニ於テハ貧困ノタメ其子女(殆ト專ラ女子)ヲ賣リ或ハ之ヲ「ツァー、マー」ノ性質ニ於テ人ニ與フルコト少カラス此ノ如キ境遇ヲ取リタル女子ニシテ宮廷ニ入ルハ尙ホ不幸中ノ幸タリ宮廷ノ女性奴隸ハ之ヲ「ナー、イン」ト稱シ以前ハ其員數夥クシテ數千人ニ達シタリト雖トモ近來ハ著シク減少シタリ「ナー、イン」ハ尙幼齡ノ時ヨリ宮中ニ入りテ此ニ養ハレ一般奴隸ノ如ク賣ラル、ニアラスシテ兩親承諾ノ上之ヲ引渡シ兩親ハ之ヲ以テ榮譽トス「ナー、イン」ハ隨意ノ時解カル、ヲ得ト雖モ一度解カレタルモノハ再ヒ宮廷ニ入ルコトヲ得ス又幼時ニ於テハ父母ノ許ニ若干ノ期間歸省ヲ許サル、コトアリ王妃行啓ノ時ハ若干ノ「ナー、イン」之ニ隨行シ各一定ノ職務ヲ帶ヒ膳部、裝室、裁縫、刺繡等ニ從事ス「ナー、イン」ハ在宮中

結婚スルコトヲ得ヌ又「ナリ、イン」ノ中ヨリ選ハレテ王妾トナルモアリ東宮附トナルモアリ此ノ如ク宮廷ニ於テハ女性ノ奴隸アルノミニシテ未曾テ男性ノ奴隸ヲ養ヒタルコトナシ
宣教師等ノ傳フルニ所ヨレハ韓國ニ於テハ薄命兒ノ他人ニ養ハレテ奴隸ノ状態ニ入ルモノアリ但此種ノ奴隸ハ一代限リニシテ其子女ニ及フコトナシト云フ

前記社會ノ階級ト關係ナク韓國ニハ姓ナルモノアリテ姓ハ男系ニ出ル親族ヲ包括シ一家族ノ如キ状態ヲ示シ其親族ハ皆姓ヲ同クシ名ノミヲ異ニシ同姓間ノ婚姻ハ之ヲ禁ス

備考 「ボッヂョ」氏ハ韓國ニ於テ同姓ノ者ト雖モ土地ヲ異ニスルモノハ之ヲ同姓ト見做サスシテ其間ニ結婚ヲ許スト云フト雖モ「コーラン」氏ノ説ニ依レハ是レ十五世紀以前ノ習慣ニシテ現朝治世後ハ同族ノ結婚一般ニ禁止セラルト云フ

韓國ニ存在スル姓ハ百五十ニシテ其内百ハ固有ノ韓人、五十ハ支那人ナリ歴史的關係ニヨレハ日本人ノ姓モ存在スヘキ筈ナレトモ未タ之ヲ發見セス姓ハ六綴七綴ノモノ稀ニ例外トシテ存スルモノ一綴ナルモノヲ以テ通例トス

姓ハ多クハ遠キ由來ヲ有スルモノニテ現今存在スル王氏ハ第九世紀ヨリ第十四世紀ノ終マテ韓國ニ君臨シタル高麗朝ノ由テ出テタル族ナリ最近ノ二世紀ニ於テ著名ナル姓ハ左ノ如シ

姓 出生地

- 一、李(現王家) 全州
- 二、ツォエー 全州

三、閔 イヨ、フィン

四、ツォー 咸陽

五、金 コアン、サン

六、バク 密陽

七、ソ一 ターリ、シヨン

八、ユン プハー、ピヨン

九、チョン イヨ、イル

韓國現今ノ姓ヲ數ノ多少ニヨリテ列舉スレハ李、金、バク、ツォエー、アン、チョン(以下之ヲ略ス)

右ニ列記シタルモノ、中現今尤モ隆盛ナルハ先后ノ出テタル閔氏ニシテ閔后死後ニ於テスラ一千以上ノ要官一門ノ手ニ在リ

姓ノ出所ニ關シ種々ノ傳説ヲ有スルモノアリテ是等ハ其祖先ヲ殆ト神ナリト爲ス其一例ヲ舉クレハ金氏ハ現王ノ前三王ノ間政權ヲ執リタル家ナルカ之ニ就キ次ノ如キ物語アリ曰ク南韓ニ君臨セシ朝廷ノ或ル王會テ散步ノ時珍禽ヲ見之ヲ追ヒテ深林ニ到リシニ小川ノ岸ニ一函アリ扈從者ヲシテ之ヲ宮廷ニ持歸ラシメ之ヲ開キタルニ中ニ黄金ノ卵アリ其後此卵ヨリ美麗ナル男子生レテ王及王妃ヲ驚カシメタリ其男子曰ク余ハ山靈ノ子ナリト即チ之ヲ金ト名ク是レ金氏ノ祖先ナリト

韓人ハ概シテ姓ヲ重ンシ同姓中ノ舊家ニ系譜ヲ備ヘ之ニ姓ノ起源、出生地、祖先、祖先ノ職業、祖先ノ平民タリシ時期、最近祖先ノ民階等ヲ記入シ同姓ニ屬スル者ハ其地位ノ如何ニ拘ハラヌ相互ニ扶助シ保護ヲ

與フルヲ常トシ其協力ノ堅固ナル政府ニスラ對抗スルコトアリ政府モ亦同姓ノ協同力及輪番扶助主義ノ甚タ強大ナルヲ認メ租稅滯納者アルトキハ其滯納者ノ同姓ヲシテ上納セシムル場合少カラス而シテ此場合ニ於テハ其同姓者ノ滯納者ニ對スル關係ニ眞ニ疎屬ト云フニ止リ互ニ一面識ヲ有セサルモノト雖トモ問フ所ナシ此ノ如キハ官民間ノ關係ニ於テノミナラス私人間ノ貸借モ亦此筆法ヲ以テ處分セラル而シテ韓人ハ之ヲ以テ自然ノ理ニ適ヒタル公平ナル方法ナリト爲ス

同姓互助ノ方法ハ利益ノ點アリト雖トモ其反而ニハ亦弊害ヲ包ミ無賴ノ徒勤勞者ノ財產ヲ傷害スルノ結果ヲ生ス即チ韓國ノ習慣トシテ同姓互ニ法廷ニ爭フハ耻辱ナリトナスカ故ニ之ニ乘シテ同姓ノ財產ヲ傷害スル惡徒出現ス其防禦方法トシテハ唯自衛ノ途アルノミ此故ニ同姓中ノ舊家族長トナリ品行不正ノ徒アルトキハ之ニ峻酷ナル體刑ヲ課スルノ規定ヲ設ケ之ヲ實行スル場合少カラス

前ニ記述シタル同姓及其相互扶助義務ニ關スル習慣ハ父ノ親族ノミニシテ母ノ親族ハ二等親ノ者マテヲ同姓視シ之ヲ過レハ親族關係消滅シテ服忌スラ之ヲ行ハス

備考 血族婚姻ノ禁止ニ關スル事項ハ「ボッチョー」氏記述第五百五十五頁ニ見ユ又「ルベンツォーフ」氏記述第七十五頁ノ記載ニ依レハ韓人ハ父ノ系統ニ屬スル親族間ニ於テハ其親族關係甚タ遠キモノト雖トモ相互ニ婚姻ヲ結フヲ禁スルノミナラス母系ニ屬スル親族及乳母ニ屬スル親族ヲモ之ヲ顧慮シ母系ニ屬スル親族ハ四等親乳母ニ屬スル親族ハ三等親以下ニアラサレハ之ト婚姻ヲ結フコトヲ得ス韓人ハ乳母ノ喪ヲ二ヶ月ト定ム以テ如何ニ之ヲ尊重スルカヲ知ルヘシ

地方自治制度

最近十年ノ改革ニ於テモ郡内ノ小區分ハ猶ホ保存セラレ其自治團體ヲ平安道ニ於テハ「バン」ト稱シ咸鏡道ニ於テハ「シヤ」ト稱シ其他ノ各道ニ於テハ「シヨン」ト稱ス又是等ノ自治團體ハ以前ハ更ニ之レヲ小分シテ里、村及ヒ洞ト爲シタリシカ今ハ唯里ヲ存スルノミ此ノ如ク下級行政區畫ヲ改正シテ簡單ナル制度ヲ布キタルト同時ニ吏員ノ名稱定員モ亦從テ改革セラレ現今ハ里ニ左ノ吏員ヲ置ク

- (一) 尊位(村長) 此職ハ毎年一月村民ノ戶主タルモノニ於テ其村内ニ住居スル三十年以上ノ男子ヲ選舉スルモノニテ任期ハ一年トシ名譽職ニシテ直講ノ監督ヲ受ク
- (二) 書記 此職ハ尊位ト同一ノ例ニ依リ選舉セラレ尊位ノ監督ノ下ニ戶籍及ヒ經費支出ノ事務ヲ掌ル
- (三) 頭民 此職ハ村ノ戶主ニ於テ之ヲ撰擧シ必要アル時ニ尊位ノ代理ヲ爲スモノトス
- (四) 下有司 尊位ト同時ニ一年ノ任期ヲ以テ撰ハル此職ハ他ノ職員ト異ナリ給料ヲ受ク「バン」、社、及面ニ於テハ左ノ被選吏員アリ

(一) チーガン(二) 書記(三) 下有司(四) ミョン、チューニシテミョン、チューハ職責ヲ忘リタルトキ郡守ノ許可ヲ經テ免黜セララル、ノ外其職ヲ失フコトナク俸給ヲ受ケ郡廳里間ノ公文書ヲ送達ス
右ニ列記セル吏員ノ選舉權及ヒ被選舉權ハ刑ヲ受ケタルモノ及ヒ租稅未納ノタメ罰金ヲ受ケタルモノハ之ヲ有セス公職選舉ニ關スル權利ハ貴族平民共ニ同一ナリトス

前記ノ自治團體ハ地方行政機關ノ最下級ナルモノニテ其職トスル所ハ戶籍簿及ヒ所得簿調製ノ事項ニシ

テ是等ノ名簿ノ謄本ハ郡守之ヲ保管ス戸籍簿ニハ其村内ニ住スル者ハ平民官吏ノ別ナク凡テ之ヲ編入シ
出生死亡ヲ登録ス所得調査簿ニハ所得ノ高ニ依リ人民ヲ五等ニ分チ地所家屋竝ニ職業ヨリ得タル收入ヲ
登録ス

尊位ハ又管内人民ノ紛議ニシテ事、重大ナラサルモノハ之ヲ調停スルノ責ヲ有ス

一村ノ共同事業ハ各戸ニ勞働ニ堪ユル男子ノ數ニ應シテ之ヲ分課ス斯ノ如ニシテ共同事業ノ全郷ニ關ス
ルモノナルトキハ各村ノ戸數ニ應シテ之ヲ賦課シ又郡全體ニ關スル事業ハ各郷ニ村數ニ應シテ負擔セシ
ム此ノ如キ事業ノ負擔ヲ均等ナラシメ又是等ノ事業ニ關スル問題ヲ議定スルタメ三箇ノ地方議事機關即
チ村會、郷會、及ヒ郡會ノ設立アリ

村會ハ尊位(議長トナル)及ヒ各戸ヨリ一人宛出シタル代表者ヲ以テ成立ス村ノ戸數三十以内ナルトキハ
其村ハ村民ノ希望ニヨリ隣村ノ一ツニ議會ヲ聯合スルコトヲ得、郷會ハ郷長(議長トシテ)各尊位及ヒ各
村ヨリ二人ヲ超エサル定員ニ於テ撰出シタル議員ヨリ成立シ郡會ハ郡守(議長トシテ)各郷長及各郷ヨリ
二人ヲ超エサル定員ニ於テ撰出シタル代表者ヲ以テ成立ス地方議事機關ノ議定スヘキ事項ハ國民教育、
經費及ヒ土地ノ衛生、道路及ヒ橋梁、農事ノ改良、共有山林及ヒ運河、納稅、備荒貯蓄、賦役、節儉組合地方
自治規則ノ發布等ニ關スルモノニテ是等ノ議會ニ於テ可同數ナルトキハ議長ノ裁決ニ依リテ之ヲ決シ
又議長ハ不認可權ヲモ有ス

村會ニシテ議長ノ認可セサル事項ヲ實施センコトヲ主張スル場合ニハ郷長ニ訴願シ郷長ノ裁決ニ不服ア
ルトキハ之レヲ郡守ニ訴願シ郡守ノ裁決ニ不服アルトキハ府尹ニ訴願スルコトヲ得、地方會議ニ於テ議

決實施シタル事項ハ一年ニ二回郡守及ヒ府縣長官ヲ經テ内部大臣ニ上申ス之レカ爲メ郡會ハ一年ニ少ナ
クトモ二回開會ス以上記述シタル所ノ外尙ホ地方自治ノ處置ニ屬シテ國ノ行政ノ性質ヲ有スル事項ニツ
アリ即チ(一)毎年戸籍ノ調査ヲナスコト及ヒ(二)穀倉ノ設備維持及ヒ監督ニ關スルコト是ナリ

人口調査 十戸ヲ以テ人口調査區トシ戸主ハ其ノ人口調査區ヨリ區長ヲ選舉シ區長ハ人口調査用紙
ヲ各戸ニ配布シ各戸ヨリ提出シタル届ニ依リテ區内ノ人口調査簿二部ヲ製シ一部ハ自ラ之レヲ保管シ一
部ハ之ヲ尊位ニ回送ス尊位ハ全村ノ人口調査簿二部ヲ製シ一部ハ自ラ之ヲ保管シ一部ハ之ヲ郷長ニ回送
ス此例ニヨリ郡守モ府縣長官モ各、之ヲ調製シ全道ノ人口調査簿成立スレハ之ヲ内部大臣ニ進達ス

京城ニ於テハ人口調査ニ關スル事項ハ人口調査區長、警察署長、區長及ヒ市長之ニ任ス人口調査ヲ簡便
ナラシムル爲メニ人口調査區ノ各戸ニ其調査區ノ番號、村名及戸主ノ職業ヲ記シタル表札ヲ掲ク

備考 毎年ノ人口調査ハ千八百九十六年九月一日ノ上諭ニ依リテ行フヘキ規定ナレトモ實際ニ於テハ
未タ行ハレサルモノ、如シ

穀倉 韓國ニ始メテ穀倉ノ設立アリシハ十六世紀ノ終リニアリテ日本人ヲ退攘シタル後、程ナク軍隊給
養ノ爲メ各種ノ穀物貯蓄ニ着手シ各郷ニ穀倉一個宛ヲ設ケ地方官吏之ヲ管掌シタリ而シテ其穀物ハ保存
ノ時期久シキニ互リ腐敗ノ恐レアルニ依リ之ヲ防クタメニ春季ニ其半額ヲ農民ニ貸與シ秋季ニ至リ一定
ノ利息ヲ(通例一割)附シテ返還スルノ規則ヲ設ケタリ然レトモ幾星霜ヲ經ルニ從ヒ行政上ノ不正手段ニ
依リ貯蓄穀物ハ次第ニ減少シ其極、穀倉ハ唯帳簿上ニ於ケル名義ノミトナレリ此事情ハ千八百九十四年
江原道長官ヨリ中央政府ニ報告セラレ其報告ハ同年十一月二十二日官報ニ載セラレ之カ爲メ議政府ハ二

個ノ法律ヲ發布シ根本的ニ穀物給與法ヲ改正シ地方官吏ノ管掌ヲ廢シテ之ヲ自治團ノ管理ニ移シ郷ハ郷費ヲ以テ各一個宛ノ倉庫ヲ設立シ一ハ凶作ニ備ヘ一ハ洪水、暴風、時疫等ノ不幸ニ備ヘ斯ル場合ニ貸與シタルモノハ一時ニ或ハ若干年間ニ返還セシムルモノトセリ然レトモ又之ト關係ナク住民ハ其年ノ秋季ニ返還スルノ約束ニヨリ春季ニ於テ右倉庫ヨリ種子ヲ借用スルヲ得ルノ規定アリ

倉庫管理ノタメニ郷民ハ郷内ノ名望アルモノヨリ五名ノ候補者ヲ豫撰シ其内ヨリ管理員及看視員ヲ撰フ管理員ハ地方官ヨリ特種ノ職印ヲ受ケ帳簿及鍵鑰ハ看視員ト共ニ之ヲ保管シ看視員ハ倉庫内動産保全ノ責ニ任ス此職員ハ俸給ヲ受ケ其額ハ總會ニ於テ之ヲ決定ス又此兩職員ニ附屬シテ各村ニ穀物掛リ員一名宛ヲ置ク其職務ハ倉庫管理員ニ穀物送納目錄及ヒ穀物貸與願書ヲ送達スルニ在リ

簡人若クハ官吏ノ有スル穀物モ亦穀倉ニ納メ其查收、保管及ヒ倉出シノ爲メニハ手数料ヲ徵セス之ト同シク倉庫ヨリ貸與シタルモノハ利子ヲ附セス然レトモ管理及ヒ看視員俸給其他臨時費用ヲ要スルコトアルトキハ貸與額一石ニ付五升宛ノ利息ヲ徵收ス

中央政府ハ倉庫事務ノ監督ヲ郡守ニ委任シ郡守ハ屬吏ヲ派シテ各郷ノ倉庫ヲ檢查シ報告ヲ徵シ倉庫ノ狀況ニ關スル報告書ハ地方長官ヨリ度支部大臣ニ進達ス

教育及ヒ學術

韓國國民ノ間ニ教育ノ始メテ行ハレタルハ西曆第四世紀ノ終末ニシテ佛教ノ此ノ國ニ傳ハリタル時ニアリ佛僧ハ其寺院ニ主トシテ下級人民ヲ集メ且俗語ニテ記載セラレタル佛教入門書出版シテ廣ク之ヲ信者ノ間ニ普及セシメタリ又上等社會ノ間ニハ孔教行ハレ特ニ韓國政府力清國ニ倣ヒ西曆紀元九百五十八年ヨリ官吏ノ資格トシテ漢文書、漢文學、漢哲學ノ知識ヲ要求シ之カタメ科擧ノ方法ヲ設ケタルノ後ハ一層孔教ノ盛大ヲ致シタリ然レトモ之ト同時ニ韓國政府ハ教育ノ基礎タル初等學校等ニ關シテ毫モ關心スル所ナク今尙之ニ留意スルコト甚タ冷淡ニシテ學校ハ各都會地ノミナラス村落ニスラ之レ有リト雖トモ其維持ハ之ヲ公費ニ仰カスシテ私費ニ資リ多クノ學校ハ専ラ地方富豪ノ寄附ニヨリテ成立ス政府ノ教育ニ對シテ冷淡ナルコト此ノ如クナルニモ拘ハラヌ前記ノ事情ニヨリ國民ノ教育ハ大ニ普及セリ然レトモ此ニ注意スヘキハ韓國ノ教育ナルモノハ唯漢語ヲ以テ平々凡々タル言語及思想ヲ續ミ且書クノミニシテ純粹ノ韓國諺文ヲ知ル者ハ民間ニ於テ比較的少數ナリト云フコト是ナリ

千八百九十七年「インデペンデント」新聞ハ報スラク平壤ニ於テ初メテ韓語新聞ノ發行セラレタル時ノ調査ニ依レハ當時韓語ヲ讀ミ得ル者ハ甚タ少數ニシテ成年以上ノ人民百人中二十三人ニ過キサリシト

韓國ニ於テハ近來マテハ漢文學及漢哲學獨リ重キヲ成シ其他ノ學科ハ比較的之ヲ貴重スルコトナク數學、醫學、語學及技藝學ハ唯衣食ニ窮セサル人々ノ娛樂ニ供セラレタルニ過キス是等ノ學術ハ其發達ノ度、最モ低クシテ殆ント皆官職ニアリテ特權ヲ有シ社會ニ頗ル重キヲ爲セル中等社會少數家族ノ專有物タリ此階級ニ於ケル官職ハ世襲ニシテ其子弟ハ京城ニ在ルハ專門學校ノ一ニ入學シテ一學科ヲ專修シ所定ノ試験ヲ經テ全科ヲ卒業シタル者ハ翻譯官、星學官及醫官タルノ資格ヲ有スル證書ヲ受領シ遲滯ナク官吏ニ任用セラル、モノトス

韓人ハ既シテ學術ヲ尊重シ或ハ又聖賢ヲ崇拜スルコト支那人ノ如ク、碩儒ハ全國民ノ指導者トシテ尊敬

セラレ國家ノ大事ニ際シテハ政府トイヘトモ之ニ就キテ意見ヲ諮詢スルコトアリ
 然レトモ學問ニ關スル事情ハ清韓ノ間ニ大ナル差異アルヲ知ルヲ要ス即チ韓國ノ學問ハ近來マテハ國民
 的ナラスシテ書籍ハ漢籍ヲ採リ之ヲ學フニモ韓語ヲ用ヒスシテ漢語ヲ用ヒ歴史モ亦主トシテ漢史ヲ用ヒ
 國民ノ歸依スル哲學モ亦支那ノ系統ニ屬セリ

韓國政府ハ學問ニ保護ヲ與フト雖トモ其學問ノ進歩ハ猶甚ク低度ニシテ星學家ノ如キモ僅ニ千八百九十
 四年マテ年々支那ヨリ取寄セラレタル曆本ヲ理解シ之ヲ應用スルニ過キス天文臺長若シ支那ヨリ取寄セ
 タル原本ト相違スル曆本ヲ發行シタルトキハ遠島ノ流刑ニ處スルノ嚴罰アリト雖トモ而モ猶天文學ハ舊
 來ノ星學及魔法ノ範圍ヲ脫スルコト能ハサルノ狀態ニ在リ

韓國ニ於ケル法律學者ノ知識モ亦未タ國家ノ須要ヲ充タスニ足ラス如何トナレハ是等ノ學者ハ在學中唯
 法律及其他一般ノ公文書ヲ器械的ニ學習スルニ過キサレハナリ

「ボッチョー」氏ハ韓人ノ數學ニ關スル事情ヲ簡單ニ述ヘテ曰ク韓人ノ數學ノ師ハ支那人ニシテ支那人ハ初
 メ「アラビヤ」人ヲ經テ之ヲ知り後ニハ加特力教宣教師ヨリ之ヲ學ヒタルモノナリ韓國ノ算法ハ數ヲ漢字
 ニテ記スルカ故ニ頗ル錯雜ナルニヨリ大數ヲ記スルニハ數ノ呼聲全部ヲ個々ニ分記ス即チ 9999 ノ數ヲ記
 スルニハ三、百、五、十、四ノ五字ヲ要スルノ例ナリ韓國固有ノ數字ハ唯九十九マテニシテ百以上ハ漢名ヲ
 借ル

備考 九ト云フ數字ハ古來韓人ノ生活ニ大ナル意味ヲ有シタルモノニテ例令ヘハ古昔ノ法律ニ於テ韓
 國民ノ家屋ハ其建築費九百九十九「ヤン」(「ヤン」ハ約日本ノ二十五錢)ヲ超ユヘカラスト制限シタル

コトアリシカ如シ

韓國ニハ固有ノ計算法アリ其用器ハ數多ノ小サキ棒ニシテ加算減算ノ際ニハ露國若クハ支那ノ計數器ノ
 代用ヲ爲シ又大ナル數ノ乗算及除算ヲモ筆墨ノ助ケナクシテ之ヲ行フコトヲ得左ニ 9164×4357 ノ算理
 ヲ示ス

	4	3	5	7	9
3	62	74	56	3	
1	61	22	02	8	4
2	41	83	04	2	6
1	61	22	02	8	4

圖ノ欄ハ其ノ右方若クハ下方ニアル欄ヨリハ十倍多キ數ヲ示スモノニテ此規
 則ニヨリ四角形ノ兩隅ニ被乘數及乘數ヲ配ス其計算法ハ $4 \times 7 = 28$ ノ右
 方ノ最下隅ニ置キ 28 ヲ其欄ニ最近ノ左方ノ欄ニ置ク次ニ $60 \times 7 = 420$ ノ右
 上ニ 4 ヲ其左リニ置キ以下之ニ準シテ其積ハ $8 + (2+2)$ $10 + (2+2+4+8)$
 $100 + (6+1+8+3+2+3)$ $1000(1+4+1+2+2+3+6)$ $10000 + (2+6+1$
 $+7+4)$ $100000 + (1+6+2)$ $1000000 + 3 \times 10000000 = 41,234,648$ トナル
 ナリ

韓人ハ此計算法ヲ行フニ小サキ棒ヲ以テシ直接ニ床上ニ於テ何等ノ欄畫ヲモ記セス諸算ノ助ケニ依リテ
 甚ク速ニ計算ス又減算ヲ行フニハ一ヨリ四マテノ數ハ之ヲ横置セル小サキ棒ニ於テ顯シ其棒一箇ハ一ナ
 ル數ヲ示シ五ヲ示スニハ直立セル小サキ棒一個ヲ以テシ六ヨリ九ニ至ル數ハ横置セルモノト直立セルモ
 ノトヲ結合シテ之ヲ示ス敏活ナル算數家ハ此法ヲ運用スルコト甚ク巧妙ニシテ歐洲式ノ方法ト競争スル
 モ其速度ニ於テ劣ルコトナカルヘシ

然レトモ韓國ニ於テ最モ多ク行ハル、算數器ハ算盤ニシテ算盤ハ支那ヨリ傳ハリ支那ニ於テハ露國ニ於

ル如ク其用甚ク廣キモノナリ支那ノ算盤ハ一桁ノ顆數露國ノモノ、如ク十個ニアラスシテ七個ヲ有シ其珠顆ハ梁ヲ以テ兩分セラレ梁ノ左ハ各桁五顆ニシテ其右ハ二顆ヲ有シ各桁ノ右方ニアル一顆ハ左方ノ五顆ニ値ス「ルベンツォーフ」氏曰ク支那式ノ算盤ヲ知リタル人ハ其顆數ノ少キニヨリ露國式ノ者ヨリモ實用ニ適スト云ヘリト然レトモ「ボッヂョー」氏ノ說ハ之ト反對ニシテ支那式ノ算盤ハ其錯雜ナルコト露國式ノ比ニ非スト爲ス、支那式ノ算盤ハ大小一ナラス、懷中算盤ヨリ一呎乃至二呎ノ商用算盤ニ至ルマテ、其間種々アリ之ヲ使用スルモノハ或ル種ノ算數表例令ハ乘算九々ノ如キ表ヲ暗記スルヲ要シ又複雜ナル計算ヲ行フニハ特ニ之カタメ定メタル所ノ表ヲ請記セサルヘカラス斯ノ如クニシテ算盤ハ之ヲ加減乗除ノ計算ニ用フルノミナラス分數ニモ又之ヲ應用シ平方根及立方根ヲ求ムル算法ニスラ猶之ヲ適用ス韓人ハ前記諸種ノ計算ヲ爲スニ習熟シ其敏速ナルコト聞ク者ヲシテ殆ント信シカカラス

韓人ノ數理思想ニ關聯シテコ、ニ韓國式ノ磁石ヲ説明スルノ要アリ韓國ニ於ケル磁石ノ用ハ露國ニ於ケルカ如クナラスシテ主トシテ魔術師之ヲ使用シ魔術師ハ自ラ磁石力ニヨリ速カニ埋葬場ノ吉方ヲ測知スト吹聽ス韓國式適切ニ云ヘハ寧ロ支那式ノ磁石ハ圓形ノ木匣ヨリ成立シ表面ノ周圍ニ二十四個ノ記號ヲ附シ針ハ常ニ南方ヲ指シ四方ノ中間ハ之ヲ東南東北西南及西北ニ分ツ

醫藥 韓國ニ於ケル醫藥ハ初メ支那ヨリ傳リタリト雖トモ之ヲ支那ニ比スレハ其進歩甚ク大ニシテ其師ヲ後方ニ墮若タラシムルニ至レリ此ノ如キ發達ヲ遂ケタルハ一ハ傑出シタル人物カ嗜好心若クハ消閑ノ爲メ此學ニ耽リタルノ結果竝ニ自己ノ勉勵忠實及實驗ニヨリ廣キ知識ヲ領シタル職業醫等ノ恩惠ナリトス

學識アル醫師ハ唯京城ニ於テ少數ヲ見ルノミニシテ近來マテ皆宮廷ノ醫官トシテ用キラレタリ彼等ハ近來マテ京城ニ存在セシ醫學校ニ於テ斯道ノ知識ヲ收得シタルモノニテ其學校ハ多年ノ經驗ヲ有スル醫師ノ直接指導ノ下ニ數年間課程ヲ履修スヘキ組織ナリキ既ニ前ニモ記載セシ如ク醫業ハ大概世傳ニシテ子ハ父ニ其業ヲ受ケタリ是等醫師ノ治療法ノ基礎トナルモノハ十八世紀ニ於テ「チー、エン」ノ著述シタル十九卷ヨリ成ル支那ノ有名ナル醫書トス此外千八百六十九年「ホアー、ハー、アム」トカ稱スル學者ノ編纂ニ係ル治療書及ヒ其他支那人ノ著述ニ係ル種々ノ醫藥書普ク韓國醫學社會ニ行レタリ但シ其教授ハ著書ノ豐富ナルコト此ノ如クナルニモ關ラス猶講義法ニ依ル者多キニ居レリ韓國諸道ニ於テハ學識アル本國人ノ醫師ハ甚少ナク地方醫師ノ多數ハ實地ノ知識ナキ山師連ニシテ彼等ハ凡テノ疾病ニ對シテ殆ント皆同一ノ處方ヲ用キ其患者ハ大概下級人民ニ屬スル者ニシテ甚シキニ至リテハ診察ヲモ爲サスシテ藥ヲ投スルコト多シ又地方ノ醫師ハ皆醫藥兼業ニシテ屋上ニハ支那風ノ看板懸ル是等ノ醫師ノ處方及ヒ經驗ニ關シテハ千八百九十六年七月ノ海軍雜誌ノ附錄醫學記事中ニ「ドクトル、メッヘル」氏ノ吉州藥舖ニ關スル記述アリテ多少ノ觀念ヲ吾人ニ與フルヲ覺フ其記事ニ曰ク「藥舖ハ市外ニアリテ專ラ草根木皮ヲ集メ醫師自身及ヒ其助手ハ之ヲ寸截シテ患者ニ與ヘ患者ハ自ラ之ヲ煎シ醫師ノ指示ニ從ヒテ之ヲ服用ス余ハ診察料ニ關シテ之ヲ問ヒタルニ左ノ答ヲ得タリ曰ク韓人疾病ニ罹リ自ラ醫家ニ就キテ診察ヲ乞ヒ若クハ之ヲ自家ニ招ケハ醫師ハ直ニ其患者ニ專屬スル書箋ヲ製シテ患者ノ姓名、發病ノ時日及ヒ處方ヲ記入シ其後ハ處方ノ變更アル毎ニ順次之ヲ追記シ患者ノ全快シタルトキ若クハ死亡シタルトキ右書箋ニヨリテ報酬ヲ受クルノ規定ニシテ治療中ハ其疾病數年ノ久シキニ亘ルコトナリトモ其費用ヲ受ケサルノミカ之ヲ

要求スルノ權ヲモ有セスト藥劑細挫法ハ甚々幼稚ニシテ其用具ハ大ナル鐵製槽狀庖刀、露國ノ砂糖切り割器械ニ似タル臺基及ヒ普通ノ天秤(紐ヲ有シ其上ニ目ヲ盛リ棒ノ一端ニ銅製ノ皿ヲ有ス)ノ三種ニ過キス小白モナク精密ナル秤量器モナク消毒藥ハ水ヲ以テ代用ス醫家ノ裝置斯ノ如キノミト「ホッチョー」氏ノ言ニ依レハ京城ニ多クノ女醫アリ是等女醫ハ近來マテハ地方ニ於テ官婢ノ美容アルモノヨリ撰ヒタル者ニテ彼等ハ宮廷ニ在ル時、舊式ニ依リ男女患者ニ對スル療法ヲ習得シタルモノナリト「ホッチョー」氏ハ猶言ヲ繼キテ曰ク斯ノ如キ女醫ハ宮廷ニ約七十人アリ韓國貴族ノ婦女ハ男醫ヲ近ケス男醫ハ唯病室ノ戸側ニ至リテ少シク隔障ヲ開キテ患者ノ脈搏ヲ神速ニ診斷シ去ルノミ故ニ女醫ノ必要アルナリト

韓國醫師ハ多クハ病科ヲ分タスシテ凡テノ患者ヲ一人ニテ診察治療ス唯稀ニハ小兒科及ヒ鍼術科ノ專門醫ヲ見ルコトアリ(鍼術ハ手術ノ一ニシテ後ニ見ユ)韓國ノ醫師ハ脈搏ヲ診察スル際ニハ總前手根腕帶部及足根腕帶部ヲ檢シ男子ハ左手足、女子ハ右手足ニ於テシ脈搏ノ速度ハ患者ノ三回呼吸スル間ニ於テ之ヲ定ム檢脈ハ三指ヲ以テ之ヲ行ヒ初ハ一指ヲ以テ血管部ヲ壓迫セスシテ其打搏力ヲ檢シ然ル後拇指ヲ以テ強ク血管ヲ壓シツ、他ノ二指ヲ以テ之ヲ檢ス斯ノ如クニシテ脈搏ヲ檢シ患者ノ自覺ヲ訊問シ其結果ニヨリテ之ニ應スル藥劑ヲ投ス韓國醫師ハ内服藥外用藥ヲ處方スト雖トモ韓人ハ概シテ外用藥ヲ信セサルカ故ニ硬膏軟膏ノ準備ハ之有リト雖トモ之ヲ用フルコト甚々稀ナリ韓人ハ藥ニ毒殺藥蘇生藥ノ二種アリト爲ス例令ハ耳垢ヲ毒殺藥トシテ唾液ヲ蘇生藥トシテ無益ニ唾液ヲ

費スヲ禁スルノ類ナリ韓人ハ土地產ノ種々ノ草ヨリ製セラル、諸種ノ藥品ヲ第一ニ尊重シ若シ土地產ノ原料ヨリ製セラレタル藥品ナキトキハ北京ヨリノ輸入品ヲ以テ之レヲ補フ韓國ニ於テハ以前ハ毒殺屢々行レタルヲ以テ韓國政府ハ劇藥販賣規則ヲ制定シテ之ヲ勵行シ各種ノ劇藥ハ其購賣者ニ於テ十分ニ其必要アルヲ證明スルニ非サレハ之ヲ購賣スルコトヲ得ス又此許可ナクシテ劇藥ヲ製スルコトヲ得ス藥品ハ通例合劑トシテ與ヘラレ其他ノ法方ニテ與ヘラル、コトハ甚々稀ナリ合劑ハ同時ニ二十種乃至三十種ノ草ヲ煎シテ之ヲ製シ之ニ尙ホ種々ナル他ノ物質ヲ混スルヲ通例トス韓國ニ於テ藥品中第一ヲ占ムルハ強壯劑ニシテ其内最モ盛ニ行ハル、ハ肉液、人參及ヒ鹿角煎汁トス

人參 人參ハ韓人ノ物語ニヨレハ各種ノ疾病ヲ治シ體力ヲ恢復スルノ效ヲ有シ強壯劑トシテハ世界第一ナリト云ヒ人參ハ東洋ニ於テハ到ル處其名ヲ知ラレ其効ノ神妙ナル之ヲ用フレハ瀕死ノ患者モ猶若干日ノ生氣ヲ恢復スト傳フ韓人ノ信スル所ニ依レハ參根ハ其部分ニヨリ治療ノ效ヲ異ニスルカ故ニ各種ノ疾病ニ對シテ之ヲ用フ例令ハ根ノ上部ハ頭部ノ病ニ、其次ノ部分ハ凡テノ衰弱症ニ、其次ノ部分及ヒ又其次ノ部分ハ手足ノ病症、胃加答兒、寒胃及ヒ婦人病ヲ全治スルカ如シ

人參ヲ藥用ニ供スルニハ先ツ之ヲ細片ニ刻ミ然ル後少ナクトモ一箇月間酒精分ヲ含ム液汁ニ浸シ其浸汁ノ少量ヲ患者ニ與フルナリ此藥品ハ殆ンド單純ニシテ用キラル、コトナク多クハ他ノ種々ノ藥品ヲ混シテ之ヲ用ユ「ホッチョー」氏ノ言ニ依レハ此藥品ヲ服用セシ歐洲人ハ甚々劇烈ナル焮衝性ノ疾病ニ罹レリト云フ

鹿角 韓人ノ信スル所ニヨレハ鹿角ヨリ製セラレタル藥品ハ強壯劑トシテ人參ヨリモ久シク其効ヲ保ツ

モノナリ又韓人ハ云フ鹿角ノ効能ハ其產地ニヨリテ一様ナラサルカ如ク見ユト是ニ由テ平安道咸鏡道ニ生スル者ハ其價低ク品質ノ最モ佳良ナルハ江原道ニ生スルモノニシテ是モ鑒識ノ明アルモノハ猶ホ郡ニヨリテ等位アリト稱ス鹿角ヲ採取スル爲メニハ其角ノ發達十分ナルニ先ツテ鹿ヲ殺サ、ルヘカラス然ラサレハ角ノ藥用質ハ減少ストハ韓人ノ信スル所ナリ韓人ハ鹿ヲ殺シテ直ニ頭ヲ切斷シ遲滯ナク之ヲ倒シシ約十二時間其儘ニシテ血液ノ全部ヲ角ニ移ラシム其後最モ周密ナル注意ヲ以テ強カラサル火力ニヨリ徐ニ之ヲ乾カス藥ヲ製スルニハ鹿角ヲ粉碎シ植物ノ液汁ニ浸ス此藥品ノ少量ヲ患者ニ與フレハ體力回復ノ迅速ナルコト驚クニ堪ヘタリト云ヒ宣教師「ダヴルエイ」ハ多年ノ間此藥ヲ用ヒ常ニ其効能ヲ感シタリト云フ

鹿ノ溫血、鹿肝、鹿膽、熊膽及虎骨 前ニ列舉スル所ハ廣ク行ハル、藥品ニシテ此外猶種々ノ植物ヨリ製セララルモノ竝ニ動物ノ機關ヨリ製セララル、モノ多々アリ其内主要ナルモノハ鹿ノ溫血（衰弱症回復ノタメニ服用ス）鹿ノ肝、鹿膽及ヒ熊膽等ニシテ又韓人ニハ小兒ノ肝臟ヲ以テ或ル種ノ疾病ヲ治スヘシト信スルモノアルカ故ニ法律ニテ之カ爲メニ殺戮ヲ行フヲ嚴禁シ死刑ヲ以テ制裁スルニ至レリ虎骨ハ種々ノ藥劑ニ用ヒラル、モノニテ煮沸シタル後之ヲ粉碎ス虎骨ヲ混スル藥品ハ甚タ高價ニシテ甚タ貴重セラレ

無脊動物ヨリ製セララル、藥品 韓國ニ於テ藥品ノ材料タルモノハ多種ナリト雖トモ中ニ就キ無脊動物ハ其用ヲナスコト最モ多シ左ニ之ヲ列記スヘシ

一、條虫 粉碎シテ痲衝性ノ眼病ヲ治スルニ用フ

二、蚯蚓 粉碎シテ痲衝性ノ創傷、熱病、神經過敏、萎黃病、咽喉ノ痲衝及ヒ蛇咬創ニ効アリ

三、蛭 之ヲ以テ製シタル藥ハ血液及ヒ膿汁ノ排除及ヒ腸ノ清淨ニ用ヒ又之ヲ服用スレハ流産ヲ促ス最モ多ク用ヒラル、モノハ人體、馬若クハ牛ノ血液中ニ培養セララル、小形ノ蛭トス

四、青蝦 痔疾ノ治療ニ用ヒ淡水ニ生スル者ハ種々ノ腫物ヲ治ス

五、鼠婦 體力回復及ヒ流産促進ノタメニ用ヒラル

六、蜘蛛 含膿疹、癬瘡ノ治療ニ用ヒ又蜂蛇及ヒ百足ノ毒ヲ中和ス

七、蜘蛛 韓曆七月七日ニ採取シタルモノヲ衣服ニ襟ニ纏ヘハ種々ノ危險ナル病ヲ免カルト韓人ハ信ス又之ヲ疣若クハ腫物ニ貼附スレハ局部ヲ散シテ平癒セシム

八、有條蜘蛛 間歇熱及ヒ成年者ノ腫物ヲ治ス

九、百足 粉碎シテ精神不快並ニ血液ノ腐敗ヲ治シ蛇毒ヲ消シ「マラリヤ」熱ノ治療及ヒ腸ノ清淨ニ効アリ

十、芫菁 之ヲ米糊ニ混シテ血液ノ腐敗、尿石、癩癧及ヒ虎刺刺病ヲ治ス

十一、蝗數種 衰弱ヲ治シ又與奮劑トシテ効アリ

十二、蟋蟀 乾燥シテ粉碎シ止瀉劑、利尿劑及ヒ瀉下劑トシテ用フ

十三、蜻蜓 體熱ヲ減シ及ヒ人體ノ筋腱ヲ強壯ナラシムルニ用ユ

十四、蠶 蠶ノ合劑ハ小兒ノ痲痺及ヒ條虫ヲ治シ青年婦人ノ子宮腫物、傷痕、皮膚ノ麻痺及ヒ月經ニ原因スル疾病ヲ治ス

- 十五、蛹 麻痺ヲ防ク
- 十六、蛾 蛾ノ合劑ハ活動力ヲ増シ體力ノ衰弱及ヒ花柳病ニ効アリ又麻痺及ヒ胃ノ沸騰ヲ治スルニ用ユ
- 十七、蠶卵 婦人病ニ用ユ凡テ婦人病ニ用フル藥劑ハ何レモ蠶卵中ニ含有スル物質ヲ含マサルハナシ
- 十八、繭 痔疾及ヒ出血ヲ治シ又出産ヲ容易ナラシムル効アリ
- 十九、蜂蜜 蜂蜜ハ體內ノ疼痛ヲ治シ各種ノ毒ヲ中和スルノ効アリ又瘡口瘡ヲ治シ視力及ヒ聽力ヲ強健ナラシム又温湯ニ蜜ヲ混シタルモノヲ産後産婦ニ與フレハ體力ヲ強壯ナラシムル効アリ
- 二十、黄蠟 下痢及ヒ出血ヲ止メ又創ヲ癒着セシム
- 廿一、白蠟 慢性下痢及ヒ各種ノ創傷ヲ治ス
- 廿二、家畜齒ノ巢 粉碎シテ瘰癧、癬瘡、齒痛及ヒ惡性ノ疵癩ヲ治ス
- 廿三、糞 甲虫 揉ミ若クハ糞ヲ解熱劑トナリ又寒胃及ヒ窒扶斯ヲ治シ小兒ノ瘰癧及ヒ精神錯亂ヲ治ス
- 廿四、牡蠣 幅廣キ者最モ效アリテ之ヲ内服スレハ花流病、子宮病(白帶下)及ヒ麻刺利亞ヲ治ス
- 廿五、眞珠貝 視力ノ衰弱ヲ治シ毒ヲ中和シ又月經ニ原因スル疾病及ヒ子宮病(白帶下)ヲ治ス
- 廿六、普通蝸牛 身體一部分ノ運動困難及ヒ瘰癧ヲ治ス
- 廿七、蟹 中毒ヲ解シ産婦ノ發熱ヲ防ク又蟹ノ甲ハ折骨創ヲ治ス
- 廿八、蠍 其製藥ハ麻痺及ヒ小兒ノ瘰癧ニ効アリ
- 植物ヨリ製セラル、藥品 韓國ニ於テ藥用ニ供スル植物ハ左ノ如シ

「レグイスチクム」 根ノ浸汁ヲ血液ノ洗淨ニ用フ

「ブラタイコドン、グラシデフアリウム」 根ノ浸汁ヲ咳嗽ニ用フ

「スクテルラリヤ、ヴィシドウ」 根 製藥上重要ナル職分ヲ有シ韓人ハ其多量ヲ採集ス

阿片液 各種ノ疾病ニ原因スル精神不安ヲ治スル爲メニ年代ヲ詳ニセサル古昔ヨリ韓國ニ行ハル阿片液ハ韓國ノ藥舖ニ於ル主要ナル藥品ノ一ナリ

小麥粉ノ溶液 蛇咬創ノ創口ニ塗抹シ又内服シテ其疼痛ヲ止ム

韓國ニ於テハ以上列記スル者ノ外藥品トシテ用ユル物猶甚タ多シ例令ハ月經ハ韓醫之ヲ癩痢ノ藥トシテ服用セシメ牛糞ハ癆腫ニ塗布シ人糞ノ洗汁ハ挫傷ヲ治スルニ用ヒ唾液及ヒ泥土ハ腦病及ヒ齒痛ヲ治シ小兒ノ排泄物ハ種々ノ疾病ヲ治スルニ貴重ナル藥劑原料ト思惟セララル

一方ヨリ觀察スレハ韓國ニ於テ行ハル、藥品中ニ實際或ル種ノ疾病ニ對シテ甚タ有効ナルモノアリ例令ハ尿石ヲ解消スルノ物質ヲ含有スル特種ノ内服藥ハ此種類ニ屬シ何等ノ外科的手術ヲモ施スコトナクシテ之ヲ平癒セシム韓國ニ於ケル第三宗教管區長「フェルレオル」氏ハ尿石病ニ罹リ久シク其苦痛ニ堪ヘ兼ネタリシカ漢方醫ノ治療ヲ受ケタルニ數時間ニシテ全快シタリ然レトモ此恩惠多キ藥品ハ其製法秘密ニ屬シ之ヲ知ル者アルモ傳授スルコトナシ

韓國ノ醫師ハ優柔不斷ニシテ虎列拉病及ヒ天然痘ノ如キ疾病ニ對シ確實ナル方法ヲ講スルコトハ思ヒモ寄ラヌコトニテ虎列拉病ハ數回韓國ニ流行シ毎回數千人ノ死亡者ヲ出セリ天然痘ハ韓人ノ苦メラル、劇烈ノ疾病ニシテ韓國人ノ之ニ罹ラサルモノハ殆ント之レ無ク其病勢ハ信スヘカラサル程、劇烈ニシテ往

往患者ノ全體ヲ殺スコトアリ一郡ニ於テ一時ニ兒童ノ全體之ニ罹リ其患者ノ身體ハ殘ス所ナク含膿疹ヲ以テ覆ハレタルカ如キ慘狀ヲ呈スルコト屢々アリ斯ノ如キ時ニ於ケル惡臭ハ實ニ甚クシキ者ニテ患者ノ臥床セル家屋内ニ止マル者ハ之カタメ生命ノ危險ヲ免ル、コト能ハス牛痘ハ近來ニ至ルマテ韓人之ヲ知ラス然レトモ傳フル所ニヨレハ彼等ハ太古ヨリ一種ノ種痘法ヲ知レリト云フ其方法タルヤ種痘針ヲ用ヒスシテ患者ヨリ取りタル痘質物ヲ被種痘者ノ鼻孔ニ入レ以テ種痘ヲ完了ス

財産ヲ有スル者ハ流石ニ此方法ニ依ラスシテ歐羅巴人ノ知ラサル物質ヨリ成立スル液體ヲ服用ス唯是等ノ方法中何レヲ用ユルモ種痘後三日目ニ至レハ種痘ハ發現ス然シテ種痘シタルモノハ天然痘ノ爲メ死亡セナルモノ十分ノ九ニシテ種痘ヲ行ハサル地方ニ於テハ天然痘ニ罹ルモノハ殆ント皆死亡ス概シテ兒童ノ過半ハ常ニ此疾病ニ依リテ死亡シ甚シキハ或ル地方ニ於テ兒童ハ皆ナ死亡シタル年モアリ京城ニ於テハ年々之カ爲ニ死スル者數千人

韓人ハ病氣治療ノ爲メ冷水ヲ用ユルコトアリテ危篤ナル患者ヲ深夜五回乃至七回冷水ニ投スルコトアリ室扶斯患者アルトキハ第一二十分ナル水蒸氣ヲ病體ヨリ發生セシムルヲ主要ナル手段トシ之レ無ケレハ其患者ハ三四日ヲ經過スルノ後死亡ス

韓國ニハ疾病治療法トシテ鍼術アリ此方法ハ纖小ナル針ヲ四五「サンチメートル」ノ深サニ身體局部ニ挿入シ以テ血液ノ順環ヲ調フル方法トナス其鍼醫ノ巧妙ナル者ハ打針スルニ一滴ノ出血ヲモ見ルコトナシ聞ク所ニヨレハ韓醫ハ外科學ヲ知ラサルカ故ニ鍼術ヲ以テ唯一ノ手術トシ之カ爲メニハ打針法及ヒ打針ノ局處ヲ示シタル詳細ナル文書アリ然シテ實驗ノ爲メニハ鐵線ヨリ成立スル人體ノ模型アリテ其用ニ供

セラル

近來韓國ニ於テ規尼涅ノ應用稍々廣ク行ハル此藥品ハ主トシテ基督宣教師カ導キタルモノニシテ其宣教師等ハ此高價ナル藥品ヲ無價ニテ教徒ニ與ヘ韓人ハ之ヲ販賣シテ潤利ヲ得タルモノアリ此藥品ノ効力ハ韓人漸次之ヲ認メ今ハ既ニ韓人ノ間ニ於テ人參ノ用途ヲ甚シク縮メツ、アリ

右ノ外基督宣教師ノ醫藥上ニ於テ韓人ニ與ヘタル恩惠ノ一ツハ若干ノ病院ヲ設立シタルコト是ナリ此事ニ付テハ宗教ノ項ニ記載セラレタリ

千八百九十九年八月十七日發行ノ「インデペンデント」新聞ノ報スル所ニ依レハ千八百九十九年八月廿日ヲ以テ京城ニ歐羅巴式ノ官立醫學校設立ノ筈ニシテ其管理ハ日本ノ醫師ニ托セラレ生徒五十人ヲ採用シタリト云フ

學校教育

韓國兒童ノ修學ハ五歳乃至八歳ニ始マリ在學中ノ教授科目ハ殆ント専ラ漢學ニシテ讀方書方、及ヒ譜算ノ方法ヲ用ヒ教科書ハ支那ノ初等教育ニ於テ用ヒラル、者ヲ採用ス勉學ヲ獎勵スル爲ニ通常優等者ニ文具若クハ金錢ヲ與ヘ若クハ單ニ之ヲ饗應スルノ方法ヲ用ユ漢文ノ讀方教科書トシテハ支那ノ千字文ヲ用フ此書ノ特色ハ其書中ニ同一ノ文字ヲ有セサルニアリ然シテ此書ノ兒童ノ爲ニ用ヒラルル者ハ大字ヲ以テ印刷セラレ多クハ兒童ヲシテ文字ノ認識ヲ容易ナラシムル爲メ各文字ノ右方ニ韓音ヲ附シ左方ニ韓譯ヲ施ス兒童ハ最初之ヲ誦讀シ然ル後初メヨリ終リマテ之ヲ書寫シテ其全部ヲ記憶シ全ク其意義ヲ解シタル後ハ支那古文ノ學習ニ移ル國語ノ學習ニ於テハ音ニ依テ綴ヲ分ツコトナク習慣ニ依テ之ヲ知ル例令ハ「モ」、「ボ」等ノ如キ綴リノ發音ヲ誦讀スルノ類ニテ露國ニ於テ行ハル、如ク子音及ヒ母

音ヲ分チ示スコトナシ

兒童ハ學校ニ於テ一齊ニ高聲ヲ發シテ學フカ故ニ其喧噪ナルコト言語ニ堪ヘ管ニ讀書ニ於ケルノミナラ
ス算術ニ於テモ亦斯ノ如キ方法ヲ用ユルカ故ニ其喧噪ナルコトハ學校生活ノ常ナリト云フヘシ

「アリフタン」氏ノ云フ所ニ依レハ氏ハ長官ニ署名ヲ乞フ爲メニ書類ヲ持來リシ者ヲ見タルニ其長官ハ大
文字ニテ記載セラレタル其書類ヲ通覽シツ、直ニ長キ音聲ヲ出シテ之ヲ讀ミタリ又其書類ノ記載事項ニ
利害關係ヲ有セシ所ノ者其處ニアリシカ此者等ハ長官ノ面前ニ於テ毫モ遠慮スル所ナク長官ニ向テ其書
類ヲ高聲ニ反復朗讀シタリト

成年者ノ學問ハ種々ノ漢文ノ作文及ヒ散文竝ニ詩歌ノ美文の作文ヲ最終期マテ學習シ其ノ主トシテ注意
スル所ハ修辭上ニアリ概シテ教授ノ方法ニ於テハ新シキ施設ヲ許スコトナシ又漢文ノ外學科トシテ加ヘ
ラル、モノハ(一)結婚、葬式、應對及ヒ戰爭等ニ關スル日常生活ノ規則(二)音樂(三)古代史(四)數學
(四則、平均算、開平及ヒ開立)トス

「カールス」氏ハ威鏡道ノ山間ニ於ケル一小村落ニ於テ學校ヲ訪問シタルカ之ニ關シテ次ノ如ク云ヘリ曰
ク學校ハ唯一室ニシテ我々ノ接見セラレシ室ハ同時ニ教場ナリ住民ノ言ニ依レハ此村落ニ於ケル學校ノ
規則ハ各生徒ハ一ヶ月ニ五十文ヲ教師ニ納メ又此外生徒全體ヨリ教師ニ被服、飲食物、壘、壁紙ヲ給シ
筆紙墨モ亦之ヲ給スト

特種學校 前ニ記載シタル學校則チ所謂普通學校ノ外京城ニ於テ古來多クノ特別學校アリ其種類ハ
八ニシテ之ヲ列舉スレハ(一)譯官養成所(二)天文學校(三)醫學校(四)文書學院(五)繪畫學校(六)法律學

校(七)簿記學校(八)漏刻官養成所ニシテ現今ニ於テハ是等ノ學校ハ蓋シ廢止セラレタルカ如シ但シ正確
ナル調査ノ據ルヘキモノナシ

譯官養成所 此學校ハ前ニ列記シタル者ノ中最モ重要ナル位置ヲ有スルモノニテ少年子弟ノ希望者
甚タ多ク競フテ入學ス教授科目ハ四種ノ言語則チ清語、蒙古語、滿洲語、及ヒ日本語ニシテ各生徒ノ其
中ノ一科目ヲ修メ之ヲ卒業シタルモノハ更ニ他ノ語ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス卒業生ハ支那、日本ニ派
遣セララル、韓國ノ使節ニ隨行シ又韓國ニ駐在スル所ノ外國公使館ニ出張ヲ命セララル「フンドー」ノ資格ヲ
有スル譯官ハ常ニ釜山ヨリ遠カラサル東萊市ニ往シ釜山ニ居留スル日本人トノ交渉ノ通辭ニ從事セリ

天文學校 此學校ハ天文科、氣象科、占術科(吉日ノ選定)ノ三科ニ分レ目的ハ天文家及ヒ巫祝ヲ養成
スルニアリ天文科ニ於テハ毎年十人ノ生徒ヲ入學セシメ他ノ二科ニ於テハ何レモ僅ニ四人ノ生徒ヲ採ル
ノミ天文科ノ試験ニハ天體測量詩ヲ記憶スルヲ要シ氣象科ノ試験ニハ墓地等ノ選定ニ關シ吉方ヲ指定ス
ルノ智識ヲ要ス天體觀測ノ爲メ京城ニ高サ二十呎ノ天文臺アリ天文臺ハ凡テ天文ニ異狀アルトキハ之ヲ
國王ニ奏シ國王ハ之ヲ北京朝廷ニ報告ス天文臺ハ毎年曆本ヲ發行スルノ義務ヲ有ス

醫學校 醫學校ハ之ヲ二部ニ分チ各部同一ノ科目ヲ教授スト雖トモ一部ニ入學スルモノハ朝廷ノ醫官
タルヘキモノニシテ他ノ部ニ入學スルモノハ隨意ニ醫學ヲ修業スルモノナリ然レトモ實際ニ於テハ何レ
ノ部ヲ卒業シタルモノモ均シク朝廷ニ屬シ官職ヲ帶フルニ至ル

文書學院 文書學院ハ清國ト交渉スル爲メノ公文書ヲ作成スヘキ書式ヲ授ケ又文庫ノ事務ヲ習得セ
シム

繪畫學校 此學校ノ主ナル目的ハ國王ノ肖像ヲ畫クヘキ畫家ヲ養成スルニアリ其外、製圖モ亦教授セラルル圖畫ハ清國式ナリ

法律學校 此學校ハ司法省ノ管轄ニ屬シ其主ナル科目ハ刑法、裁判法及ヒ勅令精義トス毎年生徒十八人ヲ募ル

簿記學校 此學校ノ目的ハ大藏省官吏ヲ養成スルニアリ其官吏ハ國庫ノ出入ヲ計算スルコトヲ掌ル又屢々官有建物ノ建築豫算ヲ編製シ是等ノ建築事業ノ指揮ニ任スルモノナリ

漏刻官養成所 此學校ニ於テハ韓國ニ於ケル唯一ノ標準時タル京城ノ時刻ヲ測定スル漏刻官ヲ養成スルノ裝置ヲ有スルモノナリ

改革前韓國ニハ最高ノ學校一箇アリキ現今モ猶ホ存在スル所ノ經書學校ハ稍々體裁ヲ變スト雖トモ是即チ以前ノ最高學校ニシテ此學校ニ於テハ學術及ヒ學者ニ關スル事業ト共ニ孔廟管理ノ事務ヲ管ス孔廟ハ支那ニ於ケルカ如ク孔子、孟子其他聖賢ヲ紀念スルタメノ堂宇ナリ

經書學校ノ科目ハ支那ノ古文ニシテ四書五經中ノ三種及ヒ其註釋作文竝ニ其他ノ文藝ノ練習、夏、殷、周ノ曆史、韓國史及ヒ外國史、韓國地理、外國地理及ヒ數學ヲ授ク

備考 五經中ノ三書ハ詩經、書經、易經ナリ

試驗 韓國諸學校ニ於テ月定期試驗、年定期試驗及ヒ卒業試驗ヲ行フ

新式ノ學校 前ニ列記シタル諸專門學校ハ西歐文明ノ輸入以來、自然ノ理トシテ凡テノ效力ヲ失墜スヘキハ勿論ニシテ蓋シ現今ニテハ廢滅ニ皈シタルナラン而シテ是等ノ諸學校ノ代リニ新式ノ學校ハ起

リ來レリ勿論是等ノ學校ハ今猶韓國政府ノ設立ニ係ル者甚タ少ナク私人ノ資本ニ成ルモノモ亦甚タ少ナシ

新式ノ學校ニシテ官立ニ係ル者ノ中先ツ指ヲ屈スヘキハ京城ニ在ル次ノ六校ニシテ即チ師範學校、露西亞學校、佛蘭西學校、英吉利學校、日本學校、支那學校是ナリ其狀況左ノ如シ

師範學校 此學校ハ千八百九十七年開カレタルモノニシテ之ヲ二部ニ分チ第一部ハ下級學校教員養成ノ爲ニ供セラレ第二部ハ上流社會ノ子弟ニ英語ヲ教授スル所トス第一部ノ教科目ハ讀書、書翰文、作文、算術、地理、歴史及ヒ書取ニシテ此部ノ在學生徒數ハ千八百九十八年ニ三十八ナリキ然シテ同年ニ於ケル教員數ハ韓人二名ニシテ其俸給月額ハ高級ノ者五十六弗ヲ受ケ下級ノ者十五弗ヲ受ク此部ニハ本科ト速成科トアリテ其修業年限ハ本科二年速成科六ヶ月トス第二部即チ英語部ニテハ千八百九十八年ニ米人「ハーバート」氏教師トシテ在職シ生徒三十五人アリタリ

露西亞學校 此學校ハ千八百九十六年五月八日ニ開カレ其時入學シタルモノ五十一人、入學生ノ年齡ハ十一歳乃至三十六歳ナリ千八百九十六年十一月中旬ニ於テハ現在生徒三十九名ニシテ千八百九十八年ニハ八十八人トナレリ教員ハ休職砲兵士官「ビリニコフ」氏ニシテ同氏ハ生徒ニ説明ヲ爲スタメニハ他ノ外國教師ノ多數カ爲スカ如ク韓人ノ通辯ヲ使用シテ之ヲ行ヒ又同氏ノ助手トシテ千八百九十九年ニハ希臘正教ノ韓國駐在讀經僧「クラシン」氏アリ

佛蘭西學校 此學校ハ日本人ニ依リテ編成セラレタル韓國政府事業表ニ於テハ京城ニ設立スルノ豫定ナリキ然ルニ主トシテ英國人ノ側ヨリ全然佛語學校設立ヲ妨害スルノ目的若シクハ少クトモ此學校ノ

教師ヲ英語學校ノ古參教師ニ隸屬セシムルノ目的ヲ以テ著シク之ニ反對シタルカ故ニ非常ナル困難ニ遇ヒシモ千八百九十六年一月中旬ヨリ開校スルコト、ナレリ教師ニハ「マルテル」氏アリ千八百九十六年同氏ノ月給ハ百四十弗ナリキ「ボコチロフ」氏ノ私見ニ依レハ千八百九十六年佛蘭西學校生徒ノ成績ハ甚々卓越ニシテ數ヶ月ヲ經過シタルノ後生徒ハ管ニ秩序正シク讀ムコト、書クコトヲ習得シタルノミナラス大ナラサル文章ヲ起稿スルニ至レリ此學校ノ生徒ハ千八百九十七年ニハ總員三十五人、生徒ノ年齢ハ十一年乃至二十六年ニシテ千八百九十八年ニハ既ニ百人ノ生徒ヲ有スルニ至レリ教科目ハ佛語ノ外、算術及ヒ初步ノ地理トス

英吉利學校 此學校ハ千八百九十四年ニ開カレ之ヲ前記諸學校ニ比スレハ其設備良好ナリ教師トシテ千八百九十八年ニハ英人「ハッチンソン」及ヒ「ハリファクス」氏アリテ其月給ハ「ハッチンソン」氏三百三十弗「ハリファクス」氏百八十弗ヲ受ク此學校ハ補助其他ノ名義ヲ以テ年額金二千五百五十弗ヲ政府ヨリ受ク生徒ノ數ハ定員百十人ニシテ千八百九十七年ノ中旬ニハ七十五人ヲ超エサリシモ千八百九十八年ニハ百十人ニ滿チタリ

日本學校 此學校ハ千八百九十一年ノ創立ニ係リ初メハ生徒ノ數、百名ニ達セシカ千八百九十六年ノ終リニハ三十名ニ減シタリ千八百九十六年ニ於ケル日本教師ハ一人ニシテ月給百弗ヲ受ク此學校ハ維持費トシテ教員給ノ外、年額二千〇四十二弗ヲ支出セリ此學校ハ千八百九十八年四月ニ改革セラレ今ノ修業年限ハ三年ノモノト一年ノモノトアリテ何レモ日本語ヲ教授ス千八百九十八年日本教師ノ數ハ四人ニシテ學校ノ維持費ハ三千圓ノ年額ヲ支出シ優等生ニハ月額十弗ヲ給與シ成績最モ優良ナルモノハ校

費ヲ以テ日本ニ留學セシム千八百九十八年ニ於テ此學校ノ生徒數ハ百人ナリ

支那學校 此學校ハ清語通譯養成ノ目的ヲ以テ千八百九十年代ノ終リニ創立セラル教科目ハ清語ノ外、支那文學アリ生徒數ハ開校ノ當時三十五人其年齡ハ十五以上三十以下

千八百八十四年韓國ハ内地開放ノ爲メ通譯ノ不足ヲ感シ始メタルカ故ニ政府ハ其需用ヲ充スカ爲メ特別ノ學校ヲ設立シ米國ヨリ教師ヲ雇入レタリ而シテ後ニハ此學校ヲ擴張シ其教科目ニハ英語ノ外、自然科學、國際法及ヒ財政學ヲ加ヘタリ然レトモ此學校ハ其後ノ調査ニヨレハ既ニ閉止セラレタリト云フ千八百九十八年京城ニ新式ノ官立初等學校九箇アリテ生徒總數八百三十八人ヲ有シ當時ノ教科目ハ讀法、作文、算術、能書術、體操及ヒ初步ノ地理並ニ歴史トス教員ノ俸給ハ月額十五弗乃至二十弗ナリ韓國ノ主要ナル土地ニハ二十一箇ノ新式初等學校アリ

韓國政府ハ時トシテ留學生ヲ外國ニ派遣スルコトアリ英國ノ「ビショップ」女史ノ言ニヨレハ千八百九十八年日本ニアル韓國官費留學生ハ約八十人ニシテ語學ノ進歩ニ於テハ大ニ見ルヘキモノアリト雖トモ數學及ヒ論理ノ力ニ於テ不足ヲ示セリ

韓國ニ於テハ外國人ノ設立ニ係ル學校アリ其總數ハ既ニ基督教ノ部ニ於テ記述シタル所ノ如シ韓國ニ「バー、ツァー」ト稱スル學校アリ此學校ハ千八百八十七年政府ノ許可ヲ得テ設立セラレタルモノニシテ亞米利加「メソヂスト」教會ニ屬シ十一年ノ間「アッペンセラー」氏管理セリ此學校ニハ清韓部アリテ支那ノ古文及ヒ萬國歴史等ヲ教授シ又大ナラサル神學部及ヒ英學部アリテ英學部ニ於テハ讀方、文法、正文法、歴史、地理、算術及ヒ化學初步並ニ博物學初步ヲ教授ス千八百九十八年ノ入學生ハ英學部

六十六人ニシテ清韓部約八十人ナリ

前記ノ亞米利加「メソヂスト」教會ハ又京城ニ於テ兒童ヲ教育スル爲メ若干ノ職業學校ヲ設立シ亞米利加「プレスヰイテリアン」教會ハ若干ノ學校ヲ起シ殊ニ女子教育ニ重キヲ置ケリ佛國ノ「エトランゲル」教會ハ千八百九十八年京城ニ孤兒院一箇及ヒ兒童ヲ教育スル爲メ若干ノ學校ヲ有シ是等ノ設備ニヨリテ總員二百六十二人ノ兒童ヲ收養セリ此教會ノ目的ハ羅馬加特力教ノ精神ニ於テ兒童ヲ教養スルヲ主眼トシ學校ニ於テ清韓語ノ讀方及ヒ書方ヲ授ケ又或ル程度マテ支那ノ古文ヲ學ハシメ宗教教育ハ韓語ヲ以テ之ヲ授ク孤兒院ニ於テハ專ラ韓語ヲ授ケ十三歳ニ至レハ京城若クハ諸道ニ於ケル加特力教徒ノ韓人之ヲ養ヒ退院セシメ年長ノ女子ハ韓語、裁縫及ヒ家事ヲ學ヒ十五歳ニ至レハ加特力教徒ナル韓人ノ子弟ト結婚ス龍山ニハ右ノ教會ニヨリテ設立セラレタル宗教中學校アリテ韓國人ヲ入レ僧侶ヲ養成ス

千八百九十七年平壤ニ於テ市民ノ設立ニ係ル英語學校出來タリ

千八百九十六年日本ニ於ル韓國教育協會ハ京城ニ學校ヲ設立シ支那ノ古文ト韓語及ヒ日本語並ニ諸種ノ學術及ヒ宗教ニ關スル書物ノ讀方ヲ授ク右協會ハ主トシテ基督教徒ヨリ成立スルモノナリ

千九百年ノ初メ韓國ニ十四ノ日本學校アリ同年春尙ホ三箇ヲ増設シ其二箇ハ韓國ノ北部ニ一箇ハ韓國ノ南部ニ置カル韓國内部大臣ハ此三箇ノ學校ヲ開クニ當リ十分ナル助力ヲ與フヘキ旨ヲ當局官廳ニ訓示シタリ

科擧 韓國ニ於テハ清國ニ於ルカ如ク學問甚タ尊重セラレ官吏登用ノ方法トシテ文學ノ試験ヲナスノ制度ハ古ヨリ最近十年前マテ國家制度ノ基本ノ一トシテ數ヘラレタリ特ニ此制度施行ノ初期ニ於テハ官

吏ニ登用セラレタルモノハ必ス相當ノ學位ヲ有スルヲ條件トセリ然ルニ後ニ至リテハ此總則中ヨリ除外例ヲ置キ「ナム、フィン」ト稱シ祖先ノ功勞ニヨリ官吏トナルノ特權ヲ有スル民階ニ屬スルモノ、爲ニ特例ヲ設ケタリ此階級ニ屬スル人員ハ頗ル多シ尤モ其官吏トナルニモ初メハ階級低キ官等ニ止ル之ト關係ナク科擧制度ハ歲月ノ經過ト共ニ漸次紊亂シ官吏登用ノ際ニハ賄賂及ヒ請托行ハレテ及第ノ動力トナリ試験ハ外觀ノ爲メ之ヲ行ヒシトハ雖トモ其方法不確實ニシテ實際ニ於テハ學位ハ相當ノ學力アルモノニ與ヘラレスシテ富者若クハ大官應援ノ連絡ヲ有スルモノ之ヲ得タリ憲宗王ハ千八百三十四年公然學位及ヒ官職ヲ賣買スルコトヲ許シ以來試験官ハ自己ノ利益ヲ計ルコトヲ止メス紊亂ノ極、受験者ハ時トシテハ公衆ノ前ニ於テ文章ヲ買收シ學士及ヒ博士ノ名簿ハ既ニ試験前ニ知レ渡ルコトモ有リキ斯ノ如ク腐敗セル制度ニ必然伴隨スル結果トシテ全國ニ於ケル教育ハ墮落シ終リ巧言令色ノ風盛ニ蔓延スルニ至レリ

備考 科擧ハ法律ヲ以テ廢セラレタルニ非スト雖トモ實際ニ於テハ千八百九十四年以後消滅ニ歸セリト云フ

科擧ハ其最後即チ今世紀ノ後半期ニ於テハ左ノ如キ狀態ヲ呈シタリ

科擧ニ二種アリ(一)所謂文官試験「ムンゴア」ニシテ此試験ヲ經レハ遲滯ナク官吏ニ登用セラル(二)「チンサ」學士及ヒ「サンウオン」博士ノ學位ヲ得ル爲メノ試験ニシテ是等ノ學位ハ法律上官吏トナルノ資格ヲ有ス然レトモ實際ニ於テハ是等ノ學位ヲ有スル者ヲ限ラス無資格者モ往々下級官吏トナルコトアリ(ムンゴア)ノ試験ハ毎回京城ニ於テ行ハレ之ヲ「チヨル、イル、ゴア」即チ佳節試験「ツイン、ゴアン」即チ

補足試験及ヒ「ヒヨール、シー」即チ特別試験ニ分ツ第一種ノ試験ハ毎年五回定期ニ之ヲ行フ其期日ハ韓曆正月七日、三月三日、七月七日、九月九日及ヒ十一月ニ於テ濟州島ノ人民ヨリ密柑ヲ租稅トシテ上納スル日トス此最後ノ試験期日ハ韓國ニ於テ數世紀以前初メテ京城ニ密柑ノ輸入アリシ紀念ニ由來スルモノナリト云フ

「ムン、ゴア」ノ試験ハ三種ノ詩題ヲ與ヘテ之ヲ作ラシムルニアリ此試験ヲ受ケ第一番ニテ及第シタルモノハ六等官ヲ得、二番及三番ニテ及第シタルモノハ臨時ニ宣傳官廳ノ假注書ニ任セラレ四番以下ノ及第者ハ官吏ニ任用セラル、マテ及第シタル「クイブ、チエー」即チ官吏候補者ノ資格ヲ受ク
官吏登用ノ爲メニ行フ補足試験及ヒ特別試験ハ別ニ佳節試験ト異ナルコトナキモ唯其期日ヲ一定セスシテ國王ノ命ニ因リ國家ノ祝日例令ハ皇儲ノ誕生若クハ大婚ノ時等ニ於テ之ヲ行フ

學位ヲ得ル爲メノ試験ハ三年毎ニ一回之ヲ行ヒ三年目ノ秋期毎ニ首府ノ試験官四名忠清道、全羅道、慶尙道、及平安道ニ分遣セラレ地方長官ト共ニ豫備試験(初試)ニ着手ス(豫備試験區域ハ毎回一道ノ一半ヲ限ル)豫備試験ノ目的ハ翌年ノ春京城ニ於テ行ハルヘキ學位受得試験ニ應スル資格ヲ定ムルニアリ其他ノ道ニ於テハ縣知事一人ニテ候補者ヲ推薦ス

受験者ニシテ試験官ニ親族關係ヲ有スル者ハ其試験官所在ノ管内ニ於テ受験セス他ノ市府ニ赴クヲ要ス規定ニヨレハ父子ハ同時ニ同一ノ場所ニ於テ受験スルコトヲ得ス初試ノ試験ヲ經タル者モ亦下級官吏例令ハ地方官衙ノ書記等ニ採用セラル、コトヲ得

豫備試験(初試)ハ二日間之ヲ行ヒ其間ニ一日ノ休日ヲ置ク第一ノ日ニ受験者ハ翌年ノ春學士タルノ試験

ヲ受クヘキ資格ヲ定メラル其試験科目ハ支那ノ古文即チ四書五經トス第二日ニ受験者ハ詩二題ヲ作り而シテ此問題ニテ及第シタル者ハ博士ノ試験ヲ受クルノ權利ヲ受得ス

韓國ニ於テ毎三年ニ行ハル、初試ノ試験ニ合格シタルモノ、數ハ總計千四百人(博士及ヒ學士ノ候補者各七百人)ニ達シタリ博士及ヒ學士候補者試験ハ同時ニ之ヲ兼スルコトヲ得ト雖トモ同時ニ此兩科目ヲ通過スルモノハ甚々少ナシ

京城ニ於ケル最終試験即チ覆試者クハ會試モ亦前記ノ試験ト施行ノ方法ヲ同クス然レトモ學位ヲ得タルモノハ百人ヲ超エス京城ノ試験ニ合格セサル者ハ更ニ次回ノ試験ニ應スルコトヲ得然レトモ落第スルコト二回ニ及ヘハ更ニ所管地方廳所在地ニ於テ豫備試験ヲ受クルヲ要ス又落第スルコト三回ニ及ヒタル者ハ終身學位受得試験ニ應スル權利ヲ失ヒ初試ヲ以テ満足セサルヘカラス

受験志願者ハ學業ニ關スル證書ヲ提出スルノ要ナシ是レ受験志願者ハ相應ノ學力ヲ有スル者ト見做サルレハナリ各受験者ハ最近ノ祖先四人ヲ系圖中ヨリ拔記シテ之ヲ提出シ地方ヨリ來ル者ハ右祖先名簿ノ外品行ヲ證明スル爲メ官吏ノ階級ニ在ル者及ヒ受験者ト同一ノ郡内ニ住居スル者ヨリ三人ノ證人ヲ立ツルヲ要シ首府ニ住居スル者ハ警視廳ノ證明書ヲ提出ス試験ノ際ニ於テハ一切ノ發言ヲ禁シ犯ス者ハ嚴罰セラル若シ受験ノ爲メ代理者ヲ出シタルモノハ之ヲ水夫ノ役ニ服セシム又禁止シタル圖書ヲ携帶シタル者ハ試験場ニ入ルヲ許サス文章ヲ剽竊シタルモノ及ヒ他人ノ文章ヲ試験場ニテ寫シタル者ハ兵役ニ就カシメ之ヲ僻遠地方ニ送遣ス

試験ハ之ヲ公開シ試験委員ノ面前ニ於テ行フ試験委員ハ七年ニシテ試験毎ニ式部省ノ處置ニヨリテ之ヲ

任命ス試験ハ凡テ専ラ古昔ノ漢學ニシテ支那ノ古文書九種ノ句讀、是等ノ書中ニアル難句ノ解釋、與ヘラレタル詩題ノ作成、國王及ヒ王妃ニ對スル頌詩ノ作成及ヒ漢文學ニ關スル口述ニヨリテ試ミラル受験者ハ答案ト共ニ系圖及ヒ住所姓名ヲ記シタル卷紙ヲ革包若クハ袋ニ封入シ之ヲ試験官ニ渡スヘシ試験官ハ受験者ノ文章合格シタル場合ニハ革袋ヲ開封シ高聲ニ受験者ノ姓名ヲ呼ヒテ之ヲ進メ文章ニ對スル合格ノ批評ヲ聞カシメ落第シタルモノニハ封シタルマ、革袋ヲ返還ス其返還ヲ受クル者ハ封緘ニヨリ自己ノ物ナルヲ辨シテ之ヲ受領スルナリ

試験ハ數日間繼續ス及第者ニハ成績ノ程度ニ應ジ國王ノ名ヲ以テ「チンサー」若クハ「サンウオン」ノ學位證書ヲ授與ス學位證書ハ厚紙ノ板ニシテ其上ニ學位ヲ得タル者ノ姓名學位及ヒ合格ニ對スル褒詞ヲ記載シ國王ノ印璽ヲ鈐ス「チンサー」ノ學位證書ハ白色トシ「サンウオン」ノ學位證書ハ紅色ニシテ輪廓ニ花束ヲ畫ク是等ノ證書ハ寶物トシテ之ヲ保管シ一門ノ名譽トス

受験者ハ試験ノ前日指定ノ場所ニ集リ各々其位置ニ就キ其處ニ用具ヲ置ク受験者ノ多數ハ辨當ヲ携帶シテ出席シ甚シキニ至リテハ二三人ノ僕婢ヲ伴フ者アリテ秩序ナキ群集ノ觀ヲ呈ス斯ノ如キ事情ナルヲ以テ試験場ノ混雜非常ナルヘキハ明カナルコトニテサナキダニ狹クシテ且ツ非常ニ不潔ナルコトヲ考フレハ試験ノ前日種々ノ年齢ノ人々ヲ以テ填充セラレタル場屋ノ光景ハ想像スルニ難カラサルナリ

時トシテハ國王自ラ試験場ニ臨ムコトアリ斯ノ如キ場合ニ於テハ試験ハ普通ノ試験場ニ於テセスシテ宮中ニ於テ行ハル然レトモ宮中ニ於テハ試験ニ必要ナル屋舎ナキカ故ニ別ニ露天ニ試験場ヲ設ケ受験者ハ日光若クハ雨ヲ防ク爲メニ傘ノ下ニ筆ヲ執ラサルヘカラス試験委員ハ試験場ニ突出シタル屋舎内ニアリ

試験委員ヲ親シク統裁スル所ノ國王ハ大官ヲ隨ヘ帳幕内ニ於ケル龍ノ彫刻アル裝飾ヲ有スル玉座ニ在リテ臨監シ玉座ト受験者トノ間ニ繩ヲ引キ之ニ手拭及ヒ蓆ヲ掛ケテ之ヲ隔障トス作文題ハ國王自身之ヲ與ヘ卷紙ニ大ナル漢字ヲ以テ之ヲ記シ受験者ノ爲メニ前面ニ揭示セラル受験者ハ作文ヲ終リタルトキハ之ヲ管ニ卷キ込ミテ隔障ノ中ニ投ス隔障ノ後方ニアル所ノ兵士ハ之ヲ收拾シテ試験官ニ渡シ試験官ハ之ヲ通讀シテ國王ニ進達シ其品評ヲ乞フ是等ノ手續ハ概シテ甚々迅速ニシテ試験ハ數時間ニシテ終ル「サンウオン」ノ學位ニ及第シタル者ハ國王手記ノ證書ヲ以テ之ヲ名譽ニシ其合格者ハ玉座ニ近ツキ低頭三拜ノ後紅牌ヲ受領シテ之ヲ胸部ニ懸ケ更ニ四拜シテ退ク

合格者ハ家ニ歸ルトキ試験場ノ催シニ係ル密集喧噪セル行列ヲ以テ送ラレ爲メニ三日間ノ祝典ヲ設ケラレ合格者ハ體裁ヨキ衣服ヲ着ケ馬ニ跨カリ音樂隊ヲ從ヘ大官、試験官、親族及ヒ知己ヲ訪問ス又韓國ニ於テハ新學士ニ對シ諧謔ヲ加フルノ風アリ及第者ノ親族若クハ朋友ノ中、學位ヲ有スル所ノ一人ハ自ラ代父トナリ儀式ヲ準備シ儀式ノ當日新學士ハ代父ニ赴キテ之ヲ拜シ數歩後退シテ然後座ニ就ク代父ハ相當ノ敬禮ヲ加ヘテ初メハ「インキ」ヲ以テ後ニハ粉ヲ以テ新學士ノ顔面ニ撒キ其他ノ列席者モ順次同一ノ方法ヲ新學士ニ加フ此諧謔ノ滑稽ハ儀式ノ終リニ於テ主人ナル新學士ヲ説伏シ然ル後其身體ヲ洗滌シ摩擦スルコト十二回乃至十五回ニ及ヒタル後新ナル客ヲ引入レテ又之ヲ汚サシムルニ在リ時トシテハ此儀式ノ方法ハ多少趣ヲ異ニスルコトアリテ好成绩ヲ得テ試験ニ及第シタルモノハ其親友之レヲ試験官ノ一人ニ伴ヒ行キ試験官ハ之ヲ祝シテ頰撃ノ響應ヲナシ新衣ヲ破リ帽子ニ唾シ或ル場合ニ於テハ新學士ハ墨汁ヲ顔面及ヒ被服ニ散布セラレ試験官ハ繡ヲ以テ新學士ノ顔面ニ白色ノ石鹼粉ヲ散布シ之ヲ粘着セシ

ム之ニテ儀式ハ終ルナリ然ル後集會者ハ與ヘラル、信號ニ從ヒ新學士ノ家ニ行キ新學士ハコ、ニ於テ身體ヲ洗滌シ最良ノ衣服ヲ着ケ然ル後始メテ問訪ヲナスタメニ出發シ以テ祝辭ヲ受クルナリ
 試驗及篤者ハ國士トナリタル紀念トシテ祖先ノ墓若クハ自宅ニ高サ三四「サーゼン」(サーゼンハ日本ノ約七尺)ノ柱ノ上部ニ龍ヲ彫込ミタル者ハ建立シ之ト同時ニ祖先ノ靈前ニ供物ヲ獻ス

基督教 加特力教ノ傳播

基督教ノ傳來 千五百九十二年日本軍侵入ノ時日本軍ニハ多クノ基督教信者アリテ之ヲ韓人ニ傳ヘタルヲ以テ此宗教初メテ韓國ニ入り千五百九十三年ニ至リ加特力教宣教師「セスベデス」亦初メテ來邦セリ然レトモ日本人ハ基督教ヲ傳フルト同時ニ迫害殺戮ヲ行ヒシヲ以テ此宗教ハ爲メニ發達ヲ妨ケラレ其洗禮ヲ受ケタルモノハ唯捕虜ノミニシテ是等ハ皆日本ニ送ラレタルカ故ニ韓國ニハ日本軍退去ノ後亦此宗教ノ痕跡ヲ留ムルコトナカリキ故ニ韓國ニ實際基督教ノ始リシハ千七百八十四年トスルヲ正當ナリトス

韓國ニ於テハ古來支那ノ學問貴重セラレ韓國學者ハ嘗ニ支那ノ文章ヲ學フノミナラス孔廟其他ノ集會所ニ會合シテ漢學ニ關スル事項ヲ論議研究シタリ然ルニ千八百年代ノ央ヨリ北京加特力教會員ノ發行セル基督教ノ聖書類漢書ニ混シテ韓國ニ傳ハリ韓國學者ハ其幼稚ナル批評力ヲ以テ之ニ對シ之ヲ孔教、佛教其他祖先傳來ノ教義ト比照シテ其教旨ノ迥カニ深遠ナルヲ信シ就中「コアン」、「イー、トク、ツォー」ノ兩儒ハ特ニ其教旨ヲ研究シテ深甚ナル感ヲ起シ之ヲ實行セント企圖シタリシカ尙該宗教ニ關スル事項ヲ増補

説明スルノ必要アルヲ感シ北京駐劄韓國公使ノ息「ジョン、フン、イー」ニ其取調方ヲ托シタリ「ジョン、フン、イー」ハ父ノ許ヲ得テ北京ニ於テ洗禮ヲ受ケ京城ニ歸還スルノ後、前ノ兩儒モ亦洗禮ヲ受ケ尋テ他ノ基督教ヲ知ルモノモ亦洗禮ヲ受ケ斯クノ如クニシテ其信者ハ上流社會ニ廣カリタルニ愛國黨ハ甚シク之ヲ憎ミ「異國韓人」ノ名ヲ以テ之ヲ呼フニ至レリ此時基督教ノ中心ハ「コアン」ノ出生地ナル楊根郡ニシテソレヨリ忠清南道ノ泰安郡ニ傳播シ盛ニ行ハレテ全羅道ニモ播及セリ「コアン」ハ東城ニ於テ北京ヨリ到着シタル聖書類ノ説明書ヲ手寫シ又之ヲ韓譯シタリ此ノ如クニシテ此宗教ハ漸々盛ナルニ從ヒ政府及ヒ一般學者ノ注意ヲ惹キ一般學者ハ仇敵トシテ之ニ對シ此宗教ハ根本ニ於テ正シキ國教ヲ破壊スルノミナラス神聖ナル習俗ヲ傷フモノナリトシテ之ヲ擯斥シ政府ハ該宗教カ祖先ヲ禮拜スルヲ禁スルノ故ヲ以テ其害ヲ舉ケ千七百八十四年四月基督教ニ反對スル第一回公文ヲ公布シ嫌疑者ノ搜索及ヒ拷問ヲ始メタリ然レトモ教徒ハ甚ク熱心ニシテ政府ノ禁令ニ頓着セス依然布教ノ事ヲ繼續シ泰安郡特ニ盛ナリ而シテ千七百八十七年基督教反對運動ノ一時休止シタルコトハ特ニ此宗教ノ播布ヲ助成シタリ

宗教管區ノ創設 基督教徒ハ規則的團體ナキヲ一大缺點ト思惟シ北京教會ニ倣ヒテ宗教管區ヲ創設セント欲シ監督及ヒ其他ノ僧侶ヲ選舉シ其僧侶等ハ清國ノ華麗ナル絹衣ヲ着ケ民間ヲ說法巡廻スルコト、ナレリ此頃婦人ノ基督教信仰問題起リタルニ從來韓國婦人ノ社會的及ヒ家族的地位ヨリ考フルモ是レ一大改革ニシテ之カタメ非常ナル動搖ヲ起シタルモ遂ニ婦人ノ信仰ヲ許スコト、ナレリ而シテ宗教管區ノ宗務所ハ之ヲ京城ニ置キタリ此ノ如クニシテ初メテ韓國ニ宗教管區成リ其宗教管區ハ千七百八十九年マテ存續セリ然レトモ其宗教管區創設後僅ニ二年ノ後僧侶選定ニ關シ規則上ノ紛議起リタルニヨリ僧

侶團體ハ北京ニ在ル宗教監督ニ書面ヲ贈リテ其解決ヲ求メタルニ該監督ハ喜ンテ之ニ應シ教條ノ密旨ヲ説明シタリ之ニヨリテ教徒ハ宗教管區ハ法律的團體ニアラスシテ異教徒ヲ開導スルヲ以テ唯一ノ任務トナスヘキモノナルコトヲ了解セリ而シテ教徒ハ宗教監督ニ服從シ宗教ノ儀式執行ノタメ高級僧侶ヲ派遣センコトヲ該監督ニ乞ヒタルニ監督ハ儀式執行ニ要スル一切ノ物件ヲ送り追テ執行者ヲモ發遣スヘキコトヲ約シ且ツ自今祖先ニ犧牲ヲ供スルコト竝ニ凡テ基督教ノ主旨ニ反スル異教ノ習俗ニ參與スルコトナカルヘキヲ示シタリ然ルニ韓人ノ宗教儀式ニ於テハ祖先ニ供物ヲ獻スルコト主要ナル事項ニ屬スルヲ以テ監督ノ示シタル此要求ヲ實行スルハ韓人ノ尤モ困難トスル所ナリシト雖モ而モ多クノ教徒ハ斷然決意シテ此要求ニ服シ之カタメニ脫宗シタルモノハ僅少ナリキ但シ初ヨリ此宗教ノ爲メ盡力セシ「シヨン、フン、イト」ハ此時脫宗シタリ

第一回基督教退攘 此時基督教反對者ハ氣焰尙ホ熾ニシテ新教カ父母ヲ葬ルトキニ供物ヲ爲サス且ツ祖先ノ位牌ヲ燒毀スルノ事實ヲ認メタル後ハ反對熱益々劇烈ニシテ新教傳播ノ先導者タル韓人二人ハ第一ニ違法トシテ問ハレ千七百九十一年十二月八日公然脫宗ヲ拒絕シタル廉ヲ以テ斬ニ處セラレタリ是レ韓國ニ於テ基督教ノ爲メ血ヲ流スノ初メニシテ被刑者ノ屍骸ハ九日間委棄セラレタル後同宗派ノ人々之ヲ埋葬シタリ死者ノ血ニ染メラレタル手拭ハ同宗ノ人之ヲ秘匿シ其紀念トシテ久シク之ヲ保存セリ此時探偵吏ハ國內到ル處ニ教徒ヲ搜索シ之ヲ捕縛シテ獄ニ投シ或ハ斬ニ處シ或ハ笞杖ヲ加ヘ先導者ノ一人ハ濟州島ニ送ラル、途中ニ於テ死シ齡六十ノ老人ナル一教徒ハ種々ノ虐遇ヲ受ケタル後、水中ニ凍死セシメラレタリ

右教徒中刑戮ヲ免レタルモノ、談ニヨレハ遭難教徒ノ血ハ受刑後數日尙ホ温ヲ保チ其身首ハ數週間片付ケラレサリシト

韓政府ハ朝廷ノ熱心ナル幫助ヲ得テ間斷ナク教徒放逐ヲ行フコト二年ノ後其ノ勞ニ疲レタルモノ、如ク見ユ爾後ハ平和手段ニ依ルコトトシ金錢、有益ノ位置及ヒ名譽等ヲ擬シテ教徒ノ脫宗ヲ勸誘シ多少ノ實效ヲ奏シタリト雖トモ一方ニハ追捕ノ緩慢トナリシ結果再ヒ該教徒ノ増加ヲ見ルニ至リ爾後ノ十年間ニハ外國宣教師ノ傳道ナクシテ尙ホ増加シタル教徒四千人ニ上リタリ元來韓人ハ知ルト知ラサルト問ハス相互ニ訪問シテ談話スルノ風習アルヲ以テ一ハ是等ノ媒介ニヨリ該宗教ハ逆境ニ在リナカラモ尙ホ此ノ如ク播布スルコトヲ得タリシナリ

外國宣教師 外國宣教師ハ北京ニ在ル宗教監督カ韓皇ニ與ヘタル約束ニヨリ千七百九十一年初メテ韓國ニ入ルノ企圖ヲ起シ在澳門ノ葡國宣教師「ヨアン、ドス、レメジオス」ハ北京ヲ經テ鳳凰城附近ノ韓村ニ向ヒタルニ韓國教徒ハ之ヲ定期市場ノ日ニ迎ヘサルヘカラサル日割トナリ右宣教師ハ二十日ノ旅行ノ後豫定ノ期限ニ到着シ發覺ノ危險ヲ犯シ滞在スルコト十日ニ及ヒシモ韓國教徒ハ探偵追捕ノ難アルヲ恐レテ出テ來ラス右宣教師ハ空シク希望ヲ棄テ、北京ニ引還シ其後間モナク其地ニ死亡シタリ爾後二年間韓國教徒ヨリ何等情報ノ到着スルモノナキヲ以テ北京監督ハ更ニ宣教師ヲ派遣スルコト、シ此危險ナル任務ヲ「ヤコヴ、チュ」ニ托セリ「ヤコヴ、チュ」ハ支那人ニシテ其態度韓人ニ似タル二十四歳ノ少年宣教師ナリ彼ハ全權ヲ帶ヒ千七百九十四年二月北京ヲ出發シ二十日ヲ經テ韓境ニ到着シタリト雖トモ其韓國ニ入ルコトハ同年ノ末ニ至リ市メテ成就シタリ即チ彼ハ同年十二月二十三日夜、鴨綠江ヲ渡リテ無事京

城ニ到着シ直ニ事業ニ着手シタルニ其經過良好ナリシト雖トモ翌年六月教徒中ノ一人悖犯シテ政府ノ偵察吏ニ密告シタルヲ以テ「チュウ」ハ他ノ地方ニ逃走シ此時三人ノ教徒即チ二人ハ京城マテ道案内ヲ爲セシモノ一人ハ通譯ノ勞ヲ取りシモノ捕ヘラレ拷問ノ後「チュウ」ヲ引渡サ、ルノ故ヲ以テ刑ニ處セラレタリ然ルニ「チュウ」ハ教徒ナル貴族婦人ノ家ニ隠レタルカ國法上偵吏ノ貴族ノ家ニ入ルヲ禁スルカ故ニ三年間捕縛ノ難ヲ此家ニ免カレ千八百九十六年九月彼ハ韓國公使ノ清國ニ赴ク時、在北京ノ宗教監督ニ書面ヲ贈ルノ便宜ヲ得タリ

第二回基督教退擯

千七百七十五年ヨリ千八百年マテハ時ノ國王寛大ナリシヲ以テ基督教徒ハ比較的 safetyヲ保チ其間稀ニ拷問酷刑ノ難ヲ受ケシモノハ國王ニ反對スル黨派ノ害心ニ出テタルモノナリキ然ルニ千八百年國王崩シタル後幼王ノ攝政ハ幼王ノ祖母之ニ任シ五ヶ月ヲ經サルニ既ニ前任大臣ヲ免職シ新ニ基督教反對者ヲ拔擢セリ數日ヲ經テ教徒追捕ノ復舊令公布セラレ千八百一年中ハ貴賤老幼男女ノ捕縛、拷問、流竄、殺戮ニ遭フモノ頻々トシテ現ハレ中ニモ「基督教ノ根元」ト稱スル書籍ヲ韓語ニテ出版シ且ツ正則的神學ヲ起シタル「アレクサンドル、オワン」ハ刑セラレタリ此書ハ裁判官ニ於テ忠孝粹倫ヲ紊亂スルモノト認定シタリシナリ

「チュウ」ニ對シテ政府ハ違犯ヲ宣告シタリ是ニ於テ「チュウ」ハ此上恩人ヲ煩スヲ欲セス貴族婦人ノ家ヲ立去リ自首シテ縛ニ就キ千八百一年五月三十一日享年三十三ニシテ死刑ノ執行ヲ受ケタリ尋テ彼ヲ保護シタリシ貴族婦人モ亦捕ヘラレテ獄ニ投セラレ間モナク死刑ニ處セラレタリ

此時政府ノ方針ハ教徒ニシテ地位アリ教育アル者ノ元氣旺盛ナルモノ及ヒ外國宣教師ナシニ平民ヲ誘導

スルノ力アルモノハ悉ク之ヲ殲滅スルニ在リキ然レトモ國王ハ「チュウ」ヲ殺シタルノ故ヲ以テ清國ニ對シ清國臣民ヲ殺害シタルノ責任ヲ負ハサルヘカラサルニ至リ清國ニ對シ韓國ハ清國先王ノ教ノ外他教ノ侵入ヲ許サス故ニ異教ハ如何ナルモノナリトモ必ス之ヲ放逐スルノ必要アル旨ヲ聲明シ彼ハ基督教徒ヲ以テ夷狄禽獸視シタリ千八百二年一月二十五日新ニ令ヲ發シテ基督教ノ信仰ヲ國民ニ禁シ其反對黨ハ嚴刑ヲ以テ之ヲ根絶センコトヲ期シタルカ此時信徒ニハ實際上甚シキ害惡ヲ行フモノアリシヲ以テ該徒黨ハ根絶スヘシト云フ多少ノ理由ヲ與ヘサルニモアラサリシナリ斯ノ如キ事情ナルニヨリ信徒ハ警吏ノタメニ追ハレテ山林ニ散匿シ辛酸ナル生活ヲ爲スニ至レリ

千八百十一年韓國信徒ハ書ヲ羅馬法王ニ贈リテ法力ノ援助ヲ與ヘ且ツ韓王ト協定スル爲メ使節ヲ派遣セシコトヲ乞ヒ加之彼等ハ宗教ト道德ノ爲メニハ故郷ヲ棄ルコトヲモ辭セサルヘキ旨ヲ通告シタリ又彼等ハ之ト同時ニ北京ニ在ル加特力宣教師等ニ書面ヲ以テ救援ヲ乞ヘリ然レトモ羅馬法王モ北京加特力宣教師等モ答フル所ナカリキ如何トナレハ羅馬法王「ピール」七世ハ此時那翁一世ノ爲メニ捕ヘラレテ「フォンテンプロ」ニ在リ韓人ノ請ニ應スルコト能ハス之カタメ北京加特力教ノ状態モ危險ノ地位ニ瀕シテ韓人ニ實際的助力ヲ與フルノ餘地ナカリシカ故ナリ然レトモ千八百十四年マテハ韓國ノ教會ハ兎ニ角無事ニ經過スルコトヲ得タリ然ルニ千八百十五年ニハ韓國ニ大飢饉アリ江原慶尙ノ二道特ニ甚シ反對黨即チ此機ニ乘シテ起リ災害ノ來ルハ國禁ニ係ル宗教ノ行ハル、ニ原因スト稱シ信徒ノ放逐ヲ再演シタリ千八百二十三年韓國ノ信徒多數ハ北京ヨリ外國人ナル宗教監督ノ韓國ニ來ルヘキ報ヲ得之ヲ清境ニ迎ヒタルモ客ヲ得スシテ歸レリ千八百二十六年是ヨリ先キ日本ノ基督教先導者七名逃亡シテ韓國ニ在ルモノ

ヲ日本政府ヨリ引渡方交渉シ來レルニ會ヒ韓國教徒ハ沸起シタリ

第二回基督教退擯 千八百二十七年ハ教徒ノ爲メ紀念スヘキ年ニシテ其年ノ初メハ平穩無事ノ狀態ニ在リテ近キ將來ニ不幸ヲ來スヘキ兆候モナカリシニ一異教徒ノ基督教徒ノ所有セル聖書類ヲ獲取シ之ヲ政府ノ官憲ニ提示シテ密告スルアリ之ニ由テ基督教徒ノ舉俄然トシテ復タ起レリ此時該教徒ノ偵察ハ驚クヘキ速度ヲ以テ全羅道全部及ヒ慶尙道ノ一部ニ普及シ極メテ短時日ノ間ニ教徒ノ縛ニ就キタルモノ五百人以上ニ達シタリ教徒ハ過去ニ於テ屢々遭害シタル放逐ノ殘虐ナルヲ記憶スルカ故ニ今回ノ事アルヤ驚愕シテ山林ニ遁走シ猛獸及ヒ餓死ノ犠牲トナリタルモノ多シ然レトモ此時政府ノ放逐ハ嚴酷ナリシニ拘ハラヌ公然死刑ヲ行フコトナク拷問ノ後之ヲ遠隔ノ島嶼ニ送り若クハ獄ニ投シタリ入獄シタルモノハ間モナク飢餓ト虐待ト疾病ノ爲メニ死セリ此時政府ニ於テ公然死刑ニ處スルコトヲ爲サ、リシ所以ハ一ハ二十五年前即チ千八百一年尙幼童タル時死刑ニ反對セシ韓王ノ仁慈ニヨリ一ハ政府ニ於テ基督教徒ハ其宗教ノタメニハ管ニ獻身ヲ厭ハサルノミナラス時トシテハ寧ロ公衆ノ前ニ於テ刑ニ就カンコトヲ希フモノアルカ故ニ其實況ヲ公衆ニ示シテ該宗教ノ信仰ヲ興フルノ深キヲ知ラシムルノ不得策ナルヲ認知シタルヒヨルナリ此掃蕩ヲ受ケタルノ後五年間ハ基督教徒ハ無事ニ經過シタリ千八百十一年韓國教徒カ羅馬法王「ピエ」七世ニ宗教上ノ援助ヲ求ムル爲メニ贈リタル書面ニ對シ千八百三十一年羅馬ノ宗教裁判所ヨリ返答來リ同時ニ法王「グリゴリー」十六世ハ韓國教徒ニ日常ノ祈禱ヲ行ハシメ得ヘキヲ認メ韓國ニ主教補ヲ設置シ當時返羅ニ布教中ナリシ宗教監督「ブルゲール」ヲ擧ゲテ之ニ任命シタリ然レトモ此監督ハ韓國ニ入ルコトスラ成就セス三年間東奔西走シ心力ト費用ヲ費シタル後韓國ニ入ルノ前約一日滿

洲ノ韓境ニ於テ死去シタリ

歐洲宣教師ノ入國 千八百三十七年韓國ニ洪水アリ皇帝ハ无意ヲ和クルタメ流刑人ヲ赦免ス其流刑人中ニハ多クノ基督教信者モアリタリ其年東印度會社ハ北清ニ新市場ヲ開カンタメ「ロード、アムハースト」ト稱スル船ヲ送り船ノ中ニハ和蘭傳道會社ノ委托ヲ受ケタル獨人「ギユツラフ」在リ其年七月十七日「ギユツラフ」韓國西南海岸ニ上陸シタリ彼ハ能ク清語ヲ操リ且ツ醫學ノ知識ヲ有スル人物ニシテ上陸後宗教ニ關スル書物及其他普通ノ書籍ヲ住民ニ配與シ國王ニハ官吏ヲ經テ聖書、琢玻璃綿布ヲ贈呈シタリシカ此贈品ハ受領セラレサリキ然ルニ韓國貴族中ニハ生命ノ危險ヲ冒シ此贈品ヲ獲ントスルモノ多カリキ「ギユツラフ」ハ韓國ニ於テ基督教徒ヲ見ルコト能ハサリキ如何トナレハ韓國官憲ハ韓國ニ此信仰ノ存在スラ之ヲ拒絶シタレハナリ此ノ如キ事情ノ下ニ「ギユツラフ」ハ空シク海岸ニ停止スルコト約一箇月ノ後遂ニ去レリ

千八百三十四年マテハ韓國ニ於ケル基督教徒ニ外國宣教師ノ助力ヲ得サル期間ニシテ是ヨリ後ハ外國宣教師追々入國スルコトヲ得タリ其第一回ニ入國シタルヲ佛國宣教師「モーバン」トス「モーバン」ハ初メ滿洲ニ於テ巡廻布教シツ、アリシカ此時「ブルゲール」宣教師ノ死ヲ聞クヤ同宣教師歡迎ノタメニ來リシ韓國基督教徒中ノ道案内者ヲ利用シ其者等ノ助力ヲ受ケツ、多クノ障害ト危險トニ逢着シタルニモ拘ラス千八百三十六年一月二十四日韓國領内ニ入ルコトヲ得タリ而シテ其年ノ末宣教師「チャスタン」又來リテ彼ト協同一致ノ運動ヲ爲シタリ此時韓人反抗ノ恐レ須臾モ去ラサルヲ以テ新來ノ二宣教師ハ其事業ヲ行フニハ極メテ秘密ヲ保チ亦極メテ警戒ヲ嚴ニセサルヘカラサルノ狀況ニ迫ラレタ

リトハ雖トモ熱心ニ經營スル所アリテ京城ニモ京畿道ニモ忠清道ニモ其教旨ヲ布説シタリ而シテ此宣教師等ハ前記地方ノ中基督教徒ヲ有スル處ハ悉ク之ヲ訪問シ此時此宣教師等ハ韓人ノ計算シタル教徒數四萬人ト云フハ全ク誤謬ニシテ其實七千二百五十人ニ過キサルコトヲ確メタルカ一年ノ後ニハ兩宣教師ノ勵精ニヨリ既ニ九千人ニ増加シタリ韓人ノ計算ノ誇大ナレトモ而モ實際韓國ニ於テ各時ニ教徒トナリシモノ、數ハ千八百三十八年マテ二萬人ヨリ少カラサリシカ一度ナラス放逐ニ遭ヒタル結果其數著シク減少シタリ又前記期間中ハ種々ナル口實ノ下ニ基督教徒ノ縛ニ就クモノアリシトハ雖トモ公然タル追放行ハレサリシヲ以テ主教「モーバン」及ヒ「チャスタン」ノ兩人ハ此機ヲ利用シテ異教徒ヲ誘導シタリ

第四回基督教退攘

千八百三十八年監督「イムバー」ハ主教補トシテ韓國ニ向ヒ教徒ノ忠實ト敏捷

トニヨリ難ナク韓國ニ入ルコトヲ得爲メニ傳道ノ範圍擴カレリ然レトモ千八百三十九年ヨリ基督教ニ一打撃ハ來レリ即チ攝政太皇太后ハ基督教反對者ニシテ該宗教根絶ノ目的ヲ以テ禁令ヲ布キ之カクメ捕縛拷問其他アラユル苦痛ハ教徒ノ爲メ復タ起リ疑ハシキモノハ童男童女ニ至ルマテ之ヲ捕縛シテ年長者ト同様ニ拷問ヲ加ヘタリ此時獄ニ投セラル、モノ甚タ多クシテ爲メニ獄内傳染病ヲ發シ死刑執行者ノ手ヲ經スシテ病死シタルモノモ少カラサリキ其刑ノ嚴酷ナル太皇太后自身モ恐怖シテ教徒ノ憤慨ヲ和ケント欲スルニ至リタル程ナリシモ有力ナル朝官ノ抗議ニヨリテ其事成ラス十三日前ニ死刑ノ宣告ヲ受ケテ獄中ニ死ヲ待ツ教徒ニ對シ斷然其刑ヲ執行シタリ然レトモ反對黨ハ之ヲ以テ尙ホ足レリトセス朝廷ニ逼リテ官吏ノ禁令ヲ執行スルコト緩慢ナルモノハ之ヲ戒飾シ職務ノ懈怠ニ對シテハ嚴重ノ處分アルヘキコトヲ公布セシメタリ之カクメ教徒追放ハ未曾有ノ嚴酷ヲ以テ行ハル、ニ至リタリ

此時教徒ハ外國宣教師三人ヲ隱匿シ政府ハ之ヲ知り手ヲ盡シタリト雖トモ未タ之ヲ捕縛スルコトヲ得サルヲ以テ大ニ之ヲ怨トシタリ故ニ教徒數人ヲ拷問シテ右宣教師ノ所在ヲ告ケンコトヲ逼リタルモ死ヲ期シテ實ヲ語ラス此時教徒一般ノ狀況ハ實ニ憫ムヘキモノアリテ或者等ハ恐懼策ノ出ツル所ヲ知ラス監督「イムバー」ニ就キテ救濟ノ道ヲ執ランコトヲ乞ヘリ是ニ於テ「イムバー」ハ一死以テ教徒追放ノ舉ヲ遏メ一萬ノ教徒爲メニ生命ヲ得ヘシト信シ自ラ死ヲ決シタルノミナラス此時布教中ノ「モーバン」及ヒ「チャスタン」ニモ提言シテ亦死センコトヲ要求シタリ勇敢ナル宣教師何ソ監督ノ希望ニ背クヘキ此三人ハ自縛ニ就キタルカ政府ハ種々拷問ヲ行ヒタル後公然之ヲ斬ニ處シタリ時ニ千八百三十九年十月三日ナリ然レトモ宣教師等ノ死ハ生前豫期ノ好果ヲ生セシテ韓國官憲ハ尙ホ教徒ノ追放ヲ繼續シ益々刑罰ヲ酷ニシタリ韓人ノ基督教反對熱ハ非常ナリシトハイヘ婦女童幼ニ至ルマテ慘刑ヲ受ルノ實況ヲ目撃スルニ至テハサスカニ同情ナキ能ハス遂ニ政府ノ處置ニ反對スルモノ出ルニ至レリ是ニ於テ政府ハ執刑ノ公行ヲ廢シ潛カニ獄中ニ殺戮ヲ行ヘリ此ノ如クニシテ千八百四十年ヨリ千八百四十六年ニ至ル教徒ノ追放ハ之ヲ千八百三十九年ニ於ケルモノニ比スレハ稍々寛大ナリシトハ雖トモ尙ホ少カラサル教徒ヲ殺戮シタリ

新來宣教師

在清國ノ宣教師カ前記事實ヲ聞知シタルハ千八百四十二年十二月ニシテ彼等ハ韓國ノ

難ニ殉シタル宣教師ノ故ヲ以テ挫折スルコトナク尙ホ韓國ニ布教ヲ繼續スヘキコトヲ決シ更ニ直ニ韓國ニ宣教師ヲ派遣シタルニ其派遣セラレタル者ハ數回韓國ニ入ルニ其北境ヨリセンコトヲ試ミシモ最近行ハレタル追放ノ結果此地方ニハ嚴密ナル通行人監視法ノ設置アルカ故ニ目的ヲ遂クルコト能ハス即チ海

路ニ由リテ入國セントコトヲ謀レリ
 此時韓人「アンドレイ、キム」ナルモノアリ彼レハ千八百三十七年他ノ韓人二人ト共ニ神學研究ノタメ澳
 門神學校ニ至リ千八百四十五年僧侶トナリタルモノニテ古宣教師ノ擧ヲ助ケ熱心ニ傳道ノ事ヲ謀リツ、
 アリタルヲ以テ千八百四十五年ノ始メ韓國ニ入り小キ「ジャンク」一隻ヲ得二週間ノ危險ヲ犯シテ上海ニ
 到着シタルニ監督「フェレオル」ハ主教「ダズルユイ」ト共ニ之ヲ待チ居リシカハ直ニ其舟ニ搭シテ韓國ニ向
 ヒ一ヶ月以上ノ航海日數ト激烈ナル暴風ノ難ヲ經テ其年十月韓國西南岸、人知レサル處ニ投錨シタリ
 新來ノ宣教師カ目撃シタル所ニテハ教徒ノ狀況ハ實ニ憫ムヘキモノニテ山中ニ避難シタルモノハ再ヒ前
 ノ住所ニ還ルノ希望ヲ絶チ農耕ニ從事ストハ雖トモ甚シキ損失ヲ被リ居リ土地ニ殘留スルモノハ貧困零
 落ヲ極メ其債吏ヲ恐ル、ノ餘リ常人互ニ相避クルニ至リタリ是ニ於テ宣教師等ハ非常ノ勞ヲ以テ教徒ノ
 精神ヲ鼓舞シ將來ノ好運ニ望ヲ繫カシムルノ必要アリ然レトモ彼等ハ當時基督教徒ニ對スル監視ノ甚々
 嚴重ニシテ毎ニ警戒ヲ怠ルコト能ハサリシヲ以テ始終其事業ニ充分ナル活動ヲ與フルコト能ハサリキ千
 八百四十六年「アンドレイ、キム」及ヒ八人ノ教徒ハ突然捕縛セラレタルヲ以テ一般教徒ニハ益々警戒ノ
 必要アリシナリ「アンドレイ、キム」ノ縛ニ就クヤ當局官吏ハ「キム」ノ知識豐富ナルニ驚キ王ニ彼ヲ赦サ
 ンコトヲ請ヒ王モ之ヲ赦サントシタリシモ此時佛國海軍武官「セシリ」ハ韓政府ニ對シ政府ハ千八百三十
 九年ニ佛人三名ヲ死刑ニ處シタル事由ヲ質問シタルヲ以テ「キム」ヲモ赦ス能ハサルノ事情ト爲レリ即チ
 韓王ハ該詰問書ヲ得テ大ニ驚キ速ニ「キム」及ヒ其一類ヲ死刑ニ處スルコトヲ命シタリ此事件ハ基督教徒
 ノ大ニ喫驚スル所トナリ彼等ハ速ニ財産ヲ賣却シテ深山幽谷ニ避難所ヲ求ムルニ至レリ然レトモ此時ノ

教徒ノ警戒ハ實際ノ必要ヲ超ユルモノニテ千八百四十七年ヨリ千八百五十三年ニ至ルマテ數人ノ被害者
 ヲ除クノ外ハ別ニ迫害ヲ受ケタル者アラサリキ
 此時清國ニ在ル加特力教ノ宣教師ハ韓國ニ傳道セシ勇敢ナル友人ヲ忘ル、コトナク屢々援助者ヲ出シタ
 リ之レカ爲メ司教「マイステル」及ヒ韓國人ナル「ホマホウ」ハ一度ナラス韓境ヲ越エント試ミタルモ容易
 ニ志ヲ得サリシカ苦心慘憺ノ後千八百十九年ニ至リ唯「ホマホウ」一人入國スルコトヲ得「マイステル」ハ
 千八百五十二年辛ウシテ支那ノ漁船ニ搭シテ韓地ニ到ルヲ得タリ
 韓國ニ在ル宣教師等ハ一時ノ平穩ヲ利用シテ傳道ヲ勉メ此結果頗ル著シキモノアリテ千八百五十年ニ千
 百人ノ教徒ヲ有シタルモ千八百五十三年ニ至リテハ其數己ニ千二百人ヲ超エタリ然レトモ宣教師等ハ毎
 ニ反對派ノ迫害ヲ避ケ其ノ知ラサル者ニ逢フトキハ間諜ナリヤ否ヲ願慮スルノ必要アリ此時教徒ハ教育
 アル士民ノ中ニ己レヲ助クルモノヲ得ルコト能ハス其事ヲ共ニスル所ノ者ハ善良ニシテ且ツ忠實ナリト
 ハ雖トモ而モ極メテ粗野樸訥ノ輩ナリ此故ニ宣教師等ハ教徒ノ知識ヲ發達センカ爲メ二個ノ學校ヲ設立
 シ各校ニ唯六人ノ宗徒ヲ收容シ其規模素ヨリ小ナリト雖トモ之ヲ大ニセンカ必ス嫌疑ヲ招クノ恐アリテ
 時機ニ適セサルノ嫌アリ其外宗教監督ノ許ニ五名ノ韓國少年アリテ羅旬語及ヒ支那語ヲ學ヒ宣教師自身
 等モ熱心ニ韓語ヲ學ヒ後ニハ韓語羅旬語對照字書ヲモ編纂シタリ此間韓國ニ於ケル宣教師ノ位置タル愉
 快ナルモノニアラスシテ實ニ監督「ヘルレオルイ」ハ疲勞ノ爲メニ重症ニ罹リテ千八百五十三年遂ニ死去
 シタリシカハ他ノ宣教師等ハ其葬式ヲ秘密ニセンカ爲メ辛フシテ死後二ヶ月ヲ經テ其附近ノ地ニ埋葬ス
 ルコトヲ得タリ又主教「ダズルユイ」ハ其任務ヲ盡スカ爲メ奔命ニ疲レ韓人ノ司教ナル「ソマホウ」ハ自國

内ノ生活トハ雖トモ種々ノ損失ノ爲メニ意氣消沈シ最後ノ不幸トシテハ嘗テ辛酸ヲ嘗メテ韓國ニ入りタル司教「ジャンソン」千八百五十四年悪性ノ風土病ニ罹リ到着後三ヶ月ヲ經テ遂ニ死去シタリ
 地方ニ於ケル基督教徒退擯 千八百五十三年ヨリ千八百六十六年マテハ一般ノ基督教徒追放ハ行ハレス偶々之レ有リトスルモ是レハ官吏ノ私情ニ觸レテ教徒ノ蒙リタル一局部ノ事タルニ過キス然レトモ此事モ普ク教徒間ニ報知セラレタルハ素ヨリニテ之レカ爲メ一般教徒ハ非常ニ警戒シ且ツ將來ヲ憂慮セリ然リト雖トモ此時期ニ於テハ韓國官憲ハ以前ヨリハ漸ク寛大ノ方針ヲ取リ千八百五十四年ニハ贖金ヲ出シテ拘禁ヲ解カレタル教徒モ多ク千八百五十六年ニ至リテハ或ル地方ニ於ケル官憲ハ却テ教徒ヲ告發スルモノヲ罰シ之レカ爲メニ教徒反對者ハ官憲ニ對シ諸般ノ不穩行動ヲ演スルニ至レリ千八百六十年英佛聯合軍北京占領ノ報韓國ニ至ル此時韓人以爲ラク支那ト雖トモ基督教ニ敵スレハ即チ滅亡ヲ免レズ支那ノ次ニハ韓國必ス異國ノ蠻行ニ據リテ壓セラレシト爲メニ多ク基督教ニ歸依スルノ念ヲ起スニ至リタリ然レトモ此念慮ハ忽チ消滅シ教徒追放ノ舉復タ各地方ニ起リ千八百六十二年ニハ慶尙道及ヒ京畿道ニ於テ千八百六十五年ニハ黃海道及ヒ慶尙道ニ於テ教徒ハ地方官吏及ヒ反對派ノ人民ニヨリ殘酷ナル迫害ヲ受ケタリ此時僅カニ不幸中ノ幸ナルモノハ金錢ヲ出シテ免カレタルモノモ之レアリト雖トモ然レトモ教徒中ニハ財産ヲ奪ハレ村落ヲ舉テ燒盡セラレ郡外ニ放逐セラレタル者多カリキ是故ニ牛馬ヲ喪ヒ耕地ヲ失ヒタル教徒ハ山林ニ逃ケ入り猛獸ノ害アリト雖トモ尙ホ以テ官吏ノ暴ヨリモ甚シカラスト爲セリ是レヨリ韓人ハ耶蘇教徒ヲ目シテ山人ト呼ヘリ

基督教ノ好況 一方ニハ主教ハ教徒ノ事ヲ忘ル、コト能ハス是ニ於テ千八百五十六年監督「ベルヌ

ー」ハ東京及ヒ滿洲ノ布教ヲ止メテ韓國ニ入り監督「ボルシイ」及ヒ「ベチーニコラス」之ニ從ヒ其後司教「ペラン」モ亦タ來リ會シタリ是等ノ宣教師等前例ニ從ヒ支那ヨリ小サキ「ジャンク」ニ搭シテ韓國ニ向ヒ途中種々ノ妨害アリシニ拘ハラヌ韓國西海岸ノ群島中ノ一ニ到着シ此處ニ於テ主教「ダッルユイ」ノ處置ニ依リテ韓國ノ教徒數人ヲ得其ノ教徒等ハ宣教師等ノ一行ヲ京城ニ送リタリ監督ハ到着後間モ無ク主教「ダッルユイ」ヲ監督ニ進メ茲ニ韓國宗教區ニ二人ノ監督及ヒ五人ノ僧侶ヲ見ルニ至レリ而シテ僧侶中一人ハ韓人ナリ

宣教師等ハ又モ一時ノ平穩ヲ利用シテ全力ヲ擧ケ充分ナル忍耐ヲ以テ異教徒ノ誘導ト種々ナル基督教團體ノ巡廻布教ニ努力シタリ此等ノ宗教團體ハ多クハ深山中ニ散在スルヲ以テ彼等ノ巡廻ハ大ナル勞力ト費用トヲ要シタリ又彼等ハ苟モ警戒ヲ怠ランカ忽チ官吏ヲシテ追放ノ口實ヲ作ラシムルヲ熟知スルカ故ニ出來得ルタケ豫防策ヲ講シ彼等自身ハ決シテ顔面ヲ掩フ所ノ韓服ヲ脱スルコトナク宗教ノ儀式ハ夜間ニ成ルヘク沈黙ヲ守リテ之ヲ行ヒ其式場タルヤ憐ムヘキ小屋ノ裡ニシテ庵末ナル腰掛ハ祭壇ノ用ヲ爲シ其上ニ自製ノ木造ノ十字架ヲ安置シタルモノナリ然レトモ此ノ如キ儀式モ教徒ノ切望アルニ拘ハラヌ尙ホ之ヲ行フ能ハサルコト數次ナリ何トナレハ宣教師ハ危險ノ恐アリテ短時間ト雖トモ同一ノ場所ニ滯留スルコト能ハサレハナリ

宣教師等ハ自カラ其責任ヲ重ンシテ盡力シタル結果布教ノ事大ニ進歩シ當ニ平民ノミナラス宮廷ノ大小官吏等モ亦喜ンテ洗禮ヲ受ルニ至リ千八百五十六年ニハ韓國ニ於ケル宗徒ノ全員ハ既ニ一萬五千人ニ達シタリ然レトモ宣教師等ハ口頭ノ布教ヲ以テ足レリトセス重要ナル宗教ノ書籍ヲ韓譯シ亦教義及道德ニ

關スル簡單ナル教科書ヲ編纂シ第一回ノ出版ニ係ル宗教入門書ヲ訂正シ韓國ニ關スル種々ノ報知及基督
 教傳播以來ノ歴史ヲ編纂スル等ノ業務ニ熱心セリ是等ノ材料ハ其後世ニ行ハレタル司教「ダレット」ノ名
 著「韓國歴史」ノ基礎ト爲レリ宣教師等ハ又京城ニ活版所ヲ設ケ韓譯ノ宗教書ヲ出版シタルカ是等ハ韓國
 ノ教徒ニ傳ハレリ又宣教師等ハ韓人治療ノ爲韓國大都會ノ一ツニ調劑所ヲ設立シ韓人ニ樂ヲ與フルノ外
 養生法ヲモ指示シタリ又京城ニハ一個ノ學校ヲ設立シ羅旬語學習ノ希望者七人ヲ容レテ之ヲ教育シ千八
 百五十八年ニハ科學及神學研究ノ爲韓國青年三人ヲ在印度ノ宣教師ノ許ニ派遣スルコトヲ得タリ
 韓國ニ於ケル傳道ノ事業ハ前記ノ如クニシテ盛大ニ赴クヘキ筈ナリシモ諸般ノ損害ト非常ナル勞苦トノ
 爲メ千八百五十八年ニハ傳道者ノ境遇悲慘ヲ極メ其年司教「マイストル」ハ死去シ監督「ベルヌー」ハ重患
 ニ罹リ司教「ボーサー」及ヒ「ヘチニコラス」ハ疫病ニ臥シ司教「フロン」ハ屢々風土病ニ冒サレ監督「ダ
 ヴルユイ」ハ身體大ニ衰弱シテ自カラ壯齡ノ老人ヲ以テ呼フニ至レリ千八百六十年ニハ傳道者ハ皆司教「ホ
 マン」ノ先ツ死シタルヲ悲嘆セリ是等ノ災厄ニ由リ傳道者ハ凡テ携帶金ヲ消費シタルノミナラス三萬
 「フラン」ノ負債ヲ生スルニ至リ、千八百五十九年ニハ之レニ加フルニ韓國ニ於ケル信者ノ虎列刺病ト飢
 饉ノ爲メニ困ムモノヲ救助スヘキ事情ニ遭遇シ是等ノ事情ニ依リ監督「ベルヌー」ハ清國ニアル加特力教
 宣教師ニ乞フニ更ニ援助者ヲ出シ且ツ都合出來次第ニ物質的援助ヲモ與ヘンコトヲ以テセリ是ニ於テ千
 八百六十一年司教「ランドル」「ヨアン」「リッデル」及ヒ「カライス」ハ前ニ韓國ニ來リシモノト同シク海路
 ニ由リテ韓國ニ到着シ千八百六十三年ノ初メニハ司教「オメートル」ハ其時マテニ在印度ノ加特力教宣教
 師ニ就キ神學ヲ學ヒタル韓人二名ト共ニ又此國ニ到着セリ此時韓國教徒ハ皆喜ヘリ然レトモ其ノ喜ヒヤ

唯一時的ノ事ニシテ千八百六十三年ニハ此宣教師等ハ性質明カナラサル病ノ爲メニ斃レタル司教「ヨア
 ン」ヲ葬ムルノ悲事ニ會ヘリ此等ノ不幸ノ中ニモ宣教師等ニ唯一ノ慰安ヲ與ヘタルモノハ韓國ニ於ケル
 基督教ノ神速ナル擴布ニシテ基督教徒ハ嘗テ韓國官憲ヨリ一度ナラサル追放ト拷問ヲ受ケ爲メニ諸方ニ
 逃散シ諸方ノ人民ニ教旨ヲ傳ヘタルカ故ニ偶々此教義ノ傳播ヲ助成シタリシナリ

第五回基督教退擯

千八百六十四年ノ初メニハ教徒ニ密接ノ關係アル重大ナル事故來レリ此年韓

王薨シ、王ハ其直系ヲ撰ハスシテ其親屬ナル十二年ノ年少男子ヲ繼承者トナシ其生父大院君政權ヲ執リ
 其結果トシテ基督教徒ハ更ニ甚シキ壓制ヲ受ケタルモ千八百六十六年マテハ幸ニ無事ナルヲ得タリ是ヨ
 リ先キ千八百六十四年韓半島ノ東海岸ニ露國ノ船舶到着シテ韓廷ニ互市ヲ乞ヘリ大院君之ヲ退ケント欲
 シ監督「ベルヌー」ニ使ヲ遣シ露人ニ談シテ韓國ノ領土ヲ去ランコトヲ求メシメ「ベルヌー」ノ成功ニ對シ
 テハ布教ノ自由ヲ許スコトヲ約セリ「ベルヌー」ハ之ニ答フルニ露人ノ掃攘ハ韓國ノ利益ノ爲メ望マシキ
 コトナルモ彼レハ露人トハ國籍ニ於テモ宗教ニ於テモ相異ナルヲ以テ到底其依托ヲ遂行スルノ望ミナキ
 ヲ以テセリ然ルニ千八百六十五年ニ至リ露人ノ要求ハ益々劇烈トナリシヲ以テ大院君ハ又「ベルヌー」ニ
 乞フニ韓國ノ爲メニ穩便ノ處置ヲ取ランコトヲ以テセリ此時「ベルヌー」カ如何ニ答ヘシカ明カナラス
 千八百六十四年及ヒ千八百六十五年ノ間ハ基督教徒ハ全ク自由ノ境遇ニアリテ此時異教徒ノ反對モ既ニ
 其ノ痕跡ヲ收メ官憲モ亦タ布教ヲ默認シタリ然ルニ大院君モ亦前ニ記スル如ク基督教徒ニ事ヲ依頼スル
 カ如キ有様ニテ別ニ害惡ヲ加フルコトナク其外大院君ノ妃ハ私カニ「ベルヌー」ニ乞フニ現帝ノ爲メニ祈
 禱センコトヲ以テシ又北京ニアル佛國ノ公使ニ乞フニ韓國ニ來リテ基督教ノ自由傳道ニ協力センコトヲ

以テセリ然レトモ「ベルヌー」及ヒ佛國公使ハ之ニ答フルニ大院君ト協約セサル限リハ何事ヲモ企圖スルコト能ハサル旨ヲ以テセリ然レトモ他ノ教徒ハ大院君ヲ以テ暴慢殘酷ニシテ德義ヲ無視スルモノトナシ教徒ハ後來彼ニ向テ一ノ善ヲ望ム能ハサルヲ信シ大院君ト協約スルコトヲモ無益ナリトナセリ然ルニ一方ニ於テハ韓國官憲ノ基督教ニ對スル態度益々親切トナリシヲ以テ前ニ異議ヲ唱ヘシ教徒モ韓國ノ布教ニ望ヲ屬スルニ至リ之ニ盡力シタル結果トシテ官民ニ多クノ洗禮ヲ受クルモノヲ出シ宣教師等ハ人員不足ノタメ是等官民ノ須要ニ應スル能ハサルニ至リ監督「ベルヌー」ハ更ニ援助者ノ到來ヲ要求シ千八百六十五年宣教師「ボリョー」「ブレトネール」「ドーリー」及ヒ「ヒューイン」ハ之カ爲メニ來リタルモ幾何モナクシテ又不足ヲ生シ更ニ援助者ヲ要スルノ盛況ヲ呈セリ韓國宗敎團ハ勿論加特力敎會ノ發達ニ對シ欣然タラサルヲ得サリキ然レトモ突然基督教ニ殘酷ナル打撃ハ來リ即チ千八百六十八年ノ初メ韓海ニ外國船入り元山ニ碇泊シテ互市ヲ得ンコトヲ強求シタルヲ以テ大院君ハ又「ベルヌー」ニ會見ヲ求メ「ベルヌー」ハ之カ爲メニ京城ニ急行シタリ然レトモ「ベルヌー」ノ着京スルヤ大院君ハ彼レヲ見ルヲ欲セス蓋シ官廷ニ於ケル基督教反對黨ハ俄ニ彼ノ會見ヲ妨ケタルナリ是ニ於テ遂ニ基督教禁止令ハ猛烈ナル力ヲ以テ復興シ教徒ノ追放復タ行ハル

監督「ベルヌー」ハ宮廷ニ於ケル意向ノ變動ニ依リ直ニ捕縛ノ難ヲ受ケ其住宅、財産、皆官ノ沒スル所トナリ尋テ宣教師「ブレトネール」「ボリョー」及ヒ「ドーリー」竝ニ其補助者タル六人ノ韓人モ亦々縛ニ就キタリ斯クノ如クニシテ宣教師等ハ皆拷問ヲ受ケ其中「ベルヌー」ハ大院君ノ面前ニ於テ訊問ヲ受ケタルガ大院君ハ「ベルヌー」ニシテ若シ韓國ヲ去ラハ放免ノ特典ヲ與フハシト宣告シタリ然レトモ「ベルヌー」ハ

暴力ヲ以テ追放セラレサル以上ハ決シテ韓國ヲ去ラサルヘキヲ明言セリ此ニ於テ大院君ハ更ニ脫宗ヲ強ヒタルモ「ベルヌー」ハ之ニ從ハスシテ殘酷ナル拷問ヲ受ケタリ千八百六十六年三月二十日捕縛セラレタル總テノ宣教師ハ京城ニ於ケル重罪刑執行場ニ於テ斬首ノ刑ヲ受ケ其日前記韓人六人モ亦々刑セラレ、司教「ポーサー」及ヒ「ビチニコラス」モ亦々拘留ノ身トナリ同年三月二十三日斬首ノ刑ヲ受ケタリ是等ノ宣教師ノ死體ハ習慣ニ依リ刑場ノ附近ニ埋葬セラレタリ然レトモ數月ヲ經テ物情稍々穩ニナタルヲ待チ信仰厚キ教徒ハ之ヲ京城ノ南方半哩ノ山上ニ改葬セリ

此刑罰ニ續キ監督「ダヅルユイ」モ亦既ニ密告ヲ受ケタル以上ハ到底難ヲ免カル、ノ道ナキヲ悟リ司教「ヒューエン」及ヒ「オメートル」ニ相談スルニ逮捕ヲ受クルノ苦、潛伏罪ニ問ハル、ノ難ヲ一般教徒ニ免レシメンカ爲メ彼等三人自首シテ縛ニ就カンコトヲ以テシ其後「ヒューエン」「オメートル」モ其ノ言ニ從ヒ三人共ニ其事ヲ決行シタリ此三人ハ京城ニ送ラレ殘酷ナル拷問ヲ受クルノ後、死刑ノ宣告ヲ受ケタリ然レトモ此時ハ新王ノ結婚準備中ニ係リ並殺ノ下ニ血ヲ流スノ不祥ナルヲ厭ヒ爾來永久刑場ノ移轉ヲ行ヒタル爲メ此三人ハ京城ヲ去ルコト二十五哩ナル「スーリヨン」半島ニ於テ死刑ノ執行ヲ受クルコト、ナレリ其時ノ狀況ヲ密ニ窺ヒタル教徒ノ談ニ依レハ宣教師等ハ馬上ニ於テ刑場ニ送ラレ群衆ノ面前ニ於テ監督「ダヅルユイ」ハ先ツ執行者ヨリ致命傷ヲ與ヘラレ未タ絶息セサルニ執行下手者ハ俄ニ其ノ刑ノ完成ヲ辭シタリ是レ實ニ目撃者一同ノ怪訝ニ堪ヘサル所ナリシカ實ハ其給料ノ確定セサリシ爲メ稍々久シク執行官ト執行下手人トノ間ニ押問答ノ上談判纏リタル後「ダヅルユイ」ハ又二刀ヲ加ヘラレテ最期ヲ遂ケタリ尋テ其他ノ二人竝ニ司教「ポーサー」ノ最近補助者タル韓人「ヨシフ、チャン」モ亦死ニ就キタリ

宣教師ノ外災厄ニ罹リタル教徒モ亦カラスシテ其教徒等ハ筆紙ニ盡シ難キ拷問ヲ受ケタルノ後獄中ニ窒息シテ死セリ然レトモ其後教徒追放ノ擧ハ間モ無ク中止セラレタリ、其原因ハ此時旱魃ノ爲メ殺苗殆ント枯レ既ニ或ル地方ニ於テハ飢餓ヲ訴フルモノアリテ人心甚タ穩カナラサルカ故ニ之ニ加フルニ又不穩ノ情ヲ以テスルハ民政上甚タ不得策ナルニアリ此時人民ハ潤雨ノ缺乏ヲ以テ基督教徒放逐ニ對スル天罰ナリトシテ公然政府ヲ怨望シタルナリ

然レトモ宣教師中ニハ尙ホ生存者アリテ政府ハ之ヲ追求スルコト周到ヲ極メ其目的ハ司教「フエロン」「リッデル」「カライス」ノ三人ニシテ莫大ノ賞金ヲ懸ケテ其捕縛ヲ公衆ニ命シタリ然レトモ宣教師等ハ猶ホ自己ノ義務ヲ遂行スルコトヲ中止セスシテ常ニ周到ナル注意ヲ以テ潜伏シ殘酷ナル捕吏ノ手ニ觸レサルコトヲ得タリ然レトモ此時韓國ニ於ケル加特力教會ハ全ク滅裂ノ境遇ニアリテ救助ヲ要スルカ故ニ司教「リッデル」ハ千八百六十六年ノ六月ニ支那ニ向ヒ韓國ノ「ジャンク」ニ乘リテ無事目的地ニ到着シ韓國ニ於ル九人ノ宣教師ノ死刑ニ處セラレシコトヲ在北京ノ佛國公使ニ通知シ公使ハ韓國ニ於ケル寺院ノ難狀ヲ知り速ニ宣教師ノ殺害ニ關係シタル韓人ヲ罰センコトヲ決シタリ然シテ此困難ナル任務ハ當時清國ノ港灣ニ碇泊セル艦隊司令官「ローズ」氏ニ托セラレタリ

韓國政府ハ佛國人ノ企圖ヲ知り之レニ抗抵スルコトハ到底不可能ノ事ナルカ故ニ佛人ト妥協センコトヲ韓王ニ奏セリ此時佛人ハ稍々支那人ヲ懼レタリシカ故ニ千八百六十六年九月以來ノ清佛事件ハ佛國ノ不成功ヲ犠牲トシテ急ニ局ヲ結ヒタリ佛國ノ對清事件ニ關與シタル司教(リッデル)ハ大院君カ害惡ヲ不幸ナル基督教徒ニ加ヘンコトヲ豫想シ大ニ苦悶シタリシカ果然大院君基督教徒ノ爲メニ韓國屢々騷擾ヲ見

タルヲ以テノ故ニ基督教徒ハ之ヲ反徒トシテ塵滅スヘントノ旨ヲ公布セリ此殘酷ナル命令ハ王ノ許可ヲ經スシテ死刑ヲ行フヲ得ルノ規定ヲ備ヘ且ツ信者ハ自身ハ勿論六等親族ノ者ニモ其刑ヲ及ホスヘキ者ニテ其外基督教ノ關係ニ於テ嫌疑ヲ受ケタルモノハ本人ハ勿論其妻孥ヲモ許スコトナシ而シテ是等ノ規定ニ關スル事項ヲ勵行シタル所ノ官吏ニハ種々ノ方法ヲ以テ賞與スヘキコトヲ約シタリ然ルニ「フエロン」及ヒ「カライス」ノ二宣教師ハ幸ニモ支那ノ密商船ニ搭シテ支那ニ逃ル、コトヲ得タリ

殘酷ナル追放ヲ教徒ニ加フルコトハ千八百六十六年ヨリ始マリ苟モ教徒タルモノハ別ニ相當ノ審問ヲモナサスシテ只警察吏ノ報告ニ依リ拷問シテ死ニ至ラシメ若シクハ之ヲ獄ニ投シ窒息シテ死ニ至ラシメ其外獄中ニ在ルモノハ疾病若クハ飢餓等ノ困ミニ依リテ死スルモノ多カリキ死刑ヲ受クルモノ、多キ執行下手人ハ屢々其執行ヲ誤ルコトアリ此ニ於テ機巧ナル官吏ハ種々ノ斬首機ヲ製シ一度ヒ數人ヲ處分シタルコトモアリ然レトモ此方法モ亦タ未タ殘酷心ヲ満足スルニ足ラサリシト見エ最後ニハ數十人ヲ生ナカテ深キ穴ニ埋殺シタリ千八百六十八年ノ追放ニ依リ教徒ノ非命ニ死シタル者二千八、千八百七十年ニハ刑ヲ受ケタル者八千人ニシテ飢餓及ヒ其他ノ原因ニ依リ死シタルモノモ其數擧テ數フヘカラスト云フ

基督教退擯ノ舉止ム 千八百六十六年ヨリ韓國ニハ一人ノ宣教師モ殘存セサリキ司教「カライス」「フエロン」「リッデル」ハ千八百六十七年及ヒ千八百六十八年ノ二回韓國ニ歸ランコトヲ計リ其内「リッデル」ハ千八百六十九年ニモ之ヲ試ミタレトモ皆ナ徒勞ニ屬セリ其後千八百七十年代ニ及ヒ司教「リッデル」ハ既ニ韓國宗敎管長代理ノ命ヲ受ケタルヲ以テ韓國ニ入りタリ是レ會テ監督ニ對シ韓國ニ入ルナカランニトヲ乞ヒタル佛國公使ノ全ク豫期セサル所ニシテ「リッデル」ハ間モナク韓國官吏ノ爲メニ捕縛セラレ

タリ然レトモ此度ハ支那政府ノ抗議ニ依リ再ヒ支那ニ歸ルコトヲ得且ツ此度ハ韓人ノ「リッデル」ニ對スル待遇ハ寛大ナリシト云フ此後千八百七十二年基督教ノ猛敵タル大院君ハ勢力ヲ失墜シ政治上ノ關係ヲ絶チタリ是ヨリ韓國ニ於ル教徒追放ノ暴舉ハ全ク其跡ヲ絶チ基督教ハ忍耐ノ結果トシテ漸次盛大ニ赴クノ狀況ニ移リタリ然レトモ外國政府ハ今日マテ宣教師ノ内地ニ旅行スルコトヲ得ルノ權ヲ韓國政府ヨリ公然許與セラレタルコトナキハ支那ニ於ルト同様ニシテ韓國トノ條約ニ於テハ唯宣教師ハ外國人ノ爲メニノミ宗教ニ關スル事項ヲ行フノ權アルノミ是等ノ制限アルニモ關ラズ宣教師ハ韓國ト歐羅巴諸國ト條約締結以來事實上韓半島ニ於テ基督教ノ傳導ニ從事シ猶一步ヲ進メテ此目的ノ爲メニ内地ニ居住スルノ權利ヲモ之ヲ有スルト同様ノ狀態ニ在リ斯ノ如キ狀態ニ依リテ基督教各宗派ノ代表者ハ此地ニ宣教師團體ヲ組織スル運ヒニ至レリ

基督教及宣教師ノ員數 現今ニ於ル狀況ヲ概言スレハ千八百九十七年ノ初メニハ基督教徒ノ人員二萬九千五百七十九人ニシテ其内加特力教徒二萬八千八百二人「プロテスタント」教徒七百七十一人ナリ千八百八十四年マテハ韓國ニ於ル基督教宣教師ハ唯羅馬加特力教ニ屬スル者ノミナリシカ故ニ兩派ノ信者數ニ前記ノ如キ差異ヲ顯ハスニ至レルモノニテ又羅馬加特力教徒ノ韓民ト交際ヲ密ニセシコトモ盛大ヲ來タス一原因ニシテ加特力教ノ宣教師等ハ多クハ韓民ノ間ニ在リテ不快ナル韓國式家屋ニ住居シテ韓國式ノ生活ヲ爲シタルニ「プロテスタント」ノ宣教師ハ物質的ノ狀態ニ於テ此ノ如キ忍耐ヲナス能ハサリキ今日ニテハ加特力教徒ノ増員スル割合ハ毎年千人ヲ算スルモ「プロテスタント」ニ至リテハ十五年間ニ於テスラ此數ヲ得ル能ハサリキ加特力宣教師ノ數ハ千八百九十七年ニ三十四人ニシテ「ソサイテイ、

デ、ミツシヨン、エトランゲール」ニ屬スルモノナリ此團體ハ此時十九箇所ノ説教所ヲ有シ其所ニ宣教師常住シ外ニ定期説教ヲナス場所ハ四百四十六ヶ所アリタリ説教ヲナスノ外學校二十三箇所ヲ設立シ之ニ四百七十五人ノ生徒ヲ有シ其他宗教中學一校アリテ二十四人ノ生徒ヲ收容シタリ京城ニ在ル加特力教ノ教會ハ廣大ナルモノニテ首府ニ於ル最良ノ建物タリ

「プロテスタント」 「プロテスタント」教ハ其傳道ノ方法トシテ教育アル階級ヲ誘發シ又學校ヲ設立シ醫藥ヲ與フルノ策ニ出テ此教徒ノ内ニハ多クノ有識者及ヒ氣概アル人民ヲ含ムヲ以テ官邊ニモ其勢力ヲ及ホスコトヲ得政治上ニ重要ナル働作ヲ加フルニ至リ殊ニ國家ノ獨立ヲ目的トスル獨立俱樂部ノ如キハ此宗派ヨリ生シタル產物ニシテ此俱樂部ハ政府ヲシテ少カラサル配慮ヲ起サシメタリ

「プロテスタント」ノ内第一韓國ニ顯レタルハ千八百八十四年亞米利加「プレズヴィテリヤン」教ニシテ其翌年亞米利加「メソヂスト」教會ノ代表者モ來リ現今ハ「プレズヴィテリヤン」「メソヂスト」「バプチスト」「アングリカネーツ」ノ四派竝立セリ

「プレズヴィテリヤン」 此宗派ハ南北亞米利加各一、澳大利一、加奈陀一ヲ有シ千八百九十七年マテ十三ノ教會區及ヒ五百十人ノ信徒ヲ有セリ之ヲ細別スルコト左ノ如シ

北米「プレズヴィテリヤン」 此宗派ハ千八百八十四年ノ組織ニ係リ京城、釜山元山及ヒ平壤ニ常設説教所ヲ備ヘタリシカ千八百九十八年ニ至リ元山説教所ヲ咸鏡道全部ト共ニ加奈陀「プレズヴィテリヤン」ニ讓リタリ此外亞米利加「プレズヴィテリヤン」派ハ千八百九十六年ニ三十八箇ノ教會ト二十五ノ説教所ヲ有シテ傳道事業ヲ行ヘリ同年ニ於ケル宣教師ハ十八人ニシテ内五人ハ婦人ナリ此等ノ宣教師「エッ

チ、チー、アングーウッド」「エス、エー、モフエット」「ジヤス、エス、ゲトル」「エフ、エス、ミルラー」及
 ヒ「シー、ジー、グイントン」ヲ以テ最モ有名ナリトス學校ノ建築ハ此派ノ大ニ注意セシ所ニシテ千八百
 九十七年ニ二十二箇ノ模範學校ヲ有シ之ニ生徒三百二人ヲ養ヒ日曜學校ハ其數十八箇生徒數八千三百三十
 九人アリ此外人民ニ醫藥ヲ與フルノ事業モ亦タ注意ヲ離ル、事ナク三箇ノ病院アリテ千八百九十六年ニ
 三百三十九人ノ患者ヲ收容シ又七箇ノ調劑所ヲ置キ之レニ依リテ醫藥ヲ求メタルモノニ二萬二百九十五人
 ノ多キニ及ヒ是等ノ學校及ヒ醫藥ノコトハ傳道事業ニ大ナル好果ヲ與ヘタリ平壤ノ說教所ハ最モ熱心ニ
 經營シタルモノニテ宣教師等ハ此比較的富有ニシテ風俗ノ敗類ヲ以テ有名ナル市街ニ根據ヲ立ツルコト
 ニ關シ非常ナル苦心ヲ費シタリト雖トモ其結果ハ未タ豫期ノ如ク良好ナラス此說教所ハ其事業ヲ平安道
 (殊ニ順安郡)及黃海道ニモ及ホシタリ又其管内ニ千八百九十七年二箇ノ病院ト五箇ノ模範學校(三箇ハ
 男子ノ爲メニ二箇ハ女子ノ爲メニ)三箇ノ日曜學校二箇ノ教會及ヒ一箇ノ圖書館年此等ノ事業ヲ經營セ
 ルモノハ三人ノ婦人ニシテ醫藥ニ關スル部分ハ二人ノ醫員之ニ當リ患者ノ數一萬人ニ達セリト云フ
南米「プレスヴィテリヤン」此宗派ハ千八百九十二年韓國ニ置カレ始メノ三年間ハ其教會員ハ北
 米「プレスヴィテリヤン」派ノ教會員ト共ニ韓語ヲ學ビ宣教師ノ事ヲ行ヒツ、京城ニ住居セシカ其後全州、
 郡山、木浦ニ獨立ノ說教所各一箇ツ、ヲ建設シ千八百九十八年ニハ此宗派ハ九人ノ宣教師(内二人ハ婦
 人)ヲ有シ韓國人ノ之ニ歸依シタルモノニ二十二人又此說教所ニ附屬シテ日曜學校及ヒ調劑所ノ設備アリ
澳大利「プレスヴィテリヤン」此宗派カ韓國ニ於テ始メテ從事シタルハ千八百九十一年ニシテ千
 八百九十六年ニハ四人ノ宣教師(其内二人ハ婦人)及ヒ一箇ノ模範學校アリテ九人ノ生徒ヲ有シタリ此派

ニ於ケル婦人ノ事業ハ注目スヘキモノニテ彼等ハ釜山ノ韓民區ニ住居シ二年ノ間ニ韓民ノ信用ヲ博シ初
 メハ韓國式ノ家屋ニ住居シ今ハ大ナラサル家屋ヲ建築シテ其家屋ノ前部ハ孤兒院ニ充用ス其事業ノ進歩
 ニ關シテ云々スルハ時期尙ホ早シト雖トモ其婦人タル宣教師等ノ言ニ依レハ韓人ノ彼等ノ處ニ來ルハ多
 クハ好奇心ノ爲メニテ宗教ノ爲メニスルモノハ眞ニ少ナシ宣教師ノ事業ハ毎日說教ヲナスコト韓人ニ醫
 藥ヲ與フルコト洗禮希望者ノ爲メニ「クラス」ヲ置クコト晝間暇ナキ婦人ノ爲メニ夜學校ヲ開クコト及ヒ
 日曜學校ヲ開クコト等ニシテ日曜學校ニハ八十人ノ生徒アリ又近隣ノ諸村落ニ至リ親シク人民ヲ家ニ訪
 ヒテ教訓ヲ與フル事モアリト云フ

加奈陀青年基督協會 此協會ハ千八百八十九年ヨリ韓國ニ置カレ其事業始メハ甚タ微々タルモノ
 ニテ唯一人ノ宣教師アルノミナリシカ千八百九十八年北米協會元山ノ教區ヲ右ノ協會ニ讓リタル結果ト
 シテ五人ノ宣教師ヲ増員スルニ至レリ

「メソヂスト」宗派 此宗派ハ北米「メソヂスト」教會及ヒ南米「メソヂスト」教會ノ二種アリ前者ハ千
 八百八十五年日本宣教師ノ韓國ニ傳ヘタルモノニテ北米「プレスヴィテリヤン」教會ニ亞クモノナリ而シ
 テ千八百九十七年ニハ二十五人ノ宣教師ヲ有シ其宣教師中有名ナリシハ「シー、エッチ、ジョンズ」及ヒ「コ
 レアン、レボジットリ」雜誌ノ發行者「エッチ、チーアテンゼラー」ノ兩氏及ヒ「ダブリュー、ビー、スクラント
 ン」氏ナリキ信者ノ數ハ千八百九十七年ニ於テ三百五人ヲ算シ此協會ハ他ノ協會ヨリハ教育事業ニ注意
 スルコト深ク京城ニ於テ男子及女子ノ學校ヲ建設シ生徒四百五十人ヲ有シ其外千八百九十七年ニハ十五
 ノ日曜學校アリテ此處ニ來リ學フ者九百人ニ及ヘリ又此協會ノ宣教師等ハ土着人ヨリ傳道者ヲ作ルコト

ヲ圖レリ此協會ハ京城ニ三箇國ノ語ヲ有スル活字ヲ備ヘタル活版所ヲ置キ千八百九十六年「エッチ、ヂー、アベンゼラー」氏ノ指揮ノ下ニ韓語ノ新聞ヲ出版セリ前ニ云ヘル三箇國ノ語トハ清、韓、羅甸、ナリ此協會ニ附屬シテ四箇ノ病院アリ京城ニ二個元山一個平壤ニ一個ニシテ是等ノ病院ヲ訪問シタル者千八百九十七年ノ八ヶ月間ニ六千人ニ達シタリ此協會ハ韓國ノ婦人社會ニ教旨ヲ傳フルノ目的ヲ以テ婦人協會ヲ設立シ「エム、エフ、スクラントン」氏之ヲ管理セリ此協會ハ女學校並ニ女子ノ患者ヲ取扱フコトヲ掌トリ女子ノ患者ニシテ此協會ノ存在中保護ヲ受ケタルモノ則チ千八百九十六年マテ二萬一千人ニ超エタリ南米「メソヂスト」協會ハ千八百九十六年始メテ韓國ニ開カレ千八百九十八年ニハ既ニ京城ト開城トニ二個ノ說教所ヲ有シ之レニ屬スル宣教師ハ五人ニシテ内二人ハ婦人ナリ二年間ニ百五人ノ信者ヲ得タリ

英國協會 此協會ハ福音傳道協會ノ韓國ニ設立スル所ニシテ福音傳道協會ハ支那及ヒ日本ニモアリ英國協會設立ノ企圖ハ既ニ千八百八十年ニ於テ起サレタリト雖トモ其實行甚タ延引シ千八百八十七年ニ至リ北清及ヒ日本ノ英國監督カ韓國ヲ視察シ本國ニ通知シテ速ニ宣教師ヲ送ラシメ以テ其事業ヲ開クニ至レリ千八百八十九年監督「コルフ」ニ韓國ニ於ケル英國協會ノ管理ヲ依託シ之カタメ維持費トシテ一萬五千磅ヲ支出シ會員ハ僅ノ醫員ヲ除クノ外皆無給トシタリ事業開始ノ初期ハ經費ノ不足疾病、土語修習ノ困難、聖書、祈禱書等ノ韓譯書ノ不足等ニ依リ大ニ其進歩ヲ妨ケタリ之レカタメ該協會ハ聖書ヲ拔萃シテ之ヲ韓譯シ以テ宗教入門ノ用ニ供シ其他宗教ノ教科書トシテ出版シタルモノ多シ該協會ハ始ヨリ京城、仁川ニ二個ノ會堂ヲ設立シ監督ノ始メテ韓國ニ入りタルハ千八百九十年ニシテ殆ント之レト同時ニ外科「ドクトル」「ワイルス」氏モ亦タ來リ「ドクトル」ハ三年間醫藥ニ關スル事務ノ秩序ヲ立ツルコトニ

盡カシ其事業ハ京城ニ於テモ仁川ニ於テモ進歩ノ見ルヘキモノナリテ病院及ヒ藥局ヲ設立スルニ至レリ京城ニハ又婦人病院アリテ女醫之ヲ管理シ何レノ病院ニ於テモ兒童ノ監護ハ倫敦神聖「ピーター」看護婦協會ノ手ニ於テ處置セリ病院ノ設備ハ何レモ能ク整理セラレタルモノニテ殊ニ男子室ヲ以テ然リト京城ヲ去ルコト三十五露里乃至五十露里ノ地ニアル分協會ニ於テハ近來基督傳ノ講義アリ千八百九十六年ノ終リマテ此協會ニ屬スル宣教師十六人(内婦人七人)病院三箇(患者數七百九十五人)藥局三箇(施藥ヲ受クル者二萬九千七百八十六人)アリタリ

亞米利加「バプチスト」協會 此協會ハ千八百九十五年「エラ、シング、メモリアル」ト稱スル協會ヲ「エラ、シング」紀念ノ爲メニ設立シタリ「エラ、シング」ハ此宗派ノ開祖タリ現今此協會ハ京城ニ一ノ說教所ヲ有スルノミナルモ漸次南韓地方ニ事業ヲ擴張スル等ナリ但シ目下ハ甚タ振ハス

正教 正教ヲ韓國ニ傳フルノ必要ヲ感スルヤ既ニ久シト雖トモ然レトモ實際ニ於テハ京城ニ於ル露國居留民ノ百人ニ達シタル千八百九十年代ノ初半期ニ於テ始マレリ千八百九十七年ノ七月三日京城ニ正教々會ヲ置クコト及ヒ此地ニ正教ノ寺院ヲ建設スルノ裁可ヲ經タリ此教會ハ教會長一人執事一人讀經僧一人ヨリ成立ス信者ハ多カラサルカ故ニ此教會ハ公使館附屬會堂ニ附設スルコトヲ許サレタリ初メ教會長タリシモノハ「アムウロシー」氏ニシテ氏ハ健康不良ノタメ韓國ニ到着セス途中ヨリ引返シタルヲ以テ「フリサンフ」氏之ニ代リ同氏ハ今モ在勤セリ東亞諸新聞ノ報知ニ依レハ近來京城ニ於テ洗禮ヲ受ケタル韓國男女百五十人アリ此ノ如クニシテ正教ノ基礎ハ韓國開發ノタメ京城ニ置カレタルモノニテ近キ將來ニ於テ北韓方面ヨリモ其傳導ニ着手スルニ至ルヘシ露領沿海州殊ニ其南部ニ於テハ韓國國民多數居留シ千

八百九十九年ノ初メマテ此處ニ三十三ノ韓民村落アリテ其ノ人口ハ男女合計一萬四千二百四十七人アリ其内二十五箇村ト一萬二千九百二十六人ハ州ノ極南部ニアリ是等ノ人民ノ内既ニ正教ニ歸依シタルモノ多ク學校教育ノ方法ニヨリテ猶ホ少年子弟ノ多數ヲ勸化誘導スルコトヲ得ルハ疑ヲ容レサル所ナリ各韓村ハ經費ヲ吝シマスシテ純粹ナル露國の學校ヲ設立スルノ希望ヲ有シ千九百年ノ一月一日マテニ沿海州ノ極南ニアル二十五箇村ニ於テ十八箇ノ學校五百九十七人ノ生徒アリタリ事情既ニ斯ノ如シ露國ニ歸化シタル韓人ハ北韓ニ於ケル故郷ノ人民ト交通ヲ保チ其切ニ正教ノ信念ヲ普及セシムルカ故ニ該宗教ハ歩々盛大ヲ致スニ至ルヘキナリ

露韓條約 千八百八十四年露曆六月廿五日(七月七日)訂結 千八百八十五年露曆四月二日(十四日)批准交換

露國皇帝全露西亞獨裁君主陛下及韓國國王陛下ハ兩國及其臣民ノ親和並通商ノ關係ヲ結ビ條約ヲ以テ之ヲ規定スルノ希望ヲ有シ露國皇帝陛下ハ五等官神聖「アンナ」二等勳章ノ帶勳者「カル、ウー、ベル」ヲ韓國國王陛下ハ韓國外部衙門總理大臣議政太子大傅樞密顧問一品金炳始ヲ全權委員ニ任シ右兩國ノ委員ハ各一方ノ權能ヲ完全ナリト認メ左ノ事項ヲ協定シタリ

第一章

第一條 露國皇帝陛下及韓國國王陛下並ニ兩國臣民ノ間ニハ自今永久ニ平和及親交アルヘク兩國臣民ハ其一方ノ領地ニ於テ身體並ニ財產ニ對シ保護ヲ受クヘシ

第二條 締盟國ノ一方第三國ト紛議ヲ生シタル場合ニ於テハ其一方ノ要求ニ因リ他ノ一方ハ調訂ノ勞ヲ取ルヘシ

第二章

第一條 兩締盟國ハ他ノ一方ノ首府ニ大使公使ヲ駐在セシメ並ニ總領事領事及副領事ヲ爾餘諸國ノ領事ノ駐在ヲ許シタル開港場ニ駐在セシムルコトヲ得

兩締盟國ノ外交官及領事官ハ他ノ一方ノ官吏ト直接ニ若クハ文書ヲ以テ交渉スルノ便宜ヲ有シ並ニ外國ノ外交官及領事官ニ許與セラレタル總テノ權利及特權ヲ享有スヘシ

第二條 兩締盟國ノ外交官及領事官並ニ之ニ屬スル職員ハ他ノ一方ノ領土ヲ自由ニ旅行スルコトヲ得又韓國官吏ハ前記露國外交官領事官並ニ之ニ屬スル職員ノ韓國領土内ヲ旅行セントスルトキハ之ニ旅券ヲ與ヘ必要アルトキハ之ヲ護衛スヘシ

第三條 兩締盟國ノ領事官ハ其駐在國ノ皇帝若クハ政府ノ認諾ヲ經タル後ニアラサレハ其職務ヲ執行スルコトヲ得ス但何レノ場合ニ於テモ商業ニ從事スルコトヲ得ス

第三章

第一條 韓國ニ於ケル露國臣民及其財產ニ關スル訴訟事件ハ露國領事官若クハ之ニ關シ全權ヲ有スル露國官吏ニ於テハ之ヲ裁決スルノ權ヲ保留シ韓國臣民若クハ其他ノ國ノ臣民ト露國臣民トノ間ニ起リタル

一切ノ事ヲ審決ス

第二條 韓國ニ在ル露國官吏竝ニ臣民ニ對スル韓國政府竝ニ臣民ノ訴訟ハ露國裁判所ニ於テ露國ノ法律ニ依リ之ヲ處斷ス

第三條 韓國ニ於テ韓國臣民ニ對スル露國政府竝ニ臣民ノ訴訟ハ韓國裁判所ニ於テ韓國ノ法律ニ依リ之ヲ處斷ス

第四條 露國臣民ニシテ韓國ニ於テ犯罪行為ヲ爲スモノアリタル場合ハ露國官吏ニ依リ露國ノ法律ニ從ヒテ處分セラルヘシ

第五條 韓國臣民ニシテ韓國ニ於テ露國臣民ニ對シ犯罪行為ヲ爲シタルモノハ韓國官吏ニ依リ韓國ノ法律ニ從ヒテ處分セラルヘシ

第六條 露國臣民ニシテ本條約及本條約附則若クハ本條約ニ基キ今後規定セラルヘキ規則ニ違犯シ其罪罰金若クハ沒收ニ該當スルモノハ露國領事ニ於テ之ヲ審問裁決スヘシ

第七條 露國領事ノ裁判ニ依リ課セラレタル罰金及沒收物件ハ韓國政府ノ收入トス

第八條 韓國ノ開港場ニ於テ抑留セラレタル露國ノ商品ハ韓國ノ官吏ニ於テ之ニ封印スルト同時ニ露國領事ニ通知シ露國官吏ノ決定ヲ待ツヘシ

露國官吏ノ決定ニシテ荷主ノ利益トナルヘキモノナルトキハ其商品ハ直ニ露國領事ノ管理ニ移サルヘキモノトス但荷主ニシテ其商品ノ價格ニ對スル保證金ヲ韓國官吏ニ提供スルトキハ決定前トイヘトモ其商品ヲ受領スルコトヲ得

第八條 韓國裁判所若クハ韓國ニアル露國裁判所ニ於テ審問スヘキ民事及刑事ニ關スル事項ハ原告ノ屬スル國ノ官吏ニ於テ該審問ニ立會スヘキ官吏ヲ選任スルコトヲ得右立會ノタメ派遣セラレタル官吏ハ必要アリト認ムルトキハ其職權ニヨリ證人ヲ招喚訊問シ及對審セシメ又ハ裁判ノ手續若クハ決定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

第九條 韓國臣民本國ノ法律ヲ犯シ露國臣民ノ家屋商品倉庫若クハ商船中ニ潜伏スルトキハ露國領事ハ韓國地方官吏ノ通知ニヨリ捕縛ノ方法ヲ取り之ヲ韓國官吏ニ引渡スヘシ但韓國官吏ハ如何ナル場合ニ於テモ露國領事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ露國臣民ノ家屋ニ立入ルコトヲ得ス又船長ノ許可ナキトキハ商船ニ入ルコトヲ得ス

第十條 韓國官吏ハ露國當該官吏ノ要求ニヨリ刑事上ノ嫌疑ヲ受ケタル露國臣民及露國ノ軍隊若クハ商船ヨリ逃亡シタル者ヲ捕縛シテ引渡ス義務ヲ有ス

第四章

第一條 露國貿易ノタメ本條約施行ノ日ヨリ左ノ場所ヲ開ク

仁川 元山 釜山(若シ不便ナリト認ムル時ハ釜山附近ノ一箇所ヲ選フコトヲ得)京城 揚花鎮(若クハ此市街ノ附近ニ於ケル地)

第二條 第一條ニ記載スル場所ニ於テ露國臣民ハ土地若クハ家屋ヲ賃借若クハ購買シ又家屋、倉庫若クハ製造所ヲ建設スルコトヲ得又前記ノ場所ニ於テ宗教上ノ儀式ヲ行フコト自由タルヘシ但居留地ノ選

定、其境界ノ設定、區劃及土地ノ賣買ニ關スル事項ハ韓國ノ官憲ニ於テ關係諸國ノ當局官吏ノ立會ニヨリ之ヲ處置ス

第三條 居留地ト爲スヘキ地所ハ韓國政府ニ於テ所有主ヨリ之ヲ購入シ且外國人ノ居住ニ便ナル場所ヲ選フヘシ其費用ハ主トシテ土地販賣代金ヲ以テ償還セラルヘシ

居留地々稅年額ハ韓國政府ニ於テ關係アル諸外國政府ト協商シテ之ヲ定メ一部分ハ韓國政府ニ於テ收納シ殘部ハ土地販賣代金ヨリ土地購入費ヲ扣除シタル純益ト共ニ後來韓國官憲ト關係アル諸國當局官吏トノ協商ニヨリ設置セラルヘキ居留地會議ノ管理ニ屬スヘキ基金中ニ編入スヘキモノトス

第四條 露國臣民ハ民留地ノ區劃外十韓里以內ノ場所ニ於テ土地若クハ家屋ヲ賃借シ又ハ購求スルコトヲ得但本條ノ規定ニ依リ土地ヲ占有スルモノハ其土地所在地ノ法律ノ制裁ニ服シ韓國官憲ノ意見ニ依リテ定メラレタル地稅ヲ拂フノ義務ヲ有ス

第五條 韓國政府ハ貿易ノタメニ開カレタル場所ニ於テ外國臣民ニ墓地ヲ無償供給シ其墓地ニ對シテハ借地料地稅其他何等ノ負擔ヲモ課スルコトナカルヘク墓地ノ管理ハ居留地議會ニ委託セラルヘシ

第六條 露國臣民ハ貿易ノタメ開カレタル場所ヨリ百韓里以內若クハ後來露韓兩國ノ當局官吏ニ於テ協定スヘキ範圍内ニ於テハ旅券ヲ携帶セシテ自由ニ旅行スルコトヲ得

露國臣民ハ韓國ノ何レノ處ニモ旅行シ地方ノ生産物ヲ購買シ竝ニ韓國政府ノ禁止ニ係ル書籍及印刷物ヲ除クノ外各種ノ商品ヲ運搬シ販賣スルノ權ヲ有ス但此場合ニ於テ旅行者竝ニ商人ハ本國領事ノ下附シタル韓國地方官ノ署名捺印アル旅券ヲ携帶シ韓國官吏ノ要求アルトキハ之ヲ提示シ旅券正當ナルトキハ其

携帶者ハ旅行ヲ繼續シ且必要ナル便宜ヲ求ムルコトヲ得露國臣民ニシテ若シ旅券ヲ携帶セシテ前記定限外ノ地ヲ旅行シ若クハ内地ニ於テ犯罪ヲ爲シタルトキハ韓國官憲ハ之ヲ逮捕シテ事故發生地ヨリ最近ノ露國領事ニ送致シ刑罰ヲ要求スヘシ旅券ヲ携帶セシテ定限外ノ土地ニ出テタルモノハ墨銀百弗ヨリ多カラサル罰金ニ處シ一月ヨリ多カラサル禁錮ヲ加フ但事情ニ依リテハ其禁錮ヲ除クコトヲ得

第七條 韓國ニ於ケル露國臣民ハ居留地議會警察其他露韓兩國ノ當局官吏カ安寧秩序ヲ保持スルタメニ規定スヘキ凡テノ規則ヲ遵奉スヘシ

第五章

第一條 露國臣民ハ貿易ノタメニ開カレタル場所ニ於テ本條約ノ禁止セサル各種ノ商品ヲ本條約ノ附則ニ定ムル所ノ稅金ヲ納メテ賣買シ外國ノ商港若クハ韓國貿易港ヨリ商品ヲ輸入シ之ヲ韓國臣民及其他ノ外國人ニ販賣シ若クハ之ヲ韓國臣民及其他ノ外國人ヨリ買取リ他ノ外國商港及韓國貿易港ニ輸出シ韓國官憲其他ノ干渉ヲ受ケスシテ韓國臣民若クハ他ノ外國人ト商業關係ヲ有シ一切ノ工業ニ從事シテ何等ノ妨害ヲ受クルコトナカルヘシ

第二條 外國商港ヨリ輸入シ納稅ヲ終ハリタル商品ノ持主及受取主ニ於テ其商品ヲ逆送セントスルトキハ其輸入シタル日ヨリ韓曆十三ヶ月ヲ過キササル間ハ其荷造ヲ變セサルモノニ限り輸入稅ノ返還證ヲ請求スルコトヲ得輸入稅返還證ハ請求ニヨリ韓國稅關ニ於テ引替ヘ若クハ韓國貿易場ニ於テ納ムヘキ稅金トシテ收納スヘシ

第三條 韓國ノ生産物ヲ同國ノ甲貿易港ヨリ乙貿易港ニ輸出シタルキハ其輸出税ハ乙貿易港ノ税關ニ於テ下附スル商品到着證書若クハ船舶ノ難破ニヨリ其商品ノ紛失ニ關スル確實ナル證據ヲ提示シ甲貿易港ニ於テ返還セラルヘシ

第四條 露國臣民ニ於テ韓國ニ輸入シ既ニ輸入税ヲ納メタル商品ハ之ヲ韓國ノ爾餘ノ貿易港若クハ内地ニ輸送スルコトアルモ更ニ輸入税追加税物品税若クハ通過税ヲ課セラル、コトナカルヘク之ト等シク輸出ノ目的ヲ有スル韓國生産品ヲ同國ノ貿易港ニ輸送スルハ全ク自由ニシテ生産地ニ於テモ又何レノ場所ヨリ何レノ商港ニ運送スルニ於テモ税金ヲ負擔スルコトナカルヘシ

第五條 韓國政府ハ韓國不開港場ニ商品及旅客ヲ運送スルタメ露國商船ヲ借入ル、コトヲ得政府ノ許可ヲ得タルトキハ韓國臣民モ亦同シ

第六條 韓國政府ハ國內ニ於テ穀類缺乏ノ虞アリト認ムルトキハ皇帝ノ名ヲ以テ同國貿易港ノ一ヲ限リ若クハ凡テノ貿易港ヨリ一時其輸出ヲ禁止スルコトヲ得此禁令ハ韓國政府カ公然當該貿易港ノ露國領事ニ通知シタル後一ヶ月ノ後露國臣民ニ於テ遵奉スルノ義務ヲ生ス但此禁令ハ事故止ミタルトキハ直ニ解除スヘシ

第七條 露國商船ハ登簿噸數一噸ニ付墨銀三十仙ノ入港税ヲ拂フヘシ其入港税ヲ拂ヒタル商船ハ四ヶ月更ニ何等ノ税金ヲモ負擔スルコトナク同國貿易港ヲ巡航スルコトヲ得此入港税ハ韓國海岸特ニ貿易港ノ入口ニ於ケル燈臺、水路標ノ設備、竝ニ碇泊處ノ浚渫若クハ其他ノ改良費ニ充ツヘシ但貿易港ニ於テ荷物ノ積卸ニ供スル端船ニハ一切賦税ヲ課セサルモノトス

第八條 本條約ニ添附スル關稅表及貿易規則ハ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ生ス貿易規則ハ兩國ノ官憲ニ於テ必要ト認ムル場合ハ協議ニ依リ之ヲ改正シ若クハ追加スルコトヲ得

第六章

露國臣民ニシテ韓國ノ不開港場若クハ其他ノ場所ニ密賣品ヲ輸入シ若クハ輸入セントスルモノアルトキハ其物貨ハ之ヲ沒收シ且ツ其物貨ノ價格ニ二倍スル罰金ニ處セラルヘシ韓國地方官吏ハ密商ヲ行ヒ若クハ密商ヲ謀ル露國臣民ヲ認メタルトキハ之ヲ取押ヘテ最近ノ露國領事ニ送致シ其貨物ハ露國領事ノ最終決定アルマテ之ヲ取押ヘ置クヘシ

第七章

第一條 露國船舶韓國沿岸ニ於テ難破シ又ハ坐礁シタルトキハ韓國地方官憲ハ船舶及其積載貨物ヲ保管シテ奪掠ヲ防キ其乗組員及乗客ヲ保護シテ暴徒ノ強迫ヲ免レシメ其他救護上必要ナル處置ヲ取り遲滯ナク事故發生地ヨリ最近ノ露國領事ニ報告シ必要アルトキハ被難者ニ對シ最近ノ貿易港ニ到着スルタメニ必須ナル物資ヲ供給スヘシ

第二條 露國難破船人ノ救護運送衣食ノ給與溺死者ノ死體搜索死者ノ埋葬病者及負傷者ノ治療ニ係ル韓國政府ノ費用ハ露國政府ヨリ之ヲ返還スヘシ

第三條 被難船舶及積載貨物ハ救助若クハ保管ノ爲メ生シタル費用ハ露國政府負擔ノ責ニ任スルコトナ

ク之ヲ其貨物ニ課ス其貨物ニ利害關係ヲ有スルモノハ其貨物ヲ受取リタル後之ヲ支拂フハシ

第四條 韓國政府ハ難破船救助ノ爲メ派遣セラレタル中央政府ノ官吏若クハ地方警察官ノ費用被難者ヲ護送シタル官吏ノ旅費及公用通信ノ費用ハ之ヲ自辨スルモノトス

第五條 露國商船天候ノ險惡若クハ糧食薪水ノ缺乏ニ遭遇スルトキハ韓國ノ不開港場ニ寄港シテ船體ヲ修葺シ必要ナル物品ヲ積載スルコトヲ得此場合ニ於ケル一切ノ費用ハ船長ニ於テ之ヲ辨スヘシ

第八章

第一條 兩國ノ軍艦ハ相互ニ一方ノ國ノ何レノ港灣ニモ寄港スルコトヲ得其必需品ノ買入若クハ船體ノ修葺ノタメ一切ノ便宜ヲ利用シ且ツ貿易規則若クハ港則ニ束縛セララル、コトナク又之レカ爲メ何等ノ税金ヲモ負擔スルコトナシ

第二條 露國軍艦韓國ノ不開港場ニ寄港シタルトキハ乘組將校及其他ノ乘組員ハ上陸スルコトヲ得ト雖トモ旅券ヲ携帶セスシテ内地ニ入ルコトヲ得ス

第三條 露國艦隊ノ必需品ハ韓國ノ貿易港ニ陸揚シ何等ノ負擔ヲ受クルコトナク露國官吏ノ監督ノ下ニ倉庫ニ保管セラル、コトヲ得但此等ノ物品ニシテ販賣セラル、トキハ購買者ヨリ成規ノ税金ヲ韓國政府ニ納ムヘキモノトス

第四條 露國軍艦韓國海面ニ於テ測圖及測量ニ從事スルトキハ韓國政府ハ之ニ充分ナル助力ヲ與フヘシ

第九章

第一條 露國ノ官憲及其他ノ臣民韓國ニ於テ教師、通辯、僕、婢又ハ其他適法ノ業務ニ從事セシムヘキ目的ヲ以テ韓國臣民ヲ雇ヒ入ル、トキハ韓國政府ハ毫モ之ヲ妨害スルコトナカルヘシ又露國政府ハ韓國ノ官民ニ於テ露國臣民ヲ正當ノ業務ニ雇使スルトキ毫モ之ヲ妨クルコトナカルヘシ

第二條 兩國臣民言語、文學、法律、技術若クハ工藝ノ學習又ハ諸般ノ研究ノ爲メ一方ノ國ニ旅行スルトキハ相互ニ充分ノ助力ヲ與フヘシ

第十章

露國皇帝陛下ノ政府官吏及臣民ハ此條約實施ノ日ヨリ韓國皇帝陛下カ他國政府官吏又ハ臣民若クハ人民ニ現在許與シ又ハ今後許與スヘキ一切ノ權利、利益及特典(特ニ輸出入税ニ關シ)ヲ享有スヘシ

第十一章

兩締盟國ノ一方ハ條約實施ノ日ヨリ十年ヲ經過シタル後ハ一年前ニ他ノ一方ニ通知シテ本條約ニ添附スル税率ノ改正ヲ要求シ協議ノ上必要ト認ムル改正ヲナスコトヲ得

第十二章

第一條 本條約ハ露國語及清國語ヲ以テ之ヲ記載シ兩々同一ノ意義ヲ表示スト雖トモ各章ノ意義ヲ解決ニスルハ露國語ヲ以テ記シタルモノヲ正文ト看做ス

第二條 凡テ露國官憲ヨリ韓國官憲ニ送致スル公文書ハ露文ヲ以テ記載スヘシト雖モ當分ノ内ハ清國語ノ譯文ヲ添附スヘシ

第十三章

本條約ハ露國皇帝陛下及韓國々王陛下互ニ名ヲ署シ璽ヲ鈐シ其批准ハ今ヨリ一年若クハ他ニ故障ナラサルハ尙早ク京城ニ於テ交換セラルヘシ

本條約ハ兩國政府ニ於テ之ヲ公布シ批准交換ノ日ヨリ其效力ヲ生ス

兩國全權委員ハ本條約ニ署名捺印シ其正確ナルヲ確認ス

本條約ハ耶蘇紀元千八百八十四年露曆六月二十五日韓曆四百九十三年即清曆光緒十年五月十五日京城ニ於テ原本三部ヲ作成ス

カ、ウ、ー、ベル 印
金 炳 始 印

露國臣民ノ韓國ニ於ケル貿易ニ關スル

規則 (千八百八十四年露曆六月廿五日)
(七月七日)訂結露韓條約附則

第一章 船舶ノ出入

第一條 露國船舶韓國ノ港ニ入ルトキハ其船長ハ入港後四十八時間以内(日曜祭日ヲ除ク)ニ露國領事ノ船舶書類受領證明書ヲ稅關長ニ差出スヘシ

船長ハ本條第一項ノ證明書ト共ニ入港届書報告書ヲ差出スヘシ入港届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルヲ要ス

船名、最後ノ出發港名、船長ノ姓名、乗客ノ數、(必要アルトキハ其姓名共)船舶ノ噸數、乗組人員

船長ハ本條第二項ノ書類ノ外尙ホ積荷目録ヲ稅關ニ差出スヘシ積荷目録ニハ商品ノ記號箇數荷主及受取人ノ姓名ヲ記載スヘシ

前記ノ書面ハ船長之ニ署名捺印スヘシ

船長ハ前記各項ノ手續ヲ了リタル後稅關ヨリ陸揚證書ヲ受領シ之ヲ稅關検査員ニ呈示スヘシ若陸揚證書ヲ得スシテ艀口ヲ破開シタルトキハ船長ハ墨銀百弗ヨリ多カラサル罰金ニ處セラルヘシ

第二條 積荷目録ニ誤謬アルヲ發見シタルトキハ其目録ヲ差出シタル時ヨリ起算シ二十四時間以内(日曜祭日ヲ除ク)ハ何等ノ罰金ヲモ課セラル、コトナク其目録ノ訂正ヲナスコトヲ得但期間ヲ經過シタル後積荷目録ノ變更若クハ追加ヲ爲ス場合ニハ毎回墨銀五弗ヲ納ムヘシ

第三條 本規則ニヨリ定メラレタル期間ニ於テ第一條第二條ノ積荷目録及入港届書ヲ差出サ、ルトキハ該時限後二十四時間ヲ經過スル毎ニ墨銀五十弗ノ罰金ヲ船長ニ課スルモノトス

第四條 韓國ノ港ニ碇泊スル船舶ニシテ四十八時間以内ニ艀口ヲ開カスシテ出發スルモノ及天候險惡ノ